

ICT を利用した地域医療連携の概要

2016 年度版

別添 5 「全国地域医療連携詳細」(非公開除く)

(WEB 版のみ)

※ワーキングペーパーのグラフ等で用いているデータは、クレンジングデータのため、こちらの全国地域医療連携詳細と一部一致しない場合がございます。

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0373

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	斗南ホットライン		
ネットワークの略称・愛称	ホットライン		
運用開始(予定)年	2008	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要			
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国家公務員共済組合連合会斗南病院		
住所	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西7丁目3-8		
電話番号	011-231-2121	所属部署	患者支援センター
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, △:胃・大腸がん, ○:その他のがん		
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, △:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:検査機関との連携, ○:在宅医療連携, ○:空床情報		
その他 備考・補足			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0385

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	とよひら・りんく患者情報共有システム（仮称）		
ネットワークの略称・愛称	とよひら・りんく		
運用開始（予定）年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	多職種協働による在宅医療提供のための患者情報共有システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 連携協議会（任意団体）		
団体名	とよひら・りんく（札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会）		
住所	〒062-0034 北海道札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52西岡病院内		
電話番号	011-853-8322	所属部署	西岡病院医療福祉課
担当者	岡村紀宏	Eメールアドレス	info@toyohiralink.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	その他の形で参画している 協議会の合同会議に参画している。

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	情報入力作業の負担が大きいため、情報更新方法を検討中。
運営について工夫した点、苦労した点	表示する項目の整理（職種毎による必要な情報の整理）。
対象地域	札幌市豊平区の一部とその周辺
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数（実績）		1	7				
参加団体数（予定）							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数（実績数）		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		400			400		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, その他の方式
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	△:すべての施設毎に同意を得る, △:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回（脱退）する場合	同意書の撤回（脱退）文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病（連携パス）	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:肝炎, △:糖尿病, △:認知症
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有（掲示板、SNSなど）, △:空床情報
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報（氏名、年齢、住所等）, ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:医師記録（経過記録）, ○:サマリ, △:看護記録, ○:その他文書
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	
障害対策（バックアップ体制）	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	S S L 通信
医療機関等との通信（閲覧側）	S S L 通信
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）, S S L 通信
患者との通信	○:IP-VPN
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0385

情報更新日： 2017/2/21

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	介護連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	介護連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0485

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	TMNITinHokkaido		
ネットワークの略称・愛称	通称：TMNIT（ティーエムユニット）		
運用開始（予定）年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.kejinkai.com/teine/about/tmnit-in-hokkaido/tmnit-in-hokkaido01/		
ネットワークの概要	<ID-LINKを用いた診療情報連携>参加施設間で診療情報を共有し、複数の医療施設間の医療連携を緊密に行い良質の医療、患者満足度向上のため、診療情報連携を行っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	TMNITinHokkaido		
住所	〒006-8555 北海道札幌市手稲区前田1条12丁目1-40		
電話番号	011-681-8111	所属部署	手稲溪仁会病院経営管理部渉外課
担当者	清水信明	Eメールアドレス	tkh-representative@kejinkai.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	3 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、周度期医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、疾病管理、健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○：患者サービスが向上した、○：患者の負担が軽減した、○：医療機関間で機能分化が進んだ、○：医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○：医療機関間の人的ネットワークが進んだ、○：医師の偏在を補う効果があった、○：患者紹介の円滑化が進んだ、△：（診療所にとって）地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○：（地域中核病院にとって）診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	サーバ更新時の財源・費用確保をどの様にするか。他システムとの連動。
運営について工夫した点、苦労した点	利活用促進のため普及、啓発活動を継続し行っている。また主となる医療機関実務担当者と共に定期的に協議・検討する会議を行っている。
対象地域	全領域での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
参加団体数（実績）		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数（予定）		33	74		1		
参加している病院の施設類型		施設の有無		施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし	1	手稲溪仁会病院		
		精神科病院	なし	1	手稲病院		
参加患者数（実績数）		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		5724			5724		

同意取得について	
医療機関等	○：施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○：施設ごとの参加判断
患者	○：施設毎に情報連携の可否を指定、○：すべての施設毎に同意を得る

同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回（脱退）する場合	同意書の撤回（脱退）文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病（連携パス）	○：大腿骨頸部骨折、○：脳血管障害
提供しているサービス項目	△：診療情報の連携、△：電子紹介状、○：電子処方箋（実証等）、○：電子版おくすり手帳、△：退院時サマリ、○：画像情報の共有、○：検査機関との連携、△：空床情報、○：メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○：患者基本情報（氏名、年齢、住所等）、△：診療情報提供書、△：サマリ、○：処方オーダー、○：注射オーダー、○：検体検査オーダー、○：放射線検査オーダー、○：内視鏡検査オーダー、○：生理検査オーダー、○：食事オーダー、○：検体検査結果、○：生理検査結果、○：画像（放射線検査、内視鏡検査等）、○：調剤結果
利用している情報の取得元システム	○：病院（電子カルテ）より取得、○：病院（画像システム）より取得、○：検査センター（検査システム）より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○：クラウド型
情報共有形態	○：双方向での共有、○：参照のみ、ファイル機能により資料添付を行い、双方向共有している（地域連携パス・透析条件連絡表）
地域共通ID	○：ID-LINKシステムを利用、○：独自開発のシステムを利用、△：その他の共通システムを利用
連携情報の保管場所	○：各医療機関の院内、△：院外のデータセンター
障害対策（バックアップ体制）	○：提供ベンダーのサービスを利用、○：待機系サーバを遠隔地に設置、○：磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○：医薬品HOTコードマスター、△：ICD1対応標準病名マスター、○：保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部：符号化規則、○：医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）、○：JAHS臨床検査データ交換規約、○：臨床検査マスター、○：JAHS放射線データ交換規約、○：JAHS処方データ交換規約、○：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン、○：地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○：PIX/PIXV/PDQ/PDQV3、○：XDS. b、○：XCA、○：CT

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0485

情報更新日： 2017/2/27

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：運用管理規程の制定
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1251	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	51	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	2847	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	36	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問，勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	（立上げ時） その他 （会員増加時）
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	電子版おくすり手帳
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携，退院時サマリ
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上，その他

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1002

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要				
ネットワークの名称	北海道がんセンター地域医療システム			
ネットワークの略称・愛称				
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中	
公開URL				
ネットワークの概要	当院と他の病院との個人ネットワーク			
医療情報連携ネットワークの代表団体				
代表団体区分	病院			
団体名	北海道がんセンター地域医療システム			
住所	〒			
電話番号				
担当者	菊地久美子	所属部署	Eメールアドレス	
			hccisoo@sap-cc.go.jp	
自治体の運営への参加				
自治体の運営への参加	参画していない			
医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	7	人	兼任
				7
				人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など				
ネットワークの導入目的	医療連携			
地域の課題	患者情報のやりとり(画像)がスムーズ。CD-ROMの郵送に時間がかかる。			
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ			
ネットワークが現在抱えている課題				
運営について工夫した点、苦労した点	事務局の手続きか			
対象地域	全県域での連携			
行政計画への記載	北海道			
参加団体数と参加患者数				
	参加施設数			
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局
参加団体数(実績)	7			
参加団体数(予定)				
	施設の有無	施設数	施設名	
参加している病院の施設類型	特定機能病院			
	地域医療支援病院	7		
	精神科病院			
	登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数	
参加患者数(実績数)	36		36	
同意取得について				
医療機関等	△:施設ごとの参加判断			
介護施設、その他				
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。			
同意取得について(患者詳細)				
新規患者からの同意取得	同意による取得			
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による			
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得			
提供しているサービス状況				
連携している疾病(連携パス)	○:胃・大腸がん, ○:その他のがん			
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状			
その他 備考・補足				
共有できる情報項目				
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)			
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得			
医療情報連携ネットワークのシステム				
連携方式	○:クラウド型			
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ			
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用			
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター			
障害対策(バックアップ体制)				
厚生労働省標準規格の採用				
情報連携基盤技術仕様				
通信ネットワーク・ログインセキュリティ				
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN			
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN			
介護施設・その他施設との通信				
患者との通信				
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード			
介護施設・その他施設用				
患者用				

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1002

情報更新日： 2017/2/10

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定					
安全管理		○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		26780		千円			
運用費用		1172		千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	58	千円
	連携費用	200床以上	1114	千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用	2680		千円			
	運用費用	1172		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		日本電気（株）					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担，自治体の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）		参加施設の負担	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回		
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回		
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由		特に何もしていない					
人的なネットワーク		(立上げ時) 基幹病院		(会員増加時) 基幹病院			
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		都道府県					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係		どちらも言えない					
会員増加に効果的なサービス		医療従事者用モバイル対応，患者サービス（モバイルアクセスサービス），在宅医療連携，介護連携，その他のサービス情報共有（掲示板，SNSなど）					
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1047

情報更新日： 2017/2/20

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	ICTネットワーク						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	ID-LINKとシンクライアントを併用した連携						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	病院						
団体名	北海道大学病院						
住所	札幌市北区北14条西5丁目						
電話番号	011-716-1161	所属部署					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	0	人	兼任	3 人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	全県域での連携		北海道				
行政計画への記載	いいえ						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	0	0	0	0	0
参加団体数(予定)		2	0	0	0	0	0
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	北海道大学病院			
	地域医療支援病院	あり	1	手稲溪仁会病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他							
患者	○:すべての施設毎に同意を得る						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)						
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:集中型, ○:クラウド型						
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ						
地域共通ID	△:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用, ○:独自開発のシステムを利用, △:その他の共通システムを利用, AreaConnect						
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存						
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:臨床検査マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン						
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE)						
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード						
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1047

情報更新日： 2017/2/20

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, △：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, △：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ		
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1048

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	中空知医療連携ネットワークシステム						
ネットワークの略称・愛称	そら-ねっと						
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	中空知6自治体病院参加						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	病院						
団体名	砂川市立病院						
住所	〒073-0196 砂川市西4条北3丁目1番1号						
電話番号	0125-54-2131	所属部署	地域医療連携室				
担当者	小熊雄一	Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	運営主体として						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	2	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周産期医療対策, へき地医療対策, 小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理						
地域の課題	地域で在宅医療を支える						
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題	登録患者数の増進						
運営について工夫した点、苦労した点	稼働準備						
対象地域	二次医療圏での連携		中空知				
行政計画への記載	はい						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		6					
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし	1	砂川市立病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		400		400			
同意取得について							
医療機関等		○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断					
介護施設、その他		○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断					
患者		△:参加施設すべての情報連携に一括同意, △:施設毎に情報連携の可否を指定, △:すべての施設毎に同意を得る					
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得		同意による取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合		同意書の撤回(脱退)文書による					
新たに参加施設が増えた場合		連携先追加の同意書による取得					
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目		○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約, △:メール、メルマガなど					
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目		○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他					
利用している情報の取得元システム		○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, △:その他より取得					
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式		○:クラウド型					
情報共有形態		○:双方向での共有, ○:参照のみ					
地域共通ID		○:HumanBridgeシステムを利用					
連携情報の保管場所		○:院外のデータセンター					
障害対策(バックアップ体制)		○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存					
厚生労働省標準規格の採用		○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, △:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様					
情報連携基盤技術仕様		△:PIX/PIX3/PDQ/PDQV3, △:XCA					

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用		16576		千円		
運用費用				千円		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	8287		
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		富士通（株）				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	230	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	6	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	347	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	6	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組		
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催	
特に効果があったもの・理由	説明会の開催	
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	診療効率化, 患者情報確認	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏	
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携, 電子紹介状	
追加サービスと会員増加の関係	そう思う	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携	
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1050

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	未記載						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況					
公開URL							
ネットワークの概要							
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分							
団体名							
住所	〒						
電話番号		所属部署					
担当者		Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加							
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	人	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的							
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域							
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
		精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について							
医療機関等							
介護施設、その他							
患者							
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合							
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)							
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1050

情報更新日： 2017/2/14

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数			回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数			回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク 参加機関・患者拡大のメリット				(立上げ時) (会員増加時)			
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1051

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	ケアメモリー
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1052

情報更新日： 2017/2/24

医療情報ネットワークの概要			
ネットワークの名称	市立札幌病院地域医療情報ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	すずらんネット		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	市立札幌病院に受診歴のある患者の診療情報を、患者同意のもとインターネット回線を経由して参加登録機関へ提供し、診療に役立てるためのシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	市立札幌病院		
住所	〒060-8604 北海道札幌市中央区北11条西13丁目1-1		
電話番号	011-726-2211	所属部署	地域連携センター地域連携・入退院支援課地域連携係
担当者	大畑雅宏	Eメールアドレス	masahiro.ohhata@city.sapporo.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	7	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周産期医療対策, 小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	・急性期医療を担う当院では、従来の紙媒体の診療情報提供書のみでは患者情報共有が不十分であるため。・地域医療支援病院の役割として、高度医療機器を地域の医療機関に利用を促すとともに結果の閲覧がスムーズにいくよう利便性を向上させるため。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ネットワーク環境によっては通信速度に遅れが生じ、必要な情報が必要なタイミングですぐに表示されないことがある。
運営について工夫した点、苦労した点	・ICTを利用することで日常業務が増加することが参加を躊躇する理由になっていると考えられるため、もっと簡便に利用できないかを模索している。・個人情報保護と患者同意の手続きを適正かつ簡便に行う方法を模索している。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	札幌

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		16	18	1	0	0	0
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	市立札幌病院			
	精神科病院	なし	1				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		188			101		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:電子クリニカルパス, △:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, △:画像診断サービス, △:検査機関との連携, ○:在宅医療連携, △:介護連携, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, △:処方オーダー, △:注射オーダー, △:検体検査オーダー, △:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, △:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:看護実践用語標準マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1052

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:その他のVPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:その他のVPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局	○:IDとパスワード、クライアント証明証認証
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用		20000		千円	
運用費用		8000		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	5000	その他費用	3000
	連携費用	200床以上		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業		富士通（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	255	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	9	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	263	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	9	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	DM送付, チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知
特に効果があったもの・理由	医療機関等への訪問 参加にあたって費用や労力の負担が増えることを懸念している医療機関が多いが、直接訪問・説明することで正しくご理解いただける切欠になったのではと考える。
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	・検査・処方等の重複が減る。・治療・検査データを共有できることで、医療機関同士の紹介、逆紹介がスムーズになる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1053

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	十勝医師会ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	TOMA-NET		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.toma-net.or.jp		
ネットワークの概要	診療録の共有、在宅・救急医療の連携等		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	十勝医師会		
住所	〒080-0015 帯広市西5条南2丁目12-4		
電話番号	0155-28-2898	所属部署	事務局
担当者	泉政秀	Eメールアドレス	tkch-doc@oregano.ocn.ne.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			1 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	2次3次までは遠方であるため、かかりつけ医と地域の中規模中核病院との連携をはかり、救急・在宅在宅医療を推し進める必要があった。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	IT化について理解しているが、活用までには至っていない。
運営について工夫した点、苦労した点	匿名でIPすることにより管理者の負担軽減。電子カルテでなくても参加出来る。
対象地域	その他 十勝地域18町村
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		18	48	2	1	3	
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院		1	社会医療法人北斗北斗病院			
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		107		1			

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	○:地域全体で参加
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約, △:空床情報, △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:病名情報, ○:診療情報提供書, △:サマリ, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	医師会事務局
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:診療情報提供書(電子紹介状), △:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針, △:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:JAHIS臨床検査データ交換規約, △:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ117指針), △:JAHIS処方データ交換規約, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1053

情報更新日： 2017/3/1

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
患者との通信	△:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局	○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書 (ICカード), △:PKI電子証明書 (ICカード)
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書 (ICカード), △:PKI電子証明書 (ICカード)
患者用	△:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500	
	医科診療所	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500	
	歯科診療所	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500	
	薬局	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500	
	介護施設	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500	
	その他	開示側				閲覧側		
	患者	開示側	無料			閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用		24045		千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費	977	その他費用	千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用	7916		千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		メディアオ・テック（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	156	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	15	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	246	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	15	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 デモにて実際の画面を見られるため		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット	救急・在宅医療を含めた地域包括ケアシステム構築の推進		
地域範囲の適切なサイズ	地方ブロック		
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携, 電子紹介状		
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 在宅医療連携		
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 患者サービスの向上		

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0030

情報更新日： 2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	東胆振医療情報連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	東胆振メディカルネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	インターネットを介し診療情報を連携医療機関から閲覧することが可能となる。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	東胆振医療情報連携ネットワーク協議会		
住所	〒053-8570 北海道苫小牧市旭町2丁目4番地20号		
電話番号	0144-33-4720	所属部署	一般社団法人苫小牧市医師会事務局担当

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定
安全管理	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0067

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ID-LINK		
ネットワークの略称・愛称	道南MedIka (メディカ)		
運用開始(予定)年	2007	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.medika.or.jp/		
ネットワークの概要	協議会加入施設をインターネット回線で接続し、公開施設が保有する診療情報を共有するシステム。医療機関毎に異なる患者ID情報をリンクするため、利用者は自施設のIDで連携先の医療情報を閲覧することが可能である。また、データセンターではアクセス権、アクセスログ等の管理によりセキュリティが確保されている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人道南地域医療連携協議会		
住所	〒041-8680 北海道函館市港町1丁目10番1号市立函館病院医療連携課内		
電話番号	0138-43-2000(4272)	所属部署	事務局 (市立函館病院医療連携課)
担当者	崎野輝彦	Eメールアドレス	t-sakino@hospital.hakodate.hokkaido.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	3
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	情報公開用サーバが更新時期にきているが, 更新のための費用がない。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	複数県にまたがる連携 青森県 (大間)
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数 (実績)		29	29	1	13	12	9
参加団体数 (予定)							
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数					
		施設名					
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
	精神科病院						
参加患者数 (実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		25328			25328		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について (患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退) 文書による
新たに参加施設が増えた場合	その他 最初から複数の場合は複数施設同意書で同意を取得。後に追加となる場合は、再度同意書を取得する。

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:脳血管障害, ○:胃・大腸がん
提供しているサービス項目	○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	処方内容、画像データ、注射内容、検査内容、読影レポート、診察記事など

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0067

情報更新日： 2017/2/13

通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信（開示側）			
医療機関等との通信（閲覧側）			
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型), ID+パスワード+デジタル証明書		
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:生体認証, ID+パスワード+デジタル証明書 (+一部静紋認証ログインによる電子カルテとの連携)		
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, ID+パスワード+デジタル証明書		
患者用			
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備		
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	その他 補助金を利用して更新は考えているが、具体的には未定		
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0085

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	小樽後志地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	ID-LINK		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	サーバを設置し、インターネット経由で地域の病院、医院のパソコンから接続することにより、電子カルテ・オーダーリングシステムの診療情報を病院、医院と共有するシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	小樽市立病院		
住所	〒047-8550 北海道小樽市若松1丁目1番1号		
電話番号	0134-25-1211	所属部署	地域医療連携室
担当者	林知代	Eメールアドレス	renkei@otaru-general-hospital.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策, 救急医療対策, 周産期医療対策, へき地医療対策, 小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	小樽市内、札幌

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		13					
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名			
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		2900			2900		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:脳血管障害, ○:心臓疾患, △:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:電子処方箋(実証等), ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, ○:分散型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0085

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用		0		千円		
運用費用		0		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0 千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円		
	運用費用	0		千円		
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0 千円
主な関連IT企業						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0094

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	community-link		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要			
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人恵佑会札幌病院		
住所	〒003-0027 北海道札幌市白石区本通14丁目北1番1号		
電話番号	011-863-8800	所属部署	地域医療連携室
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	○:患者紹介の円滑化が進んだ,○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	OSのアップデートの度、契約先の医療機関にて非対応OSに切り替えた為に病診システムが利用できなくなるなどの対応に追われる。アップデートは有償の為、そこが難点。		
運営について工夫した点、苦労した点	連携先がパソコンの入れ替えやウィルスソフトの新規導入などがある場合、システムの互換性があるものを選んで頂く、あるいは再インストールのために対応を余儀なくされる場合がある。		
対象地域	市区町村単位での連携	札幌市	
行政計画への記載			
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備		
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果があったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0160

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	北見市医療福祉情報連携システム		
ネットワークの略称・愛称	北まるnet		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://kitamaru.net/		
ネットワークの概要	超高齢社会(北見市の調査では10年後の平成32年度には高齢化率33.5%と推計)への対応と医療・介護資源の有効活用のため、ICT(情報通信技術)を活用し市内の医療機関と介護保険事業所等をネットワークでつなぎ、患者さんや利用者情報の共有や利活用を検討、実施する任意の協議会です。平成23年7月に設立され、会長は北見医師会会長が務め、市内の医療機関、介護保険事業所、北見工業大学、北見消防組合など17団体45名の会員で構成されています。平成24年に医療介護連携システム、平成26年に救急隊連携システム、電子お薬手帳システムを構築運用しています。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	北見市医療福祉情報連携協議会		
住所	〒090-0036 北海道北見市幸町3丁目1-24北見医師会館		
電話番号	0157-23-2787	所属部署	事務局
担当者	千田久幸	Eメールアドレス	info@kitamaru.net

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	50	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, その他 医療・介護連携
地域の課題	医療・介護資源の不足
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・機能拡張時の資金調達・電子カルテ等のシステム連携
運営について工夫した点、苦労した点	(工夫) システムの機能に自治体事業を取り込むことで、ランニングコストを調達している。(苦労) 機能拡張時の資金調達。
対象地域	市区町村単位での連携 北見市
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数								
		参加施設数						
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設	
参加団体数(実績)		4	8		8	36	4	
参加団体数(予定)				2				
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名				
		特定機能病院						
		地域医療支援病院						
		精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数			
		700			700			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, △:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:肝炎, △:糖尿病, △:認知症, △:その他
提供しているサービス項目	△:電子紹介状, △:電子処方箋(実証等), ○:電子版おくすり手帳, △:電子版疾病管理手帳, △:退院時サマリ, △:健診情報の連携, △:画像情報の共有, △:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	GISを利用した「要援護者・要介護者マップ、社会資源データベース」システム、Web会議を利用した「介護認定審査会」システム、救急隊連携システム

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(レセコン)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, ○:その他の共通システムを利用, DASCHPro
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:診療情報提供書(電子紹介状)
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0160

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE), ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE), ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE), ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側	無料	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用		18500		千円	
運用費用		2882		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	2352	その他費用	500
	連携費用	200床以上		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	18500	ゲートウェイサーバ費用, 連携システム環境構築費用
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円	
	運用費用	0		千円	
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用 0 千円
主な関連IT企業		(株) DBPowers, (株) ヒューネス			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	自治体の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	自治体の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 実際システムに触れることができるから。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	住民の医療情報等が網羅されることで、救急・災害等で活用できる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	電子版おくり手帳, 患者用IDカードの発行, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	電子処方箋（実証等）
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0164

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	新ひだか町バーチャル総合病院構想		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	新ひだか町立静内病院は、日高地域の中心に位置し、地域の中核医療機関であるが、慢性的な医師不足という課題を抱えています。今般、複数の読影医が勤務しており、かつ北海道内でのドクターヘリを活用できる札幌医科大学付属病院の協力も得て、あらゆる診療科を含むさまざまな症例について連携施設間で共有し、さらに災害発生時の対応をも含めた日胆地区住民の安心・安全定住を支える診療体制を構築する必要があります。同時に在宅医療などへの取り組みも積極的に行い、地域内における医療の完結(総合病院構想)の実現を目指します。実現のためには、複数のシステム整備が必要となりますが、現在、システム整備が完了したものと、順次運用を開始している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	新ひだか町役場		
住所	〒056-0004 北海道日高郡新ひだか町静内緑町4丁目5番1号(新ひだか町立静内病院内)		
電話番号	0146-42-0181	所属部署	健康生活部地域医療情報推進室
担当者	及川わたる	Eメールアドレス	shizubyoujimu@marble.ocn.ne.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	3	人	兼任	8
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策, 救急医療対策, 周度期医療対策, へき地医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった
ネットワークが現在抱えている課題	現在、システムが重層化している段階であり、医療情報システムに深い知識を持つICT人材の確保が重要になってくると思われる。医療機関を超えた医療人材の交流も課題となってくると思われる。
運営について工夫した点、苦労した点	医療情報システムを使用する人、すべての知識を幅広い認識が必要な点
対象地域	全地域での連携 北海道
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		8	2			2
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		201			201	

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, ○:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:肝炎, ○:その他
提供しているサービス項目	○:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, △:退院時サマリ, △:健診情報の連携, △:画像情報の共有, △:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, △:患者用IDカードの発行, △:医療従事者用モバイル対応, △:患者による自己管理システム, △:在宅医療連携, △:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	△:集中型, ○:クラウド型
情報共有形態	△:双方向での共有, △:参照のみ
地域共通ID	△:ID-LINKシステムを利用, △:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, △:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:JAHIS臨床検査データ交換規約, △:臨床検査マスター, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射情報連携指針(JJ117指針)
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0164

情報更新日： 2017/2/13

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:専用線
医療機関等との通信（閲覧側）	○:専用線
介護施設・その他施設との通信	○:専用線, △:IP-VPN, ○:インターネットVPN (IPSec+IKE), △:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書 (ICカード), △:USBトークン
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, △:その他のICカード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:地域の医療費適正化の目的で利用, △:学術研究等の公益目的で利用, △:統計結果の公益目的以外で利用

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（厚労省）, 国の負担（総務省）, 未定, その他
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0213

情報更新日： 2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	十勝メディカルネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	十勝医療情報ネットワーク運営協議会		
住所	〒080-0803 北海道帯広市東3条南11丁目2		
電話番号	0155-24-2802	所属部署	帯広市医師会
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット	診療情報提供所や公開情報の即時参照		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど)		
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0214

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	たいせつ安心i医療ネット		
ネットワークの略称・愛称	安心iネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	閉鎖網IP-VPN及びセキュリティを確保したインターネットを利用して情報共有システム・公的病院群(電子カルテ等のシステム導入病院)に標準化ストレージサーバ、又は、これらと同等の機能を有するサーバを設置することにより病院相互に診療情報を提供・閲覧する。共有できる内容:画像(CT・MRI・RI・X線・内視鏡・超音波等)、検査データ及び検査レポート・画像レポート、処方・注射、アレルギー・禁忌情報、医師等がカルテに記載した内容、サマリ他・その他の医療機関群。VPNVを用いて公的病院群より電子カルテ情報やオーダーリング情報・PACS情報の提供を受ける。システムは、富士通の富士通社のヒューマンブリッジを利用。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	たいせつ安心i医療ネット協議会		
住所	〒070-0029 北海道旭川市金星町1丁目1-50		
電話番号	0166-23-5728	所属部署	一般社団法人旭川市医師会事務局
担当者	伊藤武芳	Eメールアドレス	t-ansin-i-net@ahmic21.ne.jp

自治体の運営への参加		
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	オブザーバー

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0217

情報更新日： 2017/3/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	南檜山地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	イ・ネット南檜山		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	南檜山管内の医療機関をインターネット回線で結び、診療情報を共有し、医療連携を緊密に行う		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	北海道立江差病院		
住所	〒043-0022 北海道檜山郡江差町伏木戸町		
電話番号	0139-52-0036	所属部署	庶務課

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	816	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	9	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	1111	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	8	回

診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし		電子的診療情報評価料の算定状況	なし	

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	公的な会議での周知		
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)	基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス	退院時サマリ, 検査機関との連携		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0312

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	西胆振医療情報連携システムネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	SWAN		
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	ID-LINK利用、医療機関間での情報交換。情報内容：退院時サマリ、投薬、注射、検査結果、X線等画像		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	市立室蘭総合病院		
住所	〒051-8512 北海道室蘭市山手町3丁目8番1号		
電話番号	0143-25-3111	所属部署	地域連携室
担当者	新井一(西胆振スワネット事務長)	Eメールアドレス	hajime-arai@city.muroran.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中对策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	西胆振

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		19	27	2			
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		17764			17764		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:糖尿病, △:認知症
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:遠隔医療, △:電子版おくり手帳, ○:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:検査機関との連携, △:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, △:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, △:その他の共通システムを利用, クラウド型EHR高度化事業
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, △:院外のデータセンター, 病院は各機関、診療所はサーバ1台で共用
障害対策(バックアップ体制)	△:提供ベンダーのサービスを利用, △:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	○:IP-VPN
患者との通信	
医療機関・薬局用	現在は医療機関と歯科医院である
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0312

情報更新日： 2017/3/3

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, △：セキュリティポリシーの制定, △：運用管理規程の制定, △：操作マニュアルの整備, △：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	60000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用, △：学術研究等の公益目的で利用, △：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係					
構築費用		60000		千円	
運用費用		4800		千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円	
	運用費用	0		千円	
	(運用費内訳)	保守費	0	その他費用	0 千円
主な関連IT企業		日本電気（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担（厚労省）, 国の負担（経産省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（総務省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	51196	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0347

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	道北北部連携ネットワークシステム						
ネットワークの略称・愛称	ボラリスネットワーク						
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	患者情報共有ネットワークシステム						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	病院						
団体名	名寄市立総合病院						
住所	〒096-8511 北海道名寄市西七条南8丁目1						
電話番号	01654-3-3101	所属部署	診療部診療情報管理室				
担当者	国沢悟	Eメールアドレス	kunisawa-satoru@city.nayoro.lg.jp				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	0	人	兼任	2 人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携						
地域の課題	システム導入地域が四国4県に匹敵する広大な医療圏域となっており、ITによる情報共有により、少ない医療資源を有効に活用することが必要となっている。						
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題	基幹5公開病院間の救急トリアージを中心に運用開始してきた。エリア内の診療所への情報公開も順調に進んでいる。						
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	二次医療圏での連携		上川北部・留萌北部・宗谷・網走北部				
行政計画への記載	はい						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		11	6				
参加団体数(予定)		1	2				
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院		1	名寄市立総合病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		400		400			
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他							
患者	○:すべての施設毎に同意を得る						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, ○:画像情報の共有						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果						
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:クラウド型						
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ						
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, エリアコネク, 共通IDを使用していない						
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない						
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード						
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0347

情報更新日： 2017/2/13

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0430

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	北海道医療過疎を解消するための広域遠隔医療普及推進事業		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	旭川医科大学病院遠隔医療センターが既に実施している拠点病院間との遠隔医療を地方病院や診療所にまで拡大し、全国展開が可能な遠隔医療モデルを確立する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	北海道庁		
住所	〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目		
電話番号	011-231-4111 (大代表)	所属部署	保健福祉部保健医療局医療政策課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	7	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	へき地医療対策, 医療連携
地域の課題	専門医不足と医師の偏在化
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	北海道

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		10					
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(画像システム)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, ビデオ会議システム
情報共有形態	○:双方方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0430

情報更新日： 2017/2/15

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○:操作マニュアルの整備					
安全管理		○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		58000		千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用 千円	
	連携費用	200床以上		千円		200床以下 千円	
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用 千円	
主な関連IT企業		SONY（株） 横河電気（株）					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（補助金）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時) 基幹病院			(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット		より多くの患者が高度な医療を受けられるようになる。医療圏を跨るサービス提供が可能となる。					
地域範囲の適切なサイズ		全国					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0459

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	札幌医療情報共有システム協議会						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL	www.tenshi.or.jp						
ネットワークの概要	電子カルテの一部を公開する地域医療連携ネットワークシステム (ID-LINK)						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	病院						
団体名	社会医療法人母恋天使病院						
住所	〒065-8611 北海道札幌市東区北12条東3丁目1-1						
電話番号	011-711-1042(地域医療連携室直通)	所属部署	地域医療連携センター				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	0	人	兼任	1 人		
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		11	13				
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院		2				
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		106		106			
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他							
患者	○:すべての施設毎に同意を得る						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数	136	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	6	回		
開示施設の患者情報への総アクセス回数	122	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	4	回		
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり		電子的診療情報評価料の算定状況	なし			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医師会を通じた周知						
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問						
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院		(会員増加時) 医師会				
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位						
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0501

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	メディネットたんちよう						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL	http://kushiro-hosp.dosanko.co.jp/kankei/meditan/						
ネットワークの概要							
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	病院						
団体名	メディネットたんちよう協議会						
住所	〒085-0822 北海道釧路市春湖台1-12						
電話番号	0154-41-6121	所属部署	市立釧路総合病院地域医療連携相談室				
担当者	大日向	Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	5	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周産期医療対策, へき地医療対策, 小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	二次医療圏での連携	北海道釧路医療圏					
行政計画への記載	はい						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		14	12	5	30		
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	釧路労災病院			
	精神科病院	なし	1	市立釧路総合病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		4725			4725		
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断						
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん						
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有						
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)						
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:分散型						
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ						
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用						
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内						
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用						
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHS臨床検査データ交換規約, ○:標準歯科病名マスター, ○:臨床検査マスター, ○:JAHS放射線データ交換規約, ○:JAHS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様						
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV/PDQ/PDQV3, ○:XDS.b, ○:XCA, ○:CT						

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0501

情報更新日： 2017/2/23

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	△:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	△:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	2500	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料	2500	閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側		
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		15000		千円			
運用費用		8100		千円	年額		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時に際し、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 電子おくすり手帳, 電子版糖尿病手帳, 退院時サマリ, 画像情報の共有, 画像診断サービス, 在宅医療連携, 介護連携
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0512

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	砂川市地域包括ケアネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	砂川みまもりんく		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	ICTを活用し、砂川市立病院が保有する医療情報等を市内の医療機関及び介護事業所等で共有し、効果的・効率的な医療・介護連携の推進を図る。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	砂川市地域包括ケアネットワークシステム運営協議会		
住所	〒073-0195 北海道砂川市西六条北3丁目1-1他		
電話番号	0125-54-2121	所属部署	砂川市市民部介護福祉課砂川市立病院地域医療連携課
担当者	是枝貴裕山田基	Eメールアドレス	th.koreeda@city.sunagawa.lg.jpmyamada@med.sunagawa.hokkaido.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	6
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 健康管理
地域の課題	医療および介護人材が不足しているとともに、効果的・効率的な医療・介護の連携が課題となっている。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	保守料など維持費の負担。
運営について工夫した点、苦労した点	システム導入による利点について理解を得るため、十分な説明が必要であった。
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2	7	4	8	17	2
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし	1	砂川慈恵会病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		902			902		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター, 地域連携サーバ
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	△:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, △:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	△:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3, △:XCA

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0512

情報更新日： 2017/3/3

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側		0	閲覧側		15000
	医科診療所	開示側			閲覧側		15000
	歯科診療所	開示側			閲覧側		15000
	薬局	開示側			閲覧側		15000
	介護施設	開示側			閲覧側		15000
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		34166		千円	システム構築28302千円 P C購入5864千円		
運用費用		3851		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	2295	千円	その他費用	1556	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会, その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1486	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	28	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	2861	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	28	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 健診情報連携, 患者サービス（モバイルアクセスサービス）, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス診療・検査予約, その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 0537

情報更新日： 2017/2/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	北海道医療センター地域医療画像連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	▲(さんかく)山メディネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	共同利用予約及び画像連携システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国立病院機構北海道医療センター		
住所	〒063-0005 北海道札幌市西区山の手5条7丁目1-1		
電話番号	011-611-8111	所属部署	院長

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 小児医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システムの費用対効果が悪い。利用数が伸びない。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	札幌市
	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		6	6			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし			施設名	
	地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	口頭による了承
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:在宅医療連携, ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:放射線検査オーダー, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△：個人情報保護方針の制定, △：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		PSP（株）					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1003

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	札幌地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	もいわネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	病病・病診間が患者に関する情報を共有し、地域全体で患者を診る・支えるための患者情報共有ネットワークシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人北海道循環器病院		
住所	〒064-8622 北海道札幌市中央区南27条西13丁目1番30号		
電話番号	011-563-3911	所属部署	営業課
担当者	課長川端毅	Eメールアドレス	eigy@hokujun.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			7 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	連携医療機関の拡大、院内への運用周知
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携 札幌市
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2					
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		5			5		

同意取得について	
医療機関等	△:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:心臓疾患
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:医療従事者用モバイル対応
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHS放射線データ交換規約, ○:JAHS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIX3/PDQ/PDQV3, ○:XDS. b, ○:XCA, ○:CT

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1003

情報更新日： 2017/2/23

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）, ○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:PKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 北海道

北海道

整理番号： 1049

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	試験運用中(実証事業を含む)
公開URL			
ネットワークの概要	地方センター病院との広域連携及び町内病院・診療所と患者情報を共有し、病院とかかりつけ医が一体となることで、切れ目のない連携した医療サービスの実現を目指す。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	美幌町立国民健康保険病院		
住所	〒092-0004 北海道網走郡美幌町字仲町2丁目38番地		
電話番号	0152-73-4111	所属部署	地域医療連携室
担当者	主査高山吉春	Eメールアドレス	byouinm@town.bihoro.hokkaido.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	1人	兼任	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ネットワーク構築にあたって、その目的の共通認識・共通理解が不十分。連携機関とのコンセンサスが不十分。
運営について工夫した点、苦労した点	上記課題について試行中。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		2	3			
参加団体数(予定)		2	5			
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院	なし			
	地域医療支援病院	なし	1	北見赤十字病院		
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		150		150		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△：運用管理規程の制定, △：操作マニュアルの整備
安全管理	○：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		10002		千円			
運用費用		601		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	601	千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	5001	ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用		
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		(株) HDC, アイ・ティ・エス (株), (株) ファーストプレス					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	87	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	4	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	87	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	4	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

青森県

整理番号： 0057

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	あおりメディカルネット		
ネットワークの略称・愛称	あおりメディカルネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/iryo/index.html		
ネットワークの概要	ICTを利用し患者の診療情報等を病院・診療所間で共有する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 任意団体		
団体名	あおりメディカルネット運営協議会		
住所	〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1		
電話番号	017-734-9287	所属部署	健康福祉部医療業務課地域医療確保グループ

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策 医療連携としての利用に留まっており、当初想定した導入目的どおりの活用には至っていない。
地域の課題	医師不足等、限られた医療資源の有効活用のための医療機関の役割分担と連携強化
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した、△:患者の負担が軽減した、△:医療機関間で機能分化が進んだ、△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、△:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、△:患者紹介の円滑化が進んだ、△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・参加機関では、患者同意取得(同意書作成)の事務負担への抵抗感から、実際の患者情報共有が低迷している。・医療機関(医療関係者)の中でシステム参加・利用のメリットについての理解が進んでいない。
運営について工夫した点、苦労した点	・システム保守費等の運営費用の安定的な確保が難しい。・事務局業務を担当する組織体制が不安定となっている。(県および県医師会事務局で業務を分担して運営。職員はいずれも既存業務との兼務。)
対象地域	全県域での連携 青森県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		27	42				
参加団体数(予定)		3					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	弘前大学医学部附属病院			
	地域医療支援病院	あり	1	青森県立中央病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	△:脳血管障害
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携、△:電子クリニカルパス、○:退院時サマリ、○:画像情報の共有、○:情報共有(掲示板、SNSなど)、○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○:病名情報、○:診療情報提供書、○:サマリ、○:看護記録、○:処方オーダー、○:注射オーダー、○:検体検査オーダー、○:放射線検査オーダー、○:内視鏡検査オーダー、○:生理検査オーダー、○:食事オーダー、○:検体検査結果、○:生理検査結果、○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)、○:調剤結果、○:その他、画像レポート
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得、○:病院(画像システム)より取得、△:医科診療所(レセコン)より取得、△:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	△:双方向での共有、○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内、△:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)、○:JAHIS臨床検査データ交換規約、○:JAHIS処方データ交換規約、○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	5000
	医科診療所	開示側			閲覧側	有料	5000
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービスメール、メルマガなど
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

青森県

整理番号： 0174

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	西北五圏域医療ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	つがる西北五広域連合		
住所	〒037-0074 青森県五所川原市宇岩木町12番地3		
電話番号	0173-26-6363	所属部署	病院運営局病院運営課

自治体の運営への参加		
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	自治体病院所在自治体による広域連合を組織し、当該広域連合が運営主体の一つとして参画中

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	5
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	西北五医療圏においては、診療所病床や回復リハ機能等の医療資源が十分とは言えず、急性期医療や高度専門医療を担う中核病院や、初期医療や回復期の医療を担うサテライト医療機関等、自治体病院における機能分化を足掛かりに、圏域全体で医療を提供できる連携の在り方が必要となる。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ネットワーク活用機会の向上、ネットワークを使った情報共有に伴う紹介・逆紹介率の向上、ネットワーク参加医療機関数の増加、ネットワーク参加(同意取得)患者数の増加
運営について工夫した点、苦労した点	参加医療機関をネットワーク運営協議会幹事会において審査・承認することにより、セキュリティレベル等一定の基準を確保できたこと、参加負担金を年2000円に設定し参加しやすくなったこと
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		7	13	8			
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし	1	つがる総合病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		100		100			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	連立医療機関間のみ双方向、民間医療機関は参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 東北

青森県

整理番号： 0174

情報更新日： 2017/2/21

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定, △：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定					
安全管理		△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	有料	167
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	167
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	167
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		国の負担（厚労省）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		100 回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		10 回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		100 回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		10 回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知, その他					
特に効果のあったもの・理由		医療機関等への訪問					
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会			(会員増加時) 医師会		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		二次医療圏					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス		診療情報の連携, 電子紹介状, 画像情報の共有, 在宅医療連携, 介護連携					
サービス強化の決定理由		新規参加者獲得のため					

地域・都道府県： 東北

青森県

整理番号： 0391

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	サイボウズ		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	在宅訪問診療へ移行された患者様の情報共有を、サイボウズというクラウドを利用して行っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	十和田地域緩和ケア支援ネットワーク		
住所	〒		
電話番号		所属部署	
担当者	蘆野吉和	Eメールアドレス	

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	患者様に多職種で関わっており、紙や電話にて情報共有をしていたが、件数も多く多職種がタイムリーに情報共有を行うために必要だった。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	通信費等の経済的問題
運営について工夫した点、苦労した点	医療的情報よりも、生活状況やご家族の様子などを多職種で共有できるようにしている。
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	十和田市

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		1			5		
参加団体数(予定)						12	4
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名			
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		10			10		

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側				閲覧側	
	医科診療所	開示側				閲覧側	
	歯科診療所	開示側				閲覧側	
	薬局	開示側				閲覧側	
	介護施設	開示側				閲覧側	
	その他	開示側				閲覧側	
	患者	開示側				閲覧側	

地域・都道府県： 東北

青森県

整理番号： 0391

情報更新日： 2017/2/28

将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	未定		
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0020

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	かまいし・おおつち医療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	OKはまゆりネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	基幹病院が中心となって圏域内の病院、診療所、歯科診療所、介護施設、薬局等をネットワークで結び、患者同意のもと既往歴や治療経過、検査データなどの医療・介護情報を共有するもの。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	NPO法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会		
住所	〒026-0034 岩手県釜石市中妻町3丁目6番10号		
電話番号	0193-23-7875	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策
地域の課題	医師をはじめとした医療資源の不足。高齢化の進展。
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ、△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	運営体制の強化(運営スタッフ、経費の確保) システム・リプレイス対応
運営について工夫した点、苦労した点	医師、看護師、薬剤師、ケアマネ等、職種別に医療情報を閲覧できる権限を設定する必要があり、その閲覧情報の精査に苦労している。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	釜石保健医療圏

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		6	17	14	17	23	4
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
	地域医療支援病院						
	精神科病院		1				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		2640			2640		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, △:胃・大腸がん, △:その他のがん
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, ○:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:診療・検査予約, △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果, ○:その他, ※職種別で閲覧権限が異なります。
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型, 外部クラウドを利用したASP型。集中および分散実施中。
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射記録情報連携指針(JJ117指針)
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0020

情報更新日： 2017/3/1

通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信（開示側）			
医療機関等との通信（閲覧側）			
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)		
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード		
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード		
患者用	○:IDとパスワード, 患者生年月日を用いたログインセキュリティを併用。		
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, △:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	未定		
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	あり
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	公的な会議での周知, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス	介護連携		
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0255

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	宮古地域医療情報連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	みやこサーモンケアネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.miyako-salmon.jp/		
ネットワークの概要	宮古地域の医療機関、薬局、訪問看護・介護事業所に保管されている医療・介護に関する情報を、患者の同意を得た上で相互に共有することにより効率的な医療を提供し、患者と医療機関などの双方に役立てるためのシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人宮古地域医療情報連携ネットワーク協議会		
住所	〒027-0061 岩手県宮古市西町一丁目6番2号		
電話番号	0193-65-7795	所属部署	事務局

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している		下部組織の運用委員会メンバーとして参画中

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1 人	兼任
			1 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	利用する施設と利用しない施設がはっきりして来ている。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 宮古
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	14	12	15	21	4
参加団体数(予定)		3	3	2	8	20	2
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	岩手県立宮古病院			
	精神科病院	なし	2	宮古山口病院、三陸病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		2374			2374		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:歯科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得
------------------	---

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD11対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3, ○:XDS.b, ○:XCA, ○:CT

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec/IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec/IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec/IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0255

情報更新日： 2017/2/24

蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担		サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担	
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	国の負担 (総務省)	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	339	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数
開示施設の患者情報への総アクセス回数	855	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数
			62
			15
			回
			回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 勉強会・セミナーの開催		
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0277

情報更新日： 2017/3/9

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	北三陸ネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://kujiiryoken-map.jp/		
ネットワークの概要	久慈医療圏(岩手県久慈市、洋野町、野田村、普代村)において、病院、診療所(医科/歯科)、薬局、介護施設などが保有する患者・住民の医療・健康情報を安全に記録・蓄積・閲覧する地域医療情報連携基盤を構築し、医療従事者等の関係者が、必要な情報を共有できる仕組みを整備すると共に、広大な地域にまたがる医療圏内の医療従事者・関係者の円滑な相談・コミュニケーションを支援する遠隔カンファレンスシステム、施設間の連携を支援する在宅医療・介護支援システムを整備する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	NPO法人北三陸塾		
住所	〒028-0014 岩手県久慈市旭町8-100-2		
電話番号	0194-53-0056	所属部署	事務局
担当者	大川良三	Eメールアドレス	kuji.okawa50@gmail.com

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策 介護連携
地域の課題	多職種連携が必要だが、一同に集まらない。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ランニングコスト。
運営について工夫した点、苦労した点	ネット説明会、勉強会をくり返しおこなった。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	7	16	13	27	1
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		150			150		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, △:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:認知症
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:遠隔カンファレンス, ○:電子処方箋(実証等), ○:電子版おくすり手帳, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:看護記録, ○:検体検査結果, ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, ○:(光)タイムラインを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：専用線
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用，△：学術研究等の公益目的で利用，△：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業		富士ゼロックス岩手（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省），国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0346

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	在宅医療連携システム【ゆい】		
ネットワークの略称・愛称	【ゆい】		
運用開始(予定)年	2002	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	https://mhcclinic.jp/menu.html		
ネットワークの概要	地域の在宅医療に関する個人情報と日々の様子、画像情報を連絡し合い、共有できる仕組み。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	医療法人葵会		
住所	〒020-0832	岩手県盛岡市東見前6-85-1	
電話番号	019-614-0133	所属部署	もりおか往診クリニック
担当者	木村幸博	Eメールアドレス	bluehat@lime.ocn.ne.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	在宅医療の地域連携強化を目的とした。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	技術的に素人が作成しているので時々不安定なときがある。選任のスタッフが不在なのでシステム停止が一番怖い。ハード面での強化が今後の課題である。
運営について工夫した点、苦労した点	経費が電気代と基本ソフトの維持費のみなのでシステム利用者の利用代を無料にしている。税金の投入もしていない。ほぼ自主開発である。
対象地域	複数県にまたがる連携
行政計画への記載	いいえ
	全国何処でも使えるように仕様を変更した

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		20	4	1	10	5	30
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	施設名			
	地域医療支援病院	あり	4				
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		4000			450		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:電子紹介状, ○:電子処方箋(実証等), △:電子版おくり手帳, △:電子版疾病管理手帳, ○:画像情報の共有, △:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, △:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:空床情報, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録, ○:検体検査結果, ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用, △:統計結果の公益目的以外で利用

予算関係					
構築費用		2000		千円	
運用費用		50		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	100	その他費用	400
	連携費用	200床以上		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途	0	
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業		自主開発			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 自主運営

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	10000	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	100	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	4000	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	100	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	画像情報の共有
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0484

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要						
ネットワークの名称	いわて医療情報連携・遠隔医療システム					
ネットワークの略称・愛称						
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中			
公開URL	http://www.iwate-med.ac.jp/saigai/cooperation/					
ネットワークの概要	岩手県ならびに周辺地域は、その広大さに加え特有の地形から交通の難所が多く、地域格差が生じやすいのが特徴です。本学では、医師の不足・偏在という当該地域の医療における長年の課題に対して、医療連携を進めることで対応してきました。また、東日本大震災津波後は、文部科学省大学改革推進等補助金「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業補助金」を活用して、被災地の医療復興に積極的に取り組んでおります。具体的には、被災地医療機関から寄せられた「患者紹介に必要な情報の共有(提供)を容易に行いたい」という要望に応えるため、『医療情報連携リポジトリを用いた患者紹介』を実施しております。					
医療情報連携ネットワークの代表団体						
代表団体区分	病院					
団体名	学校法人岩手医科大学					
住所	〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1					
電話番号	019-651-5111	所属部署	総合情報センター事務室			
自治体の運営への参加						
自治体の運営への参加	参画していない					
医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	人	兼任			
			1 人			
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など						
ネットワークの導入目的	小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携					
地域の課題						
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ					
ネットワークが現在抱えている課題	参加医療機関を増やす際の費用負担が大きいのが課題です。					
運営について工夫した点、苦労した点	患者さまからの同意取得の手間を軽減したいと考えています。					
対象地域	全県域での連携	岩手県				
行政計画への記載	はい					
参加団体数と参加患者数						
参加団体数(実績)	参加施設数					
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(予定)	2					
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名			
	特定機能病院	あり	1	岩手医科大学		
	地域医療支援病院	あり				
	精神科病院	あり				
参加患者数(実績数)	登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
	185294		47			
同意取得について						
医療機関等						
介護施設、その他						
患者	○:すべての施設毎に同意を得る					
同意取得について(患者詳細)						
新規患者からの同意取得	同意による取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による					
新たに参加施設が増えた場合						
提供しているサービス状況						
連携している疾病(連携バス)						
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:遠隔医療, ○:遠隔カンファレンス, ○:画像情報の共有, △:医療従事者用モバイル対応					
その他 備考・補足						
共有できる情報項目						
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, △:サマリ, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果					
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得					
医療情報連携ネットワークのシステム						
連携方式	○:分散型					
情報共有形態	○:双方向での共有					
地域共通ID	共通IDを使用していない					
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター					
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有					
厚生労働省標準規格の採用	○:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン					
情報連携基盤技術仕様						
通信ネットワーク・ログインセキュリティ						
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN					
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN					
介護施設・その他施設との通信						
患者との通信						
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード					
介護施設・その他施設用						
患者用						

地域・都道府県： 東北

岩手県

整理番号： 0484

情報更新日： 2017/2/21

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	<input type="radio"/> ：個人情報保護方針の制定, <input type="radio"/> ：運用管理規程の制定, <input type="radio"/> ：操作マニュアルの整備, <input type="radio"/> ：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	<input type="radio"/> ：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	15000	閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	<input type="radio"/> ：学術研究等の公益目的で利用

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用		3419		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	3419	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業		(株) アストロステージ			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（その他の省庁）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

宮城県

整理番号： 1005

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	地域医療連携ネットワークシステム						
ネットワークの略称・愛称	KoKoRoネット						
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	医療連携構築のため、地域医療機関と東北公済病院をITネットワークで結び、同意を得られた患者さんの診療情報をオンラインで共有し、患者さんにより良い医療を提供するために、紹介・逆紹介をスムーズに行う。						
担当者	浅野英治	Eメールアドレス	ei-asano@tohokukosai.com				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	人			
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,○:医療機関間で機能分化が進んだ,△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,△:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,○:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	全県域での連携	宮城県					
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		20	20				
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		3103			1307		
同意取得について							
医療機関等							
介護施設、その他							
患者		○:すべての施設毎に同意を得る,○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。					
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得		同意による取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合		同意書の撤回(脱退)文書による					
新たに参加施設が増えた場合		連携先追加の同意書による取得					
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目		○:診療情報の連携,○:電子紹介状,○:退院時サマリ,○:健診情報の連携,○:画像情報の共有,○:画像診断サービス,○:検査機関との連携,○:医療従事者用モバイル対応,○:診療・検査予約					
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目		○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果					
利用している情報の取得元システム		○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(レセコン)より取得,○:病院(画像システム)より取得					
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式		○:クラウド型					
情報共有形態		○:双方向での共有,○:参照のみ					
地域共通ID		○:HumanBridgeシステムを利用					
連携情報の保管場所		富士通データセンター					
障害対策(バックアップ体制)		みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会へSSMIX連携					
厚生労働省標準規格の採用		○:ICD1対応標準病名マスター,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:標準歯科病名マスター,○:臨床検査マスター					
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)		○:インターネットVPN(IPSec+IKE)					
医療機関等との通信(閲覧側)		○:インターネットVPN(IPSec+IKE)					
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用		○:IDとパスワード					
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 東北

宮城県

整理番号： 1005

情報更新日： 2017/2/27

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問, その他
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

宮城県

整理番号： 0096

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	スマイルネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://smilenet.kenkyuukai.jp/about/index.asp?		
ネットワークの概要	脳卒中データベースおよび地域連携バスのオンライン共有		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	一般社団法人宮城県脳卒中ネットワーク		
住所	〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵1-1 東北大学脳神経外科内		
電話番号	022-717-7230	所属部署	事務局
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 0 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題			
運営について工夫した点、苦勞した点			
対象地域	全県域での連携	宮城	
行政計画への記載			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況			電子的診療情報評価料の算定状況
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果があったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

宮城県

整理番号： 0236

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	みやぎ医療福祉情報ネットワーク
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 電子処方箋 (実証等), 電子おくすり手帳, 画像情報の共有, 画像診断サービス, その他のサービス情報共有 (掲示板、SNSなど)
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上

地域・都道府県： 東北

宮城県

整理番号： 0421

情報更新日： 2017/2/24

医療情報ネットワークの概要			
ネットワークの名称	オープンネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	土曜日診療を行っている登録医から、診療中に診察・検査予約ができるようにしてほしいと要望があり、予約の空き状況も確認できる予約システムを構築した。		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	仙台市医療センター仙台オープン病院		
住所	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-22-1		
電話番号	022-252-1111	所属部署	管財課情報システム管理係
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備			
安全管理			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

秋田県

整理番号： 0037

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	秋田県医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	あきたハートフルネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.akita.med.or.jp/heartful/		
ネットワークの概要	あらかじめ同意が得られた患者情報について、医療機関同士が、双方向で簡便かつ安全に共有できる医療連携基盤である。		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人秋田県医師会		
住所	〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6番6号(総合保健センター4階)		
電話番号	018-833-7401	所属部署	事務局
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	ネットワーク構築、初期導入費・運営人件費の補助	
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携		
地域の課題	<p>小児高齢化の急速な進行や、がん、生活習慣病等による高い死亡率、また、地域における医師の不足、偏在など、多くの課題を抱えている一方で、増加する認知症患者さんへの対応や在宅医療の充実を図っていくためには、限られた医療資源(施設・設備、人材)の有効活用と合わせ、「医療連携」の実効を高めるための具体的な取組みが不可欠である。</p>		
ネットワーク導入による効果	<p>△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった</p>		
ネットワークが現在抱えている課題	参加医療機関が増えず、効果を検証するに至っていない。		
運営について工夫した点、苦労した点	患者の連携における紐付け作業・操作方法の説明に苦労。		
対象地域	全県域での連携	秋田県	
行政計画への記載	はい		
同意取得について			
医療機関等	○:施設ごとの参加判断		
介護施設、その他			
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合			
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携バス)	○:その他		
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有		
その他 備考・補足	連携の対象となる疾患は特定しておりません。		
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, △:検体検査結果, △:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果		
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得		
医療情報連携ネットワークのシステム			
連携方式	○:集中型, ○:分散型, DICOMのみ分散型		
情報共有形態	○:双方向での共有		
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, ○:独自開発のシステムを利用		
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター, ハイブリッド方式のため、保存先は両方となります。		
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存		
厚生労働省標準規格の採用	○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHS臨床検査データ交換規約, ○:JAHS放射線データ交換規約		
情報連携基盤技術仕様			
通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信(開示側)			
医療機関等との通信(閲覧側)			
介護施設・その他施設との通信			
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, 独自認証局		
介護施設・その他施設用			
患者用			
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備		
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		

地域・都道府県： 東北

秋田県

整理番号： 0037

情報更新日： 2017/2/13

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

秋田県

整理番号： 0368

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	遠隔読影システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2006	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	読影施設と読影依頼施設間での放射線遠隔読影システム。依頼元は、病院情報システムより依頼情報と画像を読影施設にある連携用サーバへインターネットVPN(IPsec/IKE)で送信する。読影医は、院内読影レポートシステムを遠隔読影用に切り替えることで、端末の接続先が連携用サーバに切り替わり、院内の通常の診断業務と同一の環境・操作により遠隔読影のレポートを作成する。完成したレポートは、依頼元へファイルとして送信し、直ちに電子カルテ上で参照可能となるほか、依頼元から連携用サーバ上のレポートをWeb参照することも可能であり、依頼元施設において、読影レポートの電子参照を行っていない場合でも、本システムの利用が可能となっている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	秋田大学医学部附属病院		
住所	〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1		
電話番号	018-884-6421	所属部署	医療情報部

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、医療連携、がん対策、脳卒中对策
地域の課題	CTやMRI等の読影を行う放射線科専門医は十分な充足状況にはなく、県内の医療機関で専門医による読影が必要な症例について、出張診療や撮影済みフィルムの郵送による読影依頼で対応してきた。出張にかかる移動や、出張先毎のレポートシステム操作の習熟といった負担がある他、急ぎの読影依頼への対応にも、フィルム郵送などの物理的な限界がある。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	読影側施設の放射線科専門医の人数は限られており、読影可能件数についても上限が存在する。新規に遠隔読影する医療機関が追加となる際は、大量の遠隔読影依頼が殺到しないよう、各施設との運用調整や取り決めが肝要となっている。
運営について工夫した点、苦労した点	院内業務を抱え多忙な読影医が出来るだけ少ない負担で遠隔読影できるよう、通常の院内の診断で使用している読影端末およびレポートシステムを用いて、利用中の切り替え操作で遠隔読影依頼の診断・レポート作成が可能となっている。これにより、院内の読影と全く同一の操作性で画像参照やレポート作成が可能となり、遠隔読影のための新たなアプリケーション操作の習得が不要なほか、利用者の単語登録や学習辞書といった操作環境がそのまま活かされるという効果も得られている。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3					1
参加団体数(予定)		1					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	秋田大学医学部附属病院			
	地域医療支援病院	あり					
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		3000			3000		

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

秋田県

整理番号： 0420

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	未定		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	医療法人正和会		
住所	〒018-1401 秋田県潟上市昭和久保字街道下92番地1		
電話番号	018-877-7110	所属部署	IT推進課

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

秋田県

整理番号： 1104

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	遠隔病理診断システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2007	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	診断施設と依頼施設間の遠隔病理診断システム。依頼施設にWebブラウザで操作できるネットワーク接続型のデジタル顕微鏡を設置し、診断を依頼する標本を設定する。診断施設はインターネットVPN(IPsec+IKE)により、依頼施設のデジタル顕微鏡を操作し、診断を行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	秋田大学医学部附属病院		
住所	〒010-8543	秋田県秋田市本道1-1-1	
電話番号	018-884-6421	所属部署	医療情報部

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、医療連携、がん対策
地域の課題	本県においても、認定病理専門医は十分な充足状況にはなく、また高齢化も進んでいる。県内の各医療機関での病理組織診断を、限られた病理専門医の出張診断や標本の郵送等で行うには、移動等、病理医の負担が大きいに加え、標本郵送等の物理的な限界も存在する。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦勞した点	依頼施設側の機器を、Webブラウザで操作できるネットワーク接続型デジタル顕微鏡とオンデマンドVPNルータのみとし、それ以外のシステムを不要とすることで、依頼施設のシステム運用にかかる負担を軽減し、専門の情報システムの担当者を確保できない医療機関でも容易に導入できるシステム構成とした。また、依頼側医療機関は県内各地に渡るため、ネットワーク接続形態には多様な可能性があることを考慮し、キャリア非依存で、かつ、セキュリティを担保できる接続形態として、IPsec+IKEによるインターネットVPNを採用することで、参加がより容易なものとなるようにした。
対象地域	全県域での連携 秋田県
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3					
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	秋田大学医学部附属病院			
	地域医療支援病院	あり					
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
					35		

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約

人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0039

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	酒田地区医療情報ネットワーク						
ネットワークの略称・愛称	ちようかいネット						
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL	https://www.mykarte.com/mykarte/						
ネットワークの概要	急性期から回復期を経て在宅医療、介護にいたるまで一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を提供できる地域医療および介護福祉連携体制を推進することを目的とし、医療情報連携システム(ID-LINK)を利用して山形県庄内二次医療圏において医療情報を共有するものである。						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	その他						
団体名	酒田地区医療情報ネットワーク協議会						
住所	〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地						
電話番号	0234-26-2001	所属部署	事務局				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	0	人	兼任	9 人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策						
地域の課題	地域の医療機関において、診療情報の電子化等により施設内での情報共有インフラが整備されているが、施設間の連携においては依然として紙ベースであり、情報共有が進んでいなかったため、転院時の再検査や処方箋の重複等があった。地域連携バスについてはデータが入ったUSBメディアでの連携であり、メディアの管理、回収に労力がかかっていた。						
ネットワーク導入による効果	○：患者サービスが向上した、○：患者の負担が軽減した、○：医療機関間で機能分化が進んだ、○：医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○：医療機関間の人的ネットワークが進んだ、○：医師の偏在を補う効果があった、○：患者紹介の円滑化が進んだ、○：(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○：(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題	今後の運営方法について、法人化やNPO法人化を検討する必要がある。						
運営について工夫した点、苦労した点	開示病院に対して診療録の開示をちようかいネット参加条件とした。						
対象地域	二次医療圏での連携		山形県庄内二次医療圏				
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		20	66	16	19	33	14
参加団体数(予定)		1					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院		2	日本海総合病院・鶴岡市立荘内病院			
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		25701			25701		
同意取得について							
医療機関等	○：施設ごとの参加判断						
介護施設、その他	○：施設ごとの参加判断、その他の方式						
患者	○：施設毎に情報連携の可否を指定、○：すべての施設毎に同意を得る						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)	○：大腿骨頸部骨折、○：脳血管障害、○：心臓疾患、○：胃・大腸がん、○：その他のがん、○：肝炎、△：糖尿病、○：その他						
提供しているサービス項目	○：診療情報の連携、△：電子紹介状、○：退院時サマリ、○：健診情報の連携、○：画像情報の共有、○：医療従事者用モバイル対応、○：在宅医療連携、○：介護連携、○：診療・検査予約、○：メール、メルマガなど						
その他(備考・補足)	情報開示施設は原則として診療録を公開						
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○：患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○：診療情報提供書、○：医師記録(経過記録)、○：サマリ、○：看護記録、○：その他文書、○：処方オーダー、○：注射オーダー、○：検体検査オーダー、○：放射線検査オーダー、○：内視鏡検査オーダー、○：生理検査オーダー、○：検体検査結果、△：生理検査結果、○：画像(放射線検査、内視鏡検査等)、△：調剤結果、○：その他、診療予約						
利用している情報の取得元システム	○：病院(電子カルテ)より取得、○：病院(画像システム)より取得、○：医科診療所(電子カルテ)より取得、○：検査センター(検査システム)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○：分散型、○：クラウド型						
情報共有形態	○：双方向での共有						
地域共通ID	○：ID-LINKシステムを利用						
連携情報の保管場所	○：各医療機関の院内、○：院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない						
厚生労働省標準規格の採用	○：医薬品HOTコードマスター、○：医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)、△：臨床検査マスター、○：JAHIS放射線データ交換規約、△：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン、○：地域医療連携における情報連携基盤技術仕様						
情報連携基盤技術仕様	○：PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3、○：XDS.b、○：XDS-I.b、○：XCA、○：XCA-I						

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0039

情報更新日： 2017/2/28

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	86400	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		30000		千円			
運用費用		1110		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	1110	千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	3000	ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,工事・作業費用		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		(株) シーエスアイ					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 情報開示施設が負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	地域の医療連携に対して共通のツールとして活用できる
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	健診情報連携, 介護連携, その他のサービス診療・検査予約
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	その他のサービス診療・検査予約
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0068

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	置賜地域医療情報ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	OKI-net (おきねっと)		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.okitama-hp.or.jp/introduction/department_secretary/medical_liason/oki_net_pro.html		
ネットワークの概要	複数医療機関の医療情報を1患者1画面で共有し、地域診療所からはインターネットなどの汎用回線で簡単に参照ができ、患者さんに対して質の高い継続した医療サービスを提供している。参照側でもコメントの追記や画像やエクセルなどのファイルアップロードができ、地域連携バスや在宅医療などへの活用もできる。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	置賜地域医療情報ネットワーク協議会		
住所	〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚2000番地		
電話番号	0238-46-5000	所属部署	公立置賜総合病院医療連携・相談室
担当者	渡部健一郎	Eメールアドレス	renkei@okitama-hp.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	0	人	兼任	8	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 脳卒中対策, 疾病管理, その他 大腿骨頸部骨折地域連携バス、脳卒中地域連携バス運用において利活用している
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・ランニングコストの捻出(協議会運用、保守)・医師以外の職種(薬剤師、訪問看護等)からのシステム参加・画像などのデータ量が大きいものの最新情報取得時間等
運営について工夫した点、苦労した点	当二次医療圏における医師会長に協議会会長および副会長に就任いただき、病院主導ではなく参照施設側の意見を集約できる組織体制としている。
対象地域	二次医療圏での連携 置賜地域
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		16	59	5	2	6	5
参加団体数(予定)				1	3		1
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	あり	1	山形大学医学部附属病院		
		地域医療支援病院	あり	3	山形県立中央病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院		
		精神科病院	あり	1	佐藤病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		18221			18221		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, △:遠隔カンファランス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:空床情報
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他, 病理検査結果、細菌検査結果、入退院情報
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, ○:分散型, 置賜広域病院組合内のみ集中型、他は分散型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ, 情報提供病院間は双方方向共有
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない、各病院のデータサーバへ参照しに行くため、各病院の電子カルテ本体のバックアップ体制による
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1249	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	758	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	121847	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	8	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布,公的な会議での周知
特に効果のあったもの・理由	チラシ配布
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時に際し、追加したサービス	遠隔カンファランス,在宅医療連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	介護連携
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0102

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域電子カルテシステム「Net4U」		
ネットワークの略称・愛称	Net4U		
運用開始(予定)年	2000	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://net-4u.jp/		
ネットワークの概要	地域電子カルテシステム「Net4U」は、アプリケーション、患者データなどを医師会館内に設置したサーバで一括管理する、クラウド型の電子カルテシステムである。参加施設はインターネット回線を通じSSL-VPN技術を使い安全性を確保したセキュリティの保たれたネットワーク上でシステムを利用する。地域の様々な医療職およびケアマネジャーがNet4U上で必要な患者情報を共有できるツールである。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人鶴岡地区医師会		
住所	〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町1-34		
電話番号	0235-22-0136	所属部署	地域医療連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	3
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した、○:患者の負担が軽減した、○:医療機関間で機能分化が進んだ、○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	参加医療機関の足踏み状態、システム運営費
運営について工夫した点、苦労した点	工夫した点・普及、啓発活動・ユーザをサポートする体制の整備苦労した点・参加の必要性の理解を得ること
対象地域	市区町村単位での連携 鶴岡市、三川町
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		5	30	11	27	39	
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院		1	鶴岡市立荘内病院			
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		50421			9803		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折、○:脳血管障害、○:心臓疾患、○:胃・大腸がん、○:その他のがん、○:肝炎、○:糖尿病、○:認知症、○:その他
提供しているサービス項目	○:遠隔カンファランス、○:電子クリニカルパス、○:退院時サマリ、△:健診情報の連携、○:画像情報の共有、○:検査機関との連携、○:医療従事者用モバイル対応、○:在宅医療連携、○:介護連携、○:情報共有(掲示板、SNSなど)、○:診療・検査予約、○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	医療と介護、医薬連携に伴う各種文書類のテンプレート化を実施中。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○:診療情報提供書、○:医師記録(経過記録)、○:サマリ、○:処方オーダー、○:注射オーダー、○:検体検査結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(レセコン)より取得、○:医科診療所(レセコン)より取得、○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用、○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター、○:ICD1対応標準病名マスター、△:診療情報提供書(電子紹介状)、○:JAHS臨床検査データ交換規約、○:臨床検査マスター、○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:その他のVPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:その他のVPN
介護施設・その他施設との通信	○:その他のVPN
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用, △:統計結果の公益目的以外で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	9162	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	73	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	9162	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	12690	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 直接的に関わることで顔の見える関係が構築され、信頼関係の醸成へとつながっている。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	医療・介護関係者がお互いを知り患者のためにより良い関係づくりが構築できている。医師同士のつながりしかり、多職種のつながりにより二次医療圏
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	患者サービス（PCアクセスサービス）, 患者サービス（モバイルアクセスサービス）, 患者による自己管理システム（どこでもMY病院等）
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 画像情報の共有
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0304

情報更新日： 2017/3/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	最上地域医療情報ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	もがみネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314023/mogami.html		
ネットワークの概要	インターネット通信を経由し、山形県新庄病院が保有する画像やレポート等の患者情報を地域の公立病院、診療所、民間病院が閲覧することができるシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	山形県最上保健所		
住所	〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上2034		
電話番号	0233-29-1257	所属部署	保健企画課
担当者	斉藤直美	Eメールアドレス	saitonao@pref.yamagata.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	3 人

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	395	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	7	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	2873	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	4	回

診療報酬加算の算定状況				
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし		電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	DM送付, 医療機関等への訪問		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携, 退院時サマリ		
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない		
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど), その他のサービス診療・検査予約		
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上		

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0325

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	在宅連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	在宅医と訪問看護師と在宅歯科医と調剤薬局薬剤師との情報交換を携帯端末(iPad)を利用して、患者情報を共有するシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	一般社団法人米沢市医師会		
住所	〒992-0039 山形県米沢市門東町3-3-17		
電話番号	0238-23-0386	所属部署	理事医療情報システム担当
担当者	島田耕司	Eメールアドレス	doctor006@ms5.omn.ne.jp

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	県事業補助金でシステムを構築しました。維持費は医師会負担。	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	在宅医療対策 在宅医と訪問看護師と在宅歯科医と調剤薬局薬剤師間の情報共有
地域の課題	訪問看護師が在宅医との連絡手段が無いから、気軽に出来る手段が欲しい。在宅患者さんの口腔ケアを依頼出来ることと、在宅患者さんの残薬管理を依頼出来ることです。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	特になし
運営について工夫した点、苦労した点	出来るだけ手間がかからない情報入力の手間として、画像を主体にシステムを構築しました。
対象地域	二次医療圏での連携 訪問看護ステーションの関わる地域
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		3	20	9	14	8
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名		
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		279			279	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:その他, 画像と所見の情報共有
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理							
運用管理規程(規定)等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		10000		千円	県事業補助金		
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費	259	千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金				額(千円)・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		(株) ニューメディア					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		その他 米沢市医師会負担					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担(実施中)		自治体の負担		ネットワーク構築費用の負担(実施予定)			
ネットワーク運用費用の負担(実施中)		地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担		ネットワーク運用費用の負担(実施予定)			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク				(立上げ時)			
参加機関・患者拡大のメリット				(会員増加時)			
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0328

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	村山地域医療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	べにばなネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301023/murayama-iryuu-net.html		
ネットワークの概要	地域の医療資源を有効に活用し、より安全で質の高い医療を提供するとともに、より安心できる地域医療を目指し、医療機関同士の診療情報を共有する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	村山地域医療情報ネットワーク協議会		
住所	〒990-0031 山形県山形市十日町一丁目6-6		
電話番号	023-627-1245	所属部署	山形県村山保健所保健企画課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周産期医療対策, へき地医療対策, 小児医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・利用者の伸び悩み・実際、ネットワークを利用していない保健所が事務局となっていることの事務処理能力の脆弱性・ID-LINKとHumanBridgeの2つのシステムを併用していることによる操作の煩雑性
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	はい

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:その他, 情報開示病院により開示項目が異なる。

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	△:IP-VPN, △:インターネットVPN (IPSec+IKE), △:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	4449	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	10

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0328

情報更新日： 2017/3/3

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況
普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	広く診療情報を共有できることによる適切な治療が可能になることと検査等の医療費の削減
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0395

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ICTふるさと元気事業		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	地域の人材を活用して、情報通信技術(ICT)を導入・活用することにより、地域雇用の創出、医療分野を中心とした地域の課題解決を図るとともに、地域医療の充実及び地域住民に対する医療サービスの向上を図ることを目的に米沢市立病院を中心とし医療情報ネットワークを構築した。各診療所や病院との情報(検査データ、注射・薬剤・処方、画像データ、紹介状)の共有を可能とし、重複した検査や投薬を防止するとともに、一貫した安全で効率の良い医療を提供できる。遠隔画像診断システムも搭載している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 病院、医師会、行政で構成する協議会		
団体名	米沢市医療情報協議会		
住所	〒992-8502 山形県米沢市相生町6番36号		
電話番号	0238-22-2613	所属部署	米沢市立病院事務局地域医療連携室
担当者	平山由紀子	Eメールアドレス	renkei@yone-city-hp.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任		7
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、疾病予防対策、疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,△:医療機関間で機能分化が進んだ,△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,△:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	文書ファイル等の共有化と今後の運用
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携 米沢市、高島町
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
参加団体数(実績)		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(予定)		5	18		1		
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		18000			18000		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	その他の方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,○:電子紹介状,○:画像情報の共有,○:画像診断サービス
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:診療情報提供書,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:専用線,○:IP-VPN,○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:専用線,○:IP-VPN,○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:専用線,○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0395

情報更新日： 2017/3/1

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備					
安全管理		○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側	無料	
	患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用		○：学術研究等の公益目的で利用					
予算関係							
構築費用		80000		千円			
運用費用				千円	このシステムの運用費用はサーバ保守費用のみ。他のシステムも含むサーバ全体として契約しているため、費用については不明。		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		PSP（株）, ViewSendICT（株）					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		国の負担（総務省）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		62645	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		65369	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会			(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		市町村単位					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 東北

山形県

整理番号： 0401

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	介護者参加型在宅高齢者見守り連絡ノート「Net4U」		
ネットワークの略称・愛称	Net4U		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	医療・介護従事者の情報共有ツール「Net4U」とシステム連携することが可能な、家族や介護者が利用することが可能な在宅高齢者見守りツールです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人鶴岡地区医師会		
住所	〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町1-34		
電話番号	0235-29-3021	所属部署	地域医療連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	在宅高齢者の増加に伴い、医療者やケアマネジャーが活用している地域電子カルテNet4Uとの運動により在宅高齢者の急変・重症化予防を目的とした、在宅高齢者見守り機能(高齢者見守りパス)の必要性が挙げられた。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	地域の高齢化率が上昇し、老々介護が多くなってきている。そのような中での利活用の限度を感じている。利用者が増えない。
運営について工夫した点、苦労した点	工夫した点・各種会合やメディア等での周知の繰り返し苦労した点・認知、理解を得るための企画や活動
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院 精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		10		2			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	患者・ご家族が利用するサービスなので意味合いが違う

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:処方オーダー, ○:検体検査結果
利用している情報の取得元システム	本会が運用しているNet4Uとの情報連携

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用				千円		
運用費用				千円		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 東北

福島県

整理番号： 0264

情報更新日： 2017/2/26

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	福島県医療福祉情報ネットワーク協議会		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	福島県医療福祉情報ネットワーク協議会		
住所	〒963-8022 福島県郡山市西ノ内2-5-20太田西ノ内病院		
電話番号	024-925-8828	所属部署	地域医療連携室
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備			
安全管理			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

福島県

整理番号： 0389

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	在宅健康管理システム事業		
ネットワークの略称・愛称	こゆり		
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	端末機(住民宅)からホストコンピュータ(健康支援係保健師)にデータ(血圧・脈・心電図・体重・体温・歩数)をケーブル回線で自動送信。30文字以内に助言指導		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	西会津町役場		
住所	〒969-4495 福島県耶麻郡西会津町字野沢下小屋上乙3261		
電話番号	0241-45-4532	所属部署	健康福祉課健康支援係
担当者	佐藤実菜	Eメールアドレス	kenkou@town.nishiaizu.fukushima.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 脳卒中対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった
ネットワークが現在抱えている課題	導入から年数が経ってきてシステムや機械の故障等の不調が相次いでいる。現在適宜修理しているが、今後どのように運用していくかが課題である。
運営について工夫した点、苦労した点	通信不良でデータが送られてきていないのか、利用者が測っていないためにデータが送られてきていないのかを1人以上の利用者がいる中で、他の業務も行えないながら把握していくことが難しい
対象地域	
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)			1			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名		
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:糖尿病
提供しているサービス項目	○:遠隔医療
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	△:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:(光)タイムラインを利用, ○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	○:専用線, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理						
運用管理規程（規定）等の整備						
安全管理						
利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他 患者	開示側			閲覧側	
蓄積された個人情報・診療情報の利用						
個人情報・診療情報の利用 ○：地域の医療費適正化の目的で利用，○：学術研究等の公益目的で利用，△：統計結果の公益目的以外で利用						
予算関係						
構築費用		10000		千円		
運用費用		3000		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	350	千円	その他費用	2500 千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		(株) ネクシス, (株) パラマ・テック				
将来のシステムの更改の費用負担						
将来のシステムの更改の費用負担 公的資金より負担						
費用の負担						
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		自治体の負担, 国の負担（総務省）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）		自治体の負担, 国の負担（総務省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）		
医療情報ネットワークの連携実績						
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況						
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況		
普及に向けた施策・取組						
周知・広報の施策・取組						
特に効果のあったもの・理由						
人的なネットワーク		(立上げ時)		(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット						
地域範囲の適切なサイズ						
構築時以降に、追加したサービス						
追加サービスと会員増加の関係						
会員増加に効果的なサービス						
サービス強化の決定理由						

地域・都道府県： 東北

福島県

整理番号： 0396

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	福島県医療福祉情報ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	福島県医療福祉情報ネットワーク協議会		
住所	〒960-8036 福島県福島市新町4番22号		
電話番号	0120-578-818	所属部署	事務局
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	DM送付, チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知, その他		
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス	電子紹介状		
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

福島県

整理番号： 0469

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ID-LINK		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名			
住所	〒		
電話番号		所属部署	
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備			
安全管理			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 東北

福島県

整理番号： 0470

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	シュガーキューブ		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	株式会社コア		
住所	〒		
電話番号		所属部署	
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備			
安全管理			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0253

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	茨城県医師会医療・介護情報ハイウェイ		
ネットワークの略称・愛称	いばらき安心ネット：iSN		
運用開始（予定）年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.ibaraki.med.or.jp/isn/		
ネットワークの概要	医療機関及び在宅医療関連施設が安全な環境の中で標準化されたデータなどの情報を交換・共有するための基盤を構築する。個々の医療機関の情報は、自院内で管理する分散型のデータ管理方法で、必要な情報のみを、セキュリティの担保された環境で運用し、利用者には付与された資格に基づいた認証局による認証を行う。それらは茨城県医師会内に管理サーバ群を設置しログ管理等を行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人茨城県医師会		
住所	〒310-0852 茨城県水戸市笠原町489		
電話番号	029-241-8102	所属部署	いばらき安心ネットサポートセンター

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 糖尿病対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携 茨城県
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数（実績）		27	34				
参加団体数（予定）							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	筑波大学附属病院			
	地域医療支援病院	あり	4	筑波メディカルセンター病院、取手北相馬保健医療センター医師会病院、JAとりで総合医療センター、茨城県立中央病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数（実績数）		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		164			118		

同意取得について	
医療機関等	○：施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○：施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回（脱退）する場合	同意書の撤回（脱退）文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病（連携パス）	△：肝炎, △：糖尿病
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○：診療情報の連携, ○：電子紹介状, △：画像情報の共有, ○：検査機関との連携, △：在宅医療連携

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○：患者基本情報（氏名、年齢、住所等）, ○：病名情報, ○：診療情報提供書, ○：処方オーダー, ○：注射オーダー, ○：検体検査オーダー, ○：放射線検査オーダー, ○：内視鏡検査オーダー, ○：生理検査オーダー, ○：検体検査結果, ○：生理検査結果, △：画像（放射線検査、内視鏡検査等）
利用している情報の取得元システム	○：病院（電子カルテ）より取得, ○：病院（レセコン）より取得, ○：医科診療所（電子カルテ）より取得, ○：医科診療所（レセコン）より取得, ○：検査センター（検査システム）より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○：分散型
情報共有形態	○：双方向での共有
地域共通ID	○：HARMONYsuiteを利用
連携情報の保管場所	○：各医療機関の院内
障害対策（バックアップ体制）	基本情報のみセンターサーバに保存
厚生労働省標準規格の採用	○：診療情報提供書（電子紹介状）, △：医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）, ○：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：専用線, ○：IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○：専用線, ○：IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	△：IDとパスワード, △：HPKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0253

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, △：障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担		
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0376

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	茨城県立中央病院地域連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	茨城県立中央病院のカルテ情報と放射線画像を連携する医療機関(21機関)に公開する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	茨城県		
住所	〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6		
電話番号	029-301-6845	所属部署	病院局経営管理課IT推進室
担当者	鶴岡毅	Eメールアドレス	t.tsuruoka@pref.ibaraki.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	診療情報の共有・連携の推進
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・事務局体制の維持, 人員確保(新規参加機関の開拓や利用の拡大を図りたいが, 院内システム管理業務と兼務しており地域連携に時間を割くことができない。一方で地域連携担当職員ではシステムを理解できないため対応できない。)・改正個人情報保護法への対応(ガイドラインがなく具体的な対応が見えてこない。)
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	その他
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		9	12				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし	1	水戸済生会総合病院		
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	△:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	その他の方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	無料
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0376

情報更新日： 2017/2/24

蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担		その他 電子カルテ更新に合わせてシステム更改	
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	国の負担 (総務省)	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	その他	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	446	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数 12 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	1201	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数 12 回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		あり	電子的診療情報評価料の算定状況 なし
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組		医療機関等への訪問	
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク		(立上げ時)	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス		画像情報の共有	
追加サービスと会員増加の関係		サービス強化と会員の増加には影響はなかった	
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0393

情報更新日： 2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要					
ネットワークの名称	ひたちなか健康ITネット				
ネットワークの略称・愛称					
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中		
公開URL					
ネットワークの概要	契約した施設に患者の診療情報の一部を公開				
医療情報連携ネットワークの代表団体					
代表団体区分	病院				
団体名	日立製作所ひたちなか総合病院				
住所	〒312-0057 茨城県ひたちなか市石川町20-1				
電話番号	029-354-5111	所属部署	TQMセンタ情報システムGr		
自治体の運営への参加					
自治体の運営への参加	参画していない				
医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	人	兼任	2	人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など					
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 疾病管理				
地域の課題	保険薬局が処方の際、検体検査の情報があった方が紹介しやすいと要望があったため				
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった				
ネットワークが現在抱えている課題	データの開示(公開)だけでなく、情報の相互交換を希望されているが企業のポリシーに沿ったNWを構築するには多額のコストが発生する				
運営について工夫した点、苦労した点	利用者側の負担削減のため、設定等を導入元で全て請け負う				
対象地域	市区町村単位での連携	ひたちなか			
行政計画への記載	いいえ				
参加団体数と参加患者数					
		参加施設数			
参加団体数(実績)	1	2			57
参加団体数(予定)					
		施設の有無	施設数	施設名	
参加している病院の施設類型	特定機能病院				
	地域医療支援病院				
	精神科病院				
		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数	
参加患者数(実績数)	3000		3000		
同意取得について					
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断				
介護施設、その他					
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る				
同意取得について(患者詳細)					
新規患者からの同意取得	同意による取得				
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による				
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得				
提供しているサービス状況					
連携している疾病(連携パス)					
提供しているサービス項目	△:電子版おくすり手帳, △:退院時サマリ, △:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携				
その他(備考・補足)					
共有できる情報項目					
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, △:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等)				
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(画像システム)より取得				
医療情報連携ネットワークのシステム					
連携方式	△:集中型				
情報共有形態	△:双方方向での共有, ○:参照のみ				
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用				
連携情報の保管場所	△:各医療機関の院内				
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用				
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ117指針), ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:看護実践用語標準マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン				
情報連携基盤技術仕様					
通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信(開示側)	○:その他のVPN				
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)				
介護施設・その他施設との通信	△:IP-VPN, △:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)				
患者との通信					
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード				
介護施設・その他施設用	△:2要素認証, △:IDとパスワード				
患者用					

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0393

情報更新日： 2017/3/6

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	160000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側	無料	
	介護施設	開示側			閲覧側	無料	
	その他 患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:地域の医療費適正化の目的で利用

予算関係							
構築費用		10000		千円			
運用費用		60		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	250	千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額(千円)・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額(千円)・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	その他	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	その他	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	37000	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	36	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	37000	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	36	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組		
周知・広報の施策・取組	勉強会・セミナーの開催	
特に効果のあったもの・理由		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった	
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0497

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要					
ネットワークの名称	笠間市介護健診ネットワークシステム				
医療情報連携ネットワークの代表団体					
代表団体区分	行政				
団体名	笠間市役所				
住所	〒309-1792 茨城県笠間市中央3丁目2番1号				
電話番号	0296-77-1101				
所属部署	福祉部高齢福祉課高齢福祉G				
自治体の運営への参加					
自治体の運営への参加	運営主体として				
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など					
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 健康管理, その他 介護関係情報等を共有・活用し、地域包括ケアシステムのICT基盤とするため				
地域の課題	・介護関係事業者の連携手段がない・遠方家族への介護状況の連絡手段がない・介護事業者の問い合わせ対応・介護関係職種の事務負担の軽減				
ネットワーク導入による効果					
ネットワークが現在抱えている課題	多数の事業所が参加しないと事業効果が見込めない。市町村域を超えて広域に活用すること。多数ある介護システムとの連動。				
運営について工夫した点、苦労した点	個人情報の取り扱い。民間事業者・医療機関の参加要請。市町村基幹システムとの連動				
対象地域	市区町村単位での連携 笠間市				
行政計画への記載	はい				
同意取得について					
医療機関等	○:施設ごとの参加判断				
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断				
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意				
提供しているサービス状況					
連携している疾病(連携バス)					
提供しているサービス項目	△:健診情報の連携, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)				
その他 備考・補足					
共有できる情報項目					
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:その他文書, △:調剤結果				
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得, 笠間市基幹システム(住民情報・介護情報)				
医療情報連携ネットワークのシステム					
連携方式	○:クラウド型				
情報共有形態	○:双方向での共有				
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, 市独自のIDを使用(介護保険番号をIDとする)				
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター				
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存				
厚生労働省標準規格の採用					
情報連携基盤技術仕様					
通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信(開示側)					
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), 独自開発の暗号化				
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), 独自開発の暗号化				
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), 独自開発の暗号化				
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード				
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, マトリクス認証				
患者用	△:IDとパスワード				
システムの運用管理					
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定				
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理				
利用・参加料金					
利用・参加料金	病院	開示側		閲覧側	無料
	医科診療所	開示側		閲覧側	
	歯科診療所	開示側		閲覧側	
	薬局	開示側		閲覧側	無料
	介護施設	開示側	無料	閲覧側	無料
	その他	開示側		閲覧側	無料
患者	開示側		閲覧側	無料	
将来のシステムの更改の費用負担					
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担				
費用の負担					
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	自治体の負担, 国の負担(総務省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)			
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)			
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	664 回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	23 回		
開示施設の患者情報への総アクセス回数		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数			

地域・都道府県： 関東

茨城県

整理番号： 0497

情報更新日： 2017/2/27

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし
電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知, その他
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービスメール、メルマガなど
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

栃木県

整理番号： 0364

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	栃木県統一医介連携ネットワークどこでも連絡帳		
ネットワークの略称・愛称	どこでも連絡帳		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://dokoren.jp/		
ネットワークの概要	無料で利用可能な「完全非公開型医療介護専用SNSMedicalCareStation」を利用し、パソコン、スマートフォン、タブレット端末等を用い、患者ごとに作成されたタイムラインに必要な情報を、患者に携わる多職種が書きこむことで、時間や場所に制限なく、多職種間の情報共有を行なうためのシステムです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人栃木県医師会		
住所	〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1とちぎ健康の森4階		
電話番号	028-622-2655	所属部署	地域医療第一課
担当者	鈴木彩香	Eメールアドレス	dokodemo@tochigi-med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	3
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中对策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	・「顔の見える関係」が構築されている地域を対象に、どこでも連絡帳の講師を派遣している。・県内に広く普及するため、タブレット端末を郡市医師会や関係団体、県内訪問看護ステーションに無償レンタルを行っている。・ケアマネジャーを対象とした運用講習会を年6回開催している。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		20	71	4	40	170	15
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	2	獨協医科大学病院、自治医科大学病院			
	地域医療支援病院	あり	3	国立病院機構栃木医療センター、済生会宇都宮病院、那須赤十字病院			
	精神科病院	あり	0				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 主治医に相談いただく
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:糖尿病, ○:認知症
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:遠隔カンファランス, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板, SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:医師診療所(電子カルテ)より取得, △:医師診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	△:HumanBridgeシステムを利用, △:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定
介護施設・その他施設との通信	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定
患者との通信	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定
患者用	△：IDとパスワード、クライアント証明書による端末・本人認証に対応予定

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：従事者との守秘義務契約，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用	0		千円				
運用費用	7600		千円		医療介護総合確保基金		
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額（千円）・用途					
地域医療介護総合確保基金	はい	額（千円）・用途	7600		その他		
その他の公的資金	構築費用	0	千円				
	運用費用	0	千円				
実施予定のネットワーク	構築費用	0	千円				
	運用費用	0	千円				
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	未定
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	未定

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催，公的な会議での周知，医師会を通じた周知，その他
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 身近な端末で使用できるシステムとして、説明会参加者へのデモンストレーションが効果的であったため。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	在宅医療分野における医療・介護連携の円滑化
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

栃木県

整理番号： 0249

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	栃木県地域医療連携ネットワークとちまるネット		
ネットワークの略称・愛称	とちまるネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://tochimarunet.jp/		
ネットワークの概要	患者さんの同意のもと(同意書を取得した上で)、情報提供施設(病院)の中にある、患者さんの診療情報(処方、注射、画像等)を、情報閲覧施設(診療所や病院)で閲覧して、診療に役立てる仕組みです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	とちまるネット協議会		
住所	〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1とちぎ健康の森4階医師会内		
電話番号	028-622-2655	所属部署	地域医療第一課
担当者	鈴木和彦	Eメールアドレス	tochimarunet@tochigi-med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	1) 県境を越えた連携 2) 双方向性の情報共有 3) 救急医療での情報共有 4) 利用料の検討
運営について工夫した点、苦労した点	利用者には、運用講習会の受講を義務付けているが、より多く講習会の機会が確保できるよう運用講習会用の動画等を作成した。また、効率的な運用がおこなえるよう、可能な限りコストを抑える体制で構築している。
対象地域	複数県にまたがる連携 栃木県、群馬県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		46	262			3	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	2	自治医科大学附属病院、獨協医科大学病院			
	地域医療支援病院	あり	8	NHO栃木医療センター、済生会宇都宮病院、足利赤十字病院、芳賀赤十字病院、那須赤十字病院、NHO宇都宮病院、新小山市市民病院、とちぎメディカルセンターしもつが、佐野厚生総合病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		12398			12398		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害, △:心臓疾患, △:糖尿病
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	△:ICD1対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 関東

栃木県

整理番号： 0249

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側	無料		閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用	712554	千円	1/3はシステム導入病院負担。2/3は補助金負担。		
運用費用	2710	千円			
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	2710 千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金	はい	額（千円）・用途	2710	その他	
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 公的な会議での周知, その他
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 とちまるネットの利用には運用講習会の受講を必須としているため
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	一定数普及することで、地元の医療連携ネットワークとして人的ネットワークの中で広まり易い存在になる
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

群馬県

整理番号： 0384

情報更新日： 2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	利根沼田遠隔医療ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	TN2		
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	・遠隔医療支援機能付きPACS：画像保存通信システム・遠隔医療支援ツール：テレビ会議機能、カンファレンス機能、他施設への画像伝送機能、読影レポート作成機能・PACS機能：画像Viewer、DICOMプリント出力、画像伝送機能、画像取込機能 (DICOMサーバ機能含む)		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人沼田利根医師会		
住所	〒378-0051 群馬県沼田市上原町1801-68		
電話番号	0278-23-2058	所属部署	理事 (ICT担当)

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携
地域の課題	沼田保健医療圏の医師不足による救急医療崩が危惧されたこと。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システムに対応年数が経過したことや、医師会が事業を引き継ぐことに伴い、財政的課題に直面している。
運営について工夫した点、苦労した点	病院群の医師の参加や情報伝達と、定期的な運用検討会の開催。
対象地域	その他 隣接する吾妻保健医療圏の1病院 (群馬県医師会立) に設置。
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数 (実績)		8	15				
参加団体数 (予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数 (実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	

提供しているサービス状況	
連携している疾病 (連携パス)	
提供しているサービス項目	○:遠隔医療, ○:遠隔カンファレンス, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策 (バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

システムの運用管理	
運用管理規程 (規定) 等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側				閲覧側	
	医科診療所	開示側				閲覧側	
	歯科診療所	開示側				閲覧側	
	薬局	開示側				閲覧側	
	介護施設	開示側				閲覧側	
	その他	開示側				閲覧側	
	患者	開示側				閲覧側	

地域・都道府県： 関東

群馬県

整理番号： 0384

情報更新日： 2017/2/17

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用
	連携費用	200床以上		千円	200床以下
地域医療再生臨時特例交付金			額(千円)・用途		千円
地域医療介護総合確保基金			額(千円)・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業				千円	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 設置医療機関の収益により負担する。

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

群馬県

整理番号： 1055

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	しるくネット						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況		その他			
公開URL							
ネットワークの概要	マイナンバーカードを用い患者を共通のIDで特定し、医療機関間で画像情報(CT、MRI、検査結果、健康手帳のようなもの)を相互閲覧するサービス。※注電子カルテの連携ではありません						
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	運営主体として						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	6	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携, 健康管理						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題	マイナンバーカードの普及						
運営について工夫した点、苦勞した点	マイナンバーカードの活用						
対象地域	その他		連携範囲に制限なし				
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
同意取得について							
医療機関等		△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断					
介護施設、その他		△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断					
患者		○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。					
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得		同意による取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合		その他 状況によって					
新たに参加施設が増えた場合		その他 当ネットワークは医師個人と患者での同意としている					
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム		○:その他より取得					
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式		○:クラウド型					
情報共有形態		医療機関の意向による					
地域共通ID		○:独自開発のシステムを利用, ○:その他の共通システムを利用, 公的個人認証サービス					
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)		利用システムによる					
医療機関等との通信(閲覧側)		利用システムによる					
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							
システムの運用管理							
運用管理規程(規定)等の整備		○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定					
安全管理							

地域・都道府県： 関東

群馬県

整理番号： 1055

情報更新日： 2017/2/23

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金				額(千円)・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)		ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)		ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

埼玉県

整理番号： 0090

情報更新日： 2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	とねっと		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	https://sites.google.com/site/tonetsince2012/		
ネットワークの概要	「とねっと」は、埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会が構築し、管理運営するIT技術を活用した、診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムです。このシステムは、住民の皆さんの命と健康を守るため、地域の医師や看護師不足の中、限られた人材や高度医療機器などを有効活用し、地域のかかりつけ医と中核病院が役割を分担しながら連携し、地域全体で住民の皆さんの医療を完結していくものです。また、救急隊(救急車)が現場でこのシステムを活用し、迅速で的確な救急活動に役立てていくものです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 利根医療圏内の医療機関及び行政(7市2町)で構成する協議会		
団体名	埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会		
住所	〒347-0031 埼玉県加須市南町5-15(加須保健所内)		
電話番号	0480-63-0003	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	3	人	兼任	0
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 小児医療対策, 医療連携, 脳卒中対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 健康管理
地域の課題	人口あたり医師数や看護師数、医療施設数が全国で最も低い水準であり、なかでも、利根保健医療圏は、高齢化率が高く、医療資源の不足が顕著な地域である。今後ますます長寿化が進み、医療を必要とする方の増加が見込まれる中、いかにして地域住民に質の高い医療を提供し続けていくかが大きな課題となっている。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	医療機関および患者の参加者増
運営について工夫した点、苦労した点	行政の主体的参加
対象地域	二次医療圏での連携 埼玉利根保健医療圏
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	内科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		23	83			5
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		28710				

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	登録カードをその施設に提示

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:脳血管障害, ○:糖尿病
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子処方箋(実証等), ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:患者による自己管理システム, △:在宅医療連携, ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	参加者の健康管理のため、自身の健康記録を登録できるシステムもあり、参加者個人で入力できるほか、病院等の検査結果や処方箋が自動的に登録され、自身のパソコンやスマートフォンで参照できる。また、紐付けした医療機関ではその登録内容を参照できる。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:その他文書, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:内科診療所(電子カルテ)より取得, △:内科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, △:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:STELLARを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, 特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 関東

埼玉県

整理番号： 0090

情報更新日： 2017/3/6

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）,○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担,自治体の負担,国の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布,説明会の開催,医療機関等への訪問,公的な会議での周知,医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知 参加者の口コミが効果的
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	全国
構築時以降に、追加したサービス	患者サービス（PCアクセスサービス）
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	電子おくり手帳,患者サービス（PCアクセスサービス）,在宅医療連携,介護連携
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため,会員満足度の向上,患者サービスの向上,その他

地域・都道府県： 関東

埼玉県

整理番号： 0493

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携サービスC@RNACONNECT(カルナコネク)		
ネットワークの略称・愛称	カルナ		
運用開始(予定)年	2007	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	C@RNACONNECTは、ICTを活用することで中核医療機関の各科の外来診療や、放射線機器、超音波、内視鏡等の検査を、診療所の先生方がインターネット環境下で24時間365日いつでも簡単に予約できる。診療や検査の結果は院内同様、結果報告書(診療情報提供書、検査結果、DICOM画像等)が準備できたタイミングで紹介元の診療所の先生方から閲覧することが可能なシステムである。さらに本システムを活用してケアマネジャーや自治体を含めた医療介護連携のICT化を実現している。(医療連携は2007年3月～、医療介護連携は2013年11月～開始)		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	独立行政法人国立病院機構埼玉病院		
住所	〒351-0102 埼玉県和光市諏訪2-1		
電話番号	048-462-1101	所属部署	医事係長
担当者	野崎基亜	Eメールアドレス	mnozaki@wakho.hosp.go.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任		0
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策 救急医療は、当直医が判断に困る場合に専門医に検査画像を送付の上、専門医が当直医にアドバイスする。
地域の課題	地域における機能分化地域医療と介護との連携
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した、○:患者の負担が軽減した、○:医療機関間で機能分化が進んだ、△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	地域中核病院とは密に利用している。一方診療所の利用率をさらにアップすること。
運営について工夫した点、苦労した点	地域中核病院の予約枠が常に空くように確認する。
対象地域	二次医療圏での連携 医療連携:埼玉県南西部、および東京都練馬区と板橋区の一部/医療介護連携:和光市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	164	2		1	
参加団体数(予定)		2					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	国立病院機構埼玉病院			
	精神科病院	なし	1	大泉病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
					6300		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断,その他の方式
介護施設、その他	その他の方式 和光市介護福祉支援センターとの連携
患者	○:すべての施設毎に同意を得る,○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。、その他の方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 特定施設間でしか情報交換出来ないようにしている為、同意撤回なし
新たに参加施設が増えた場合	その他 特定施設間でしか情報交換出来ないようにしている為、他施設で閲覧できない。患者から要請があれば、別施設へ送信可能である。

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,○:退院時サマリ,○:画像情報の共有,○:画像診断サービス,○:医療従事者用モバイル対応,○:在宅医療連携,○:介護連携,○:情報共有(掲示板、SNSなど),○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:看護記録,○:その他文書,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),△:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得,○:その他より取得,診療情報管理システム「Yahgee(ヤギー)」

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有,指定された施設間で情報を送受信可能である。
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用,富士フィルム製地域医療連携サービス「カルナコネク」,共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内,○:院外のデータセンター,情報交換としてデータセンターで情報保管している。ある期間経過するとデータセンターから削除される。(情報は各施設がダウンロード可能な為、各施設が独自に必要な情報を管理・保管する。)
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	△:診療情報提供書(電子紹介状),○:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),△:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE), ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE), ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書 (ICカード)
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の出入管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		富士フイルムメディカル（株）, 東日本電信電話（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 院内システムで地域医療連携にも利用可能である。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	158	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	1600

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	電子処方箋（実証等）
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0013

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域診療情報連携ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	総合病院国保旭中央病院		
住所	〒289-2511 千葉県旭市イの1326		
電話番号	0479-63-8111	所属部署	医療連携福祉相談室、医療情報室
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス診療・検査予約		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 退院時サマリ, 介護連携		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0051

情報更新日： 2017/2/20

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	患者カルテ (PLANET)、共有カルテ		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2001	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	患者カルテ=患者さまの希望する医療機関の診療情報をインターネット経由で参照することが出来る。ログインは公共端末、自宅パソコンより参照可能。携帯電話のFOMAより参照出来たが今年8月31日でサービス終了しました。共有カルテ=患者さまの選択した医療機関同士でカルテを共有できる仕組み。主に医師の連携に利用します。どちらのシステムもXML形式で受信すればよいので、その形式で出力されればどのカルテ情報でも取り込むことが出来ます。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	医療法人鉄蕉会亀田総合病院		
住所	〒296-0041	千葉県鴨川市東町929	
電話番号	04-7092-2211	所属部署	カスタマーリレーション部

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0305

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	TRITRUSシステム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	円滑な多職種連携を行うための情報共有ネットワークシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	市川市		
住所	千葉県市川市八幡1-1-1		
電話番号	047-334-1183	所属部署	福祉部地域支えあい課
担当者	近藤香	Eメールアドレス	kondo-k@city.ichikawa.chiba.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	3	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	レセプトや診療情報提供書、訪問看護指示書等と連動していないため、入力が二度手間となる、といった意見がある。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携 市川市
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	内科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		8	18	1	11	98	34
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	東京歯科大学市川総合病院			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		62			41		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	
連携情報の保管場所	システム事業者のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0305

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		200		千円			
運用費用		454		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円	
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	122	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	41	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	637	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	257	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0362

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	千葉医療センター地域医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	千葉医療ネットワーク		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要			
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	独立行政法人国立病院機構千葉医療センター		
住所	〒260-8606 千葉県千葉市中央区椿森4-1-2		
電話番号	043-251-5311	所属部署	医療情報管理室
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院	
参加機関・患者拡大のメリット	病院と地域の医療機関が連携していることを示すことで安心感を与えられる		
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0433

情報更新日： 2017/2/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	情報共有システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	インターネット回線環境下の高いセキュリティ管理されたクラウドの中で、在宅療養を支援する多職種のチームで本人と家族の情報を共有し、支援を行うシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	柏市		
住所	〒270-0845 千葉県柏市豊四季台1-1-118号		
電話番号	04-9717-1510	所属部署	保健福祉部地域医療推進室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	12 人	兼任	0 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	在宅医療対策
地域の課題	今後の急激な高齢化の進展に伴い、病院、施設のみではなく、地域で支えるしくみとして、地域包括ケアシステムの構築が必要であったため。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・システムの汎用性:情報共有システムの活用を市内事業者に限定しているため、利用者が他市の事業者の場合、活用できない。
運営について工夫した点、苦労した点	・市内の支援団体から推薦された多職種の委員で構成される情報共有システム部会を設置し、多職種が情報共有システム活用のルール等を協議、作成している。
対象地域	市区町村単位での連携 千葉県柏市
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		7	20	21	25	223	8
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		255			70		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:糖尿病, ○:認知症, ○:その他
提供しているサービス項目	○:電子版おくすり手帳, ○:画像情報の共有, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:空床情報, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, カナミッククラウドサービス
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD11対応標準病名マスター, △:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), △:JAHIS臨床検査データ交換規約, △:標準歯科病名マスター, △:臨床検査マスター
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 0433

情報更新日： 2017/2/21

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec/IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	医療・介護多職種連携のために使用しているため、患者本人は入っていない。
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード, △:PKI電子証明書 (ICカード) , △:PKI電子証明書 (ICカード) , △:その他のICカード, △:USBドングル, △:生体認証
患者用	医療・介護多職種連携のために使用しているため、患者本人は入っていない。

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料			閲覧側	無料
	医科診療所	開示側	無料			閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側	無料			閲覧側	無料
	薬局	開示側	無料			閲覧側	無料
	介護施設	開示側	無料			閲覧側	無料
	その他	開示側	無料			閲覧側	無料
	患者	開示側	無料			閲覧側	無料

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:学術研究等の公益目的で利用

予算関係							
構築費用	0	千円	柏市と東京大学高齢社会研究機構との協定に基づき、東京大学とカナミックネットワークによるシステム構築				
運用費用	1080	千円					
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額（千円）・用途					
地域医療介護総合確保基金	いいえ	額（千円）・用途					
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業	(株) カナミックネットワーク						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 学会・研究会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携, 介護連携
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 1012

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	不明		
ネットワークの略称・愛称	なし		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	その他
公開URL	なし		
ネットワークの概要	当院と連携先訪問看護ステーションにて患者情報の共有を目的としてICTシステムを利用しての試験的運用を行ってまいりました。		

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, 疾病管理
地域の課題	(試験運用)在宅療養において、担当医師と訪問看護ステーションの情報共有の効率化においてどのような仕組みが求められるかの調査を行った(行いたかった)
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(地域中核病院にとつて)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	当院は診療所であり、試験的に情報連携を行ったのは訪問看護ステーションとのみであった。なかなか中核医療機関(有床病院など)との連携については進まなかった。中核医療機関での実施の有無は確認できなかった。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	その他
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		2	1	1		1
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数	
		20			20	

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, その他の方式 当院と訪問看護ステーションでそれぞれ取得(していた)

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	その他 居宅療養管理指導の契約と同意と考えている。
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 なし
新たに参加施設が増えた場合	口頭説明による

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:胃・大腸がん, △:その他のがん
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:在宅医療連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	現在は電話・郵送で実施している。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書
利用している情報の取得元システム	試験運用にて電子カルテとは別のシステムにより患者情報の共有を実施していた。

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型, 試験運用時
情報共有形態	○:双方向での共有, 試験運用時
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター, 試験運用時
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, 試験運用時
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), 試験運用時
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), 試験運用時
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), 試験運用時
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, 試験運用時
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, 試験運用時
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側	有料	70000	閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	840	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額(千円)・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額(千円)・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用中にベンダーから更改は無くなったと伝えられた。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	その他	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	その他	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	300	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	1	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	150	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	遠隔カンファランス、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、患者サービス(PCアクセスサービス)、患者サービス(モバイルアクセスサービス)、患者による自己管理システム(どこでもMY病院等)、在宅医療連携、介護連携、その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど)、その他のサービス診療・検査予約、その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 1058

情報更新日： 2017/3/16

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	未記載						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況					
公開URL							
ネットワークの概要							
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分							
団体名							
住所	〒						
電話番号		所属部署					
担当者		Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加							
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	人	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的							
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域							
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
		精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について							
医療機関等							
介護施設、その他							
患者							
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合							
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)							
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 関東

千葉県

整理番号： 1058

情報更新日： 2017/3/16

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	千円	
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0108

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	東京医療センターWeb型電子カルテ参照システム		
ネットワークの略称・愛称	Web-NTMC		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	インターネット回線を利用して、東京医療センター電子カルテのほとんどの情報を参照するシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	国立病院機構東京医療センター		
住所	〒152-8902 東京都目黒区東が丘2-5-1		
電話番号	03-3411-0111	所属部署	医療情報部
担当者	磯部陽	Eメールアドレス	yisobe@ntmc.hosp.go.jp

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			29				
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:その他
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, △:遠隔カンファレンス, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他(備考・補足)	電子カルテの情報と放射線画像のほぼすべての参照

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0108

情報更新日： 2017/2/10

将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担			
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	その他	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	その他	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0239

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	MIOKarte		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.minamitama.jp/mio-karte/index.html		
ネットワークの概要	医療法人社団永生会の永生病院・永生クリニック・南多摩病院を中心とする医療機関の診療情報の共有のほか、東京都八王子市を中心に東京都・南多摩医療圏の病院・診療所に対して診療情報の共有化を行うシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	医療法人社団永生会地域医療連携システムネットワーク連絡協議会		
住所	〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1		
電話番号	042-663-0111	所属部署	医療法人社団永生会南多摩病院システム室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	診療情報を公開する病院のグループ病院の診療情報の共有ニーズと、グループ病院外の診療情報の共有ニーズのずれがあり、グループ病院内での機能強化要望が強くなること。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 東京都南多摩医療圏
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		21	46		1	10	13
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1846					

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, △:電子クリニカルパス, △:電子処方箋(実証等), △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:画像診断サービス, △:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, ○:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, △:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, △:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(画像システム)より取得

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担, 未定

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0278

情報更新日： 2017/3/7

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	遠隔診断支援システム
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0360

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	未来かなえネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.kanaenet.com/		
ネットワークの概要	<p>気仙医療圏の基幹病院である県立大船渡病院、県立高田病院と、地域の医科診療所・歯科診療所・調剤薬局などの医療機関と、訪問看護ステーション・介護老人保健施設・特別養護老人ホームなどの介護施設を、インターネットで連携する情報ネットワークシステムを構築し、医療・介護に携わる多職種の方々が情報参照や登録を通じて、地域住民に対して医療と介護を一体的に提供できる仕組みを構築するもの。</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	一般社団法人未来かなえ機構		
住所	〒029-2311 岩手県気仙郡住田町世田米字川向9 6-5 住田町保健福祉センター内		
電話番号	0192-22-7261	所属部署	事務局長
担当者	安部白道	Eメールアドレス	hakudo7695@gmail.com

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	3	人
	兼任		0
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策、疾病予防対策、健康管理
地域の課題	・医療介護資源不足(医師、看護師、リハビリ療法士、介護士など)と高齢化・回復期病床不足・職種、施設、団体間の情報連携不足
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,△:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	特定の参加施設での活用は進んでいるが、いくつかの参加機関では従来参照ができなかった医療情報のため、活用方法に悩んでいる施設担当者がまだまだ多い。従って施設での具体的な利用シーンの提示、利用促進が急務。
運営について工夫した点、苦労した点	住民および参加施設へのプロモーション活動
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	6	2	7	4	3
参加団体数(予定)			21	17	18	96	
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		7340			7340		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意,△:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,△:電子紹介状,○:電子クリニカルパス,△:電子版おくすり手帳,△:退院時サマリ,△:健診情報の連携,△:画像情報の共有,△:検査機関との連携,△:医療従事者用モバイル対応,△:モバイルアクセスサービス(患者),△:患者による自己管理システム,△:在宅医療連携,△:介護連携,△:情報共有(掲示板、SNSなど),△:診療・検査予約,△:空床情報,△:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(レセコン)より取得,○:病院(画像システム)より取得,○:医科診療所(電子カルテ)より取得,○:医科診療所(レセコン)より取得,△:歯科診療所(電子カルテ)より取得,○:歯科診療所(レセコン)より取得,○:薬局(調剤レセコン)より取得,○:検査センター(検査システム)より取得,○:その他より取得,外注検査会社

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, Yr. Canvas-en
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, △:待機系サーバを遠隔地に設置, △:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	△:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), △:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, △:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, △:看護実践用語標準マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, △:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	△:PIX/PIX3/PDQ/PDQV3, △:XDS. b, △:XDS-I. b, △:XCA

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0360

情報更新日： 2017/2/27

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），△：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	△：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
医療機関・薬局	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	○：IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），△：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	300000	閲覧側	有料	
	医科診療所	開示側	有料	15000	閲覧側	有料	
	歯科診療所	開示側	有料	10000	閲覧側	有料	
	薬局	開示側	有料	10000	閲覧側	有料	
	介護施設	開示側	有料	8000	閲覧側	有料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用，△：学術研究等の公益目的で利用，△：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係							
構築費用		510000		千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費	24000	千円		その他費用	16000
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途					
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途					
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担，公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担，自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	150	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	43	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	250	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	39	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	DM送付，チラシ配布，説明会の開催，医療機関等への訪問，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	その他 地区（市、町）への全戸配布
人的なネットワーク	（立上げ時） 基幹病院 （会員増加時） 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時に降に、追加したサービス	退院時サマリ，医療従事者用モバイル対応
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	患者サービス（モバイルアクセスサービス），在宅医療連携，介護連携，その他のサービス情報共有（掲示板，SNSなど）
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0431

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	練馬医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	システム構築にあたっては、診療所での導入が容易に行え、継続的に使用し続けられるようなさまざまな工夫をした。すでに診療所で導入済みのパソコンやインターネットを利用して初期・月額費用の負担が掛からないようにした。将来の拡張性を考えてポータルサイトに機能が増えてもメニューが簡単に追加できるように設計した。地域医療連携開始に合わせて検査・診療予約機能に対する要望が高かったことから、診療所での予約から当院での検査・診察、その後の診療所での患者診療情報の閲覧の一連の流れを実現することを旨とし、ID-LINKに連携した予約システムを新規に構築した。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	公益財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院		
住所	〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1		
電話番号	03-5988-2309	所属部署	地域連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		1	26				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
		精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数 833		その内の実際に情報共有している患者数 833			

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:サマリ,○:手術記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(画像システム)より取得,○:その他より取得,診療情報データベースハウス、ファイリングシステム、生理検査システム

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 実際に地域連携システムの画面や現状をご説明することで理解を深めて頂いております。
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	紹介/逆紹介のやり取り以外にも関わる機会が増えました。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	医療従事者用モバイル対応
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0455

情報更新日： 2017/3/11

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	EIR		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	株式会社エイル		
住所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-1住友不動産芝公園タワー		
電話番号	03-5405-2346	所属部署	
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:看護記録		
医療情報連携ネットワークのシステム			
連携方式	○:クラウド型		
情報共有形態	○:双方向での共有		
地域共通ID	共通IDを使用していない		
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター,エイル社の契約サーバ		
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用		
厚生労働省標準規格の採用			
情報連携基盤技術仕様			
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	公的な会議での周知,勉強会・セミナーの開催		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) その他	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位		
構築時以降に、追加したサービス	医療従事者用モバイル対応		
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0472

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	道北急性期モバイルxクラウド医療連携事業 (仮称)		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.mcpc-jp.org/award2014/pdf/2014_23.pdfhttp://www.docomo.biz/html/casestudy/detail/kobushien02.htmlhttp://www.intel.co.jp/content/dam/www/pu		
ネットワークの概要			

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	株式会社アルム		
住所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-11祐真ビル新館2F		
電話番号	03-6418-3017	所属部署	事業戦略室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	15	人

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	○:地域全体で参加
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,△:診療情報提供書,△:医師記録(経過記録),△:サマリ,△:手術記録,○:看護記録,○:その他文書,△:処方オーダー,△:注射オーダー,△:検体検査オーダー,△:放射線検査オーダー,△:内視鏡検査オーダー,△:生理検査オーダー,△:食事オーダー,△:検体検査結果,△:生理検査結果,△:画像(放射線検査、内視鏡検査等),△:調剤結果
利用している情報の取得元システム	△:薬局(調剤レセコン)より取得,△:検査センター(検査システム)より取得,△:その他より取得,医師会、中核病院から電子カルテ/レセコンで情報共有を実施するには費用が掛かると同時に、共有される情報の利用頻度が低いため、電子カルテ・レセコンからのデータ取得は行わない。診療情報提供書と検体検査の情報共有のニーズが高いため、それらは実施予定。

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型),タブレットとPCを利用
患者との通信	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:2要素認証,○:IDとパスワード,△:HPKI電子証明書(ICカード),クライアント証明書。IHEXCA仕様構築中。
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード,クライアント証明書
患者用	○:2要素認証,○:IDとパスワード,クライアント証明書

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担,公的資金より負担,未定,その他 自治体(行政)、医師会による予算化でクラウド保守運用を実施し、タブレット及び通信費用は業務効率化により各事業所の利益となるため各事業所負担。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	国の負担(厚労省),国の負担(経産省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	自治体の負担,国の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	参加施設の負担,自治体の負担,地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担,国の負担,保険者の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0509

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療介護連携支援システム「エイル」		
ネットワークの略称・愛称	エイル		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.eir-note.com/		
ネットワークの概要	弊社のエイルは、在宅医療・介護の現場に携わっている医療職・介護職の方々が、多職種・多事業所の垣根を越えて、患者さまの病名や医療・介護の基本方針などの基本情報に加え、往診・訪問時の患者様の様子や処置の内容、申し送り事項などの情報を共有し、関係者間のコミュニケーションを促進することで、スタッフの方々の効率化、チーム意識の向上を促し、患者さまの満足度を上げることを目標としています。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	株式会社エイル		
住所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-1住友不動産芝公園タワーSMSグループ内		
電話番号	03-5405-2346	所属部署	
担当者	片山嘉國	Eメールアドレス	info@eir-note.com

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、精神科医療対策、疾病管理、健康管理
地域の課題	主に地域包括ケアの推進のための、在宅医療・介護連携の情報共有のICTインフラとして導入
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した、○:患者の負担が軽減した、○:医療機関間で機能分化が進んだ、○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	効率化が進みつつも、デジタル化が進んでいない事業所では二重入力などの手間が増えるケースもある。地域を主導していく人材の欠如だったり、コスト負担の問題も絡み合っており、地域の事業者・従事者をまとめていくことが難しい
運営について工夫した点、苦労した点	足並みが揃いづらい地域のステークホルダーをどうまとめていくかは、やはりその地域の人材に頼るほかなく、その点は我々ではどうにもならない部分である
対象地域	市区町村単位での連携 東広島市、阿南町、須坂市、宇陀市ほか多数
行政計画への記載	はい

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意、○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折、○:脳血管障害、○:心臓疾患、○:胃・大腸がん、○:その他のがん、○:肝炎、○:糖尿病、○:認知症、○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携、△:電子紹介状、○:遠隔医療、○:遠隔カンファランス、△:電子クリニカルパス、△:電子処方箋(実証等)、○:電子版おくり手帳、△:電子版疾病管理手帳、○:退院時サマリ、○:画像情報の共有、○:医療従事者用モバイル対応、○:PCアクセスサービス(患者)、○:モバイルアクセスサービス(患者)、○:在宅医療連携、○:介護連携、○:情報共有(掲示板、SNSなど)、○:空床情報、○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○:病名情報、○:診療情報提供書、○:医師記録(経過記録)、○:サマリ、○:手術記録、○:看護記録、○:その他文書、○:処方オーダー、○:注射オーダー、○:検体検査オーダー、○:検体検査結果、○:生理検査結果、○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)、○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得、△:病院(レセコン)より取得、○:医科診療所(電子カルテ)より取得、△:医科診療所(レセコン)より取得、○:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有、○:参照のみ、項目毎に、職種別のアクセス権を設定している
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用、△:ID-LINKシステムを利用、△:HARMONYsuiteを利用、△:独自開発のシステムを利用、○:その他の共通システムを利用、弊社の「地域医療介護連携支援システムエイル」の患者ID
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター、弊社利用のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用、○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター、△:ICD1対応標準病名マスター、△:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供)、△:診療情報提供書(電子紹介状)、△:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針、○:JAHS臨床検査データ交換規約、△:標準歯科病名マスター、△:JAHS処方データ交換規約、△:看護実践用語標準マスター、○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン、○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3、○:XCA、○:XCA-I

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)、○:その他のVPN、○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)、○:その他のVPN、○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)、○:その他のVPN、○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:2要素認証、○:IDとパスワード、△:HPKI電子証明書(ICカード)
介護施設・その他施設用	○:2要素認証、○:IDとパスワード、△:HPKI電子証明書(ICカード)
患者用	○:2要素認証、○:IDとパスワード

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0509

情報更新日： 2017/2/23

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用, △：学術研究等の公益目的で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（経産省）, 未定
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 未定

人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	地域の共通基盤が構築できる救急時や入院などの際もスムーズになる	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位	
構築時以降に、追加したサービス追加サービスと会員増加の関係	電子紹介状, 遠隔カンファランス, 電子処方箋（実証等）, 電子おくり手帳, 退院時サマリ, その他のサービス空床情報, その他のサービスメール、メルマガなど そう思う	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 遠隔カンファランス, 電子処方箋（実証等）, 電子おくり手帳, 退院時サマリ, 画像情報の共有, 検査機関との連携, 医療従事者用モバイル対応, 患者サービス（PCアクセスサービス）, 患者サービス（モバイルアクセスサービス）, 患者による自己管理システム（どこでもMY病院等）, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）, その他のサービス空床情報, その他のサービスメール、メルマガなど	
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0514

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	Medical Information Network of TORANOMON system		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	虎の門病院		
住所	〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2		
電話番号	03-3588-1111	所属部署	医療連携部
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	1464	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数 9 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	28115	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数 9 回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	DM送付, チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問		
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 チラシ等と異なり直接説明できる。		
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時) その他	
参加機関・患者拡大のメリット	治療後の		
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位		
構築時以降に、追加したサービス	退院時サマリ		
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上		

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0517

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要								
ネットワークの名称	東京総合医療ネットワーク							
ネットワークの略称・愛称								
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況	計画中					
公開URL								
ネットワークの概要	病院間の電子カルテをIHE規格により連携させる							
医療情報連携ネットワークの代表団体								
代表団体区分	その他							
団体名	東京総合医療ネットワーク運営協議会							
住所	〒							
電話番号								
担当者	所属部署 Eメールアドレス							
自治体の運営への参加								
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして							
医療情報連携ネットワークの運営								
事務局人数	専任	人	兼任	人				
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など								
ネットワークの導入目的	医療連携							
地域の課題								
ネットワーク導入による効果								
ネットワークが現在抱えている課題								
運営について工夫した点、苦労した点								
対象地域								
行政計画への記載								
参加団体数と参加患者数								
			参加施設数					
			病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)								
参加団体数(予定)								
			施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院							
	地域医療支援病院							
	精神科病院							
参加患者数(実績数)			登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
同意取得について								
医療機関等	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断							
介護施設、その他								
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, △:施設毎に情報連携の可否を指定							
同意取得について(患者詳細)								
新規患者からの同意取得	同意による取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による							
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承							
提供しているサービス状況								
連携している疾病(連携バス)								
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:画像情報の共有							
その他 備考・補足								
共有できる情報項目								
利用している情報項目	△:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:処方オーダー, △:注射オーダー, △:検体検査オーダー, △:検体検査結果, △:生理検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果							
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得							
医療情報連携ネットワークのシステム								
連携方式								
情報共有形態								
地域共通ID	△:HumanBridgeシステムを利用, △:ID-LINKシステムを利用							
連携情報の保管場所	△:各医療機関の院内							
障害対策(バックアップ体制)								
厚生労働省標準規格の採用								
情報連携基盤技術仕様								
通信ネットワーク・ログインセキュリティ								
医療機関等との通信(開示側)								
医療機関等との通信(閲覧側)								
介護施設・その他施設との通信								
患者との通信								
医療機関・薬局用								
介護施設・その他施設用								
患者用								

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0517

情報更新日： 2017/2/10

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, △:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時に降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 電子処方箋（実証等）, 電子おくすり手帳, 健診情報連携, 画像情報の共有, 検査機関との連携, 患者サービス（PCアクセスサービス）, 患者サービス（モバイルアクセスサービス）
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0522

情報更新日： 2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要					
ネットワークの名称	在宅ケア連携支援システムBmicZR				
ネットワークの略称・愛称	ビーミック				
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況	サービス運用中		
公開URL					
ネットワークの概要					
医療情報連携ネットワークの代表団体					
代表団体区分	一般財団法人				
団体名	医療法人財団はるか会				
住所	〒130-0005 東京都墨田区東駒形1-3-15マーナビル2階				
電話番号	03-6658-8792	所属部署			
担当者	飯倉いずみ	Eメールアドレス			
自治体の運営への参加					
自治体の運営への参加	参画していない				
医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	2 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など					
ネットワークの導入目的	小児医療対策, 医療連携, 在宅医療対策				
地域の課題					
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった				
ネットワークが現在抱えている課題					
運営について工夫した点、苦労した点					
対象地域	複数県にまたがる連携		東京都、千葉県		
行政計画への記載	いいえ				
参加団体数と参加患者数					
参加団体数(実績)	参加施設数				
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設 その他の施設
参加団体数(予定)					
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名		
	特定機能病院				
	地域医療支援病院				
	精神科病院				
参加患者数(実績数)	登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
	700		700		
同意取得について					
医療機関等	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断				
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断				
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, △:施設毎に情報連携の可否を指定, △:すべての施設毎に同意を得る, △:連携をするすべての医師毎に同意を得る。				
同意取得について(患者詳細)					
新規患者からの同意取得	同意による取得				
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承				
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得				
提供しているサービス状況					
連携している疾病(連携パス)	○:その他				
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, △:電子処方箋(実証等), △:退院時サマリ, △:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), △:患者による自己管理システム, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約				
その他 備考・補足					
共有できる情報項目					
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, △:看護記録, △:調剤結果				
利用している情報の取得元システム					
医療情報連携ネットワークのシステム					
連携方式	○:クラウド型				
情報共有形態	○:双方方向での共有				
地域共通ID	共通IDを使用していない				
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター				
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用				
厚生労働省標準規格の採用	○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン				
情報連携基盤技術仕様					
通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信(開示側)	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), SSL-VPN				
医療機関等との通信(閲覧側)	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), SSL-VPN				
介護施設・その他施設との通信	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型), SSL-VPN				
患者との通信					
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:その他のICカード				
介護施設・その他施設用	○:2要素認証, △:HPKI電子証明書(ICカード), ○:その他のICカード				
患者用	○:2要素認証, △:ICカード				

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0522

情報更新日： 2017/3/6

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側	有料	5000	閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	25564	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	55018	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0523

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	遠隔画像診断支援システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	1994	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	ブロードバンド回線で画像データを受信し、読影レポートを返却するシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	セコム医療システム株式会社		
住所	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5麹町シルクビル7階		
電話番号	03-5215-7323	所属部署	ソリューション部ホスピネットセンター

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ		
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0530

情報更新日： 2017/3/8

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	まごころネット八王子		
ネットワークの略称・愛称	まごころネット八王子		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	<p>≪平成28年4月より企業の運営になる≫医療クラウド上に開発したシステムに在宅患者の基本情報、医療情報、経過記録情報を登録・蓄積。1人の患者さんに対して、多職種間で情報共有やコミュニケーションができる。特徴としては、かかりつけ医が同意のとれた患者さんにICカードを発行している。</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	株式会社ウエルネス		
住所	〒113-0031 東京都文京区根津1-1-19根津宮本ビル4F		
電話番号	03-5685-7511	所属部署	
担当者	小林典明	Eメールアドレス	kobayashi@wellness.co.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	1	人	兼任	1
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策 他職種間の情報共有
地域の課題	一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の増加225年には、高齢化率が27%に達すると予想されている
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	二重入力で負担が大きい。専用端末でないため、参加がしにくい。
運営について工夫した点、苦労した点	設置はしたが、なかなか参加しない所もあり。ログインに時間がかかる。面倒との声が多く聞かれ今回利用回線を変更する事で、参加者がログインし易くなった。
対象地域	その他 八王子市の市民が登録するのであれば、隣の日野市の事業所に参加をお願いする。
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		14	27	1	7	15	18
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	1	東海大学医学部付属八王子病院			
		地域医療支援病院	9	永生病院・仁和会総合病院、清習会記念病院、東京天使病院、八王子山王病院、右田病院、南多摩病院、陵北病院、城山病院			
	精神科病院	1	平川病院				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		835		510			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	その他の方式 ICカードを持っている患者さんのいる施設に参加を呼びかける
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:患者用IDカードの発行, ○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:看護記録, ○:処方オダグ, ○:その他, 「かかりつけ医」の判断で。フリーでサービス提供(オーダー情報-画像除く) 出来ます。
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:歯科診療所(電子カルテ)より取得, ○:歯科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, △:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状)
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 0530

情報更新日： 2017/3/8

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），△：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：2要素認証，○：IDとパスワード，○：その他のICカード，○：USBトークン
介護施設・その他施設用	○：2要素認証，○：IDとパスワード，○：その他のICカード，○：USBトークン
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用	14000	千円	システム開発・関連初期費用		
運用費用	2900	千円	クラウドサーバ、通信関連（VPN）費用		
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用	2750	千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	（運用費内訳）	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		（株）ウエルネス、OrangeSystem（株）、（株）ケイ・オブティコム			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担 医師会負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催、医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 一度に沢山の人の周知できる
人的なネットワーク	（立上げ時）医師会 （会員増加時）医師会
参加機関・患者拡大のメリット	沢山の多職種で情報の共有ができる
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	画像情報の共有、介護連携
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携、健診情報連携、画像情報の共有、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため、会員満足度の向上

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 1008

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要								
ネットワークの名称	Virtual-RAD							
ネットワークの略称・愛称								
運用開始(予定)年				ネットワークの稼働状況				
公開URL	http://www.doctor-net.co.jp/service/virtualrad/							
ネットワークの概要	クラウド型遠隔読影システムのASPサービス							
担当者				Eメールアドレス				
自治体の運営への参加								
自治体の運営への参加								
医療情報連携ネットワークの運営								
事務局人数	専任	人		兼任	人			
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など								
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策,へき地医療対策,その他							
地域の課題								
ネットワーク導入による効果								
ネットワークが現在抱えている課題								
運営について工夫した点、苦労した点								
対象地域								
行政計画への記載								
参加団体数と参加患者数								
			参加施設数					
			病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)								
参加団体数(予定)								
			施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院							
	地域医療支援病院							
	精神科病院							
参加患者数(実績数)			登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
同意取得について								
医療機関等								
介護施設、その他								
患者								
同意取得について(患者詳細)								
新規患者からの同意取得								
患者が同意の撤回(脱退)する場合								
新たに参加施設が増えた場合								
提供しているサービス状況								
連携している疾病(連携バス)								
提供しているサービス項目								
その他 備考・補足								
共有できる情報項目								
利用している情報項目								
利用している情報の取得元システム			○:病院(画像システム)より取得					
医療情報連携ネットワークのシステム								
連携方式								
情報共有形態								
地域共通ID								
連携情報の保管場所								
障害対策(バックアップ体制)								
厚生労働省標準規格の採用								
情報連携基盤技術仕様								
通信ネットワーク・ログインセキュリティ								
医療機関等との通信(開示側)								
医療機関等との通信(閲覧側)								
介護施設・その他施設との通信								
患者との通信								
医療機関・薬局用								
介護施設・その他施設用								
患者用								
システムの運用管理								
運用管理規程(規定)等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他	開示側			閲覧側			
	患者	開示側			閲覧側			

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 1008

情報更新日： 2017/2/13

蓄積された個人情報・診療情報の利用					
個人情報・診療情報の利用					
予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費			千円
	連携費用	200床以上	千円	その他費用	千円
地域医療再生臨時特例交付金				千円	
地域医療介護総合確保基金				千円	
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業					
将来のシステムの更改の費用負担					
将来のシステムの更改の費用負担					
費用の負担					
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)				ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)				ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回	
診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組					
周知・広報の施策・取組					
特に効果のあったもの・理由					
人的なネットワーク		(立上げ時)			(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット					
地域範囲の適切なサイズ					
構築時以降に、追加したサービス					
追加サービスと会員増加の関係					
会員増加に効果的なサービス					
サービス強化の決定理由					

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 1009

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要					
ネットワークの名称	Tele-RAD				
ネットワークの略称・愛称					
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況			
公開URL	http://www.doctor-net.co.jp/service/teledrad/				
ネットワークの概要	遠隔画像診断支援サービス				
担当者		Eメールアドレス			
自治体の運営への参加					
自治体の運営への参加	参画していない				
医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	20	人	兼任	人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など					
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策,へき地医療対策,その他				
地域の課題					
ネットワーク導入による効果					
ネットワークが現在抱えている課題					
運営について工夫した点、苦労した点					
対象地域					
行政計画への記載					
参加団体数と参加患者数					
	参加施設数				
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設 その他の施設
参加団体数(実績)					
参加団体数(予定)					
	施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院				
	地域医療支援病院				
	精神科病院				
参加患者数(実績数)	登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
同意取得について					
医療機関等					
介護施設、その他					
患者					
同意取得について(患者詳細)					
新規患者からの同意取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合					
新たに参加施設が増えた場合					
提供しているサービス状況					
連携している疾病(連携パス)					
提供しているサービス項目	○:画像診断サービス				
その他 備考・補足					
共有できる情報項目					
利用している情報項目					
利用している情報の取得元システム	○:病院(画像システム)より取得				
医療情報連携ネットワークのシステム					
連携方式	○:クラウド型				
情報共有形態					
地域共通ID					
連携情報の保管場所					
障害対策(バックアップ体制)					
厚生労働省標準規格の採用					
情報連携基盤技術仕様					
通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信(開示側)	○:専用線,○:インターネットVPN(IPSec+IKE)				
医療機関等との通信(閲覧側)	○:専用線,○:その他のVPN				
介護施設・その他施設との通信					
患者との通信					
医療機関・薬局用					
介護施設・その他施設用					
患者用					
システムの運用管理					
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定				
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理				

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用				千円		
運用費用				千円		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 1014

情報更新日： 2017/3/25

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	KHCNet		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	河北総合病院の電子カルテ上にある診療情報をKHCNet導入医療機関にインターネット回線を介して公開するシステム。診療情報公開にあたっては患者あるいは患者家族の同意が得られた場合に限る。		

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	地域医療支援病院である当院の使命として、この地域に診療情報連携の仕組みを広めていくことを目標として導入。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システム課、地域連携課共々現業との兼務であり、KHCNetを積極的に推進していくだけの余力がない。地域医療機関からの導入要請にもかなりの数の医療機関が待ち状態に陥っている。
運営について工夫した点、苦労した点	導入医療機関独自でパソコンを用意してもらっているため、そのスペックもバラバラで処理速度にも大きく影響。処理速度が遅い場合には、その後一度も利用されていないなどの事例も多々あり。推奨パソコンを新規に購入頂くなど、円滑な運営管理にはある程度の費用負担も致し方ないのかと実感している。
対象地域	二次医療圏での連携 区西部および練馬区、世田谷区など近隣含む
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2	40	0	20	0	0
参加団体数(予定)		0	5	0	0	0	0
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		3165		350			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ117指針), ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:看護実践用語標準マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 関東

東京都

整理番号： 1014

情報更新日： 2017/3/25

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側		
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		40000		千円			
運用費用		10000		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	5000	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用	10000		千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円	
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（その他の省庁）, 保険者の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	保険者の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 紙面ではシステム概要が判りづらく高価で面倒なものに映ると思われる。
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 画像情報の共有, 医療従事者用モバイル対応
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0158

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	サイボウズLive		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	https://cybozulive.com/		
ネットワークの概要	サイボウズ株式会社が提供する無料で利用できる汎用のグループウェアである。クラウドで稼働しており、サーバは国産で一定のセキュリティ認証を受けている。システムの通信はSSLによる暗号化、ID/PWによるログイン制限、データを端末には残さないなど、最低限のセキュリティを備えている。汎用ではあるが、使い方を工夫することにより、非常に簡便かつ安全にセンシティブ情報を共有することが可能である。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	サイボウズ株式会社		
住所	〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14後楽森ビル12F		
電話番号		所属部署	
担当者		Eメールアドレス	

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, その他 医療と介護の連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	複数県にまたがる連携 東京都
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		5			7	3	130
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名			
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		600			170		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断, その他の方式
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他
提供しているサービス項目	○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:臨床検査マスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0158

情報更新日： 2017/2/10

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用		○:学術研究等の公益目的で利用					
予算関係							
構築費用		0		千円	無料のサービス		
運用費用		0		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		サイボウズ（株）、セコム医療情報システム（株）					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数			回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回		
開示施設の患者情報への総アクセス回数			回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回		
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況					
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時)					(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0221

情報更新日： 2017/3/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	在宅医ネットよこはま多職種連携クラウドシステム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.zaitaku.in.arena.ne.jp		
ネットワークの概要	「在宅医ネットよこはま」に入会している医師と歯科医師が管理者となり、個々の患者データと日頃の状況の変化を関係する多職種間で情報共有し患者が安心して暮らせる環境を造る事を目的として横浜市全域から神奈川県内(一部)で対応しています。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 有志団体		
団体名	在宅医ネットよこはま		
住所	〒241-0825 神奈川県横浜市旭区中希望が丘111オカダ外科医院内		
電話番号	045-390-5599	所属部署	
担当者	岡田孝弘	Eメールアドレス	zaitaku-net@okada-geka.com

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策 在宅医療の多職種連携に用いているので疾患としては在宅で取り扱う全ての疾患が対象となります。
地域の課題	多職種連携がなかなか難しく一度に一気に確実に素早く連絡出来る方法はないかと検討して現在活用中です。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	医師、訪問看護師、ケアマネジャーが医療と介護の連携の主役となるものの、法人の考え方としてインターネットを利用した患者情報のやり取りを禁止しているところが何か所もあり、他の職種が利用しているものの肝心のケアマネジャーが参加していないなど困っています。システムのセキュリティーは万全でも個々のスマホやPCのセキュリティーが弱く心配することがあります。
運営について工夫した点、苦労した点	システム利用することの利点を確実に伝えるために勉強会として「多職種連携の必要性」の講義を聞いて頂いたあと、仮IDを発行し実際にシステムを動かしてもらって実習を行っています。口コミで広がっています。
対象地域	全県域での連携 神奈川県の一部
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし		横浜市南部病院			
	地域医療支援病院	なし	2	南共済病院、海老名総合病院			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 患者さんの主治医が管理者となるために、その医師の判断に委ねる
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:糖尿病, ○:認知症, ○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:その他文書, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他、各主治医が管理者となるため個々の医師の判断に委ねています。
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得、各主治医が管理者となるため個々の医師の判断に委ねています。

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型、各主治医が管理者となるため個々の医師の判断に委ねています。
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ、各主治医が管理者となるため個々の医師の判断に委ねています。
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	カナミックネットワークに依頼
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0221

情報更新日： 2017/3/14

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信 (開示側)	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信 (閲覧側)	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
患者用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程 (規定) 等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等 (規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金			額 (千円)・用途		
地域医療介護総合確保基金			額 (千円)・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業		(株) カナミックネットワーク			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0515

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	HIたんざわ・おおやまネット		
ネットワークの略称・愛称	たんざわ・おおやまネット		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	ICTを活用した地域在宅医療連携		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人秦野伊勢原医師会		
住所	〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋11番地		
電話番号	0463-81-5018	所属部署	事務局長
担当者	北村真司	Eメールアドレス	me157551@olive.ocn.ne.jp

自治体の運営への参加		
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	秦野市在宅医療・介護推進協議会

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	1	人	兼任	1
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	今後の在宅医療体制の確立およびスムーズな在宅医療への移行
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	運用費用の負担およびIT活用のない診療所への対応や病連携の構築
運営について工夫した点、苦労した点	会員との連携および基幹病院の対応
対象地域	市区町村単位での連携 秦野市・伊勢原市
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		1	13	0	0	0	8
参加団体数(予定)		3	45	0	0	0	10
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	国立病院機構神奈川病院			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, △:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:退院時サマリ, △:画像情報の共有, △:画像診断サービス, △:検査機関との連携, △:患者用IDカードの発行, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	△:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, △:処方オーダー, △:注射オーダー, △:検体検査オーダー, △:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, △:食事オーダー, △:検体検査結果, △:生理検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	△:クラウド型
情報共有形態	△:双方向での共有
地域共通ID	△:その他の共通システムを利用, C@RNA時系列ビュー
連携情報の保管場所	△:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関・薬局用	△:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	△:IDとパスワード

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0515

情報更新日： 2017/2/13

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, △:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:地域の医療費適正化の目的で利用

予算関係						
構築費用				千円		
運用費用				千円		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		富士フィルムメディカル（株）				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	全国
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 0533

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	クラウドによる医療と介護の多職種連携システム		
ネットワークの略称・愛称	あおぼモデル		
運用開始(予定)年	2017	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	訪問診療医・訪問歯科医師・調剤薬局・訪問看護ステーション・ケアマネージャー・ヘルパステーション・地域包括支援センターをクラウドで結んだ情報共有システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	横浜市青葉区医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会		
住所	〒225-0015 神奈川県横浜市青葉区窪田北3-8-6		
電話番号	045-910-3120	所属部署	青葉区在宅医療連携拠点
担当者	西川真人	Eメールアドレス	docn@nishikawa-naika-ichoka.jp

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	ランニングコストの負担
対象地域	市区町村単位での連携 横浜市青葉区
行政計画への記載	いいえ

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 費用負担なし

費用の負担	
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	(会員増加時) 医師会
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 電子処方箋(実証等), 電子おくすり手帳, 画像情報の共有, 在宅医療連携, 介護連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 関東

神奈川県

整理番号： 1061

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	未記載		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名			
住所	〒		
電話番号		所属部署	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

新潟県

整理番号： 0137

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	魚沼地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	うおぬま・米(まい)ねっと		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.uonuma-mynet.org/		
ネットワークの概要	魚沼地域、南魚沼地域及び十日町地域の一般病院、診療所及び保険薬局の間において、診療情報(検査、処方、画像データ)の共有を行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	NPO法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会		
住所	〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132		
電話番号	025-788-0485	所属部署	事務局長

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	2	人
	兼任		人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 脳卒中対策, 糖尿病対策, 疾病管理
地域の課題	慢性的な医師不足効率的な医療情報連携の必要性
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・医療従事者毎の利用頻度に差異があり、活用しているケースとそうでないケースの運用差が大きい・2年後のシステム更新時の費用確保・加入者数と参加医療機関数の地域格差
運営について工夫した点、苦労した点	操作方法や活用方法について、全てのユーザーに周知することが難しい。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		13	30		32	5
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし	6			魚沼基幹病院、南魚沼市民病院、ゆきぐに大和病院、新潟県立松代病院、ほんだ病院、五日町病院
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		17000			17000	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害, △:糖尿病
提供しているサービス項目	△:電子紹介状, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:STELLARを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	
	医科診療所	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	3000
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側	有料	2000	閲覧側	有料	2000
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	3000
	患者	開示側			閲覧側		

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	未定
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	未定

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	2781	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	67	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	7303	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	61	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	その他
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

新潟県

整理番号： 0165

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	佐渡地域医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	さどひまわりネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.sadohimawari.net		
ネットワークの概要	新潟県佐渡市内の病院・医科診療所・歯科診療所・調剤薬局・介護福祉関連施設をネットワークで結び、住民の健康をみんなで支えるシステムです。電子カルテの有無、施設の規模を問わず、参加施設が保有する情報を双方向に共有するシステムです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人佐渡地域医療連携推進協議会		
住所	〒952-1209 新潟県佐渡市千種161厚生連佐渡総合病院内		
電話番号	0259-63-6376	所属部署	さどひまわりネット事務局
担当者	永田哲	Eメールアドレス	sadohimawarinet@sado-hp.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	3	人	兼任	3
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策 医科・歯科・薬局・介護の密な連携
地域の課題	極端に少ない医療資源と地域住民の超高齢化
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,△:患者の負担が軽減した,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ネットワーク利用を前提とした日常診療・介護業務への啓蒙。施設参加率を1%にしたい(現行7割) 機器更新に対する費用確保。事務業務の増加に伴う資源確保。参加施設の参加とりやめの防止、利用促進。
運営について工夫した点、苦労した点	電子カルテのみではなく、既存機器から情報を自動で収集する仕組みの開発。情報収集障害対応。利用促進。住民同意取得。健診データ取得。
対象地域	二次医療圏での連携 佐渡医療圏
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		6	14	6	12	37	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし		なし			
	地域医療支援病院	なし		なし			
	精神科病院	なし		1	新潟県厚生農業協同組合連合会真野みずほ病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		14426			13038		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意,○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害,△:心臓疾患,△:胃・大腸がん,△:その他のがん,△:糖尿病,△:認知症,△:その他
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携,○:電子紹介状,△:電子クリニカルパス,○:退院時サマリ,○:健診情報の連携,○:画像情報の共有,○:検査機関との連携,△:在宅医療連携,○:介護連携,○:情報共有(掲示板、SNSなど),○:診療・検査予約,○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:サマリ,○:その他文書,○:検体検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果,○:その他,レセプト記載の処置(手術・麻酔含む)および注射内容、電子カルテより診断レポート・服薬指導・栄養指導・輸血実施歴、アレルギー・副作用歴・禁忌薬・感染症
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(レセコン)より取得,○:医科診療所(電子カルテ)より取得,○:医科診療所(レセコン)より取得,○:歯科診療所(レセコン)より取得,○:薬局(調剤レセコン)より取得,○:検査センター(検査システム)より取得,○:その他より取得,X線や内視鏡などの画像機器または画像管理システム

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:診療情報提供書(電子紹介状),○:JAHIS臨床検査データ交換規約,○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	有料	0
	医科診療所	開示側			閲覧側	有料	27000
	歯科診療所	開示側			閲覧側	有料	22000
	薬局	開示側			閲覧側	有料	11000
	介護施設	開示側			閲覧側	有料	11000
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用，○：学術研究等の公益目的で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担，公的資金より負担，その他 民間補助事業の利用、有料の情報掲載、他地域展開に関連する収入

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担，自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	2825	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	（立上げ時）その他
参加機関・患者拡大のメリット	集められた情報の二次利用活用
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

新潟県

整理番号： 1019

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	かえつ医療・介護ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	ときネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	医療と介護が情報共有することができる協働基盤モデル。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	新発田北蒲原医師会		
住所	〒957-8577 新潟県新発田市本町4丁目16番83号		
電話番号	0254-22-4008	所属部署	じむきよく
担当者	加藤善博、宮野知子	Eメールアドレス	ishikai@pop.shibata.ne.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	1	人	兼任	1
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 疾病管理
地域の課題	医療従事者不足による慢性的な疲弊とそれに伴うサービス低下。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	参加施設数の増加とそれに伴う収益の伸び伸び悩み。コンテンツ不足。
運営について工夫した点、苦労した点	個人情報保護や利用規則等の作成。不具合などのトラブル対応。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		18	33	2	40	88	2
参加団体数(予定)			0	0	50	2	
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし	1	新潟県立新発田病院			
	精神科病院	なし	2	黒川病院、村上はまなす病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1865			700		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, ○:糖尿病, ○:認知症, △:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:電子クリニカルパス, △:電子処方箋(実証等), △:電子版おくすり手帳, △:退院時サマリ, △:画像情報の共有, △:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, ○:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	△:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード)
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード)
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	5000	閲覧側	有料	5000
	医科診療所	開示側	有料	1000	閲覧側	有料	1000
	歯科診療所	開示側	有料	1000	閲覧側	有料	1000
	薬局	開示側	有料	1000	閲覧側	有料	1000
	介護施設	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500
	その他	開示側	有料	1000	閲覧側	有料	1000
	患者	開示側	無料		閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：地域の医療費適正化の目的で利用, △：学術研究等の公益目的で利用, △：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係					
構築費用		16087		千円	
運用費用		7171		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	4209	その他費用	2962
	連携費用	200床以上		200床以下	
				千円	
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	26265	ゲートウェイサーバ費用, 連携システム環境構築費用, ネットワーク費用, 工事・作業費用
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業		富士通（株）		千円	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担, 未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	自治体の負担, 国の負担（厚労省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	4914	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	96	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	4914	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	96	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 公の説明が重要である。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	ネットワークの外部性が高くなるため。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	電子紹介状
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 電子処方箋（実証等）, 電子おくすり手帳, 画像情報の共有, 画像診断サービス, 検査機関との連携, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス診療・検査予約
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0007

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	とやま医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	中核病院と地域の診療所間で診療情報等を相互に利用することにより、入院から在宅医療まで切れ目のない地域医療機能の連携を図ることができ、また、検査画像やレポート・カルテの閲覧等により、重複検査・診療を回避し、医療費の抑制や患者利便性の向上を図る		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	社団法人富山県医師会		
住所	〒939-8222 富山県富山市蛸川336番地		
電話番号	076-429-4466	所属部署	業務係
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的			
地域の課題			
ネットワーク導入による効果			
ネットワークが現在抱えている課題			
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域			
行政計画への記載			
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得			
患者が同意の撤回(脱退)する場合			
新たに参加施設が増えた場合			
共有できる情報項目			
利用している情報項目			
利用している情報の取得元システム			
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備			
安全管理			
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況			
	電子的診療情報評価料の算定状況		
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0060

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	高岡医療圏地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	れんけいネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	れんけいネットは、高岡医療圏における病院と診療所等における診療情報を共有し、緊密な医療連携を行うことにより、正確な診療情報に基づいた安心・安全な医療の提供と患者さんを中心とした一貫性のある切れ目のない医療の提供を実現するために構築されたネットワークシステムです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 医師会と3病院の代表者で構成		
団体名	高岡医療圏地域医療連携システム協議会		
住所	〒933-8555 富山県高岡市永楽町5番10号		
電話番号	0766-21-3930	所属部署	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院地域医療連携室

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	47				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし	1	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院		
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		1072		1072			

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	920	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	45
開示施設の患者情報への総アクセス回数	999	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	29

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0061

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	砺波医療圏医療情報連携システム
医療情報連携ネットワークの代表団体	
代表団体区分	行政
団体名	砺波広域圏事務組合
住所	〒939-1398 富山県砺波市栄町7番3号
電話番号	0763-33-1111
所属部署	砺波広域圏事務組合
自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして
同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回（脱退）する場合	同意書の撤回（脱退）文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得
共有できる情報項目	
利用している情報項目	○：患者基本情報（氏名、年齢、住所等），○：病名情報，△：サマリ，○：処方オーダー，○：注射オーダー，○：検体検査オーダー，○：放射線検査オーダー，○：内視鏡検査オーダー，○：生理検査オーダー，○：食事オーダー，○：検体検査結果，○：生理検査結果，○：画像（放射線検査、内視鏡検査等）
利用している情報の取得元システム	○：病院（電子カルテ）より取得，○：病院（画像システム）より取得，○：その他より取得，放射線・超音波・心電図のレポートを各部門システムより取得
将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定
人的なネットワーク	（立上げ時）基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	（会員増加時）基幹病院
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状，退院時サマリ
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0300

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ICTユビキタス・ホスピタルタウン射水プロジェクト		
ネットワークの略称・愛称	IMIZUNO-HOME(在宅用いみず野システム)		
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://hosp.city.imizu.toyama.jp/medical/regional/regional_ict.html		
ネットワークの概要	重症心不全の患者など、頻繁に通院することが困難な高齢者を医師、看護師が病院にいながらセンサーとテレビモニターで診ることができるシステムである。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	射水市民病院		
住所	〒934-0053 富山県射水市朴木20番地		
電話番号	0766-82-8100	所属部署	経営管理課
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0380

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	小児科等医療連携における遠隔コンサルテーション		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	南砺市のへき地診療所に対し、専門医が遠隔医療コンサルテーションシステムによって、診療所の医師を支援しながら診察を行う。		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	南砺市役所		
住所	〒939-1518 富山県南砺市北川166-1		
電話番号	0763-23-1003	所属部署	地域包括医療ケア部医療課
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	運営主体として		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 5 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	へき地医療対策, 小児医療対策		
地域の課題	へき地においては小児科専門医が不在なことから、病院の小児専門医が医師の支援をしながら診察を行う。		
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	技術進歩が早く、現在ではより安価で手軽に利用できる高品質のネットワーク形態が存在する。		
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	市区町村単位での連携 南砺市		
行政計画への記載	いいえ		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0387

情報更新日： 2017/3/29

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	中新川郡在宅連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	立山町・上市町・舟橋村(2町1村)の開業医、病院、薬局、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、介護サービス事業者などのチームによる情報共有と効果的な支援を提供するシステムである。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	上市町役場		
住所	〒930-0361	富山県中新川郡上市町湯上野8	
電話番号	076-473-2811	所属部署	上市町地域包括支援センター

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	在宅医療対策, がん対策, その他 終末期、PEGを中心とした在宅療養者。最近は難病、脳梗塞後遺症の方も登録あり
地域の課題	・医療依存度の高い在宅療養者の増加・医療・介護職の連携の必要性
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・システム入力にかかる手間が大きい・使い始めの一步がなかなかでない
運営について工夫した点、苦労した点	・医師会主導で行った・IT導入に抵抗がある事業所が多い
対象地域	その他
行政計画への記載	郡単位
	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2	8	2	11	9	15
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1				
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		7			6		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), △:サマリ, ○:看護記録, ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用		○:学術研究等の公益目的で利用					
予算関係							
構築費用		1500		千円			
運用費用		300		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	240	千円		その他費用	60 千円
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	0 千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		いいえ		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業		(株) ストローハット					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（厚生省）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		0 回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		0 回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		0 回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		0 回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時)		(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 0448

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	たてやまネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	多くの地域医療連携システムはID-LINKやHuman-BrIDgeに代表されるように診療情報参照システムである。診療所医師はそれぞれの基幹病院公開カルテシステムにID、PWを入力して初めて診療録にアクセスすることが可能である。たてやまネットは従来の参照カルテシステムとは異なり、紹介患者のデータや画像ファイルの送受信システムであり、患者の同意のもとに参加基幹病院から臨床検査データ、画像、画像レポートなどが紹介元に送信され紹介元では検査ビューア・画像ファイリング機能を有する診療支援ソフト「診療工房」に取り込んで自院の検査データと時系列比較や画像比較が可能であり、自院と基幹病院の検査・画像をシームレスに利用できる、ネットワーク上にはデータベースは存在せず基幹病院から送信されたデータファイルは中継サーバを介して紹介元医療機関のPC(もしくはサーバ)に受信され、ローカルなデータベースに格納される。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	公益社団法人富山市医師会		
住所	〒939-8087 富山県富山市大泉町2丁目11-20		
電話番号	076-425-4114	所属部署	事務局総務課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	

予算関係					
構築費用	29251		千円	医師会の診療工房の改修、VPNルータなどの設置	
運用費用	126		千円	診療工房システムのサーバ共有	
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金	はい	額(千円)・用途			連携システム環境構築費用、ネットワーク費用
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業					

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	1患者が関わるかかりつけ医、基幹病院、歯科医、健診機関(今後は介護施設や薬局)の間で情報共有することで医療・介護の連携がスムーズに進む
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時に際し、追加したサービス	電子紹介状, 在宅医療連携, 介護連携
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携, 介護連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 1064

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	新川地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	扇状地ネット		
運用開始(予定)年	2006	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	新川地域医療連携ネットワークとして、患者さんの承諾の上、黒部市民病院の電子カルテ情報を新川地域の医療機関の医師に開示している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	黒部市民病院		
住所	〒938-8502	富山県黒部市三日市1108番地1	
電話番号	0765-54-2211	所属部署	情報管理課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	病診連携をさらに密にするため
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	薬局での利用が少ない
運営について工夫した点、苦勞した点	収支は必ず赤字になる
対象地域	二次医療圏での連携 新川医療圏
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4	16	0	7	2	1
参加団体数(予定)			0	0	0	0	0
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名				
	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		8814			1760		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:画像情報の共有, ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 中部

富山県

整理番号： 1064

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備					
安全管理		○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	有料	1000
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	1000
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側	無料		閲覧側	有料	500
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	有料	500
	その他	開示側	無料		閲覧側	有料	500
	患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		16848		千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費	406	千円		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業		富士通（株）					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		自治体の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		712	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		17	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		1517	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		16	回
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		あり		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		その他					
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会			(会員増加時) 医師会		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		二次医療圏					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0024

情報更新日： 2017/2/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	脳卒中画像伝送システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	脳卒中において、自院の専門医または地域の専門医の閲覧専用携帯端末へCT画像等を送信するシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	能登脳卒中地域連携協議会		
住所	〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地		
電話番号	0767-52-3211	所属部署	
担当者		Eメールアドレス	

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	運営費の補助を行っている。	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 6 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 脳卒中对策		
地域の課題	脳血管疾患は要介護状態となる原因疾患の第1位である。脳血管疾患による後遺症の軽減には、円滑な救急搬送による迅速な治療の実施が重要であり、救急医療体制の強化が求められる。		
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題			
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	全県域での連携	石川県	
行政計画への記載	はい		

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		20				
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名			
	特定機能病院	あり	2	金沢医科大学病院、国立大学法人金沢大学附属病院		
	地域医療支援病院	あり	2	金沢医療センター、石川県立中央病院		
	精神科病院	あり				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応
その他 備考・補足	脳卒中において、自院の専門医または地域の専門医の閲覧専用携帯端末へCT画像等を送信するシステム

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側	有料	91800	閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0024

情報更新日： 2017/2/16

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	<input type="radio"/> :学術研究等の公益目的で利用

予算関係					
構築費用		43756		千円	
運用費用		1836		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	1836		千円
	連携費用	200床以上			千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額(千円)・用途	43756	連携システム環境構築費用,ネットワーク費用
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額(千円)・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費			千円
主な関連IT企業		富士通(株)			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 システムの利用施設が負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	自治体の負担,国の負担(厚労省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組		
周知・広報の施策・取組		
特に効果のあったもの・理由		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0063

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	KISS (KeijuInfomationSphericalSytem)		
ネットワークの略称・愛称	KISS (KeijuInfomationSphericalSytem)		
運用開始(予定)年	2003	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	・ 董仙会グループのカルテを開業医に公開する。・ 患者が開業医を受診し董仙会グループを紹介する場合に、患者同意の元公開を董仙会グループに申請。・ 董仙会グループの主治医の同意が出た場合に開業医を限定して公開する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院		
住所	〒926-0824 石川県七尾市富岡町94番地		
電話番号	0767-52-3211	所属部署	本部事務局情報管理課

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして		

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	4 人	兼任	0 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 疾病予防対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携 石川県
行政計画への記載	いいえ

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:地域の医療費適正化の目的で利用, △:学術研究等の公益目的で利用, △:統計結果の公益目的以外で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	30 回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	1 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	60 回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	1 回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時)	基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	地域範囲の適切なサイズ		
構築時以降に、追加したサービス	追加サービスと会員増加の関係		
	どちらとも言えない		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 遠隔医療, 遠隔カンファレンス		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0064

情報更新日： 2017/2/13

医療情報ネットワークの概要			
ネットワークの名称	KISS (KeijuInfomationSphercalSystem)		
ネットワークの略称・愛称	KISS (KeijuInfomationSphercalSystem)		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	けいじゅヘルスケアシステム(社会医療法人董仙会社会福祉法人徳充会)の各施設の医療・介護・健診情報を統一IDで結び、グループ内であればすべて参照可能・入力可能な生涯カルテとして運用		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人財団董仙会		
住所	〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地		
電話番号	0767-52-3211	所属部署	本部事務局情報管理課
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	運営主体として		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	4 人	兼任 0 人
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得		
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備,○:障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,△:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用	△:地域の医療費適正化の目的で利用,○:学術研究等の公益目的で利用,△:統計結果の公益目的以外で利用		
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	30 回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	1 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	60 回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	1 回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	チラシ配布,医療機関等への訪問		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携,電子紹介状,遠隔医療,画像診断サービス,検査機関との連携,在宅医療連携		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0073

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	医療情報連携システム		
ネットワークの略称・愛称	Aケアカード		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	https://naniwaku.a-care-card.jp/		
ネットワークの概要	このシステムは、大阪市浪速区にて運用している多職種での「医療・介護情報連携システム」です。本システムは、以下に示す4つの目的があります。■多職種の連携による、医療サービス、介護サービスの質の向上■災害時等のデータ保護と短期間での診療再開■救急搬送時の迅速な対応■医療費の削減(過剰受診の軽減、薬剤の重複投与の軽減)本システムでは、病院、診療所等で実施される血液検査の結果、及び処方された薬剤情報の他、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャーの知る患者情報をクラウドで共有することにより、多職種間の医療・介護情報の連携を行います。一般的な医療情報連携システムは、病診連携を基本としており、病院より公開された医療情報を、地域の診療所が電子カルテシステムを利用して参照する形式となっているが、本システムは病診連携を基本として考え、介護従事者とのコミュニケーションツールとしても利用できるため、電子カルテシステム等専用のシステムを導入していない診療所、介護事業者でも気軽に参加できるシステムとなっている。またシステム固有の患者IDを利用することなく、普段病院や診療所で利用しているカルテ番号を使って医療情報の検索を行う事ができるため、これまでの環境を変えずに参加できます。このシステムでは、医療情報クラウド内の患者情報について、特許第5953093号のシステム構成、および情報セキュリティ対策を用いて保護します。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	株式会社管理工学研究所		
住所	〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2リファーレ6階		
電話番号	076-265-4666	所属部署	新事業推進本部

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、疾病予防対策、疾病管理 患者の疾病統計により、地域の疾患傾向、救急搬送された患者の傾向分析を行うことができるようにする
地域の課題	一般社団法人浪速区医師会では「ブルーカードシステム」を利用した患者急変時対応カードの運用を行っていたが、より高度な医療行為の提供、迅速な対応を実現するため、医療情報をクラウド(電子)化する必要があった。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した、○:患者の負担が軽減した、○:医療機関間で機能分化が進んだ、△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	参加者が導入システムを常に使う事がシステムの有効活用には必須であり、使うためのモチベーション維持対策が重要である。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	浪速区、大正区、東成区、その他
	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	38	8	18	19	5
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1000			850		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	その他 患者が共通診察券(Aケアカード)を提示しない限り、新規施設は閲覧不可

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:脳血管障害、○:心臓疾患、○:胃・大腸がん、○:その他のがん、○:肝炎、○:糖尿病、○:認知症、△:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携、△:電子紹介状、○:遠隔医療、△:電子クリニカルパス、○:電子版おくすり手帳、△:退院時サマリ、○:健診情報の連携、△:画像情報の共有、○:検査機関との連携、○:患者用IDカードの発行、○:医療従事者用モバイル対応、△:患者による自己管理システム、○:在宅医療連携、○:介護連携、○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○:病名情報、○:診療情報提供書、○:医師記録(経過記録)、○:サマリ、○:看護記録、△:その他文書、○:検体検査結果、○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:薬局(調剤レセコン)より取得、○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有、○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用、共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置、○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター、○:ICD1対応標準病名マスター、△:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)、△:JAHIS臨床検査データ交換規約、△:標準歯科病名マスター、△:臨床検査マスター、○:JAHIS処方データ交換規約、△:看護実践用語標準マスター、△:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	△:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3、△:XDS、b、△:XDS-I、b

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:その他のVPN, ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:その他のVPN, ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	患者さんへのデータ提供はなし
医療機関・薬局用	△:2要素認証, ○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書 (ICカード)
介護施設・その他施設用 患者用	△:2要素認証, ○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書 (ICカード)

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	
	薬局	開示側	有料		閲覧側	有料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	有料		閲覧側	有料	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用, △:統計結果の公益目的以外で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担, 未定

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	400	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	72	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	900	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	72	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知 医師会主導で進めているため
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	医療、介護の質の向上
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	介護連携
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0101

情報更新日： 2017/3/8

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	いしかわ診療情報共有ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	病院及び診療所の電子カルテ等の情報を他の医療機関・施設等でも閲覧できるシステム。(地域医療再生基金を活用)		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 医師会が事務局を行う協議会		
団体名	いしかわ診療情報共有ネットワーク協議会		
住所	〒920-8660 石川県金沢市鞍月東2丁目48		
電話番号	076-239-3800	所属部署	
担当者		Eメールアドレス	
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 3 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 疾病管理		
地域の課題	急性期から回復期を経て自宅に戻るまで、患者が一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を受けることができるよう、医療連携体制を構築し、良質かつ適切な医療を提供する必要がある。		
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	診療情報共有システムをよく使用している医療機関に限られているため、もっと広く使用してもらうことが必要である。		
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	全県域での連携 石川県		
行政計画への記載	はい		
同意取得について			
医療機関等	○:施設ごとの参加判断		
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断		
患者	○:すべての施設毎に同意を得る		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得		
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害		
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:患者用IDカードの発行, ○:在宅医療連携, ○:介護連携		
その他 備考・補足			
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:その他, 共有する情報項目は参加医療機関が個別に設定する。		
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得		
医療情報連携ネットワークのシステム			
連携方式	○:分散型		
情報共有形態	○:双方向での共有		
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用		
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内		
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない		
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様		
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3, ○:XDS. b, ○:XCA, ○:CT		
通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE)		
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)		
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)		
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード		
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード		
患者用			
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備	○:運用管理規程の制定		
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ		

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		619927		千円			
運用費用		1000		千円	この他、ID-LINKサーバを設置している医療機関でID-LINKサービス利用料等の負担あり		
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	1000	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額(千円)・用途	459008	SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用		
地域医療介護総合確保基金		はい	額(千円)・用途	10800	院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用,その他		
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		日本電気(株) (株) SEC					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 参加医療機関が負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	参加施設の負担,自治体の負担,国の負担(千円)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	参加施設の負担,自治体の負担,地域の医療関係団体(医師会,その他)の負担,国の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	2863	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	157	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	16928	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	109	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 ID-LINKの初歩の使い方の説明会を行っているため。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携,退院時サマリ,画像情報の共有,患者用IDカードの発行,在宅医療連携,介護連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0327

情報更新日： 2017/3/22

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称		金沢市医師会地域医療連携システム					
ネットワークの略称・愛称		ハートネットホスピタル					
運用開始(予定)年		2013	ネットワークの稼働状況			サービス運用中	
公開URL							
ネットワークの概要		ID-LINK					
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分		医師会					
団体名		金沢市医師会					
住所		〒920-0912 石川県金沢市大手町3-21					
電話番号		076-263-6721	所属部署				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加		参画していない					
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数		専任	人	兼任	1	人	
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的		救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 糖尿病対策					
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題		・種々の診療報酬算定に関する厚生局の見解・ユーザの使用頻度の格差・利用者の二重登録の解消方法					
運営について工夫した点、苦労した点		ID-LINK開発元にシステムの仕様変更をお願いし、ライセンスフィルター機能を導入した					
対象地域		市区町村単位での連携			金沢市		
行政計画への記載		はい					
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		29	130	1	15	5	28
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	5				
	精神科病院	なし	6				
		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
参加患者数(実績数)		1975					
同意取得について							
医療機関等		○:施設ごとの参加判断					
介護施設、その他		○:施設ごとの参加判断					
患者		○:施設毎に情報連携の可否を指定					
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得		同意による取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合		同意書の撤回(脱退)文書による					
新たに参加施設が増えた場合		連携先追加の同意書による取得					
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目		○:診療情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携					
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目		○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:その他, 利用者が必要と判断した情報を記載する。上記項目の掲載も可能。					
利用している情報の取得元システム		○:病院(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:その他より取得, 主は手書き					
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式		○:クラウド型					
情報共有形態		○:双方向での共有					
地域共通ID		○:ID-LINKシステムを利用, 共通IDを使用していない					
連携情報の保管場所		ベンダーのデータセンター					
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
システムの運用管理							
運用管理規程(規定)等の整備		○:運用管理規程の制定					
安全管理		○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0327

情報更新日： 2017/3/22

蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 勉強会・セミナーの開催		
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

石川県

整理番号： 0359

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	金沢大学附属病院継続診療システム		
ネットワークの略称・愛称	たまひめネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/tamahime/		
ネットワークの概要	本院での医療情報を、患者さんが受診される医療機関でインターネット回線を用いて参照いただけるシステムです。参照できる医療情報は、薬の処方、検体検査、注射、画像、バイタルチャート、レポート、診療記録及び経過記録の各種データです。		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	金沢大学附属病院		
住所	〒920-8641 石川県金沢市宝町13-1		
電話番号	076-265-2039	所属部署	医事課地域医療連携係
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
		兼任	2
			人
同意取得について			
医療機関等	○:施設ごとの参加判断		
介護施設、その他			
患者	○:すべての施設毎に同意を得る		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合			
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携バス)			
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有 連携施設と薬の処方、検体検査、注射、画像、バイタルチャート、レポート、診療記録および経過記録の各種データの共有		
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, △:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, △:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) その他	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	全国		
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携、退院時サマリ		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

福井県

整理番号： 0242

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ふくい医療情報連携システム		
ネットワークの略称・愛称	ふくいメディカルネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.fukui.med.or.jp/fukuimedical-net/iryuu/index.html		
ネットワークの概要	福井県全体を網羅する医療情報連携システムである。診療情報を患者の同意のもと複数の情報開示病院と情報閲覧医療機関または在宅の多職種間で共有する。医療機関等における紹介状、返書、検査予約参照、診療情報共有、画像参照・画像送信、情報交換ツール、地域連携バスなどを用いることにより、本システムに参加する各種機関等が安全で安心な医療・介護サービスを提供し、地域医療の質の向上を目指します。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	ふくい医療情報連携システム運営協議会		
住所	〒910-0001 福井県福井市大願寺3丁目4番10号		
電話番号	0776-24-0387(代)	所属部署	一般社団法人福井県医師会事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	1
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、疾病管理
地域の課題	福井県全体を網羅する救急医療から在宅医療まで切れ目のない連携が必要なため。
ネットワーク導入による効果	○：患者サービスが向上した、○：患者の負担が軽減した、○：医療機関間で機能分化が進んだ、○：医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○：医療機関間の人的ネットワークが進んだ、○：医師の偏在を補う効果があった、○：患者紹介の円滑化が進んだ、○：(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○：(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	全県をカバーする形での急性医療から在宅連携まで切れ目のない情報連携システムを構築したこと。1画面で医療情報と在宅情報を俯瞰できる仕組みにしたこと。システムの継続性を考えてランニングコストを安価にしたこと。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		50	144		32	2	47
参加団体数(予定)		4	9		3	1	9
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	福井大学医学部附属病院			
	地域医療支援病院	あり	4	福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井循環器病院			
	精神科病院	あり	4	松原病院、たけとう病院、猪原病院、嶺南こころの病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内実際に情報共有している患者数			
		17050					

同意取得について	
医療機関等	○：地域全体で参加、○：施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○：地域全体で参加、○：施設ごとの参加判断
患者	○：施設毎に情報連携の可否を指定、○：すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○：脳血管障害、○：心臓疾患、○：胃・大腸がん、△：その他のがん
提供しているサービス項目	○：診療情報の連携、○：電子紹介状、○：電子クリニックパス、○：退院時サマリ、○：画像情報の共有、△：検査機関との連携、○：医療従事者用モバイル対応、△：モバイルアクセスサービス(患者)、○：在宅医療連携、○：介護連携、○：情報共有(掲示板、SNSなど)、○：診療・検査予約、○：メール、メルマガなど
その他 備考・補足	基本的には情報閲覧システムであるが、一部双方向性の機能も有する。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○：患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○：病名情報、○：診療情報提供書、○：医師記録(経過記録)、○：サマリ、○：看護記録、○：その他文書、○：処方オーダー、○：注射オーダー、○：検体検査結果、○：生理検査結果、○：画像(放射線検査、内視鏡検査等)、○：調剤結果、○：その他、患者メモ、メール、チーム機能(特定のメンバーによる情報共有ツール)、在宅連携
利用している情報の取得元システム	○：病院(電子カルテ)より取得、○：病院(画像システム)より取得、△：医師診療所(レセコン)より取得、△：検査センター(検査システム)より取得、○：その他より取得、患者メモを用いて閲覧側からサーバにアップデートすることにより閲覧側の医療介護情報が共有される。

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○：分散型、○：クラウド型、閲覧医療機関からのアップロード情報等はクラウドサーバに保存される。
情報共有形態	△：双方方向での共有、○：参照のみ、基本的には参照であるが、一部の機能を使えば双方方向での共有が可能。
地域共通ID	○：HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○：各医療機関の院内、○：院外のデータセンター、メール、連携からのアップロード情報、チーム機能情報、連携バスはデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	△：提供ベンダーのサービスを利用、○：磁気メディア等のバックアップデータを保存、今後開示病院情報サーバのバックアップも検討予定
厚生労働省標準規格の採用	○：患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供)、○：医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)、△：JAHIS臨床検査データ交換規約、△：臨床検査マスター、○：JAHIS処方データ交換規約、○：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 中部

福井県

整理番号： 0242

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN		
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）		
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）		
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード, 閲覧端末は機器認証、ID、パスワードの3種認証をしている。		
介護施設・その他施設用 患者用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード, 閲覧端末は機器認証、ID、パスワードの3種認証をしている。		
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用		
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	未定		
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット	スケールメリットが期待できる。		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス	医療従事者用モバイル対応, 在宅医療連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）, その他のサービスメール、メルマガなど		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 退院時サマリ, 健診情報連携, 検査機関との連携, 在宅医療連携		
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上		

地域・都道府県： 中部

福井県

整理番号： 0265

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	TRITRUS (トリトラス)		
ネットワークの略称・愛称	坂井地区在宅情報共有システム		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	・クラウド型ITシステム・主な機能「ケアレポート」…多職種で情報交換や相談ができる掲示板「フェイスシート」…治療・ケアの基本情報を集約して共有「カレンダー」…多職種のサービス提供状況が分かるカレンダー		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	坂井地区広域連合		
住所	〒919-0526 福井県坂井市上兵庫40-15		
電話番号	0776-91-3309	所属部署	坂井地区広域連合介護保険課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	在宅医療・介護に携わる多職種スタッフの連携強化
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		7	19	8	6	6	99
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		137			65		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	○:地域全体で参加
患者	その他の方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, カナミッククラウドサービス
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

地域・都道府県： 中部

福井県

整理番号： 0265

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 学会・研究会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部 山梨県 整理番号： 0246 情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	富士・東部地域患者情報共有システム		
ネットワークの略称・愛称	Ft-Net		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	Ft-Netは患者様がどのような薬を服用しているか、どのような検査を行いどのような結果であったかを富士・東部地域の医療機関等が共有し、患者様の診療に役立てるためのシステムです。Ft-Netの活用により、かかりつけ医以外での受診や救急時等、最善の医療が受けられるだけでなく、重複投薬、重複検査の防止にもつながります。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人富士吉田医師会		
住所	〒403-0013 山梨県富士吉田市緑ヶ丘2-7-21		
電話番号	0555-22-5186	所属部署	
担当者	立澤教夫	Eメールアドレス	mac@etude.ocn.ne.jp

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	Ft-Net利用者として参加	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	医師中心のシステムとして開発したことから、介護・福祉・在宅医療を支援する機能が乏しい。
運営について工夫した点、苦労した点	地域および組織それぞれの考え方や運用形態があるため、意見の集約には苦労した経緯があるが、協議を重ねる中で妥協も譲歩も抵抗もしながら1本化していくことができた。
対象地域	その他 富士・東部地域
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
参加団体数(実績)		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(予定)		6	76	30	37	59	25
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数		施設名		
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし	6	富士吉田市立病院山梨赤十字病院都留市立病院大月市立中央病院上野原市立病院		
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		38000			38000		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:検査機関との連携, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(レセコン)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:臨床検査マスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 中部

山梨県

整理番号： 0246

情報更新日： 2017/3/2

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	有料	275
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	275
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	275
	薬局	開示側	無料		閲覧側	有料	275
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	有料	275
	その他	開示側	無料		閲覧側	有料	275
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	113	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	24	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	113	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	24	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 質疑応答等も用意できるから
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	地方ブロック
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	遠隔カンファランス, 健診情報連携, 画像診断サービス, 在宅医療連携, 介護連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

山梨県

整理番号： 0280

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	峡南地域患者情報共有システム		
ネットワークの略称・愛称	KOMPAS		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	山梨県峡南地域の医療機関等をセキュアなネットワークで接続し、患者の診療情報を共有することにより、医療連携を緊密に行うシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 地域内病院診療所の協議会		
団体名	峡南地域患者情報共有システム運営協議会		
住所	〒400-0601 山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢		
電話番号	0556-22-3150	所属部署	峡南医療センター企業団経営管理局総務人事課
担当者	中沢功	Eメールアドレス	

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	救急をはじめとする医療提供体制の立て直しや在宅医療の充実等が課題となっている。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システム運用の核となる人材の確保
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 峡南医療圏
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
参加団体数(実績)		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(予定)		6	18	8			
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設名					
	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		5640		25			

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:サマリ, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ, 病院は双方方向、病院以外の診療所等は参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない、電子カルテやレセコンからの復元が可能
厚生労働省標準規格の採用	○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理						
運用管理規程（規定）等の整備		○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備				
安全管理		○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理				
利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	
蓄積された個人情報・診療情報の利用						
個人情報・診療情報の利用						
予算関係						
構築費用		179600		千円		
運用費用		1920		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	1900	千円		
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円		
主な関連IT企業		(株) ウインテックコミュニケーションズ, (株) ワイ・シー・シー				
将来のシステムの更改の費用負担						
将来のシステムの更改の費用負担						
費用の負担						
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績						
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況						
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況		
普及に向けた施策・取組						
周知・広報の施策・取組						
特に効果のあったもの・理由						
人的なネットワーク		(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット						
地域範囲の適切なサイズ						
構築時以降に、追加したサービス						
追加サービスと会員増加の関係						
会員増加に効果的なサービス						
サービス強化の決定理由						

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0034

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	信州メディカルネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	信州メディカルネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.shinshu-medicalnet.org		
ネットワークの概要	信州メディカルネット協議会が運営する「信州メディカルネット」は、IT(情報通信技術)を用いた医療連携により、地域に発生する診療情報を患者さんの同意のもとで複数の医療機関で共有することによって、関連医療機関における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し自施設の診療に反映させることで、安全で高品質な医療を提供し地域医療の質の向上を目指すものです。このシステムは、電子カルテが導入されている医療機関の患者さんに関して、紹介・逆紹介の際に迅速かつ詳細な情報共有を可能にします。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	信州メディカルネット協議会		
住所	〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1		
電話番号	0263-37-3174	所属部署	事務局

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任
			4 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 脳卒中対策 従来から運用されている既存のパスについて、システム利用を検討している(継続中) 救急・在宅医療対策を検討中
地域の課題	二次医療圏内のみならず、二次医療圏を超えた医療機能連携や高次医療の提供
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・診療情報を提供する中核病院が負担する地域医療連携システムの導入経費が高額・ベンダーが異なる地域医療連携システム間の連携、相互利用
運営について工夫した点、苦労した点	診療情報提供病院のシステム導入時期等が異なるため、システムレベルの相違があり、機能を十分に活用できていなかった。26年度にシステムレベルを統一できた。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		44	116	9		
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	信州大学医学部附属病院		
	地域医療支援病院	あり	7	信州上田医療センター諏訪赤十字病院伊那中央病院飯田市立病院相澤病院まつもと医療センター松本病院長野赤十字病院		
	精神科病院	あり	1	長野県立こころの医療センター駒ヶ根		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数	
		6079			6079	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:その他
提供しているサービス項目	○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携
その他 備考・補足	各公開病院毎の方針により項目を指定して診療情報を公開

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), 各公開病院毎の方針により範囲を指定して実施
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, ○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用, △:(光)タイムラインを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0034

情報更新日： 2017/3/2

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な運用管理規程等の見直し,△:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	10000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料	2000	閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	有料	2000	閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		12000		千円			
運用費用		2000		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	2000	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用			
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		富士通（株）,日本電気（株）					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担,自施設の負担,国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	医療資源の有効活用、情報共有の迅速化
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時に降に、追加したサービス	在宅医療連携,介護連携
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携,電子紹介状,在宅医療連携,介護連携
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0179

情報更新日： 2017/4/7

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	慈泉会診療情報開示システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2002	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	社会医療法人財団慈泉会施設から紹介先の医療機関に対して、診療情報の開示を行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人財団慈泉会		
住所	〒390-8510 長野県松本市本庄2-5-1		
電話番号	0263-33-8600	所属部署	情報システム部

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	111		17	0	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
		精神科病院					
		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
参加患者数(実績数)							

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:病名情報,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0345

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要				
ネットワークの名称	県立病院間高画質診療支援ネットワーク構築事業			
医療情報連携ネットワークの代表団体				
代表団体区分	病院			
団体名	地方独立行政法人長野県立病院機構			
住所	〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2			
電話番号	026-235-7160	所属部署	本部事務局経営企画課	
自治体の運営への参加				
自治体の運営への参加	参画していない			
医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	0 人	兼任 2 人	
医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回	
診療報酬加算の算定状況				
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし		電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組				
周知・広報の施策・取組				
特に効果のあったもの・理由				
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット				
地域範囲の適切なサイズ				
構築時以降に、追加したサービス				
追加サービスと会員増加の関係				
会員増加に効果的なサービス				
サービス強化の決定理由				

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0392

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子チームケア		
ネットワークの略称・愛称	e-madoシステム		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	試験運用中(実証事業を含む)
公開URL			
ネットワークの概要	病院医療-在宅医療高度連携のための、医師-看護-患者(家族)-リハ-介護の情報共有・テレモニタリングシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	特定非営利活動法人e-MADO病気のこどもの総合ケアネット(略称e-MADO)		
住所	〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1信州大学医学部附属病院内		
電話番号	0263-38-7156	所属部署	事務局
担当者	滝沢正臣	Eメールアドレス	office-takizawa@e-mado.org

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	連携団体	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	4人	兼任
			3人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 小児医療対策, 医療連携, 在宅医療対策		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった		
ネットワークが現在抱えている課題	診療報酬		
運営について工夫した点、苦労した点	高額な通信料		
対象地域	全県域での連携		
行政計画への記載	長野県		

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		6	1	1	1	2	8
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		40			40		

同意取得について	
医療機関等	△:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	△:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:その他のがん, ○:その他
提供しているサービス項目	○:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他(備考・補足)	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:サマリ, ○:看護記録, ○:その他文書
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	△:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側				閲覧側	
	医科診療所	開示側				閲覧側	
	歯科診療所	開示側				閲覧側	
	薬局	開示側				閲覧側	
	介護施設	開示側				閲覧側	
	その他	開示側				閲覧側	
	患者	開示側				閲覧側	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係								
構築費用		50000		千円				
運用費用		3000		千円				
内訳	運用費内訳	保守費	3000	千円		その他費用	2000	千円
	連携費用	200床以上		千円		200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途						
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途						
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定のネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円	
主な関連IT企業		キッセイコムテック（株）						

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0453

情報更新日： 2017/3/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	飯田下伊那診療情報連携システム		
ネットワークの略称・愛称	[ism-Link]イズムリンク		
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	飯田市立病院WEBサイト内(公式サイトは現在制作の検討中)		
ネットワークの概要	NECのID-LINKによる飯伊医療圏(2次)診療情報連携システム。病病・病診連携での閲覧を中心とした利用から次の利用方法である診診・病診介の情報共有、連携ツールとして、プラットフォームの役割を担うシステムを目指す。地域住民が安心安全な医療と在宅ケアを、自分たちの住む地域内で受けるためのインフラ構築。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	南信州広域連合		
住所	〒395-0034 長野県飯田市追手町2-678長野県飯田合同庁舎5F		
電話番号	0265-53-7100	所属部署	事務担当：飯田市立病院地域医療部地域医療連携係
担当者	丸山晃治	Eメールアドレス	ic1705@city.iida.nagano.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として データセンター構築中につき、その実施主体として参画「南信州広域連合」

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	7	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、糖尿病対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理 地域包括ケアシステムとの連携で、医療情報と予防医療に関する保健師情報などのドッキングが必要。今後は、住民の健康維持、糖尿病、CKDなどの疾病予防の健康管理ツールとしての機能を持たせたい。透析患者を減らすためのツールとしても効果を発揮するものと考ええる。
地域の課題	地域完結型医療の基盤整備として着手。地域内病院カルテ電子化事業と並行して、診療所も含めた地域内12医療機関の医療情報のICTネットワーク構築の必要性が求められたため。超高齢化、少子化、人口減少時代に即した効率的な連携システムの必要性があったため。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,△:患者の負担が軽減した,○:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	高度且つ簡単なセキュリティの確保。(ユーザー側が安心して使えるような仕組み) 電子的な事務処理に関しての、医療と介護双方の診療報酬上の評価が必要。電子入力しても、改めて別書式への転記が必要のため、効率性に関してはまだまだ向上の余地がある。診療報酬や介護報酬の改定に合わせて、これらの課題が解消されるような仕組みを考えて頂きたい。2重入力の手間を省くことが、今後の利用拡大への鍵となる。加算点数の評価の見直しもご検討願いたい。電子的診療情報評価料については、紹介受診時1回のみインセンティブでは、利用促進には繋がりにくいと考えます。
運営について工夫した点、苦労した点	実際の連携が必要な患者のみ同意書を求めているため、利用者拡大が遅れが生じている。本人の同意を今後どのように取り扱うか、地域全体としての考え方の整理が必要。また、サーバ設置が必要な公開病院などは、維持経費の負担増が課題。実質的な経営のメリットが現時点では得られにくいため、何らかの国レベルでのサポートが必要である。システム更新にかかる補助金事業がないため、今後の持続的な維持管理が課題。⇒216年度診療報酬改定で一定の評価を頂いたことは一歩前進。クラウド化に向けての法整備を急がれたい。
対象地域	二次医療圏での連携 飯伊医療圏,必要に応じて、信州メディカルネット(信州大学病院など2次医療圏をこえた医療機関)との情報共有をしている。
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		11	60	0	35	2	12
参加団体数(予定)			10	10	10	50	
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	あり	1	信州大学医学部付属病院		
		地域医療支援病院	あり	1	飯田市立病院		
		精神科病院	あり	1	社会医療法人栗山会飯田病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		15400			15000		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折,○:脳血管障害,○:胃・大腸がん,○:その他のがん,△:肝炎,△:糖尿病,△:認知症,○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,△:電子紹介状,△:遠隔カンファランス,△:電子クリニカルパス,△:電子版おくすり手帳,△:退院時サマリ,△:健診情報の連携,○:画像情報の共有,○:医療従事者用モバイル対応,○:在宅医療連携,○:介護連携,○:情報共有(掲示板、SNSなど),○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	電子お薬手帳は、すでに薬剤師会として導入の意思決定済み。具体的な地域全体での取り組みは、28年度より開始している。南信州広域連合を中心に、関係各機関と具体的な導入に向けた協議検討を重ねている。

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 0453

情報更新日： 2017/3/14

共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:診療情報提供書,○:サマリ,○:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:検体検査結果,△:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果						
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得,○:医科診療所(電子カルテ)より取得,○:医科診療所(レセコン)より取得,△:歯科診療所(電子カルテ)より取得,△:薬局(調剤レセコン)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:クラウド型,H28年度末にデータセンター構築完了⇒稼働中						
情報共有形態	○:双方方向での共有						
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用						
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置,△:他地域との複製データ共有						
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター,○:ICD1対応標準病名マスター,○:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:JAHS臨床検査データ交換規約,○:標準歯科病名マスター,○:臨床検査マスター,○:JAHS放射線データ交換規約,○:HIS,RIS,PACS,モダリティ間予約,会計,照射情報連携指針(JJ117指針),△:JAHS処方データ交換規約,△:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン,△:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様						
情報連携基盤技術仕様	△:PIX/PIXV/PDQ/PDQV3,△:XDS.b,△:XDS-I.b,△:XCA,△:XCA-I,△:CT,△:ATNA,△:XDR,△:XCPD						
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)						
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
患者との通信							
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード,△:HPKI電子証明書(ICカード)						
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード						
患者用							
システムの運用管理							
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備,○:障害・災害時の対応規定の制定						
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),○:定期的な運用管理規程等の見直し,△:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理						
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用						
予算関係							
構築費用	91956	千円	5病院分				
運用費用	2816	千円	5病院分				
内訳	運用費内訳	保守費	800	千円	その他費用	2980	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		額(千円)・用途					
地域医療介護総合確保基金	はい	額(千円)・用途	15200		SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用		
その他の公的資金	構築費用		千円				
	運用費用		千円				
実施予定のネットワーク	構築費用		千円				
	運用費用(運用費内訳)	保守費	千円		その他費用	千円	
主な関連IT企業	(株)SEC,(株)石川コンピュータ・センター						
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担,その他 この仕組みは公的資金が診療報酬として負担すべきであり病院の持ち出し(善意)に頼っているは今後維持できずに必ず崩壊すると考えます。						
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	参加施設の負担,自治体の負担,国の負担(厚労省),国の負担(総務省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)					
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	参加施設の負担,自治体の負担,地域の医療関係団体(医師会,その他)の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)					
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回				
開示施設の患者情報への総アクセス回数	82848回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	48回				
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり				
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,効果的な会議での周知,勉強会・セミナーの開催,医師会を通じた周知						
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催						
人的なネットワーク	(立上げ時)基幹病院	(会員増加時)医師会					
参加機関・患者拡大のメリット	医療情報等の共有が地域全体に浸透することで、地域住民が安心安全な医療の提供を受けられる仕組みづくりの実現に近づく。高齢化社会の中で、医療における物理的障壁の不利を医療者側、患者側双方で解消できる。						
地域範囲の適切なサイズ	全国						
構築時以降に、追加したサービス	医療従事者用モバイル対応,在宅医療連携,介護連携						
追加サービスと会員増加の関係	そう思う						
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携,電子紹介状,遠隔医療,遠隔カンファレンス,電子処方箋(実証等),電子おくり手帳,退院時サマリ,健診情報連携,画像情報の共有,画像診断サービス,検査機関との連携,在宅医療連携,介護連携,その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど),その他のサービス診療・検査予約,その他のサービス空床情報						
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上						

地域・都道府県： 中部

長野県

整理番号： 1102

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	小児在宅療育電子連絡帳ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	長野こどもしろくまネットワーク		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	患者、患者家族、医療機関、行政、教育機関、介護施設、薬局、訪問看護ステーション、在宅サービス提供者等の参加者による小児在宅療育電子連絡帳ネットワーク		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	長野県立こども病院		
住所	〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100		
電話番号	0263-73-6700	所属部署	療育支援部
担当者	細川朱美	Eメールアドレス	hosokawa-akemi@pref-nagano-hosp.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	小児在宅医療患者と家族の生活の質を高めるために、対象患者とその家族が主体的に病院、訪問サービス、通所サービス提供者等と情報連携が図られること、また継続的な在宅医療の提供および小児の地域包括ケアシステムの構築が課題であった。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ネットワークの必要性は十分に感じてはいるものの、導入側のセキュリティに対する不安からはじまり、予算や時間等の根本的な課題がある。
運営について工夫した点、苦労した点	情報管理を行う民間の業者を雇用し協力してもらった。その協力者がいないと専門的な部分が、病院職員では補えない。
対象地域	全県域での連携 長野県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4	2	1	1	2	14
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	2	飯田市立病院、伊那中央病院			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		23			23		

同意取得について	
医療機関等	その他の方式 対象患者により参加声かけ
介護施設、その他	その他の方式 対象患者により参加声かけ
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:患者による自己管理システム, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, 特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），厚生省ガイドラインに準拠（4.1版）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），厚生省ガイドラインに準拠（4.1版）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），厚生省ガイドラインに準拠（4.1版）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	○：IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），△：定期的な運用管理規程等の見直し，△：従事者との守秘義務契約，△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：学術研究等の公益目的で利用

予算関係							
構築費用		4982	千円				
運用費用		3114	千円				
内訳	運用費内訳	保守費	1074	千円	その他費用	2040	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	3538	その他		
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	1975	その他		
その他の公的資金	構築費用	4982	千円				
	運用費用		千円				
実施予定のネットワーク	構築費用		千円				
	運用費用		千円				
	（運用費内訳）	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		中部テレコミュニケーション（株）					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定，その他 公的資金、サービス利用料の有料化等々、模索中

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1782	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	1	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	1116	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	1	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布，説明会の開催，医療機関等への訪問，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 説明会において、ネットワークの詳しい説明を聞き、実際の画面や操作方法を見たり体験していただくことで、より身近なものとして理解が深まり参加に繋がった。
人的なネットワーク	（立上げ時） その他 （会員増加時） 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	多職種間での情報共有、連携による包括的ケアが実施できる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状，遠隔カンファレンス，電子版糖尿病手帳，退院時サマリ，在宅医療連携，その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど），その他のサービスメール、メルマガなど
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0079

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	病院間医療情報連携システム		
ネットワークの略称・愛称	救急医療搬送システム（岐阜県PJ名称）		
運用開始（予定）年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://gifu99.jp/		
ネットワークの概要	救急搬送等で病院に搬送された患者さんを、病院間でレントゲン等の患者情報を共有しTVカンファレンスを実施することで転送判断を支援するシステムです。（県内連携病院をVPN回線で接続し、MEDICAカードをプラットフォームとしているGEMITSシステムの5つのモジュールの内の1つで、現在本稼働中のものです。GEMITSについては別シートで回答します。）現在12病院が接続しているが今後岐阜県内の20病院まで、拡張する予定である。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人岐阜救急災害医療研究開発機構		
住所	〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野内		
電話番号	058-230-6447	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	2	人	兼任	0
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数（実績）		13					
参加団体数（予定）							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
参加患者数（実績数）							

同意取得について	
医療機関等	△：地域全体で参加，○：施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	△：参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回（脱退）する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病（連携パス）	△：大腿骨頸部骨折，○：脳血管障害，○：心臓疾患，△：胃・大腸がん，△：その他のがん，△：肝炎，△：糖尿病，△：その他
提供しているサービス項目	○：診療情報の連携，○：遠隔医療，○：遠隔カンファレンス，△：電子クリニカルパス，△：健診情報の連携，○：画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	△：集中型，○：分散型
情報共有形態	○：双方向での共有，○：参照のみ
地域共通ID	○：その他の共通システムを利用
連携情報の保管場所	○：各医療機関の院内，○：院外のデータセンター
障害対策（バックアップ体制）	
厚生労働省標準規格の採用	○：医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：IP-VPN，○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：IP-VPN，○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード，△：HPKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0079

情報更新日： 2017/3/2

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用		170000		千円		
運用費用		10000		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	9000	千円	その他費用	1000 千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0 千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円		
	運用費用	0		千円		
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0 千円
主な関連IT企業		冲電気工業（株）,（株）パケモ				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0082

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	GEMITS		
ネットワークの略称・愛称	救急医療体制支援システム		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://gifu99.jp/		
ネットワークの概要	GEMITSで構築する仕組みは、「救急患者が最短時間で最適な医療チームに搬送され、最適な治療を受ける」地域救急医療の最適化を実現するものである。[システムモジュール]・救急車適正利用トリアージシステム(総務省委託事業)・病院前医療連携システム(経済産業省委託事業)・病院間医療情報連携システム(総務省委託事業)→本稼働回答済み・ID連携システム(総務省委託事業)・緊急介護支援システム(総務省)		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人岐阜救急災害医療研究開発機構		
住所	〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野内		
電話番号	058-230-6447	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	2	人	兼任	0
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携 岐阜県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		13				4	
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	岐阜大学医学部附属病院			
	地域医療支援病院	あり	6	岐阜市民病院、木沢記念病院、岐阜県総合医療センター、岐阜赤十字病院、岐阜県立多治見病院、松波総合病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, △:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, ○:処方オーダー, △:注射オーダー, △:検体検査オーダー, △:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, △:食事オーダー, △:検体検査結果, △:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, ○:その他の共通システムを利用
連携情報の保管場所	△:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, △:待機系サーバを遠隔地に設置, △:他地域との複製データ共有, △:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	△:専用線, ○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE), △:その他のVPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	△:専用線, ○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE), △:その他のVPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	△:専用線, ○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE), △:その他のVPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	△:専用線, △:インターネットVPN(IPSec+IKE), △:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード), △:その他のICカード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード), △:その他のICカード
患者用	○:IDとパスワード, ○:ICカード

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0082

情報更新日： 2017/3/2

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用, △：学術研究等の公益目的で利用

予算関係							
構築費用		170000		千円	別シートで回答済みと重複		
運用費用		10000		千円	別シートで回答済みと重複		
内訳	運用費内訳	保守費	9000	千円	その他費用	1000	千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	700000		千円	4システム合算額		
	運用費用	0		千円	未定		
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 将来的には県の救急システムへの組込で対応したい。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（経産省）, 国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	未定
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	未定

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0075

情報更新日： 2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	岐阜県包括的地域ケアネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	はやぶさネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://hayabusa.gifu.med.or.jp/		
ネットワークの概要	病院、有床診療所、無床診療所等の医療機関、介護・福祉施設等の間において情報共有、相互連携等の機能補完を図る目的で構築したネットワーク		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人岐阜県医師会		
住所	〒500-8510 岐阜県岐阜市藪田南三丁目5-11		
電話番号	058-274-1111	所属部署	事業課
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0163

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	大垣市民病院医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	オーエムネット (OMNet)		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.ogaki-mh.jp/medical/omnet/index.html		
ネットワークの概要	当院で行った診療の情報を、地域医療機関の医師・歯科医師がインターネット回線を介して、迅速で正確に患者情報を閲覧できるようネットワークを構築し、地域における安心・安全で、一貫した医療の提供を実現する体制を整備するもの。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	大垣市民病院		
住所	〒503-8502 岐阜県大垣市南類町4丁目86番地		
電話番号	0584-81-3341	所属部署	地域医療連携部よろず相談・地域連携課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システム運用主体側(自治体)の人的・費用的負担の増加
運営について工夫した点、苦労した点	利用者のシステム初期導入(PC設定)は各自で行うこととなっているが、実際、導入設定が困難な場合が多く、電算担当職員が訪問設定を行っている。またシステムの不具合の際も電算担当職員が訪問して確認しているため、業務量の増加につながっている。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	西濃医療圏
	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		6	51	21		1
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名		
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		11724		11724		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:在宅医療連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	閲覧できる当院保管患者情報:処方(内服・注射)、画像・レポート、検体検査結果、診療情報提供書、退院サマリ、処置に関する情報、心電図検査結果。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:その他, 処置オーダー
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	運用上は集中型。システム自体は分散型に対応可。
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ, 双方向は特定の文書のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	情報提供病院内(大垣市民病院)
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:その他のVPN, △:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:その他のVPN, △:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0163

情報更新日： 2017/2/23

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担, その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1378	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	43	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	13884	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	42	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	DM送付, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	DM送付
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0256

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	岐阜県地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	ぎふ清流ネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.gifu.med.or.jp/seiryu.html		
ネットワークの概要	最新の検査データや画像データ等を参照することにより、外来や在宅医療に役立てる		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

岐阜県

整理番号： 0479

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	HOMEMEDICALCARESUPPORTSYSTEM		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	在宅医療クリニックと訪問看護ステーション、薬局の情報を共有するためのクラウドを利用したシステム。現在のところ患者情報、診療録、処方、ケアチームなどが閲覧できるようになっている。地域介護スタッフはITシステムに慣れておらず、日々のコミュニケーションはベッドサイドにある紙カルテ/報告書などでやりとりしている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 医療法人		
団体名	医療法人かがやき		
住所	〒501-6011 岐阜県羽島郡岐南町八剣北1-180-6		
電話番号	058-213-7830	所属部署	

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			1		1		
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数 1300		その内の実際に情報共有している患者数 200			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る,○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	
利用している情報の取得元システム	○:医科診療所(電子カルテ)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,△:セキュリティポリシーの制定,△:運用管理規程の制定,△:操作マニュアルの整備,△:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),△:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	参加施設の負担,国の負担(厚労省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	25800	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数 2 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数 2 回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	その他		
特に効果のあったもの・理由	その他		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) その他	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上,その他		

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 0038

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル		
ネットワークの略称・愛称	ふじのくにねっと		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.fujinokuni-net.jp/		
ネットワークの概要	複数の開示施設と複数の参照施設で診療情報を共有できるN対Nの連携システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 協議会		
団体名	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会		
住所	〒420-8527 静岡県静岡市葵区北安東4丁目27番1号		
電話番号	054-247-6111	所属部署	静岡県立総合病院地域医療ネットワークセンター

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策,へき地医療対策,医療連携,在宅医療対策
地域の課題	医師不足、都市部への医療機関集中による医療資源の地域偏在、東海地震発生時の情報連携
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,○:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,○:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	機器更新費用、協議会運営費用、協議会運営体制
運営について工夫した点、苦労した点	・地域の理解を得るため、医師会などで何度も説明したこと。・医療情報の取り扱いについて、特に薬剤師や看護師など医師以外の職種へ情報開示することについて議論を重ねたこと。・費用負担について考えること。・現状分析するための数値的指標がなく、項目から考え出し、数値がとれるよう調整したこと。・N:Nの形にするため、情報開示施設側へ何度も説明をして、今も時間を割いて相談にのっていること。
対象地域	全県域での連携 静岡
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		28	84	0	47	2	9
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし		施設名			
	地域医療支援病院	なし	7	静岡県立総合病院、静岡済生会総合病院、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、市立島田市市民病院、中東連総合医療センター、磐田市立総合病院			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		25000			18785		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意,○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害,△:その他
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携,△:電子紹介状,○:遠隔医療,△:電子処方箋(実証等),○:退院時サマリ,○:画像情報の共有,○:医療従事者用モバイル対応,○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	参加している各中核病院によってサービスが異なる為、一概にすべてを行っているわけではない。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,△:診療情報提供書,△:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,△:生理検査オーダー,○:検体検査結果,△:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得,○:医科診療所(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	△:診療情報提供書(電子紹介状),△:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	○:CT,△:ATNA

通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN				
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)				
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)				
患者との通信					
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード				
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード				
患者用					
システムの運用管理					
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備				
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ				
蓄積された個人情報・診療情報の利用					
個人情報・診療情報の利用					
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1894	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	62	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	5181	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	62	回
診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり		
普及に向けた施策・取組					
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知				
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 訪問することで、よりきめ細かな対応ができる。				
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院			
参加機関・患者拡大のメリット	医療の質の向上				
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏				
構築時に際し、追加したサービス	退院時サマリ, 医療従事者用モバイル対応, 在宅医療連携, 介護連携				
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない				
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 健診情報連携, 画像情報の共有, 患者用IDカードの発行, その他のサービス診療・検査予約				
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上				

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 0080

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	静岡県在宅医療・介護連携情報システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.shizuoka.med.or.jp/zaitaku-c/		
ネットワークの概要	・静岡県地域医療再生計画「静岡県在宅医療推進センター事業」の一環として実施・在宅医療・在宅療養に取り組む医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等の関係機関が、患者の最新の医療情報を共有化して、円滑な連携を図るためのシステム・医療・介護系の施設が特徴や空き情報を登録することで、退院調整時などに施設・サービスを複合的に検索し、マッチングを可能とするシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	静岡県医師会		
住所	〒420-0839	静岡県静岡市葵区鷹匠3-6-3	
電話番号	054-246-6151	所属部署	事務局業務第2課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	静岡県によるランニングコストに対する補助金の大幅減額、補助終了に伴う運営費負担
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携 静岡県
行政計画への記載	いいえ

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

利用している情報の取得元システム	
------------------	--

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:プライムアーチを利用, ○:独自開発のシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	△:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料
	患者	開示側			閲覧側	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 0080

情報更新日： 2017/3/2

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	自治体の負担, 国の負担 (厚労省), その他	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	6130 回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス	画像情報の共有, その他のサービス情報共有 (掲示板、SNSなど), その他のサービス空床情報, その他のサービスメール、メルマガなど		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 0194

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	静岡県駿東地区広域救急医療情報共有システム		
ネットワークの略称・愛称	ESMAT (エスマット)		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	試験運用中(実証事業を含む)
公開URL			
ネットワークの概要	救急車に搭載した携帯情報端末から入力した患者情報および搬送履歴を、医療機関と救急隊が共有することにより、搬送先医療機関の円滑な決定と救急隊員の業務の省力化を図ることを目的とする。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 3医師会(沼津、三島市、御殿場市)が事業実施主体として設置した任意団体		
団体名	広域救急医療体制構築委員会		
住所	〒410-0881 静岡県沼津市八幡町82番地		
電話番号	055-962-1009	所属部署	沼津医師会広域救急担当
担当者	栗田恒夫	Eメールアドレス	kurita@numazu-med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策、災害医療対策 当地域では、二次救急を医師会単位で実施してきたが、担当する医療機関の減少により二次救急医療体制の維持が困難となっている。このような状況に対応するため、近隣の3医師会の管轄エリアを対象として、救急医療の広域化への取り組みを進めているが、救急医療の広域化を円滑に実現するためには、救急隊と医療機関の情報の共有が必要となる。
地域の課題	医師不足による二次救急参加可能医療機関の減少に伴い、医師会単位で実施していた2次救急医療体制の維持が困難となり、救急の広域化を進めるにあたり、救急搬送の円滑化を図るため、救急隊と医療機関の情報の共有が必要となった。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した
ネットワークが現在抱えている課題	救急医療情報システムを利用することについて、医療機関のメリットがないので、利用が低調であること。情報システムの効果の検証を続けるため、搬送困難事例の発生回避効果に焦点を絞って運用をしている。
運営について工夫した点、苦労した点	従前の救急医療情報システムにおいて、医療機関が情報を入力するシステムは機能しないことが証明されていたので、救急隊が患者情報を入力して受入要請を行い、医療機関は受入の可否だけを入力することとした。
対象地域	その他 駿東地方二次医療圏の一部
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		13	3			3
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし	2			
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	○:地域全体で参加
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	1 救急隊と医療機関の間の救急患者情報と搬送履歴の共有。2 救急隊相互および医療機関相互の救急患者情報と搬送履歴の共有

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:病名情報, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:その他, 搬送履歴
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得, 救急隊、医療機関

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 0194

情報更新日： 2017/2/15

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：学術研究等の公益目的で利用, △：統計結果の公益目的以外で利用

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担, 国の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	36	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 1023

情報更新日： 2017/3/9

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	花と夕陽のネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要			

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	西伊豆健育会病院		
住所	〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科138-2		
電話番号	0558-52-2366	所属部署	西伊豆健育会病院医療連携室
担当者	山本成久	Eメールアドレス	naruhisa-yamamoto@nishiizu.gr.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	へき地医療対策, 医療連携
地域の課題	高齢者対応(看取り・認知症・老老介護・独居)
ネットワーク導入による効果	○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	当施設をご利用にならない患者さんの情報が利用できないこと
運営について工夫した点、苦労した点	当地区の医療圏にある病院は当院のみ。地域連携ネットワークとしては当院の情報を開示し関連施設からの問い合わせや要望、報告に応じていくといった運営を行ってきました。
対象地域	市区町村単位での連携 西伊豆町松崎町
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		1	1	0	7	3	6
参加団体数(予定)		0	2	0	0	0	0
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1000			33		

同意取得について	
医療機関等	その他の方式 在宅拠点事業で参加の呼びかけ
介護施設、その他	その他の方式 在宅拠点事業で参加の呼びかけ
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他 備考・補足	画像、処方、検査結果、注射内容、食事形態の参照が可能

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3, ○:XDS.b, ○:XCA, ○:CT

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 中部

静岡県

整理番号： 1023

情報更新日： 2017/3/9

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備
安全管理	△：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	26000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	有料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	有料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	有料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	有料	参加なし	閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		11812		千円			
運用費用		312		千円		税抜（回線費用別）	
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	1575
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	13418		千円			
	運用費用	312		千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業		日本電気（株），（株）SEC，（株）ソフトウェアサービス					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	468	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	15	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	298	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	11	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催，医療機関等への訪問，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催
特に効果があったもの・理由	公的な会議での周知
人的なネットワーク	（立上げ時）基幹病院 （会員増加時）基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0235

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	エキサイネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2002	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	ネットワークを介して電子カルテと連動し、紹介患者の投薬情報や各種検査結果、CT/MRIなどの画像、内視鏡の動画を専門医の所見付きで閲覧可能だ。診療所側の投薬情報や検査結果もアップロード可能になっている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	日本海員救済会名古屋掖済会病院		
住所	〒454-0854 愛知県名古屋市中川区松年町4-66		
電話番号	052-652-7711	所属部署	情報管理センター

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	施設別の詳細なアクセスコントロールの実装, 双方向情報連携の実装		
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	二次医療圏での連携	名古屋市	
行政計画への記載	いいえ		

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		26	65	2	0	4	2
参加団体数(予定)		0	0	0	0	0	0
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, その他の方式 患者自身が同意カード(QRコード付)を持参して連携先病院にてQRコードを読み込む事により同意とする方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:脳血管障害, ○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:遠隔医療, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, ○:分散型, △:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:その他の共通システムを利用, ポケットカルテ方式
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード, ○:USBトークン
介護施設・その他施設用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード, ○:USBトークン
患者用	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0235

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△：個人情報保護方針の制定, △：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, △：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側		
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：地域の医療費適正化の目的で利用, ○：学術研究等の公益目的で利用

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0298

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	名古屋市立西部医療センター地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	SAVEネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	当院と診療所間の診療情報の共有等を目的としたインターネットを用いた病診連携システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	名古屋市立西部医療センター		
住所	〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1		
電話番号	052-991-8121	所属部署	地域医療連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	6	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	その他 名古屋市および近隣市町村
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			57	24			
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		238			238		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:胃・大腸がん, △:その他のがん
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側			閲覧側	無料
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0298

情報更新日： 2017/2/24

蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用		○: 学術研究等の公益目的で利用	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数
開示施設の患者情報への総アクセス回数	657	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数
			22
			回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 実際訪問して会話することで、興味を持っていただけるため。		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0518

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳		
ネットワークの略称・愛称	北名古屋レインボーネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://rainbow-net.aichi.jp/		
ネットワークの概要	在宅で療養・介護サービスを受けながら生活している人に対し、主治医・訪問看護師、ケアマネジャーなど多職種が連携をとって個人を支えていくための電子媒体ツール		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会		
団体名	北名古屋市役所		
住所	〒481-8501 愛知県北名古屋市熊之庄御櫛60番地		
電話番号	0568-22-1111	所属部署	福祉部高齢福祉課
担当者	堀木星治(北名古屋レインボーネットの部分に)	Eメールアドレス	korei@city.kitanagoya.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システムの周知
運営について工夫した点、苦労した点	市在宅医療連携協議会を諮問機関として、運営方針の審議検討を行っています。
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	北名古屋市

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得, 関係機関・担当者より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側		
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う	
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 1065

情報更新日： 2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	未記載		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名			
住所	〒		
電話番号		所属部署	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 1069

情報更新日： 2017/2/20

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳		
ネットワークの略称・愛称	健やかにつしん・ヘルピーネット		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-nissin.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	地域での在宅療養生活を支えるため、医療・介護関係者間で速やかな情報提供や情報共有が行われるよう支援するためのツール		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	日進市		
住所	〒470-0192 日進市蟹甲町池下268		
電話番号	0561-73-1484	所属部署	健康福祉部地域福祉課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	在宅医療対策
地域の課題	在宅医療介護連携促進のため時間を気にせず、チーム間の情報共有が行い易い情報連携ツールが求められたため
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	医療情報連携のデータ連携(容量の問題や電算機器を扱う者の技術レベルの差の問題等)が困難。
運営について工夫した点、苦労した点	導入機関促進のため、戸別訪問し、導入支援を行った。
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	18	17	21	16	3
参加団体数(予定)		0	0	0	0	0	0
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		51					

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果があったもの・理由	医療機関等への訪問 単純な操作方法がわからないために導入を躊躇っている場合が多い。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 1070

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	未記載						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況					
公開URL							
ネットワークの概要							
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分							
団体名							
住所	〒						
電話番号		所属部署					
担当者		Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加							
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	人	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的							
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域							
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
		精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について							
医療機関等							
介護施設、その他							
患者							
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合							
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)							
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	千円	
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定のネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0062

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	セントラルねっと		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://nagoya-central-hospital.com/		
ネットワークの概要	システムへの登録院内の指定パソコンからIP-VPNを介して当院への紹介患者のカルテ情報などを参照する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	東海旅客鉄道株式会社		
住所	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤三丁目7-7		
電話番号	052-452-3165	所属部署	名古屋セントラル病院地域・法人連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	4	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,△:患者の負担が軽減した,○:医療機関間で機能分化が進んだ,△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,○:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システムに参加する連携医療機関が増加し続けた場合の費用負担
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	愛知県

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な運用管理規程等の見直し,△:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	その他
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時)
参加機関・患者拡大のメリット	(会員増加時)
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0110

情報更新日： 2017/2/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	金鏡メディネット、愛知メディカルBCP		
ネットワークの略称・愛称	金鏡メディネット、REMEMB'R		
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.nnh.go.jp/med_info/byoshinsys/kinsyachi_mednet.php		
ネットワークの概要	富士通の電子カルテシステム(基幹部HOPEEG-MAIN/GX)に接続された地域連携サーバを通じて、連携医が地域連携室に依頼した患者(同意あり)の電子カルテを閲覧可能とする。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター		
住所	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1		
電話番号	052-951-1206	所属部署	地域医療連携室
担当者	和田一樹	Eメールアドレス	chiiki@nnh.hosp.go.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	2	人	兼任	5
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 脳卒中対策 診療所、病院などをはじめとした診療機関との情報共有。災害時のデータバックアップ。訪問看護ステーションとの連携。
地域の課題	病院毎に専門性がある大都市型の医療供給体制。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	IT技術の急速な進歩により、資産のレガシー化のスピードが速い。
運営について工夫した点、苦労した点	災害時のデータの活用について他の医療機関、特に病院間での調整を継続して行う。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		10	72		4	
参加団体数(予定)					0	3
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数		施設名		
	特定機能病院	あり	1	名古屋大学医学部付属病院		
	地域医療支援病院	あり	2	名古屋第二赤十字病院、名古屋エキサイカイ病院		
	精神科病院	あり				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		1600		300		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定, △:すべての施設毎に同意を得る, △:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	その他 施設により同意書か掲示板かを選択
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 施設により同意書と口頭を選択
新たに参加施設が増えた場合	その他 施設により同意書か掲示板かを選択

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, ○:肝炎
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:遠隔医療, ○:電子クリニカルパス, △:電子処方箋(実証等), △:電子版おくり手帳, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約, △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得, △:その他より取得, 総務省事業に採択された場合

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, △:分散型, ○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	△:HumanBridgeシステムを利用, △:ID-LINKシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供バンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, △:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD11対応標準病名マスター, △:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, △:標準歯科病名マスター, △:臨床検査マスター, △:JAHIS処方データ交換規約, △:看護実践用語標準マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, △:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	△:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0110

情報更新日： 2017/2/16

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	<input type="radio"/> :学術研究等の公益目的で利用

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	201	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	27	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	2740	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	24	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 セキュリティについて説明できること
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	より広域での連携ができる
地域範囲の適切なサイズ	全国
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携, 遠隔医療, 医療従事者用モバイル対応, その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど)
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0162

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	衣浦定住自立圏地域医療ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	KTメディネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏域内(刈谷市、知立市、高浜市、東浦町)の各医療機関をネットワークで結び、紹介患者を対象に、刈谷豊田総合病院の診療情報(医師記録、検査・画像データ等)を「かかりつけ医」に参照してもらうものです。診療情報参照以外に、かかりつけ医からのネットワークでの予約取得、診療情報提供書の作成ができます。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	刈谷豊田総合病院		
住所	〒448-8505 愛知県刈谷市住吉町5-15		
電話番号	0566-25-8304	所属部署	地域連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	0	人	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携 地域医療の連携強化
地域の課題	基幹病院が一つしかなく、病診連携の推進により効率的な病院利用を促進する必要がある。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,○:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・使用、不使用の二極化・病院→開業医への一方情報提供である点・セキュリティ確保のため、接続に時間がかかる・IEを使用しているが、IEのバージョンアップで影響を受けることが多い
運営について工夫した点、苦労した点	・院内の紹介予約枠の拡大・管理に関すること・システムに付随した掲示板を立ち上げ、病院からの情報発信を掲載・毎年病院で行う地域医療機関に向けたアンケートに、KTメディネットについての項目を追加し、いただいた意見への対応(予定含む)をフィードバックする。
対象地域	その他 刈谷市、高浜市、知立市、東浦町で接続を希望した医療機関および、26年度からは他の地域でも接続を希望した場合は有料での接続を開始。
行政計画への記載	いいえ

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	△:大腿骨頸部骨折,△:脳血管障害,△:胃・大腸がん,△:その他のがん
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:診療情報の連携,○:電子紹介状,△:電子クリニカルパス,○:退院時サマリ,○:画像情報の共有,○:診療・検査予約システムの概要を参照

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

予算関係							
構築費用	70000		千円				
運用費用	0		千円				
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額(千円)・用途					
地域医療介護総合確保基金	いいえ	額(千円)・用途					
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業	KDDI(株)、富士通(株)						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担,その他 基本的には「定住自立圏協定」での実施項目のため市町の負担がメインだが、開発、企画、展開等に伴う人的負担等については病院、医師会も相応の負担が求められると考える。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	自治体の負担,その他	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)		ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0162

情報更新日： 2017/2/13

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	5226	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	97	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	7624	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	91	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	参加団体は現状、拡大の意図がありません
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0311

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	蒲郡市民病院地域医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	蒲郡市民病院の診療情報を共有する		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	蒲郡市民病院		
住所	〒443-8501 愛知県蒲郡市平田町向田1番地1		
電話番号	0533-66-2200	所属部署	地域医療連携室
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	運営主体として		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
		兼任	3
			人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	・双方向型の医療情報連携ネットワークを導入しようと検討するも、施設整備にコストが高すぎる・インターネットを経由して電子カルテへアクセスすることに伴うセキュリティへの不安		
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	市区町村単位での連携		
行政計画への記載	蒲郡市		
	はい		
参加団体数と参加患者数			
	参加施設数		
	病院	医科診療所	歯科診療所
参加団体数(実績)	4	11	2
参加団体数(予定)			
	施設の有無	施設数	施設名
参加している病院の施設類型	特定機能病院		
	地域医療支援病院		
	精神科病院		
	登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数
参加患者数(実績数)	504		504
同意取得について			
医療機関等	○:施設ごとの参加判断		
介護施設、その他			
患者	○:すべての施設毎に同意を得る		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得		
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害		
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子クリニカルパス, ○:画像情報の共有		
その他 備考・補足			
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果		
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得		
医療情報連携ネットワークのシステム			
連携方式	○:集中型		
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ		
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用		
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内		
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存		
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:標準歯科病名マスター		
情報連携基盤技術仕様			
通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)		
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)		
介護施設・その他施設との通信	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)		
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード		
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード		
患者用			

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0311

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, △：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, △：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
患者	開示側			閲覧側			

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：地域の医療費適正化の目的で利用

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催 ネットワークシステムの活用による診療上のメリットや、利用の仕方について、具体的なイメージがつかめるため
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0343

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	DrWeb		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	DrWebは医師(利用者)が機能開発に携わり考案したオリジナルシステムです。2010年リリース当初は、医師会員の共同利用施設として、ご利用いただいている医療機関に臨床検査、画像検査の検査結果をリアルタイムに閲覧していただくための機能及び診療所内の電子カルテと連携を可能とした「診療支援システム」を開発した。その後、診療所間の連携を推進するため、「診診連携機能」を追加した。現在は地域の中核病院の電子カルテ開示システムと連携し「病診連携機能」を手掛けるとともに、在宅・介護に携わる多職種が情報共有を可能とする「在宅・介護連携機能」の構築を図り、医療と介護の総合的なシステム「知多半島総合医療ネットワークシステム」を目標にしている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人半田市医師会		
住所	〒475-0918 愛知県半田市雁宿町1-54-8		
電話番号	0569-21-3411	所属部署	事務局
担当者	中田	Eメールアドレス	handa-i@muse.ocn.ne.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	24
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, 健康管理
地域の課題	地域医療の向上のためには、医師会(診療所)が中心となる総合医療ネットワークが必要と考えたため。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	医師が機能開発に携わることにより、利用率、普及率が高まるシステムが完成した。また、システム開発費、ランニング費用を安価に抑え継続性を求めた。そして、サポート体制を強化した。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	愛知県

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2	220	3	13	31	4
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院		1				
	精神科病院						
		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
参加患者数(実績数)							

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:電子処方箋(実証等), ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, △:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得, ○:その他より取得, モバイル端末等より情報を登録

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, ○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター, 医師会検査センターおよびクラウドサーバ
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0343

情報更新日： 2017/2/23

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：IP-VPN, ○：インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○：IP-VPN, ○：インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN (IPSec+IKE), SSL-VPNとIP-VPNを利用
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード, ○：USBトークン
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード, ○：USBトークン
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	有料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用	40000		千円		
運用費用			千円		
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業	富士通（株）, アドバンストマネージメントコンサルティング（株）（AMC）				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり
	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0344

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳システム		
ネットワークの略称・愛称	つながろまい津島		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-tsushima.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	医療・保健・福祉・介護関係者間等で情報共有するシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	愛知県津島市		
住所	〒496-8686 愛知県津島市立込町2丁目21番地		
電話番号	0567-24-1111	所属部署	健康福祉部高齢介護課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	拡大はみられていない	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏	
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど)	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携	
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0400

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	名城ネット		
ネットワークの略称・愛称	名城ネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	過去の診療内容を含め、名城病院にて実施した検査や画像を診療所で参照できるので、名城病院内での患者さんの状態の把握が可能。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国家公務員共済組合連合会名城病院		
住所	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1-3-1		
電話番号	052-201-5311	所属部署	病診連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			7 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 糖尿病対策
地域の課題	オーダー情報や検査結果、画像等の診療情報を、診療所の先生方と共有することで医療の連携を図る。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	診療所の先生の利用率の向上
運営について工夫した点、苦労した点	必要に応じた参照用端末の貸し出しを実施。
対象地域	市区町村単位での連携 名古屋市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		1	54				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:メール、メルマガなど

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:専用線
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用 患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0400

情報更新日： 2017/3/1

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	66	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	5	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	78	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	5	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	地方ブロック
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0413

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子連絡帳システム		
ネットワークの略称・愛称	東三河ほいっぶネットワーク		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-toyohashi.nu-camcr.org/cms		
ネットワークの概要	電子@連絡帳を基盤として在宅医療・福祉統合ネットワークを提供するサービスです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	一般社団法人豊橋市医師会		
住所	〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字中原100番地3		
電話番号	0532-45-4911	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	0	人	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	中核病院が本格稼働をしていないこと。
運営について工夫した点、苦労した点	インソールのしやすさ。低コスト。
対象地域	市区町村単位での連携 豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、北設楽郡
行政計画への記載	

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード), △:PKI電子証明書(ICカード)
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用	0		千円		
運用費用	216		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金		額(千円)・用途			
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業					

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0413

情報更新日： 2017/2/10

将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担		未定	
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	その他	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	自治体の負担, 地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0414

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	電子@連絡帳						
ネットワークの略称・愛称	瀬戸旭もーやっこネットワーク						
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況		サービス運用中			
公開URL	http://p-setoasahi.nu-camcr.org/cms/						
ネットワークの概要	名古屋大学が開発した電子掲示板						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	医師会						
団体名	一般社団法人瀬戸旭医師会						
住所	〒489-0929 愛知県瀬戸市西長根町10番地						
電話番号	0561-84-1155	所属部署		事務局			
担当者	吉村敏史	Eメールアドレス		isikai@setoasahi.com			
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	1	人	兼任	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題	運用費						
運営について工夫した点、苦労した点	職種毎に説明会を開催。個別訪問での説明や導入の補助。						
対象地域	二次医療圏での連携		尾張東部医療圏				
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		7	47	20	31	153	21
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
参加患者数(実績数)		668		668			
同意取得について							
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断						
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承						
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)							
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:空床情報						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録						
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:クラウド型						
情報共有形態	○:双方向での共有						
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, 電子@連絡帳						
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存						
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ117指針)						
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
患者との通信							
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード						
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード						
患者用	○:IDとパスワード						

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0414

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側		
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	有料	518400	閲覧側		
患者	開示側	無料		閲覧側			

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0505

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要					
ネットワークの名称	はち丸ネットワーク				
ネットワークの略称・愛称					
運用開始(予定)年	2017	ネットワークの稼働状況	構築中		
公開URL	http://p-nagoya.nu-camcr.org/cms/				
ネットワークの概要	名古屋市内における患者の情報を特定の多職種間で共有することにより、円滑な医療・介護の提供に繋げ、安心・安全を確保する。				
医療情報連携ネットワークの代表団体					
代表団体区分	医師会				
団体名	一般社団法人名古屋医師会				
住所	〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1-4-38				
電話番号	052-937-7801	所属部署	在宅医療・介護連携室		
担当者	榊原雄太	Eメールアドレス	yuta_sakakibara@ishikai.nagoya		
自治体の運営への参加					
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして				
医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	7	人	兼任	0
人					
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など					
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策				
地域の課題	医療関係者間における医療情報の共有が必要となったため。また、多職種連携ネットワークの運用にあたり、二重入力の解消に向けた取り組みが必要となったため。				
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった				
ネットワークが現在抱えている課題	今後運営のうえ、課題を抽出する。				
運営について工夫した点、苦労した点	市民およびネットワーク利用者の負担軽減を図ること。				
対象地域	市区町村単位での連携				
行政計画への記載	いいえ				
名古屋市					
参加団体数と参加患者数					
		参加施設数			
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局
参加団体数(実績)		0	0	0	0
参加団体数(予定)		200	0	0	0
		施設の有無	施設数	施設名	
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし			
	地域医療支援病院	なし			
	精神科病院	なし			
		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数	
参加患者数(実績数)		0		0	
同意取得について					
医療機関等	△:施設ごとの参加判断				
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断				
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意				
同意取得について(患者詳細)					
新規患者からの同意取得	同意による取得				
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 同意撤回(脱退)文書を整備中。				
新たに参加施設が増えた場合					
提供しているサービス状況					
連携している疾病(連携バス)					
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:退院時サマリ, △:画像情報の共有, △:患者用IDカードの発行, △:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)				
その他 備考・補足					
共有できる情報項目					
利用している情報項目	△:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:看護記録, △:処方オーダー, △:注射オーダー, △:検体検査オーダー, △:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, △:食事オーダー, △:検体検査結果, △:生理検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果				
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:薬局(調剤レセコン)より取得				
医療情報連携ネットワークのシステム					
連携方式	△:クラウド型				
情報共有形態	△:双方向での共有				
地域共通ID	△:HARMONYsuiteを利用				
連携情報の保管場所	運営主体が設置する中継サーバ				
障害対策(バックアップ体制)	△:提供ベンダーのサービスを利用, △:待機系サーバを遠隔地に設置, △:他地域との複製データ共有, △:磁気メディア等のバックアップデータを保存				
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, △:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), △:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:JAHS臨床検査データ交換規約, △:標準歯科病名マスター, △:臨床検査マスター, △:JAHS放射線データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ117指針), △:JAHS処方データ交換規約, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, △:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様				
情報連携基盤技術仕様	△:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3, △:XDS.b, △:XCA				

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	△:専用線, △:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	△:専用線, △:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	△:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書 (ICカード)
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, △:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	自治体の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	自治体の負担

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	0	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	0	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	0	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	0	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 質疑応答が活発に行われ, 説明者と聴講者の積極的なコミュニケーションを図ることができるため。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	医療情報の共有による患者への質の高い医療サービスの提供, 医療機関間における診療情報提供書等の電子的送受の推進。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0513

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	海南SUN-senネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	地域の参加医療施設間をインターネット回線で接続し、海南病院が保有している診療情報の参照を可能とし、医療連携を実現するシステムです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院		
住所	〒498-8502 愛知県弥富市前ヶ須町南本田396		
電話番号	0567-65-2511	所属部署	医療情報室

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	0 人	兼任	6 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	複数県にまたがる連携 愛知・岐阜・三重
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		10	95	12		3	
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		9240			9240		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, △:その他のがん
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:標準歯科病名マスター, ○:臨床検査マスター, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証
介護施設・その他施設用	○:2要素認証
患者用	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0513

情報更新日： 2017/2/13

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	80000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担 未定							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)		参加施設の負担		ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)			
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)		参加施設の負担		ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		あり		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知					
特に効果のあったもの・理由		医師会を通じた周知					
人的なネットワーク		(立上げ時) 基幹病院			(会員増加時) 医師会		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		地方ブロック					
構築時に降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0521

情報更新日： 2017/2/20

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	大府市医療・介護ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	おぶちゃん連絡帳		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-obu.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	大府市の医療・介護等の対象者に質の高い医療・介護サービスを提供することを目的として、サービスを提供する関係機関が相互に対象者の診療情報等の情報をネットワーク上で共有するシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	大府市医療・介護ネットワーク協議会		
住所	〒4748701 愛知県大府市中央町五丁目70番地		
電話番号	0562-45-6289	所属部署	事務局福祉課高齢者支援室

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1 人	兼任
			1 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	在宅医療対策		
地域の課題	在宅医療と介護に関わる多職種が、在宅療養者およびその家族の支援のために、個人情報のやりとりを、リアルタイムで情報共有できるシステムがあると良いため		
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	登録機関が対象団体の一部であること。また、登録している医療・介護従事者、患者に関して、利用頻度が異なる。		
運営について工夫した点、苦労した点	初期の導入支援(介護は人の入れ替わりがあり)に苦労しています。大府市の規約、ルールづくり(現在も課題がでてきて、検討していく必要があります)		
対象地域	全県域での連携	愛知県内、大府市民を対象、登録期間は市外でも可	
行政計画への記載	いいえ		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:その他, 患者・家族の支援チームの登録者のみ必要な情報の手入力
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得, 患者・家族の支援チームの登録者のみ必要な情報の手入力

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	
	薬局	開示側	有料		閲覧側	有料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	有料		閲覧側	有料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:学術研究等の公益目的で利用

予算関係							
構築費用		0		千円			
運用費用		2592		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	266	千円	その他費用	2326	千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金				額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金		いいえ		額(千円)・用途			
その他の公的資金	構築費用	0		千円			
	運用費用	1685		千円		行政(大府市)負担金	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		中部テレコミュニケーション(株)					

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0521

情報更新日： 2017/2/20

将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担		未定	
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)		ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	自治体の負担, 地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	なし
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット	多職種が連携することで、在宅医や関わる人の心身の負担軽減		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない		
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 遠隔医療, 電子処方箋 (実証等), 電子おくすり手帳, 在宅医療連携, 介護連携		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0524

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	電子@連絡帳						
ネットワークの略称・愛称	愛・ながくて夢ネット						
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	電子@連絡帳を基盤とした在宅医療、福祉統合ネットワーク						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	行政						
団体名	長久手市役所						
住所	〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内60番地1						
電話番号	0561-56-0631	所属部署	長寿課				
担当者	今村	Eメールアドレス	chuju@city.nagakute.lg.jp				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	運営主体として						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	0	人	兼任	2 人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策						
地域の課題	医療・福祉・介護の連携が不十分であった						
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題	限られた方しか利用していない						
運営について工夫した点、苦労した点	同意書の登録をクアマネにもお願いしている						
対象地域	二次医療圏での連携		尾張東部				
行政計画への記載	いいえ						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		5	33	5	9	50	10
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	愛知医科大学病院			
	地域医療支援病院	あり	1	公立陶生病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		390			390		
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断						
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承						
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:糖尿病, ○:認知症, ○:その他						
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報						
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:クラウド型						
情報共有形態	○:双方向での共有						
地域共通ID							
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置						
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)						
患者との通信							
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード						
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード						
患者用							

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0524

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用		2592		千円		
運用費用		2592		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	2592	千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	1944	連携システム環境構築費用	
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		中部テレコミュニケーション（株）				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知 医師から紹介していただいているため
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	連携がしやすくなっている
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0536

情報更新日： 2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	豊川市民病院地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	当院の患者基本情報や検査結果、PACS画像等を公開し、連携先の医療機関への情報提供を行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	豊川市民病院		
住所	〒442-8561 愛知県豊川市八幡町野路23番地		
電話番号	0533-86-1111	所属部署	地域連携センター(システム導入については経営企画室)

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	数少ない総合病院である市民病院に患者が集中する傾向があるため、ネットワークにより情報を地域のかかりつけ医と共有し、医療連携を進める必要があったため。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	連携する医療機関をいかに増やすか。また増えた時のサポートを現在の人員で対応できるか。
運営について工夫した点、苦労した点	連携している医療機関とスムーズに連絡が取れる体制とする。
対象地域	その他 豊川市内が基本だが、これまで連携してきた市外の1医療機関も対象としている。
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4					
参加団体数(予定)		12					
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		126		126			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	画像情報の共有については当院の情報公開に限り。文書管理システムへ取込まれた各種検査レポートも公開予定です。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:その他, 検査結果について一部非公開の情報がある。
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:臨床検査マスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	△:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0536

情報更新日： 2017/3/6

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0540

情報更新日： 2017/3/22

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳		
ネットワークの略称・愛称	きんちゃん電子@連絡帳		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-yatomi.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	http://p-yatomi.nu-camcr.org/cms/をご参照ください		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	弥富市		
住所	〒4988501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335		
電話番号	0567-65-1111	所属部署	介護高齢課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	2 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, その他 地域の医療介護連携
地域の課題	電話・ファクス・Eメールでの情報連携の限界・電話による情報共有では、相手が不在で何度も電話する・FAXでは誤送信や紛失等の情報管理に不安・複数の関係者にそれぞれ連絡が必要・Eメールに個人情報載せられない・画像、動画、データファイルを提供できない
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 海部津島
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2	6	10	7	27	9
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		713					

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	・電子@連絡帳システムではいずれも使用していない・連携バスについては大腿骨頸部骨折・脳血管障害を実施しているが、ITを利用していない・当院が実施した画像、検査結果を診療所が見ることができるシステムはID-LINKを用いて実施している

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:その他, 医療介護の情報共有、意見交換必要に応じて上記情報を掲載する
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, (13)は電子@連絡帳ではなく、当院が採用しているID-LINKについての回答です
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, 電子連絡帳では共通患者IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:他地域との複製データ共有
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:IP-VPN
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:PKI電子証明書(ICカード)
介護施設・その他施設用	○:PKI電子証明書(ICカード)
患者用	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0540

情報更新日： 2017/3/22

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：学術研究等の公益目的で利用

予算関係					
構築費用		0		千円	
運用費用		2592		千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	0
	連携費用	200床以上		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	1944	
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	
主な関連IT企業		中部テレコミュニケーション（株）、（株）SEC			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	7443	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	51	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	14170	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	51	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	全国
構築時以降に、追加したサービス	在宅医療連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子処方箋（実証等）, 電子版糖尿病手帳, 画像情報の共有, 画像診断サービス, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス診療・検査予約, その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0541

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳		
ネットワークの略称・愛称	いきいき笑顔ネットワーク		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	名古屋大学医学部付属病院先端医療・臨床研究支援センターが開発した在宅医療福祉統合ネットワーク		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	豊明市		
住所	〒470-1195 愛知県豊明市新田町子持松1番地1		
電話番号	0562-92-1141	所属部署	健康福祉部高齢者福祉課
担当者	松本小牧	Eメールアドレス	komaki_matumoto@city.toyoake.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			4 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	医療介護の円滑な情報共有に基づく一体的なケアの提供
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	介護側の活用は進んでいるが、医師の活用は一部にとどまる
運営について工夫した点、苦労した点	導入時、地域の医療、介護機関の一部しか登録がない状態であると、情報が一元化されない
対象地域	二次医療圏での連携 尾張東部
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	30	11	18	32	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		560			560		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	○:地域全体で参加
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:認知症
提供しているサービス項目	△:電子処方箋(実証等), △:画像情報の共有, △:画像診断サービス, △:検査機関との連携, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:サマリ, ○:看護記録, △:処方オーダー, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用		2700		千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	2700
	連携費用	200床以上		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途		千円	
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途		千円	
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0542

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	岡崎幸田保健・医療・福祉ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	岡崎幸田いえやすネットワーク		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-okazakikota.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	岡崎市内および幸田町の医療・介護・保健・福祉等の在宅療養に関わる多職種間での情報共有に利用。岡崎市および幸田町では、電子@連絡帳システムについて、岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会を立ち上げ、関係機関への普及活動やシステム運用にあたって起こる課題等に即座に対応できる体制を整備。電子@連絡帳は、名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターの協力により運用している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	岡崎市		
住所	〒444-8601 愛知県岡崎市十王町2丁目9(岡崎郵便局私書箱第10号)		
電話番号	0564-23-6774	所属部署	福祉部長寿課地域包括ケア推進班

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	3人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策, 救急医療対策, へき地医療対策, 小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策, 疾病予防対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	システムの操作方法の習得が進まず, 利用が一部にとどまっている。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)						
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院 地域医療支援病院 精神科病院	施設の有無	施設数	施設名		
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		150		150		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:空床情報, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	○:IDとパスワード

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 0542

情報更新日： 2017/2/10

システムの運用管理						
運用管理規程（規定）等の整備		○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定				
安全管理		△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理				
利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	
蓄積された個人情報・診療情報の利用						
個人情報・診療情報の利用		○:学術研究等の公益目的で利用, ○:統計結果の公益目的以外で利用				
予算関係						
構築費用		0		千円		
運用費用		200		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円		
	連携費用	200床以上		千円	その他費用	0
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途	200床以下	千円
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		中部テレコミュニケーション（株）				
将来のシステムの更改の費用負担						
将来のシステムの更改の費用負担		公的資金より負担, その他				
費用の負担						
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）		
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）		
医療情報ネットワークの連携実績						
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況						
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況		
普及に向けた施策・取組						
周知・広報の施策・取組						
特に効果のあったもの・理由						
人的なネットワーク		(立上げ時)		(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット						
地域範囲の適切なサイズ						
構築時以降に、追加したサービス						
追加サービスと会員増加の関係						
会員増加に効果的なサービス						
サービス強化の決定理由						

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	藤田医療情報ネットワーク						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	関連施設向けの、ID-LINKを利用した診療記録等の開示						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	病院						
団体名	藤田保健衛生大学病院						
住所	〒470-1192 愛知県豊明市香掛町田楽が窪1-98						
電話番号	0562-93-2607	所属部署	医療情報システム部				
担当者	柳谷良介	Eメールアドレス	yanagiya@fujita-hu.ac.jp				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	4	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	全県域での連携		愛知県				
行政計画への記載	いいえ						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		65	54	1	10		
参加団体数(予定)		0					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1953					
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他							
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:診療・検査予約						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果						
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:集中型						
情報共有形態	△:双方方向での共有, ○:参照のみ						
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用						
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内						
障害対策(バックアップ体制)	○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存						
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD11対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射記録情報連携指針(JJ117指針), ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン						
情報連携基盤技術仕様							

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：専用線，○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），△：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	80000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：学術研究等の公益目的で利用

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上	0	200床以下	0
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	5596	SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業		(株) SEC, 日本IBM (株), (株) 東芝メディカル			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	国の負担（厚労省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	0	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	退院時サマリ, 画像情報の共有
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 画像診断サービス
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 中部

愛知県

整理番号： 1068

情報更新日： 2017/3/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳		
ネットワークの略称・愛称	レガッタネットとうごう		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-togo.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	医療・福祉・介護等の在宅医療に関する情報を多職種で共有するネットワークの構築		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	東郷町		
住所	〒470-0198 愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地		
電話番号	0561-38-3111	所属部署	長寿介護課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			4人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	運用開始後の利用者のとる奥が進んでいない
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	その他 町内の介護保険被保険者に関係する医療機関、介護事業所等
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	16	4	7	19	0
参加団体数(予定)		0	0	0	0	0	0
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		18					

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	登録した介護保険被保険者の支援に必要な情報を、必要に応じて連携

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, 必要に応じて、ポータルへの書き込み、添付ファイルの添付により対応
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, 電子証明書
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, 電子証明書
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用				千円		
運用費用				千円		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	796	ネットワーク費用	
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用	432		千円	H27年12月導入	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		中部テレコミュニケーション（株）				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 保険料

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	公的な会議での周知, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知 周囲の自治体でも導入しており、便利さを伝えられた為と考える。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	顔の見える関係づくりと併行させることで連携しやすくなる
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

三重県

整理番号： 0100

情報更新日： 2017/4/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	三重医療安心ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.medic.mie-u.ac.jp/ca-center/anshin/index.html		
ネットワークの概要	三重県内の複数の医療機関で、ID-LINKという仕組みにより、個人情報を保護し、患者様から同意を得た上でインターネット回線を用い、お薬の処方、血液検査の結果、X線写真やCTなどの画像情報とレポートなどの医療情報が異なる病院間で共有します。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他		
団体名	三重県地域医療連携連絡協議会		
住所	〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174		
電話番号	059-231-5055	所属部署	三重大学医学部附属病院がんセンター
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)	基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス	医療従事者用モバイル対応, 在宅医療連携, 介護連携		
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携		
サービス強化の決定理由	その他		

地域・都道府県： 近畿

三重県

整理番号： 0531

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	電子@連絡帳ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク		
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://p-kuwana.nu-camcr.org/cms/		
ネットワークの概要	電子@連絡帳は、名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターの協力により運用されています。このシステムは、桑名市内の医療・介護・保健・福祉等の在宅療養に関わる多職種間での情報共有に活用しています。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人桑名医師会桑名市在宅医療・介護連携支援センター		
住所	〒511-0835 三重県桑名市本願寺市之縄262-1		
電話番号	0594-22-8200	所属部署	桑名市在宅医療・介護連携支援センター

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	2	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	平成27年12月に本格運用開始したばかり。システムの普及(特に医師、歯科医師、薬剤師)がこれからの課題。
運営について工夫した点、苦労した点	苦労した点：市内のサービス事業所、および医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て説明会やシステムの操作説明会を何度も行なう必要があった。協議会の立ち上げと規約、同意書など書類全般。
対象地域	その他
行政計画への記載	電子連絡帳を使用している地域とはつながっているが、登録については桑名市内に限る。

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	11	2	5	32	4
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
	その他						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		50			50		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 近畿

三重県

整理番号： 0531

情報更新日： 2017/3/3

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

滋賀県

整理番号： 0077

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	滋賀県医療情報連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	びわ湖メディカルネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.biwako-medical.net/		
ネットワークの概要	県内の病院と診療所が情報提供病院の電子カルテ情報を共有するシステム。上記目的を前提に県内の共通基盤を整備することにより、将来的には疾病登録などの仕組みづくりも模索していく。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会		
住所	〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30		
電話番号	077-582-5071	所属部署	事務局

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 疾病予防対策, その他 滋賀県における病診連携のための地域連携システムを整備するとともに、現在ある在宅療養支援、遠隔病理診断等の各システムとのネットワーク化を行い、統一的なアクセス管理による効率的運用とあわせ、病院から在宅支援までの包括的な医療情報ネットワークを実現するを行うことを目的としている。
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	情報閲覧施設や利用登録者の拡大。ネットワークシステムの一元化。
運営について工夫した点、苦労した点	地域連携システム(ID-LINK、HumanBridge)、在宅療養支援システム、遠隔病理システムなどの複数システムの接合。
対象地域	全県域での連携 滋賀県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		33	114	0	34	0	10
参加団体数(予定)		2					
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	滋賀医科大学医学部附属病院			
	地域医療支援病院	あり	8	大津赤十字病院、大津市民病院、済生会滋賀県病院、草津総合病院、滋賀県立成人病センター、公立甲賀病院、近江八幡市立総合医療センター、長浜赤十字病院			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		14960			14960		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断, その他の方式 地域医師会単位での参加を検討中
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:遠隔医療, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他, 情報提供病院によって開示情報項目に差異がある。
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	5000
	医科診療所	開示側			閲覧側	有料	2000
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	有料	2000
	薬局	開示側			閲覧側	有料	2000
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側	有料	2000
	患者	開示側			閲覧側		

地域・都道府県： 近畿

滋賀県

整理番号： 0077

情報更新日： 2017/2/24

人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	迅速な情報共有による医療の質の向上(患者主体の医療への転換) 物理媒体が不要になることによる業務の削減、効率化重複検査・投薬の削減による医療費の抑制	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 近畿

滋賀県

整理番号： 0184

情報更新日： 2017/3/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	滋賀県全県型遠隔病理診断ICTネットワーク事業		
ネットワークの略称・愛称	さざなみ病理ネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	非公開(ネットワークの紹介については滋賀県立成人病センターのホームページ)		
ネットワークの概要	<p>がんの確定診断となる病理診断を下す病理医が我が国には少なく、一人病理医として働く者が多い。滋賀県には24名が登録し20名弱が実働しているに過ぎない。県内59病院中常勤病理医がいるのは9施設である。近年、病理組織を短時間で全視野顕微鏡写真を撮り電子化、コンピュータ上で合成しあたかも実際の顕微鏡をみるようにモニター上で再現するバーチャルスライドの技術が発展してきた。これにより、この画像を伝送し遠隔地にいる病理医が観察・診断できるようになった。これを報告書送付システムと組み合わせれば病理医の作業を軽減・短縮することが出来る。省力化して得られた時間を他施設の病理診断の支援へ活用することが可能である。本システムは、術中迅速病理診断、通常病理診断、コンサルテーション、精度管理に使用可能で、現在、ネットワークには、病理医はいないが病理標本作製ができる4病院と病理医がいる7病院、そして大学病理学講座、衛生検査所も加わり、既に術中迅速病理診断とコンサルテーションについては運用を開始している。実際に術中迅速病理診断を必要とする場合は、遠隔地の複数の病理医にこの手段を用い診断して貰うことが出来る。その際、一人の病理医がいなくても他の病理医が代行できるようになっているし、ある病理医が診断困難である時には、他の専門病理医に相談することも容易に出来るシステムを構築している。また、病理医同士の業務支援により、一人病理医が病气や研修で不在であっても診断業務は支障なく行える。以上がICTの技術を使った病理診断支援のシステム、さざなみ病理ネットである。これにより、安心・安全な手術、病理診断返却の時間短縮、病理診断の質の向上を図っている。</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 協議会		
団体名	滋賀県病理ICT協議会		
住所	〒524-8524	滋賀県守山市守山5-4-30	
電話番号	077-582-6029	所属部署	協議会長
担当者	真鍋俊明	Eメールアドレス	manabe@mdc.med.shiga-pref.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	兼任
		人	3
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, がん対策 病理医間の診断支援の確保
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システムの保守・管理や新規機器購入時の資金確保
運営について工夫した点、苦労した点	多くの施設の参加が可能となるよう、バーチャルマイクロスコープ購入の補助金制度を制定した。術中迅速診断には2名以上の病理医のダブルチェックを必要とし、また一人病理医等へのコンサルテーション機能の利活用で診断精度を向上させた。事業補助金が終了後のシステムの維持・管理にかかる費用の調達が問題となる。
対象地域	全県域での連携 滋賀県, 現状滋賀県が対象地域だが、他府県への広域連携も視野に入れている
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		14	1			2	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	あり	1	滋賀医科大学附属病院		
		地域医療支援病院	あり	5	滋賀県立成人病センターなど		
		精神科病院	あり				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:遠隔医療, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:検査機関との連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

地域・都道府県： 近畿

滋賀県

整理番号： 0184

情報更新日： 2017/3/10

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	13000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	参加施設の負担,自治体の負担,国の負担 (厚労省),国の負担 (総務省)	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	568	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	12	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	2720	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	12	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	その他
特に効果のあったもの・理由	その他 病理医は数が少ないため、参加者間の口コミが最も効率的であるため
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	ひとり病理医の状態を解消できる
地域範囲の適切なサイズ	全国
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

京都府

整理番号： 0069

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域連携バスオンラインシステム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	急性期病院(計画管理病院)と回復期病院(連携病院)に専用パソコンを配置し、脳卒中および大腿骨近位部骨折に係る地域連携バスを共有するMicrosoft社のSharePointWorkspace2010を利用した情報共有システム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	京都府医師会		
住所	〒	京都府	
電話番号		所属部署	

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 脳卒中対策, その他
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ランニングコスト
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	内科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		60					
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
参加患者数(実績数)							

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子クリニカルパス, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:その他文書, ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	連携する急性期病院と連携病院との間に、患者毎のワークスペースを作成してファイル共有
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	MicrosoftSharePoint
医療機関等との通信(閲覧側)	MicrosoftSharePoint
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, セキュア対応USB
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

地域・都道府県： 近畿

京都府

整理番号： 0069

情報更新日： 2017/3/1

蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用		
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	未定		
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 近畿

京都府

整理番号： 0117

情報更新日： 2017/3/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	個人向け健康医療福祉介護履歴管理（PHR）サービス「ポケットカルテ」		
ネットワークの略称・愛称	ポケットカルテ		
運用開始（予定）年	2008	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://pocketkarte.net		
ネットワークの概要	個人向け健康医療福祉介護履歴管理（PHR）サービス「ポケットカルテ」とは、北岡有喜博士が考案・開発し、特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター（SCC）が運用する個人向けの健康・医療・福祉・介護履歴情報管理（PHR）サービスです。一人ひとりの健康・医療・福祉・介護の情報を電子化して一元的かつ時系列に管理し、携帯電話・PHSやパソコン・ケーブルテレビ上で簡単に閲覧可能とすることで、データを根拠とした質の高い医療サービスを受診できるようになります。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター		
住所	〒612-0875 京都府京都市伏見区深草枯木町33-1-303		
電話番号	075-645-7484	所属部署	どこカル、ネット事務局
人的なネットワーク	（立上げ時）基幹病院		（会員増加時）基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	全国		
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携、電子版おくすり手帳、健診情報連携、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、介護連携		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う		
会員増加に効果的なサービス	電子処方箋（実証等）、医療従事者用モバイル対応		
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上		

地域・都道府県： 近畿

京都府

整理番号： 0283

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	京都府こども健康情報管理システム		
ネットワークの略称・愛称	ちやいるす		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.chails.jp/		
ネットワークの概要	妊婦及び乳幼児とその保護者の日常的な健康管理を支援し、安心して子育てのできる環境づくりを図るため、健診や予防接種の記録をweb上に保存し、必要ときに確認できるとともに、健康管理に役立つ情報を提供する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	京都府庁		
住所	〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入敷之内町		
電話番号	075-414-4614	所属部署	健康福祉部医療保険政策課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	健康管理, その他
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	全県域での連携 京都府
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		0	0	0	0	0	
参加団体数(予定)		0	0	0	0	0	
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし	0			
		地域医療支援病院	なし	0			
		精神科病院	なし	0			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		3795			3795		

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	その他の方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:電子版おくり手帳, ○:健診情報の連携, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:モバイルアクセスサービス(患者), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	○:IDとパスワード

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		100000		千円			
運用費用		6000		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	3500	千円	その他費用	2500	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額(千円)・用途	100000	その他		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額(千円)・用途				
その他の公的資金	構築費用	0		千円			
	運用費用	6000		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		(株)NTTデータ関西					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	国の負担(厚労省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	4774	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 公的な会議での周知, その他
特に効果のあったもの・理由	チラシ配布
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	健診情報連携, 患者サービス(モバイルアクセスサービス), その他のサービスメール, メルマガなど
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

京都府

整理番号： 0535

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	京都第二赤十字病院地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	当院との紹介、逆紹介における診療情報の共有をシームレスに行うため、登録施設に対して、情報を公開する目的とすること。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	京都第二赤十字病院		
住所	〒602-8026 京都府京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355番地の5		
電話番号	075-231-5171	所属部署	医療情報課

人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 学会・研究会
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0048

情報更新日： 2017/3/18

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	「a.inet (エーアイネット)」		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.chibune.aijinkai.or.jp/		
ネットワークの概要	オンラインによるネットワークシステム「地域連携システム」は、患者さまの医療情報をオンライン上で外部の医療機関に公開することができるシステムです。(千船病院では、大阪府下で初めてこのシステムを導入しました。)登録していただいている医療機関の医師や訪問看護師との連携において、千船病院での治療経過や検査データ、画像、処方内容等を速やかに確認していただけるようになっております。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人愛仁会千船病院		
住所	〒555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃2-2-45		
電話番号	06-6471-9541	所属部署	地域医療部地域医療科

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	同システムを利用した別の地域連携システムに協議会メンバーとして参画中	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策 ネットワークに参加する病院の空床情報や当直体制に関する情報
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	これまで運営主体が民間病院であるため、地域への拡がりに限界があったが、新たな地域連携システムを同時並行で推進しており、徐々に広がりを感じているが、有効に活用するためには、更なるシステムへの理解が必要であり、持続可能性を考えた場合、参加施設が連携システムの維持費に充当できるような診療報酬を考えていただきたい。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	複数県にまたがる連携 兵庫県尼崎市、大阪府豊中市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4	30	3	5	5	2
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断, その他の方式 参加施設からの推薦
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:その他のがん, △:認知症
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:遠隔カンファランス, △:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:空床情報
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		0	千円				
運用費用		0	千円				
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用		千円				
	運用費用		千円				
実施予定のネットワーク	構築費用	0	千円				
	運用費用	0	千円				
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		富士通（株）, Ciscoシスコシステムズ合同会社,（株）ジェイマックシステム					

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（厚労省）, その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	在宅医療連携, その他のサービス空床情報
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, その他のサービス診療・検査予約
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0520

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	診療情報地域連携システム		
ネットワークの略称・愛称	万代e-ネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.gh.opho.jp/medical/enet.html		
ネットワークの概要	同意を得た患者さんの診療情報を登録医に電子的に公開する		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	大阪府立急性期・総合医療センター		
住所	〒558-8558 大阪府大阪市住吉区万代東3丁目1-56		
電話番号	06-6692-1201	所属部署	地域医療連携室
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1077

情報更新日： 2017/3/9

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	未記載						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況					
公開URL							
ネットワークの概要							
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分							
団体名							
住所	〒						
電話番号		所属部署					
担当者		Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加							
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	人	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的							
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域							
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
		精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について							
医療機関等							
介護施設、その他							
患者							
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合							
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)							
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円	
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1082

情報更新日： 2017/2/22

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	いくみんネット						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL							
ネットワークの概要	在宅医療・介護に関わる多職種間で患者の医療・介護情報の共有を図るためのシステム導入を行い、在宅医療介護の効率化を図るとともに在宅医療を受ける患者の満足度の向上を図る。						
担当者				Eメールアドレス			
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	1	人	兼任	2 人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ						
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	その他	生野区内のみ					
行政計画への記載	いいえ						
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	8		2	14	1
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		19			6		
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断						
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承						
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)							
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子版おくり手帳, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板, SNSなど)						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:処方オーダー, △:注射オーダー, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果						
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1082

情報更新日： 2017/2/22

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定					
安全管理		○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用			千円				
運用費用			千円				
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	千円		
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円		
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用	千円					
	運用費用	千円					
実施予定のネットワーク	構築費用	千円					
	運用費用	千円					
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円		
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		28	回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		5	回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		説明会の開催，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催，医師会を通じた周知					
特に効果のあったもの・理由		医師会を通じた周知					
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会		(会員増加時) 医師会			
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		市町村単位					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス		電子紹介状，画像情報の共有，画像診断サービス，検査機関との連携					
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1084

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	未記載						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況					
公開URL							
ネットワークの概要							
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分							
団体名							
住所	〒						
電話番号		所属部署					
担当者		Eメールアドレス					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加							
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	人	兼任	人	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的							
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域							
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
同意取得について							
医療機関等							
介護施設、その他							
患者							
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合							
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携バス)							
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)							
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用							
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1084

情報更新日： 2017/2/23

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円	
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1085

情報更新日： 2017/3/19

医療情報連携ネットワークの概要								
ネットワークの名称	未記載							
ネットワークの略称・愛称								
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況						
公開URL								
ネットワークの概要								
医療情報連携ネットワークの代表団体								
代表団体区分								
団体名								
住所	〒							
電話番号					所属部署			
担当者					Eメールアドレス			
自治体の運営への参加								
自治体の運営への参加								
医療情報連携ネットワークの運営								
事務局人数	専任	人		兼任	人			
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など								
ネットワークの導入目的								
地域の課題								
ネットワーク導入による効果								
ネットワークが現在抱えている課題								
運営について工夫した点、苦労した点								
対象地域								
行政計画への記載								
参加団体数と参加患者数								
			参加施設数					
			病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)								
参加団体数(予定)								
			施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院							
	地域医療支援病院							
	精神科病院							
参加患者数(実績数)			登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
同意取得について								
医療機関等								
介護施設、その他								
患者								
同意取得について(患者詳細)								
新規患者からの同意取得								
患者が同意の撤回(脱退)する場合								
新たに参加施設が増えた場合								
提供しているサービス状況								
連携している疾病(連携バス)								
提供しているサービス項目								
その他 備考・補足								
共有できる情報項目								
利用している情報項目								
利用している情報の取得元システム								
医療情報連携ネットワークのシステム								
連携方式								
情報共有形態								
地域共通ID								
連携情報の保管場所								
障害対策(バックアップ体制)								
厚生労働省標準規格の採用								
情報連携基盤技術仕様								
通信ネットワーク・ログインセキュリティ								
医療機関等との通信(開示側)								
医療機関等との通信(閲覧側)								
介護施設・その他施設との通信								
患者との通信								
医療機関・薬局用								
介護施設・その他施設用								
患者用								

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円	
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定のネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1086

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	(仮称) 城東区在宅ケア情報共有ネットワーク		
担当者	森道子	Eメールアドレス	ishikai@jotoishikai.or.jp
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会		(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1091

情報更新日： 2017/3/9

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	地域医療連携システム
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ヒューマンブリッジ		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要			

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	淀川キリスト教病院		
住所	〒		
電話番号		所属部署	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側				閲覧側	
	医科診療所	開示側				閲覧側	
	歯科診療所	開示側				閲覧側	
	薬局	開示側				閲覧側	
	介護施設	開示側				閲覧側	
	その他	開示側				閲覧側	
	患者	開示側				閲覧側	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金		額(千円)・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1092

情報更新日： 2017/2/22

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)		ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)		ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)		(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1093

情報更新日： 2017/3/8

医療情報連携ネットワークの概要						
ネットワークの名称	未記載					
ネットワークの略称・愛称						
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中			
公開URL	一般には非公開					
ネットワークの概要	日生病院と事前に提携をした診療機関のみ					
医療情報連携ネットワークの代表団体						
代表団体区分						
団体名						
住所	〒					
電話番号			所属部署			
担当者			Eメールアドレス			
自治体の運営への参加						
自治体の運営への参加	参画していない					
医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	3	人	兼任	人	
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など						
ネットワークの導入目的	医療連携					
地域の課題						
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった					
ネットワークが現在抱えている課題						
運営について工夫した点、苦労した点						
対象地域						
行政計画への記載	いいえ					
参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		36				
参加団体数(予定)		6				
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について						
医療機関等						
介護施設、その他						
患者						
同意取得について(患者詳細)						
新規患者からの同意取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合						
新たに参加施設が増えた場合						
提供しているサービス状況						
連携している疾病(連携パス)						
提供しているサービス項目		○:診療情報の連携				
その他 備考・補足						
共有できる情報項目						
利用している情報項目		○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果				
利用している情報の取得元システム		○:病院(電子カルテ)より取得				
医療情報連携ネットワークのシステム						
連携方式		○:クラウド型				
情報共有形態		○:参照のみ				
地域共通ID		○:HumanBridgeシステムを利用				
連携情報の保管場所		○:院外のデータセンター				
障害対策(バックアップ体制)		○:提供ベンダーのサービスを利用				
厚生労働省標準規格の採用						
情報連携基盤技術仕様						
通信ネットワーク・ログインセキュリティ						
医療機関等との通信(開示側)		○:IP-VPN				
医療機関等との通信(閲覧側)		○:IP-VPN				
介護施設・その他施設との通信						
患者との通信						
医療機関・薬局用						
介護施設・その他施設用						
患者用						

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, ○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
患者	開示側			閲覧側			

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時)
参加機関・患者拡大のメリット	(会員増加時)
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0106

情報更新日： 2017/4/5

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	地域医療ネットワークシステム
ネットワークの略称・愛称	地域医療ネットワーク
運用開始(予定)年	ネットワークの稼働状況
公開URL	
ネットワークの概要	患者の同意を得た後、利用医療機関に設置された専用端末から当院内設置サーバにVPNで接続し、各種検査結果や医師カルテ等を参照するシステム。

医療情報連携ネットワークの代表団体	
代表団体区分	
団体名	
住所	〒
電話番号	所属部署
担当者	Eメールアドレス

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	

医療情報連携ネットワークの運営	
事務局人数	専任 人 兼任 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	利用機関で、患者の同意取得等、データを参照できるまでの作業が負担となりがちであるため、軽減する方法又はシステムが必要。□
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 豊能
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		
	参加施設数	
	病院 医科診療所 20 歯科診療所 薬局 介護施設 その他の施設	
参加団体数(実績)		
参加団体数(予定)		
	施設の有無 施設数 施設名	
参加している病院の施設類型	特定機能病院	
	地域医療支援病院	
	精神科病院	
参加患者数(実績数)	登録患者数 その内の実際に情報共有している患者数	

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	△:胃・大腸がん, △:肝炎, △:糖尿病
提供しているサービス項目	△:電子紹介状, △:電子クリニックパス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:診療・検査予約
その他 備考・補足	診療録の参照を実施○連携バスについて、導入しているパスもありますが、地域医療ネットワークシステムとの関連性がないため、実施なし/予定なしとしました。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, 利用機関が当院の情報を参照するシステムであり、相互に電子カルテに記録をするようなシステムではない。
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, △:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:標準歯科病名マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	△:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書 (ICカード) , ○:USBトークン
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		30000		千円			
運用費用		1000		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	250	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途					
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途		16000			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	23 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	23 回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時に降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0227

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	八尾市立病院病院・診療所・薬局連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	八尾市立病院病診薬連携ネットワークシステム		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.hospital.yao.osaka.jp/outline-area/system-hospital/		
ネットワークの概要	八尾市立病院の電子カルテ情報を地域の診療所、歯科医院、薬局に公開するシステムである。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	八尾市立病院		
住所	〒581-0069 大阪府八尾市龍華町1-3-1		
電話番号	072-922-0881	所属部署	事務局

自治体の運営への参加		
自治体の運営への参加	運営主体として	病院辞退が自治体運営である。

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	1
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, がん対策, 脳卒中对策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病管理 薬局でのリスク管理
地域の課題	地域医師会、地域薬剤師会からの要請
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	参加施設数の拡大。病院との接続。大手チェーン薬局との接続。病院職員の認証。閲覧者の特定。患者同意。接続時間やシステムスピード。
運営について工夫した点、苦労した点	薬局における患者同意の方法
対象地域	その他 八尾市および周辺都市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		5	37	4	32	
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院		1			
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数	
		994			994	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, ○:電子版おくり手帳, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	連携システム以外で実現できているサービスがある。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0227

情報更新日： 2017/2/15

蓄積された個人情報・診療情報の利用					
個人情報・診療情報の利用		○：地域の医療費適正化の目的で利用，△：学術研究等の公益目的で利用，◇：統計結果の公益目的以外で利用			
将来のシステムの更改の費用負担					
将来のシステムの更改の費用負担		その他 病院の事業会計			
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	544	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	12	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	278	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	11	回
診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況		あり	電子的診療情報評価料の算定状況		なし
普及に向けた施策・取組					
周知・広報の施策・取組		公的な会議での周知，医師会を通じた周知，その他			
特に効果のあったもの・理由		その他 市の広報誌、処方せんへの記載			
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会		(会員増加時) その他	
参加機関・患者拡大のメリット		患者数の拡大とともに必要な患者に必要なサービスを提供すること。			
地域範囲の適切なサイズ		二次医療圏			
構築時以降に、追加したサービス		診療情報の連携，医療従事者用モバイル対応，その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど），その他のサービス診療・検査予約			
追加サービスと会員増加の関係		どちらも言えない			
会員増加に効果的なサービス		診療情報の連携，電子紹介状，電子おくり手帳，電子版糖尿病手帳，退院時サマリ，健診情報連携，画像情報の共有，画像診断サービス，検査機関との連携，患者用IDカードの発行，医療従事者用モバイル対応，患者サービス（PCアクセスサービス），患者サービス（モバイルアクセスサービス），患者による自己管理システム（どこでもMY病院等），在宅医療連携，介護連携，その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど），その他のサービス診療・検査予約，その他のサービス空床情報，その他のサービスメール、メルマガなど			
サービス強化の決定理由		患者サービスの向上			

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0241

情報更新日： 2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ブルーカードシステム		
ネットワークの略称・愛称	ブルーカード		
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.naniwaku-ishikai.or.jp/bluecard.html		
ネットワークの概要	ブルーカード(病状急変時対応カード)とは、浪速区の診療所と複数の病院がネットワークを組み、地域住民が安心して医療機関にかかれるシステムです。患者がブルーカードを所持することにより症状急変時も心配することなく、12病院(浪速区内：愛染橋病院・浪速生野病院・富永病院、近隣病院：大野記念病院・多根総合病院・四天王寺病院・山本第三病院・大和中央病院・大阪警察病院・内藤病院・育和会記念病院・大手前病院)が連携して患者の診察・入院受入れをしようというものです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	浪速区医師会		
住所	〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋5-21-15		
電話番号	06-6633-3818	所属部署	病診連携担当理事
担当者	久保田泰弘	Eメールアドレス	yasuhirokt@gmail.com

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任		10
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策 持続可能な運用コストで、かつ紙カルテの開業医にも利用できるよう医師会でPDF化し運用しているシステムである。
地域の課題	・救急医療体制の悪化(搬送時間の短縮・搬送受入れ拒否の劇減)・在宅医療体制の強化在宅医療導入促進
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	アナログデータをいかに正確にデジタル化しデータマイニングに活かせるか。
運営について工夫した点、苦労した点	医師会員全員が、参加する意志があれば容易に参加できる
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	大阪市内中部

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	内科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		15	40			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院				
		地域医療支援病院	10			
		精神科病院				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		810		810		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子処方箋(実証等), △:電子版おくすり手帳, △:画像情報の共有, △:検査機関との連携, ○:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:空床情報, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	△:薬局(調剤レセコン)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, ○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, △:その他の共通システムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	△:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), △:診療情報提供書(電子紹介状), △:臨床検査マスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	△:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	有料	1000	閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用, ○:学術研究等の公益目的で利用

予算関係					
構築費用		1000		千円	
運用費用		1800		千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	0
	連携費用	200床以上		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		ウインテック（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携, 電子版おくり手帳, 検査機関との連携, 患者用IDカードの発行, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 退院時サマリ, 画像情報の共有, 画像診断サービス, その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0415

情報更新日： 2017/2/16

医療情報連携ネットワークの概要					
ネットワークの名称	T-CARECOM空床情報システムT-CARECOM				
ネットワークの略称・愛称	T-CARECOM				
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中		
公開URL					
ネットワークの概要	空床情報連携システム				
医療情報連携ネットワークの代表団体					
代表団体区分	一般社団法人				
団体名	一般社団法人東成区医師会				
住所	〒537-0014 大阪府大阪市東成区大今里西2丁目7番17号				
電話番号	06-4306-3827	所属部署	東成区医師会地域医療連携室		
担当者	黒田和子	Eメールアドレス	renkei@higashinari-med.or.jp		
自治体の運営への参加					
自治体の運営への参加	参画していない				
医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	人	兼任	3	人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など					
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策				
地域の課題	同一区外の機関に対しては、参加依頼や連携強力の実行に対して温度差があり苦慮する場合がある。また、IT機器に対応できていない機関が複数あって、参加協力いただけない場合がある。				
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった				
ネットワークが現在抱えている課題	電子カルテとの連動がないため、入力は二度手間になる。				
運営について工夫した点、苦労した点	当初は区内機関だけを対象としていたが、利便性を考え近隣区外のじぎゅ者も対象とした。				
対象地域	市区町村単位での連携		大阪市東成区とその近隣		
行政計画への記載					
参加団体数と参加患者数					
参加団体数(実績)	参加施設数				
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設 その他の施設
参加団体数(予定)	1	8	1		
参加している病院の施設類型	特定機能病院				
	地域医療支援病院				
	精神科病院				
参加患者数(実績数)	登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
同意取得について					
医療機関等	○:施設ごとの参加判断				
介護施設、その他					
患者					
同意取得について(患者詳細)					
新規患者からの同意取得					
患者が同意の撤回(脱退)する場合					
新たに参加施設が増えた場合					
提供しているサービス状況					
連携している疾病(連携パス)					
提供しているサービス項目	○:空床情報				
その他 備考・補足	在宅医療介護連携は別のシステムを稼働中。				
共有できる情報項目					
利用している情報項目	△:その他、情報は、連動する電話連絡とメールでのやり取りに終始している。				
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得、病職員が手入力				
医療情報連携ネットワークのシステム					
連携方式	○:クラウド型				
情報共有形態	○:双方向での共有				
地域共通ID	共通IDを使用していない				
連携情報の保管場所	△:院外のデータセンター				
障害対策(バックアップ体制)	○:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:他地域との複製データ共有, △:磁気メディア等のバックアップデータを保存, 特別な対策はしていない, 専門の事業者が対応				
厚生労働省標準規格の採用					
情報連携基盤技術仕様					
通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信(開示側)					
医療機関等との通信(閲覧側)					
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)				
患者との通信					
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード				
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード				
患者用					

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0415

情報更新日： 2017/2/16

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△:個人情報保護方針の制定, △:セキュリティポリシーの制定, △:運用管理規程の制定, △:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, △:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用

予算関係							
構築費用	0	千円					
運用費用	90	千円					
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途					
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途					
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業	(株) MSD						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時)
参加機関・患者拡大のメリット	(会員増加時)
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0434

情報更新日： 2017/3/1

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	泉州南部診療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	なすびんネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://nasubin.net/		
ネットワークの概要	情報公開施設で保管している診療情報を、地域医療連携システム「ID-LINK」を通して、他の病院や診療所が参照します		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 協議会		
団体名	泉州南部診療情報ネットワーク運営協議会(りんくう総合医療センター内)		
住所	〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23		
電話番号	072-469-3111	所属部署	

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携 貝塚市、泉佐野市、阪南市、泉南市、熊取町、田尻町、岬町
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		12	54	7	2	
参加団体数(予定)					0	
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院		1	りんくう総合医療センター		
	精神科病院		2	七山病院、白井病院		
		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
参加患者数(実績数)		3000			3000	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:糖尿病
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), ○:サマリ, △:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, △:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ, 情報公開施設同士の連携は双方向での情報共有
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:JAHIS処方データ交換規約, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 0434

情報更新日： 2017/3/1

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	電子紹介状, 退院時サマリ
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1074

情報更新日： 2017/3/8

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ひらかた地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	現在検討中		
運用開始(予定)年	2016	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	枚方市の「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」で、地域完結型の医療を実現させるための事業の一つとして、本ネットワークの協議会を発足。平成28年3月に稼働開始。		

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 電子版糖尿病手帳, 退院時サマリ, 健診情報連携, 画像情報の共有, 検査機関との連携, 医療従事者用モバイル対応, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有(掲示板, SNSなど), その他のサービス診療・検査予約		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1078

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	Keijinkai-NET						
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年	2017	ネットワークの稼働状況	試験運用中(実証事業を含む)				
公開URL							
ネットワークの概要	当院の基本方針「地域の医療機関と連携を密にとり、地域に根ざした医療を提供します。」を基に今回、電子カルテ及び医用画像のデータを、システム管理課内のサーバ室に設置したサーバにSS-MIX2形式で保管管理し、標準ストレージ(病名・処方・検査・所見等)と拡張ストレージ(画像・レポート・検査予約等)のデータをセキュリティで担保した上で、地域の病院及び診療所(連携施設(病院・開業医))に開示することで重複診療及び過剰投薬等のコントロールが可能となる。リアルタイムに患者の状態を確認することができることからの確な地域医療サービスを即座に提供することが可能となる。						
担当者	坂口義紀	Eメールアドレス	sakaguchi@keijinkai-hp.net				
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	6	人	兼任	人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	医療連携						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域							
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)		15	17				
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
同意取得について							
医療機関等	△:施設ごとの参加判断						
介護施設、その他							
患者	△:すべての施設毎に同意を得る						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による						
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得						
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)	△:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:肝炎						
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:電子クリニカルパス, △:画像情報の共有, △:画像診断サービス, △:検査機関との連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約						
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目	△:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:手術記録, △:処方オーダー, △:検体検査オーダー, △:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, △:検体検査結果, △:生理検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等)						
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	△:集中型						
情報共有形態	△:双方向での共有						
地域共通ID							
連携情報の保管場所							
障害対策(バックアップ体制)	△:提供ベンダーのサービスを利用, △:磁気メディア等のバックアップデータを保存						
厚生労働省標準規格の採用	△:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン						
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)						
医療機関等との通信(閲覧側)	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)						
介護施設・その他施設との通信							
患者との通信							
医療機関・薬局用	HPKI電子証明書						
介護施設・その他施設用							
患者用							

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1078

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	△：個人情報保護方針の制定, △：セキュリティポリシーの制定, △：運用管理規程の制定, △：操作マニュアルの整備
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, △：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, △：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	未定
利用している情報の取得元システム	△:病院（電子カルテ）より取得, △:病院（画像システム）より取得

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業							

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組		
周知・広報の施策・取組		
特に効果のあったもの・理由		
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ		
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1088

情報更新日： 2017/3/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	在宅医療介護ICT連携情報共有システム		
ネットワークの略称・愛称	なし		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	システム会社のクラウドコンピューターに保管されている患者の情報について、タブレット端末やパソコン等を活用して書き込みや閲覧を容易に行い、在宅医療・ケアに関わる多職種間での情報を共有ができるもの。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	大阪狭山市		
住所	〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山1丁目2384-1		
電話番号	072-366-0011	所属部署	保健福祉部高齢介護グループ

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	2 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	その他 在宅医療介護連携推進事業の一環
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システム利用者の拡大についての進め方が困難
運営について工夫した点、苦労した点	すでに別のシステムを活用していることが多く、当システムを利用していただくにあたってのの説明が難しい。
対象地域	市区町村単位での連携 大阪狭山市
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		15	5			10
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
	施設の有無	施設数	施設名			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		8			5	

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	その他の方式 主治医と調整しながら行う。
患者	その他の方式 主治医が調整し、判断した関係機関のみ

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	その他 主治医との調整
新たに参加施設が増えた場合	その他 未定

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	医師による往診状況・訪問看護師による訪問状況等の情報共有や指示

共有できる情報項目	
利用している情報項目	基本的に情報共有・連携のための内容を想定しているが、試行中である。
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	基本的に主治医に閲覧設定権限がある。
地域共通ID	
連携情報の保管場所	システム会社
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担				公的資金より負担			
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組				説明会の開催, 公的な会議での周知, 医師会を通じた周知			
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク				(立上げ時) 医師会		(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 近畿

大阪府

整理番号： 1094

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要	
ネットワークの名称	市立池田病院地域医療ネットワークシステム
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0119

情報更新日： 2017/3/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携システム「北はりま絆ネット」		
ネットワークの略称・愛称	北はりま絆ネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://kitaharima-ikiiki.com/kizuna/index.html		
ネットワークの概要	患者さんの診療情報の一部(服薬・注射・臨床検査・放射線画像)を、本人の同意の下、安全性に十分配慮しながら関係する医療機関で共有するシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	兵庫県北播磨県民局加東健康福祉事務所		
住所	〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2		
電話番号	0795-42-9355	所属部署	企画課
担当者	西邑雅代	Eメールアドレス	Masayo_Nishimura@pref.hyogo.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 北播磨
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		18	76			6	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
	施設の有無	施設数	施設名				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1257			1257		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:画像情報の共有, ○:在宅医療連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他, 画像診断レポート
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:その他のVPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側	無料	
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担 未定 情報公開施設の負担							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 国の負担（厚労省）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		287 回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		25 回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		1595 回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		18 回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		チラシ配布					
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時) 基幹病院			(会員増加時) 医師会		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		都道府県					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0087

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	阪神医療福祉情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	h-Anshinむこねっと		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.mukonet.org/		
ネットワークの概要	患者情報共有システム患者さんの同意の上で、情報公開施設の検査画像や所見、入院中の患者サマリー等をweb上で参照施設が閲覧することができ、検査後や退院後の診療に役立つシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	阪神医療福祉情報ネットワーク協議会		
住所	〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町4-4-8		
電話番号	06-6422-6510	所属部署	

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周度期医療対策, 医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した
ネットワークが現在抱えている課題	参加医療機関数の伸び悩み
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 阪神南北医療圏
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		28	186	1		
参加団体数(予定)				0	0	0
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	兵庫医科大学病院		
	地域医療支援病院	あり	6	県立尼崎総合医療センター、関西労災病院、県立西宮病院、市立伊丹病院、近畿中央病院、宝塚市立病院		
	精神科病院	あり				
	施設の有無		施設数	施設名		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		6431			6431	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:糖尿病
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリー, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:サマリー, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:標準歯科病名マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0087

情報更新日： 2017/3/3

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	10000	閲覧側	有料	10000
	医科診療所	開示側			閲覧側	有料	2000
	歯科診療所	開示側			閲覧側	有料	2000
	薬局	開示側			閲覧側	有料	2000
	介護施設	開示側			閲覧側	有料	2000
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担,地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担,国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担,地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1411	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	162	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	1411	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	162	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布,説明会の開催
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0324

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	カナミックネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	法人内の患者情報を共有し、情報共有ツールとして使用している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	医療法人社団まほし会真星病院		
住所	〒651-1242 兵庫県神戸市北区山田町上谷上字古々谷12-3		
電話番号	078-582-0111	所属部署	医療連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	神戸市北区は非常に広域であり、情報共有がFAXだけでは不十分な場合等がある。まずは同一法人内でのサービスを開始した。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した
ネットワークが現在抱えている課題	地域内の医療機関とのネットワーク構築へのステップアップに向けた取り組み
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携 神戸市北区
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)							
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1			1		

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:糖尿病
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：操作マニュアルの整備					
安全管理		○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他 患者	開示側	無料		閲覧側	無料	
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用				千円			
運用費用		60		千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	千円
	連携費用	200床以上	0	千円		200床以下	0 千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		0	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		0	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		0	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		0	回
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会			(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		市町村単位					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係		サービス強化と会員の増加には影響はなかった					
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0381

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	加古川地域保健医療情報システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2000	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.kakogawa.or.jp/		
ネットワークの概要	加古川市、稲美町、播磨町では全国に先駆けて昭和63年から加古川医師会などの関係機関と協力して、加古川地域保健医療情報システムを築きあげてきた。加古川地域保健医療情報システムとは地域住民が病院や診療所にかかったときに「いつでも、どこでも、だれでも」が安心して適切な医療サービスを受けることをサポートするシステムである。具体的には5つの基幹システム(検査・健診オンラインシステム、ICカードシステム、診療所支援システム、画像情報システム、健康増進システム)から成り立っている。また、地域住民自身が管理できる加古川地域住民健康情報活用システムや地域の感染症発生動向をわかりやすく伝える感染症情報提供システムなども運用している。これらは地域内約33万人の健康増進、疾病予防から治療、リハビリテーション、さらには福祉サービスに至るまで、幅広く生活に密着したサービスを効率良く提供できる「地域保健医療福祉型の情報システム」である。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 公益財団法人		
団体名	公益財団法人加古川総合保健センター		
住所	〒675-0065 兵庫県加古川市加古川町篠原町103-3		
電話番号	079-429-2250	所属部署	情報発信課
担当者	竹田淳	Eメールアドレス	takeda_kic@knc.kakogawa.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	9	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システムや機器の更新費用。システムの認知度が低く、今後も引き続き地域住民への周知が必要。
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	市区町村単位での連携 加古川市、稲美町、播磨町
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		13	117			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院	なし			
	地域医療支援病院	なし	2	県立加古川医療センター、加古川中央市民病院		
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		158646		45850		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:患者による自己管理システム, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	感染症情報の共有

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:検体検査結果
利用している情報の取得元システム	○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	○:インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	
患者用	○:ICカード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:学術研究等の公益目的で利用

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	11409	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	119	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	21208	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	43	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知, その他
特に効果のあったもの・理由	その他
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	患者サービス（PCアクセスサービス）
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	患者サービスの向上

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0507

情報更新日： 2017/3/7

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	IDリンク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	その他
公開URL			
ネットワークの概要	主に患者紹介のある医療機関(2ヶ所)を対象。当院のカルテ内のいくつかの情報を閲覧できるようにしている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	神戸低侵襲がん医療センター		
住所	〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町8-5-1		
電話番号	078-304-4100	所属部署	地域医療連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, がん対策 1.画像検査された方の画像データや所見が郵送で紹介元に届くまでのタイムラグ解消のため。2.当院で対応できない緊急対応が必要な患者のコンサルや迅速な情報提供を行うため。
地域の課題	画像データなど情報提供時(FAXや郵送)のタイムラグ
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	患者同意書記載の是非。システム連携する医療機関をどこまで広げるか。システム利用方法の簡素化。画像、処方など以外の情報(カルテ記事など)について公開する是非。
運営について工夫した点、苦労した点	個人情報保護の観点(不安や心配)から導入・開始までに時間がかかりすぎた。
対象地域	その他
行政計画への記載	普段から患者紹介の多い医療機関

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2					
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		150			130		

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:標準歯科病名マスター
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0507

情報更新日： 2017/3/7

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数				ポータルサイトへのログイン実績のある施設数			
開示施設の患者情報への総アクセス回数				開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数			
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時)			(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 0534

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称		西播磨圏域医療介護連携システム	
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名			
住所		〒	
電話番号		所属部署	
担当者		Eメールアドレス	

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			人

参加団体数と参加患者数							
参加団体数(実績)		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			24				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院					
		地域医療支援病院					
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

予算関係						
構築費用		5618		千円		
運用費用		472		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0
		連携費用	200床以上	0	千円	200床以下
地域医療再生臨時特例交付金			額(千円)・用途			
地域医療介護総合確保基金			額(千円)・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)		ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)		ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	133	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数
			28
開示施設の患者情報への総アクセス回数	0	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数
			0

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 1029

情報更新日： 2017/3/7

医療情報連携ネットワークの概要						
ネットワークの名称	IDリンクによる神戸低侵襲がん医療センターの電子カルテ閲覧サービス					
ネットワークの略称・愛称						
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	その他			
公開URL						
ネットワークの概要	特定の連携医療機関に対して、主に画像検査、処方情報を公開					
医療情報連携ネットワークの代表団体						
代表団体区分						
団体名						
住所	〒					
電話番号						
担当者	所属部署					
	Eメールアドレス					
自治体の運営への参加						
自治体の運営への参加						
医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	人	兼任			
			人			
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など						
ネットワークの導入目的						
地域の課題						
ネットワーク導入による効果						
ネットワークが現在抱えている課題						
運営について工夫した点、苦労した点						
対象地域						
行政計画への記載						
参加団体数と参加患者数						
	参加施設数					
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)						
参加団体数(予定)						
	施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
	登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
参加患者数(実績数)						
同意取得について						
医療機関等						
介護施設、その他						
患者						
同意取得について(患者詳細)						
新規患者からの同意取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合						
新たに参加施設が増えた場合						
提供しているサービス状況						
連携している疾病(連携バス)						
提供しているサービス項目						
その他 備考・補足						
共有できる情報項目						
利用している情報項目						
利用している情報の取得元システム						
医療情報連携ネットワークのシステム						
連携方式						
情報共有形態						
地域共通ID						
連携情報の保管場所						
障害対策(バックアップ体制)						
厚生労働省標準規格の採用						
情報連携基盤技術仕様						
通信ネットワーク・ログインセキュリティ						
医療機関等との通信(開示側)						
医療機関等との通信(閲覧側)						
介護施設・その他施設との通信						
患者との通信						
医療機関・薬局用						
介護施設・その他施設用						
患者用						

地域・都道府県： 近畿

兵庫県

整理番号： 1029

情報更新日： 2017/3/7

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用		千円	
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円	
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円	
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数			回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数			回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク 参加機関・患者拡大のメリット				(立上げ時)			
地域範囲の適切なサイズ				(会員増加時)			
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 近畿

奈良県

整理番号： 1096

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	奈良県総合医療センター地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	あをによし医療ネット		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	奈良県総合医療センター地域医療連携ネットワーク「あをによし医療ネット」は、奈良県北和地域において、当センターと地域の医療機関が緊密な医療連携を行い、効率的で良質な医療を広く県民に提供するために、同意の得られた患者の診療情報を地域医療機関との間で共有するものである。あをによし医療ネットは、奈良県総合医療センターが整備・運用し、地域の医療機関で奈良県総合医療センター登録医が参加するものである。運用については、「あをによし医療ネット運用規程」に準ずるものとする。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県総合医療センター		
住所	〒631-0846 奈良市平松1丁目30-1		
電話番号	0742-46-6001	所属部署	患者支援センター

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	2 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・一方向制の情報提供のみで、双方向性になっていない・参加施設数が少ない
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	その他
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			13				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院 地域医療支援病院 精神科病院	施設の有無	施設数	施設名			
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		40					

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHS放射線データ交換規約, ○:JAHS処方データ交換規約, ○:看護実践用語標準マスター, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:XDS.b

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	80000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	14	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	3	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	11	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	2	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

奈良県

整理番号： 0122

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	奈良県救急医療管制システム		
ネットワークの略称・愛称	e-MATCH		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	<p>・消防機関が現場で観察した患者の情報を端末(iPad)に入力すると、症状に合った搬送候補病院が現場から近い順に一覧表示・救急隊が入力した内容は医療機関の端末に伝達・救急隊が照会した結果(病院の受入可否状況)が全消防本部・救急隊で共有・医療機関では、患者の診断、処置、転帰等を入力し、サーバに保存。県内救急搬送状況の把握するためのデータを蓄積・平成25年4月1日より、端末は消防機関及び医療機関に配備し、双方で運用している状況</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	奈良県庁		
住所	〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30		
電話番号	0742-27-8423	所属部署	総務部知事公室消防救急課

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

奈良県

整理番号： 1095

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	まほろば医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	まほろばネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.kokuho-hp.or.jp/mahorobanet00.html		
ネットワークの概要	奈良県で初めてとなる、ICTを活用した医療連携ネットワーク。国保中央病院と済生会中和病院の2病院が立地する桜井地区医師会および広陵町医師会に属する診療所との間で診療情報の共有を図り、一層緊密な連携を構築する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国保中央病院		
住所	〒636-0302 奈良県磯城郡田原本町宮古404-1		
電話番号	0744-32-8800	所属部署	地域支援センター
担当者	峯川純也、吉岡真大、奥中正恵	Eメールアドレス	chiiki@kokuho-hp.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	小児医療対策, 医療連携, がん対策 地域包括ケアシステム構築
地域の課題	地域包括ケアシステムを完成させるために、病診連携だけではなく、在宅介護、訪問看護等との連携をスムーズにし、強化する必要がある。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	情報提供施設と情報閲覧施設の間で、双方方向の情報のやりとりが困難である。
運営について工夫した点、苦労した点	地区医師会の同意を得ることで、地区内すべての医療機関との連携が容易となった。協議会を設立し、運用方法等を決定するのに苦労した。
対象地域	市区町村単位での連携 桜井市、磯城郡(田原本町・川西町・三宅町)、北葛城郡(広陵町)
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		4	52	0	0	0
参加団体数(予定)		0	30	0	0	0
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし	1	済生会中和病院		
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		1796		1796		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:胃・大腸がん, △:その他のがん
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	△:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	ID-LINKのデータは、最新データ取得により復元可能
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD11対応標準病名マスター, ○:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIX3/PDQ/PDQV3, ○:XDS, b, ○:XCA, ○:CT

地域・都道府県： 近畿

奈良県

整理番号： 1095

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN,○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）,○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,△:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用		48641	千円			
運用費用		1684	千円			
内訳	運用費内訳	保守費	1684	千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用	24320	千円	地域診療情報連携推進室補助金		
	運用費用		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用		千円			
	運用費用		千円			
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円	
主な関連IT企業		(株) SEC, (株) シーエスアイ,NECネクサソリューション (株)				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担,国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	537	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	13	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	1413	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	9	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布,説明会の開催,医療機関等への訪問,公的な会議での周知,医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 直接説明した方が、理解してもらいやすい。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	地域包括ケアシステムを完成させるための情報共有の一助となる。
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	医療従事者用モバイル対応,患者サービス（PCアクセスサービス）,患者サービス（モバイルアクセスサービス）,在宅医療連携,介護連携,その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため,会員満足度の向上,患者サービスの向上

地域・都道府県： 近畿

和歌山県

整理番号： 0250

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ゆめ病院		
ネットワークの略称・愛称	ゆめ病院		
運用開始(予定)年	2002	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.kit.co.jp/yume2/index.htm		
ネットワークの概要	コンピュータ上の仮想病院で患者さんの情報を共有できる。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人伊都医師会		
住所	〒648-0072 和歌山県橋本市東家1丁目3-1		
電話番号	0736-33-1923	所属部署	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 近畿

和歌山県

整理番号： 0261

情報更新日： 2017/2/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	きのくに医療連携システム青洲リンク		
ネットワークの略称・愛称	青洲リンク		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.seishu-link.jp/		
ネットワークの概要	和歌山県内の医療機関の診療情報をSS-MIX2で外部保存し、平時の医療連携ならびに災害時の情報保全、診療継続に活用する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	和歌山県立医科大学附属病院		
住所	〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1		
電話番号	073-441-0858	所属部署	医療情報部

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	来たるべき大災害に備えて、地域医療のBCPの確立が喫緊の課題である。県域にわたる医療連携のコアネットワークの構築。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	機能拡張, 対象エリア, 参加医療機関の拡大。
運営について工夫した点、苦労した点	参加医療機関拡大
対象地域	全県域での連携 和歌山県
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		12	22	1	77		
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	和歌山県立医科大学附属病院			
	地域医療支援病院	あり	1	国立病院機構南和歌山医療センター			
	精神科病院	あり					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1890198			409		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, ○:電子版おくすり手帳, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(レセコン)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:歯科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:専用線
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 近畿

和歌山県

整理番号： 0261

情報更新日： 2017/2/16

システムの運用管理					
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備, △：障害・災害時の対応規定の制定				
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △：定期的な運用管理規程等の見直し, △：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, △：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理				
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	450	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	33	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	517	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	29	回
診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり		
普及に向けた施策・取組					
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知				
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問				
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット	患者の重複検査の減少				
地域範囲の適切なサイズ					
構築時以降に、追加したサービス	電子版おくすり手帳, 在宅医療連携				
追加サービスと会員増加の関係					
会員増加に効果的なサービス					
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上				

地域・都道府県： 近畿

和歌山県

整理番号： 0492

情報更新日： 2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	すさみ町地域見守り支援システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	すさみ町の住民で同意のある方について、町立の病院と診療所における医療情報、町立の訪問看護ステーションにおける訪問看護情報、町役場における検診・予防接種情報と独居高齢者安否確認センサー情報、すさみ町社会福祉協議会における訪問介護情報を相互に閲覧できるシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	和歌山県西牟婁郡すさみ町役場		
住所	〒649-2621 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見4089番地		
電話番号	0739-55-2004	所属部署	国保すさみ病院事務所

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策, 救急医療対策, へき地医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	医師・看護師・介護士など医療福祉保健に関わる人材が少ないことが課題である。その課題を情報共有システムで少しでも解消し、効率的なサービスの提供に努めることが求められている。
ネットワーク導入による効果	
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	病院、役場、社会福祉協議会など参画機関の担当者が協議を重ねてきていることで顔の見える信頼し合える関係が構築されている。
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	すさみ町のみ

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 近畿

和歌山県

整理番号： 0532

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	淡路地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	「あわじネット」		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	患者さんの同意に基づき、患者さんが指定する淡路地域の医療機関で医療情報を共有することにより、緊密な医療連携を行うことを目的にしたものです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	兵庫県立淡路医療センター		
住所	〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1番137号		
電話番号	0799-22-1200	所属部署	副院長

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	1 人	兼任	6 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, がん対策, 脳卒中对策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策
地域の課題	・5大がんクリバスの電子ファイル化しICT運用・医療介護連携への発展の虚位ぎ・退院サマリー
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	地域の病病連携では活用が進んでいない
運営について工夫した点、苦労した点	C@RNA予約システムとID-LINK(データ見る)システムの両方を使っており、C@RNAは、患者さんの同意書がなくても使用でき、ID-LINKは、患者さんの同意書がないとデータを見られないので、ネット予約患者さんの返書やCDを手渡しせず、データも見られないと困るので、患者さんの同意書がないと予約受付しないようにしています。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	淡路島内3市+徳島県の一部
	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		5	30	3		
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		1337			1330	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断, その他の方式 医療-介護連携に発展するかを協議中
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:胃・大腸がん, △:その他のがん
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, △:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, △:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリー, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, △:画像診断サービス, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:診療・検査予約, △:空床情報
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, ○:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリー, △:手術記録, △:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, △:内視鏡検査オーダー, △:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, △:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型, ○:クラウド型
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, ○:その他の共通システムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, △:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, ○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード、○：HPKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	（運用費内訳）	保守費		その他費用	千円
主な関連IT企業		日本電気（株），富士フィルムメディカル（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	8000	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	44	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	28000	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	44	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知
人的なネットワーク	（立上げ時）基幹病院 （会員増加時）基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	患者情報の電子的共有・情報アクセスの向上・重複検査の回避・紙書類の軽減・
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時に降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携，電子紹介状，画像情報の共有
サービス強化の決定理由	その他

地域・都道府県： 近畿

和歌山県

整理番号： 1030

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要						
ネットワークの名称	なし					
ネットワークの略称・愛称						
運用開始(予定)年		ネットワークの稼働状況				
公開URL						
ネットワークの概要						
医療情報連携ネットワークの代表団体						
代表団体区分						
団体名						
住所	〒					
電話番号				所属部署		
担当者				Eメールアドレス		
自治体の運営への参加						
自治体の運営への参加						
医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	人		兼任	人	
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など						
ネットワークの導入目的						
地域の課題						
ネットワーク導入による効果						
ネットワークが現在抱えている課題						
運営について工夫した点、苦労した点						
対象地域						
行政計画への記載						
参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)						
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院				
		地域医療支援病院				
		精神科病院				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
同意取得について						
医療機関等						
介護施設、その他						
患者						
同意取得について(患者詳細)						
新規患者からの同意取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合						
新たに参加施設が増えた場合						
提供しているサービス状況						
連携している疾病(連携バス)						
提供しているサービス項目						
その他 備考・補足						
共有できる情報項目						
利用している情報項目						
利用している情報の取得元システム						
医療情報連携ネットワークのシステム						
連携方式						
情報共有形態						
地域共通ID						
連携情報の保管場所						
障害対策(バックアップ体制)						
厚生労働省標準規格の採用						
情報連携基盤技術仕様						
通信ネットワーク・ログインセキュリティ						
医療機関等との通信(開示側)						
医療機関等との通信(閲覧側)						
介護施設・その他施設との通信						
患者との通信						
医療機関・薬局用						
介護施設・その他施設用						
患者用						

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円	
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定の ネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 中国

鳥取県

整理番号： 0035

情報更新日： 2017/2/25

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	鳥取県医療連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	おしどりネット3		
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	<p>2009年7月より「西伯病院との電子カルテ相互参照システム(おしどりネット)」の運用を開始して以来、現在では、おしどりネットの参加範囲は鳥取県に広がりを見せているとともに、鳥根県の医療連携ネットワークシステム「まめネット」を経由して鳥根県の一部の医療機関も参加している。システム機能として、平成28年度末には、これまでの医療機関同士の連携の拡張はもとより、在宅医療システムとの連携、病一病一診における電子紹介システムの構築、さらに将来的には救急・災害対応や調剤薬局との連携等も視野に入れた拡充を目指している。おしどりネットの目的は患者さんのプライバシー保護を厳重に図りながら、情報提供医療機関の電子カルテ情報を接続医療機関が閲覧することができる。これにより、接続医療機関は情報提供医療機関が保有する患者さんの詳細な診療情報を基に診断法、治療法を検討し、患者さんに分かりやすく説明を行い、質の高い安全な診療の提供を可能にすることを目的としている。患者さんがおしどりネットに参加することで、情報提供医療機関で診療を受けられた際の治療内容・検査データ・薬の処方などの診療情報が活用でき、治療の経過やその効果などについて、接続医療機関の医師から分かりやすく説明を受けることができる。また、薬の重複投与の防止、種々の検査データなどが接続医療機関同士で共有されることから、安全で質の高い医療をお受けになることができる。</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	鳥取県地域医療連携ネットワークシステム運営協議会		
住所	〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1		
電話番号	0859-33-1111	所属部署	鳥取大学医学部附属病院
担当者	医療情報部長近藤博史	Eメールアドレス	kondoh@med.tottori-u.ac.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	2
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策 医療再生基金申請時の急性期病院と慢性期病院間の医療情報連携を当初の目的として開始した。
地域の課題	医療再生基金申請時に急性期病院と慢性期病院間の医療連携システムの提案書類の作成を医療政策課から依頼され、その流れで開発運用を開始した。当初、県内主要2病院の連携システムの計画作成を依頼され、216年度18病院の電子カルテと画像システムを県内の診療所を含む6以上の医療機関、県境を越えて鳥根県の7医療機関にてセキュアに高速に参照していただくシステムとして運用中。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏任を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	これまで医療再生基金等による県の予算で開発、導入、運用してきた。今後、自立に向けて進め、NPO等の法人化を進めたいと考えている。
運営について工夫した点、苦労した点	受付窓口不要のオンライン名寄せ等 person 費の掛からないシステム構築を行い、シンクライアント、仮想サーバ、仮想ストレージ等でセキュア、高速、拡張性のシステム、県の情報ハイウェイ、電力会社、国土交通省、県情報政策課の協力によるネットワークのコスト削減し、年間運営経費1000万程度と比較的少額の運用をしている。
対象地域	複数県にまたがる連携 鳥取県中心だが、鳥根県予算でまめネット経由のまめネット参加病院から参照可能になっている。
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		28	29	0	0	0	
参加団体数(予定)		4	4	0	0	0	
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	あり	1	鳥取大学医学部附属病院		
		地域医療支援病院	あり	4	鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、独立行政法人国立病院機構米子医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院		
		精神科病院	あり	17	鳥取大学医学部附属病院、南部町国民健康保険西田病院、日野病院組合日野病院、鳥取県立総合療育センター、独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院、独立行政法人国立病院機構米子医療センター、鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、鳥取生協病院、鳥取県立厚生病院、社会医療法人仁厚会藤井政雄記念病院、野島病院、社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		1990			1990		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定、その他の方式、迅速性から施設の同意確認はしないが、事後の拒否は可能。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:遠隔医療, ○:遠隔カンファランス, ○:電子クリニカルパス, ○:画像情報の共有, △:画像診断サービス, △:検査機関との連携, △:医療従事者用モバイル対応, △:患者による自己管理システム, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	サービスについては現時点での見込みであり、変更の可能性があります。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○：患者基本情報（氏名、年齢、住所等）、○：病名情報、○：診療情報提供書、○：医師記録（経過記録）、○：サマリ、○：手術記録、○：看護記録、○：その他文書、○：処方オーダー、○：注射オーダー、○：検体検査オーダー、○：放射線検査オーダー、○：内視鏡検査オーダー、○：生理検査オーダー、○：食事オーダー、○：検体検査結果、△：生理検査結果、○：画像（放射線検査、内視鏡検査等）、△：調剤結果
利用している情報の取得元システム	○：病院（電子カルテ）より取得、○：病院（画像システム）より取得、○：医科診療所（電子カルテ）より取得、薬局（調剤レセコン）より取得、検査センター（検査システム）より取得が可能かどうか調査段階。

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○：クラウド型
情報共有形態	○：参照のみ
地域共通ID	○：その他の共通システムを利用、世界標準のIHE-ITIXDS/XDS-Iをシンクライアント基盤上で運用
連携情報の保管場所	大学病院のサーバ室にクラウドサーバ設置外部のデータセンター利は将来的に検討。
障害対策（バックアップ体制）	各病院のSS-MIX2サーバ、DICOMサーバのデータをセンターで保存、再度収集可能
厚生労働省標準規格の採用	○：ICD1対応標準病名マスター、△：患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）、△：診療情報提供書（電子紹介状）、○：IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針、○：保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部：符号化規則、○：医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）、○：JAHIS臨床検査データ交換規約、○：標準歯科病名マスター、○：臨床検査マスター、○：JAHIS放射線データ交換規約、○：HIS、RIS、PACS、モダリティ間予約、会計、照射線情報連携指針（JJ117指針）、○：JAHIS処方データ交換規約、△：看護実践用語標準マスター、○：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	○：PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3、○：XDS. b、○：XDS-I. b、○：XCA、△：XCA-I、○：CT、○：ATNA、△：XCPD

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：専用線、○：IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○：専用線、○：IP-VPN、○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	△：専用線、△：IP-VPN
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：2要素認証、○：IDとパスワード、△：HPKI電子証明書（ICカード）
介護施設・その他施設用	△：2要素認証、△：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定、○：セキュリティポリシーの制定、○：運用管理規程の制定、○：操作マニュアルの整備、△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）、△：定期的な運用管理規程等の見直し、○：従事者との守秘義務契約、△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認、○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ、○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料	0	閲覧側	無料	0
	医科診療所	開示側	無料	0	閲覧側	無料	0
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側	無料	0	閲覧側	無料	0
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担、公的資金より負担、未定、その他 法人化後、電子カルテ、画像の遠隔保存サービス事業による収益を利用することを検討中。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担、その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担、その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1074	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	23	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	561	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	20	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催、医療機関等への訪問、公的な会議での周知、医師会を通じた周知、その他
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知 効果と言われても、システム構築には2つの異なる方向がある。情報提供病院に関しては個別の病院長、管理者と医療情報部長教授の直接交渉、参照医療機関については、現状は医師会説明会だけだが、今後、住民への説明会を考えている。ただ、県は大学のネットワークとしておきたいのか、経費は負担しているが県から住民への広報はされていない。他県接続に関しても、県民予算だから他県へのサービスを避けるように指導されている。島根県との接続は島根県医療政策課の予算による。
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	参加医療機関には今後、運賃費の分担をお願いしたいので、個々の出費を少なくする上で必要。患者数の拡大は、物の動きが少なくなり、経費削減。個人情報漏洩の危険の削減。教育的側面からは、県の医療レベルの向上に結びつく。緊急災害時の利用時に無駄な検査が少なくなる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携、電子紹介状
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中国

島根県

整理番号： 0026

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	しまね医療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	まめネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.shimane-inet.jp/		
ネットワークの概要	島根県の限られた医療資源を有効活用し、県民の保健と福祉を確保する目的で島根県全域の病院、診療所のほか薬局、介護事業所など県民のヘルスケア業務に携わる機関を相互接続したネットワーク。診療情報等を共有するサービスの他、参加機関の業務効率化を図るサービスを提供している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	NPO法人しまね医療情報ネットワーク協会(運営主体)		
住所	〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町2-19-3		
電話番号	0853-22-8058	所属部署	事務局長補佐
担当者	太田かなえ	Eメールアドレス	k-oota@shimane-inet.jp

自治体の運営への参加		
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	運営主体を管理・監督・支援。各関係機関との調整

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	3	人	兼任	2
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、精神科医療対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理
地域の課題	医師不足や医師の偏在による二次医療機関の機能の低下に伴い、限られた医療資源を有効に活用し、地域医療提供体制の維持確保が必要となった
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	情報出力項目が病院毎に異なっている。必須出力項目の増と標準化が必要。ランニング経費の負担軽減や次期システム更新費用の捻出。
運営について工夫した点、苦労した点	島根県のインフラ整備としてネットワーク基盤を構築し基盤の運営費用は島根県が負担、ネットワーク基盤上で提供するサービスの運営費用は利用者が負担する事とした。ネットワークの構築・運用を検討する組織と実際の運営を行う組織(運営主体)分ける事で、役割および責任範囲が明確化した。各圏域の病院、医師会との調整に苦労した。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		43	279	9	69	317
参加団体数(予定)						58
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	島根大学医学部附属病院		
	地域医療支援病院	あり	5	松江赤十字病院、松江市立病院、島根県立中央病院、浜田医療センター、益田地域医療センター-医師会病院		
	精神科病院	あり	4	松江青葉病院、こなんホスピタル、島根県こころの医療センター、松ヶ丘病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数	
		35450			35450	

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	その他の方式 公開同意は一括同意、閲覧同意は個別同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:糖尿病, ○:認知症, ○:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得, ○:その他より取得, 保険者(保険者システム)、介護事業所(介護システム)

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○：クラウド型
情報共有形態	○：双方向での共有，○：参照のみ
地域共通ID	○：HumanBridgeシステムを利用，○：その他の共通システムを利用，HumanBridgeをベースに独自カスタマイズしている。
連携情報の保管場所	○：各医療機関の院内，○：院外のデータセンター
障害対策（バックアップ体制）	○：提供ベンダーのサービスを利用，データセンター内でデータバックアップを実施。遠隔地に連携用データをバックアップ（一部の医療機関が利用）
厚生労働省標準規格の採用	○：診療情報提供書（電子紹介状），○：医療におけるデジタル画像と通信（DICOM），○：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン，○：地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○：PIX/PIX3/PDQ/PDQV3，○：XDS. b，○：CT

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：IP-VPN，○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：IP-VPN，○：インターネットVPN（IPSec+IKE），モバイル通信（閉域網）
介護施設・その他施設との通信	○：IP-VPN，○：インターネットVPN（IPSec+IKE），モバイル通信（閉域網）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	
	薬局	開示側	有料		閲覧側	有料	
	介護施設	開示側	有料		閲覧側	有料	
	その他	開示側	有料		閲覧側	有料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		620000		千円			
運用費用		60000		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	38000	千円	その他費用	22000	千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途		連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用		
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	平年度ベース推計		
	運用費用			千円	平年度ベース推計		
(運用費内訳)		保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		富士通（株），（株）テクノプロジェクト，（株）NTTデータ，KDDI（株），（株）マツケイ					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 利用料収入、公的資金を踏まえ利用者負担を含めて検討中。

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担、自治体の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数	5111	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	330	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催，医療機関等への訪問，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	（立上げ時）その他 （会員増加時）医師会
参加機関・患者拡大のメリット	・患者への安全安心な医療の提供・統計データの集積
地域範囲の適切なサイズ	地方ブロック
構築時以降に、追加したサービス	電子紹介状，医療従事者用モバイル対応，在宅医療連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携，電子紹介状，退院時サマリ，画像情報の共有，在宅医療連携，介護連携，その他のサービス診療・検査予約
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上，患者サービスの向上

地域・都道府県： 中国

島根県

整理番号： 0516

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	未記載		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名			
住所	〒		
電話番号		所属部署	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中国

岡山県

整理番号： 0072

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	医療ネットワーク岡山		
ネットワークの略称・愛称	晴れやかネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://hareyakanet.jp/		
ネットワークの概要	HumanBridge及びID-LINKを利用し、病院が保有する電子カルテや画像等の診療情報を、地域の病院や診療所等で閲覧する。地域連携サーバを置き、多職種による情報共有システムの運用を開始し、今後、地域医療の質の向上に資するシステム(地域疾病管理、災害時に備えた診療保全など)を追加する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般社団法人		
団体名	一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会		
住所	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町19-2 岡山県医師会館5階		
電話番号	086-259-2077	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	3	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策
地域の課題	医師の偏在などにより、各地域の医療提供体制に格差が生じていることから、県内の医療資源を有効に活用するためには、医療機関の役割分担と連携の促進を図り、患者にとって質の高い医療を効率的に提供する必要があります。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	・システム導入済の医療機関における利用の促進・地域医療の質の向上に資するシステムの導入・継続的、安定的な事業運営・県民(患者)の認知度不足
運営について工夫した点、苦労した点	(工夫)・きめ細かな運用講習会の開催・マスメディアを活用した広報活動(苦労)・患者の同意書取得
対象地域	複数県にまたがる連携 広島県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
参加団体数(実績)	参加施設数						
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設	
参加団体数(実績)	118	196	0	109	5	0	
参加団体数(予定)	0	0	0	0	0	0	
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名				
	特定機能病院	あり	2	岡山大学病院、川崎医科大学附属病院			
	地域医療支援病院	あり	12	岡山医療センター、岡山旭東病院、岡山済生会総合病院、岡山市立市民病院、岡山赤十字病院、岡山中央病院、岡山労災病院、川崎医科大学総合医療センター、心臓病センター神原病院、倉敷中央病院、津山中央病院、赤磐医師会病院			
	精神科病院	あり	6	岡山県精神科医療センター、万成病院、山陽病院、慈圭病院、ももの里病院、たいようの丘ホスピタル			
参加患者数(実績数)	登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数			
	12548			12548			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	その他 検討中

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:検査機関との連携, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果, ○:その他, 入院オーダー、外泊泊オーダー、転科・転棟オーダー、病理検査レポート、放射線レポート、エコー検査レポート、内視鏡検査サポート※情報共有の項目は利用施設毎によって異なります。
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, △:クラウド型
情報共有形態	△:双方方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用, ○:独自開発のシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHIS放射線データ交換規約, ○:JAHIS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIX3/PDQ/PDQV3, ○:XDS, b, ○:XCA, ○:CT

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:専用線,○:IP-VPN,○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:専用線,○:IP-VPN,○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証,○:IDとパスワード,○:HPKI電子証明書 (ICカード)
介護施設・その他施設用	○:2要素認証,○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備,○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）,○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,△:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料		閲覧側	有料	5000
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	5000
	歯科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	5000
	薬局	開示側			閲覧側		5000
	介護施設	開示側	有料		閲覧側	有料	5000
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担,自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,公的な会議での周知,勉強会・セミナーの開催,医師会を通じた周知,その他
特に効果のあったもの・理由	その他 テレビ、ラジオ、新聞によるメディアミックスの広報
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	・県内どこに住んでいても誰もが適切な医療・介護サービスが受けられることとなり、医療の均てん化に資するという点から有用である。
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	在宅医療連携,介護連携,その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	画像情報の共有,検査機関との連携,医療従事者用モバイル対応
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上

地域・都道府県： 中国

岡山県

整理番号： 0029

情報更新日： 2017/2/22

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	新見あんしんねっと遠隔医療支援システム		
ネットワークの略称・愛称	新見あんしんねっと		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	医療機関に設置のテレビ電話(万事万端)と独自開発のテレビ電話付き診療支援端末(医心伝心)とて遠隔での診療(DtoNtoP)を実施するものテレビ電話を20医療機関、13の介護施設、2の訪問看護ステーション(在宅患者用)に配置。遠隔診療を行うためのスケジュール調整、診療履歴、動画の保存、タブレット等多様な携帯端末での利用等を実証実験として行っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	新見市		
住所	〒718-8501 岡山県新見市新見310-3		
電話番号	0867-72-6130	所属部署	市民課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	へき地医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策
地域の課題	医師不足・医療スタッフ不足
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 高梁・新見
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4	16			13	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
	施設の有無	施設数	施設名				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		2			2		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	口頭による了承
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:肝炎, △:糖尿病, △:認知症, △:その他
提供しているサービス項目	○:遠隔医療, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	在宅医療・介護連携を行う別システム「Z連携」(※Z=在宅)を運用中であり、今後あんしんねっととの統合試験運用中

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, △:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

地域・都道府県： 中国

岡山県

整理番号： 0029

情報更新日： 2017/2/22

蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担		サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担	
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担 (実施中)	国の負担 (総務省)	ネットワーク構築費用の負担 (実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担 (実施中)	地域の医療関係団体 (医師会、その他) の負担	ネットワーク運用費用の負担 (実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	なし
なし			
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット	参加機関が拡大することで、スケールメリットにより1施設あたりの費用を抑えることが出来る。		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス	遠隔カンファランス, 在宅医療連携, 介護連携		
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない		
会員増加に効果的なサービス	健診情報連携, 検査機関との連携		
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上		

地域・都道府県： 中国

岡山県

整理番号： 0365

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	Z連携		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	試験運用中(実証事業を含む)
公開URL			
ネットワークの概要	<p>病院・施設から在宅復帰へ切れ目のない情報発信。在宅介護から医療(入院)・施設入所へのスムーズな情報の移行。Z連携(クラウド型多職種連携ツール)は、入退院時等に従来紙ベースで行っていた情報共有新見地域統一様式「新見版情報共有書(地域連携パス)」をより一層、活用しやすくするために、リアルタイムで情報共有を図るクラウド型サービスと提供するものです。「Z連携」では、「新見版情報共有書(地域連携パス)」のほか、岡山県内で利用されている医療介護情報共有書のフォーマットも用意しています。</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人新見医師会		
住所	〒718-0003 岡山県新見市高尾2306-5		
電話番号	0867-72-0309	所属部署	事務局
担当者	松本信一	Eメールアドレス	matumoto@kurokami.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	へき地医療対策, 在宅医療対策 ・在宅医療における多職種の情報共有・情報共有の省力化
地域の課題	793Kの広い新見市域に3万2千人と人口密度が低く、医療機関、介護施設間の距離も遠い場合があり、また、医療、介護のマンパワーが少ないため、効率的な情報共有が必要となっている。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	利用者の拡大が出来ていない。介護保険システム等と2重に入力する必要があること。
運営について工夫した点、苦労した点	地域連携パスの機能のみでは普及が進まないため、介護サービスの空き情報やSNSの機能、テレビ電話会議など、利用者の利便性を高める工夫をしている。
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	新見市

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		3	1		5	41	4
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		486		350			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:認知症, ○:その他
提供しているサービス項目	○:遠隔医療, ○:遠隔カンファレンス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:空床情報, △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:その他文書, ○:その他, 介護支援専門員が多職種連携に必要な疾患名、薬、食事等の情報
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型） ○：IDとパスワード
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	○：IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，△：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），△：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		35000	千円				
運用費用		1400	千円				
内訳	運用費内訳	保守費	600	千円	その他費用	800	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	8000	連携システム環境構築費用		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用	27000	千円				
	運用費用		千円				
実施予定のネットワーク	構築費用		千円				
	運用費用		千円				
	（運用費内訳）	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		(株) エヌ・ディ・エス					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担，公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担，国の負担（厚労省），国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	自治体の負担，地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	600	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	31	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	600	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	31	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催，医療機関等への訪問，公的な会議での周知，勉強会・セミナーの開催，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 説明会等でシステムのデモンストレーションを行う事で，どのようなシステムか理解して頂けたと思われる。
人的なネットワーク	（立上げ時）医師会 （会員増加時）その他
参加機関・患者拡大のメリット	リアルタイムな情報共有が可能となり，より適切な支援につなげられる。
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に，追加したサービス	在宅医療連携，介護連携，その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど），その他のサービス空床情報
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携，介護連携
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため，会員満足度の向上，患者サービスの向上

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0510

情報更新日： 2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	県立広島病院地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	KBネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	HumanBridge(富士通)を利用し、地域の医療機関と県立広島病院を結ぶインターネット(VPN)を通じて診療情報を共有するネットワークシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	県立広島病院		
住所	〒734-8530 広島県広島市南区宇品神田1丁目5-54		
電話番号	082-254-1818	所属部署	地域連携センター
担当者	森晶啓	Eメールアドレス	a-mori85542@pref.hiroshima.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0054

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	波と風ネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://gw1.kure-nh.go.jp/regional/namikaze/		
ネットワークの概要	波と風ネットワークは、地域に発生する診療情報を患者さんの同意のもと複数の医療機関で共有することによって、各医療機関における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、自施設の診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものである。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	独立行政法人国立病院機構呉医療センター		
住所	〒737-0023	広島県呉市青山町3番1号	
電話番号	0823-22-3111	所属部署	事務部企画課経営企画室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	4	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、災害医療対策、医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,△:医療機関間で機能分化が進んだ,△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,△:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 呉
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		6	31		15	
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数				施設名
	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		5259			5259	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折,○:脳血管障害,○:心臓疾患,○:胃・大腸がん
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,○:電子紹介状,△:電子版おくり手帳,○:退院時サマリ,○:画像情報の共有,○:画像診断サービス,○:情報共有(掲示板、SNSなど),○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:サマリ,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	△:その他の共通システムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内,○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター,○:ICD1対応標準病名マスター,○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供),○:診療情報提供書(電子紹介状),○:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針,○:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:JAHIS臨床検査データ交換規約,○:標準歯科病名マスター,○:臨床検査マスター,○:JAHIS放射線データ交換規約,○:HIS、RIS、PACS、モダリティ間予約、会計、照射録情報連携指針(JJ117指針)
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0054

情報更新日： 2017/2/24

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:その他のVPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:その他のVPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書（ICカード）, ○:PKI電子証明書（ICカード）, ○:USBトークン, Macアドレス認証
介護施設・その他施設用	
患者用	
システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理
蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0248

情報更新日： 2017/3/9

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ひろしま医療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	HMネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.hm-net.or.jp/		
ネットワークの概要	地域の医療機関の連携を促進するため、医療情報を効率的に利用することを目的としたネットワーク		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	広島県医師会		
住所	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里3-2-3		
電話番号	082-568-1511	所属部署	情報推進課

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	広島県医師会内に設置している委員会メンバーとして参加	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	参加医療機関数の増、維持費の確保
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携 広島県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		25	405	17	243	266	5
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		65000			65000		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:脳血管障害, △:胃・大腸がん, ○:認知症
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:電子版おくり手帳, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, △:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, △:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(電子カルテ)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, △:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	△:提供ベンダーのサービスを利用, △:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, △:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針, △:保健医療情報-医療波型フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:JAHS臨床検査データ交換規約, △:標準歯科病名マスター, △:臨床検査マスター, △:JAHS放射線データ交換規約, ○:HIS, RIS, PACS, モダリティ間子約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ117指針), ○:JAHS処方データ交換規約, ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0248

情報更新日： 2017/3/9

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE），○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：2要素認証，○：IDとパスワード，○：HPKI電子証明書（ICカード），△：その他のICカード，○：USBトークン，Felicaカード
介護施設・その他施設用	○：2要素認証，○：IDとパスワード，△：HPKI電子証明書（ICカード），△：HPKI電子証明書（ICカード），△：その他のICカード，○：USBトークン，Felicaカード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	130000	閲覧側	有料	0
	医科診療所	開示側			閲覧側	有料	4000
	歯科診療所	開示側			閲覧側	有料	4000
	薬局	開示側	有料	3000	閲覧側		
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		15000		千円	1 開示病院の最低導入費		
運用費用		1500		千円	病床数で83400円～167700円		
内訳	運用費内訳	保守費	200	千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金		額（千円）・用途		SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用			
地域医療介護総合確保基金		額（千円）・用途		SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		(株) プロノテック, (株) ソフトウェアサービス, AID					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	DM送付, チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	電子版おくり手帳, 在宅医療連携
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子おくり手帳
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0266

情報更新日： 2017/2/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域健康情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	くわいネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.fmed.jp/quwai/		
ネットワークの概要	ひろしま医療情報システム(HMネット)を利用して、福山市医師会が独自に開発したシステムを使って、福山市医師会健康支援センターの健診・検査情報や参加医療機関(ORCA)にて集められた診療情報を本人の同意の元、参加施設にて情報共有を行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人福山市医師会		
住所	〒720-0032 広島県福山市三吉町南2-11-25		
電話番号	084-928-0603	所属部署	地域連携課
担当者		Eメールアドレス	chiken-staff@fmed.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	3	人	兼任	6
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	災害医療対策, 医療連携, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	地域住民の健康を守るため
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	利用率の向上, 参照UP
運営について工夫した点、苦労した点	HMネットの地域共通IDカードを医師会で代行して発行
対象地域	複数県にまたがる連携 広島県、岡山県
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		4	65			
参加団体数(予定)		1				
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院	なし			
	地域医療支援病院	なし	1	福山市民病院		
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		4160		4160		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, △:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), △:患者による自己管理システム
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:処方オーダー, ○:検体検査結果, △:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(レセコン)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得, ○:その他より取得, 健診のPACS

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:その他の共通システムを利用, HMネット
連携情報の保管場所	福山市医師会
障害対策(バックアップ体制)	△:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:臨床検査マスター, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0266

情報更新日： 2017/2/28

通信ネットワーク・ログインセキュリティ					
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）				
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）				
介護施設・その他施設との通信	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）				
患者との通信	△：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）、HMネットひろしま健康手帳（Web、アプリ）				
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード、△：HPKI電子証明書（ICカード）、○：USBトークン				
介護施設・その他施設用					
患者用	△：IDとパスワード、HMネットひろしま健康手帳（Web、アプリ）				
システムの運用管理					
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定、○：セキュリティポリシーの制定、○：運用管理規程の制定、○：操作マニュアルの整備、○：障害・災害時の対応規定の制定				
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）、○：定期的な運用管理規程等の見直し、△：従事者との守秘義務契約、△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認、○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ、○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理				
蓄積された個人情報・診療情報の利用					
個人情報・診療情報の利用					
費用の負担					
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	13	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	7	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	13	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	7	回
診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし		
普及に向けた施策・取組					
周知・広報の施策・取組	チラシ配布、説明会の開催、医療機関等への訪問、公的な会議での周知、勉強会・セミナーの開催、医師会を通じた周知				
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催				
人的なネットワーク	（立上げ時）医師会		（会員増加時）基幹病院		
参加機関・患者拡大のメリット	医療費負担の抑制、健康意識の向上				
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏				
構築時以降に、追加したサービス					
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない				
会員増加に効果的なサービス					
サービス強化の決定理由					

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0353

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	KKR（こころ）ネット広島		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始（予定）年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	患者同意のもと、患者の検査結果、所見、画像等を連携医療機関に公開する地域医療連携システム。また、同システムを利用し病理の遠隔診断も行なっている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国家公務員共済組合連合会広島記念病院		
住所	〒730-0802 広島県広島市中区本川町1-4-3		
電話番号	082-292-1271	所属部署	医療情報室

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	HMネット	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○：患者サービスが向上した, △：医療機関間で機能分化が進んだ, △：医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○：医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △：患者紹介の円滑化が進んだ, △：（診療所にとって）地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △：（地域中核病院にとって）診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	連携医療機関の開拓に苦労した。
対象地域	二次医療圏での連携 広島
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数（実績）		6	29				2
参加団体数（予定）							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数（実績数）		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		856					

同意取得について	
医療機関等	○：施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○：施設毎に情報連携の可否を指定, ○：すべての施設毎に同意を得る

同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回（脱退）する場合	同意書の撤回（脱退）文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病（連携バス）	○：胃・大腸がん, ○：その他のがん, ○：肝炎, ○：糖尿病
提供しているサービス項目	○：遠隔医療, ○：遠隔カンファレンス, ○：退院時サマリ, ○：画像情報の共有, ○：診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○：患者基本情報（氏名、年齢、住所等）, ○：病名情報, ○：サマリ, ○：手術記録, ○：処方オーダー, ○：注射オーダー, ○：食事オーダー, ○：検体検査結果, ○：生理検査結果, ○：画像（放射線検査、内視鏡検査等）, ○：調剤結果
利用している情報の取得元システム	○：病院（電子カルテ）より取得, ○：病院（画像システム）より取得

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
患者	開示側			閲覧側			

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：地域の医療費適正化の目的で利用, △：学術研究等の公益目的で利用

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	2	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	2	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	21	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	2	回

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0353

情報更新日： 2017/2/15

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし
電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	DM送付, 説明会の開催
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	紹介患者の増加
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0355

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	クローバーネット		
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	地域医療連携システムを構築し、各種オーダー情報、各種報告書を共有、また、CT、MRI検査のオンライン予約を可能としている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	国家公務員共済組合連合会共済病院		
住所	〒737-8505 広島県呉市西中央2-3-28		
電話番号	0823-22-2111	所属部署	情報管理課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	3	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ、△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、△:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、△:患者紹介の円滑化が進んだ、△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			22				
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		1005					

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○:処方オーダー、○:注射オーダー、○:検体検査オーダー、○:放射線検査オーダー、○:内視鏡検査オーダー、○:生理検査オーダー、○:検体検査結果、○:生理検査結果、○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用、○:独自開発のシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター、○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード、ID+パスワード+デジタル証明書
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0355

情報更新日： 2017/2/10

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		国の負担（その他の省庁）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時)			(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0366

情報更新日： 2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	府中地域保健・医療・福祉連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	地域医療の充実を図るため、従来のシステムを利用して医療機関・訪問看護ステーションの連携を強化し、さらに地域の中核病院との連携も図る。また、患者の情報を扱うことから、オンデマンドVPNルータ処理方式を採用し、情報通信基盤の安全性を強化し、情報の充実とシステムの機能そのものの強化も図っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人府中地区医師会		
住所	〒726-0002 広島県府中市鶴飼町496-1		
電話番号	0847-45-3505	所属部署	

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	運営主体として		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	3247	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	4	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	3247	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	4	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス	在宅医療連携		
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0367

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療介護連携支援システムエイル		
ネットワークの略称・愛称	エイル		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	https://app.eir-note.com/request/		
ネットワークの概要	「エイル」は在宅医療・介護の専門ネットワークとして機密性を維持しながら、多職種にわたるスタッフと患者間で患者情報を安全に共有するためのアプリケーションです。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	株式会社エイル		
住所	〒105-0011	東京都港区芝公園2-11-1	
電話番号	03-5405-2346	所属部署	

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	その他の形で参画している	委託事業の『医療・介護関係者の情報共有の支援』の項目として受けているが、具体的な支援は	

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,△:患者の負担が軽減した,△:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	施設内記録とシステム内記録の2重記録が負担となっている。
運営について工夫した点、苦労した点	参加にあたり何らかの端末が必要であるが、各施設で端末不足を補うため、私物利用の許可を頂く必要があった。また、個人情報管理についても独自に同意書の作成などもしている。未参加施設への参加依頼が困難である。市の委託事業の充実が困難である。
対象地域	市区町村単位での連携 東広島市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4	30	14	26	96	12
参加団体数(予定)		1					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1				
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		53			34		

同意取得について	
医療機関等	その他の方式
介護施設、その他	その他の方式
患者	○:すべての施設毎に同意を得る,○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,△:電子版おくり手帳,○:画像情報の共有,○:医療従事者用モバイル対応,○:PCアクセスサービス(患者),○:モバイルアクセスサービス(患者),○:在宅医療連携,○:介護連携,○:情報共有(掲示板、SNSなど),○:空床情報,○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:看護記録,○:その他文書,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),△:調剤結果,○:その他、介護者情報(氏名、連絡先など)
利用している情報の取得元システム	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料	通信費のみ負担あり	閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用		550		千円	初回登録費用等
運用費用		1037		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	600	千円	その他費用
	連携費用	200床以上		千円	200床以下
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額(千円)・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額(千円)・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業		(株) エイル			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	12回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催 毎年説明会を行うことで周知だけでなく、新機能や改善点を知らせることができる。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	在宅医療連携が進む。
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス空床情報
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 0478

情報更新日： 2017/2/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	天かける医療介護連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	医療機関ごとに異なる患者IDを紐付けし、処方・検査結果・放射線画像等の医療データを共有する。地域医療・介護における、患者・利用者の医療情報・介護情報の共有、連携をはかる。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人天かける		
住所	〒722-0037 広島県尾道市西御所町13-22		
電話番号	0848-23-8698	所属部署	
担当者		Eメールアドレス	

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策、疾病管理
地域の課題	病院、診療所、薬局、介護施設等の情報連携をより密接にするために。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した、○:患者の負担が軽減した、○:医療機関間で機能分化が進んだ、○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、○:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	診療所でも導入が進んでいる電子カルテシステムとの連携
運営について工夫した点、苦労した点	利用機会を増やすために、オーダーリング端末からのアクセスを可能とした
対象地域	市区町村単位での連携
行政計画への記載	尾道市

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)						
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院 地域医療支援病院 精神科病院	施設の有無	施設数	施設名		
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加、○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:診療情報の連携、○:退院時サマリ、△:健診情報の連携、○:画像情報の共有、○:在宅医療連携、○:介護連携

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等)、○:病名情報、○:診療情報提供書、○:サマリ、○:処方オーダー、○:注射オーダー、○:検体検査オーダー、○:放射線検査オーダー、○:検体検査結果、○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)、○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得、病院・オーダーリングシステム、放射線画像サーバ

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方方向での共有、○:参照のみ、双方方向、参照は参加医療機関の形態により混在している
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)、○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	○:IP-VPN
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：従事者との守秘義務契約，○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	20000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係						
構築費用				千円		
運用費用				千円		
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用		
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途	17414000		
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中国

広島県

整理番号： 1032

情報更新日： 2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	未定		
ネットワークの略称・愛称	未定		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	なし		
ネットワークの概要	広島市内の4基幹病院(広島大学病院県立広島病院広島市民病院広島赤十字・原爆病院)へ、広島がん高精度放射線治療センターの診療情報を公開している。また画像情報の双方向の送受信を行っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	広島県		
住所	〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52		
電話番号	082-513-3091	所属部署	がん対策課
担当者	石村泰宏	Eメールアドレス	y-ishimura86351@hiroshima.lg.jp

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的			
地域の課題			
ネットワーク導入による効果			
ネットワークが現在抱えている課題			
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	その他	広島市内4基幹病院	
行政計画への記載			

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	内科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		5	1			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	広島大学病院		
	地域医療支援病院	あり	3	県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院		
	精神科病院	あり				
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	その他の方式 個別調整
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:電子クリニカルパス, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:処方オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:その他より取得, 治療計画装置

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:その他のICカード, ICカードとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用		○:学術研究等の公益目的で利用					
予算関係							
構築費用		154103		千円			
運用費用		20163		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	20163	千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特交付金		はい	額（千円）・用途	153163	SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用		
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		(株) サンネット, テクマトリックス (株), 日本電気 (株)					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		未定					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（専ら）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数			回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数			回
開示施設の患者情報への総アクセス回数			回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数			回
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時)			(会員増加時)		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県： 中国

山口県

整理番号： 0190

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	医療ネットながと		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://ngt-med.com/		
ネットワークの概要	(1)目的：長門地域の3中核病院と診療所等をネットワークで結び、主に中核病院の医療情報を他の病院・診療所においてリアルタイムで閲覧できるようにし、患者の同意のもとに患者の医療情報を地域の医療機関が共有できるようにする。(2)システム概要：・参加医療機関；25医療機関等(3中核病院・3病院・17診療所・1包括支援センター・1訪問看護)・システム機能概要；診療歴、処方(投薬、注射)、検体検査結果、画像検査結果などを参照する機能。医療機関への個別お知らせ機能(紹介状、診療情報などの添付)・システム導入経費(中核病院の電子カルテシステムを除く。)31290千円(3)システム導入により期待される主な効果・患者サービスの向上(他医療機関の検査結果等も説明可になり患者説明の質向上など)・安全性の向上(禁忌・アレルギー情報の関係医療機関での共有、薬剤重複投与回避)・重複検査回避など		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人長門市医師会		
住所	〒759-4101 山口県長門市東深川826-2		
電話番号	0837-22-4017	所属部署	理事長

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得
------------------	-------------------------------------

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 中国

山口県

整理番号： 0281

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	宇部・山陽小野田・美祿圏地域医療連携情報ネットワークシステム		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	宇部市医師会		
住所	〒755-0072 山口県宇部市中村3丁目12-54		
電話番号	0836-39-8399	所属部署	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス	検査機関との連携, その他のサービス診療・検査予約, その他のサービス空床情報		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 中国

山口県

整理番号： 0454

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	岩国医療圏地域医療連携情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	いつつばしネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.itsutsubashinet.jp/		
ネットワークの概要	岩国医療圏での基幹病院2病院での電子カルテを含む診療情報をVPN回線を使って開業医が閲覧できるシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人岩国市医師会		
住所	〒740-0021 山口県岩国市室の木町3-6-11		
電話番号	0827-21-6135	所属部署	事務局
担当者	山下由香	Eメールアドレス	iwakuni-med@yamaguchi.med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, 急性心筋梗塞対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	積極的に利用する群とあまり利用しない群の二極化
運営について工夫した点、苦労した点	5年程度で訪れる更新費用は参加者からの利用料積立と情報開示病院で案分して支出することになっているが、実際に予定通り行えるか否か不透明な部分もある。
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	岩国医療圏 はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		2	47	0	0	0	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名				
	特定機能病院	なし	0				
	地域医療支援病院	なし	2	岩国市医療センター医師会病院、国立病院機構岩国医療センター			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		50		50			

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, ○:心臓疾患
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, △:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD11対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHIS臨床検査データ交換規約
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:専用線, ○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	△:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	△:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	△:IDとパスワード

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	89418	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側	有料	2000
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	520	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	15	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	520	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	15	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医師会を通じた周知
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない
会員増加に効果的なサービス	その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 中国

山口県

整理番号： 1097

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	下関地域医療連携情報システム		
ネットワークの略称・愛称	奇兵隊ネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	非公開		
ネットワークの概要	下関医療圏における基幹病院(4病院)の電子カルテ情報を同医療圏内加入医療機関において閲覧できるもの		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 任意団体		
団体名	下関医療連携情報システム下関協議会		
住所	〒750-0831 山口県下関市大学町二丁目1-2		
電話番号	083-252-2188	所属部署	事務局総務課

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	4	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	操作性、PC等の対応力(情報リテラシー)の差
運営について工夫した点、苦労した点	運営資金等の確保
対象地域	二次医療圏での連携 下関医療圏
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		15	40	0	3	0	0
参加団体数(予定)		0					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院		3	山口県済生会下関総合病院、下関医療センター、関門医療センター			
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		3678					

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:検査機関との連携, △:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), △:JAHIS臨床検査データ交換規約, △:臨床検査マスター, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, △:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	8000	閲覧側	有料	4320
	医科診療所	開示側	有料		閲覧側	有料	4860
	歯科診療所	開示側			閲覧側	有料	4860
	薬局	開示側			閲覧側	有料	4860
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		117839		千円			
運用費用		4695		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	4695	千円		その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	117839	SS-MIXストレージ導入費用,ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費	163210	千円		その他費用	千円
主な関連IT企業		(株) エス・ティ・ティ・データ中国,富士通(株),日本電気(株)					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担, 未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	国の負担（厚労省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	28 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	28 回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子紹介状, 遠隔医療, 遠隔カンファレンス, 電子処方箋(実証等), 電子おくすり手帳, 電子血糖尿病手帳, 退院時サマリ, 健診情報連携, 画像情報の共有, 画像診断サービス, 検査機関との連携, 患者用IDカードの発行, 医療従事者用モバイル対応, 患者サービス(PCアクセスサービス), 患者サービス(モバイルアクセスサービス), 患者による自己管理システム(どこでもMY病院等), 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有(掲示板, SNSなど), その他のサービス診療・検査予約, その他のサービス空床情報, その他のサービスメール, メルマガなど
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため, 会員満足度の向上, 患者サービスの向上

地域・都道府県： 中国

山口県

整理番号： 1098

情報更新日： 2017/3/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	あんしんネット		
ネットワークの略称・愛称	あんしんネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	市民の医療、介護、福祉のデータベースの構築。医療・介護の連携情報システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	萩市		
住所	〒758-0074 山口県萩市大字平安古町208番地		
電話番号	0838-25-2182	所属部署	地域医療推進課
担当者	上田	Eメールアドレス	

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	萩市休日急患診療センターの設置に伴い、山口大学や山口県総合医療センターからの出務医師のために、市民の医療情報をデータベース化し救急医療への活用。その後、医療介護福祉等の情報も含めた連携システムへ情報収集を広げていった。
ネットワーク導入による効果	
ネットワークが現在抱えている課題	市民の医療情報の収集が手書きのため、医師の負担になっている。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)						
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院				
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	

同意取得について	
医療機関等	
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理								
運用管理規程（規定）等の整備								
安全管理								
利用・参加料金								
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側			
	医科診療所	開示側			閲覧側			
	歯科診療所	開示側			閲覧側			
	薬局	開示側			閲覧側			
	介護施設	開示側			閲覧側			
	その他 患者	開示側			閲覧側			
蓄積された個人情報・診療情報の利用								
個人情報・診療情報の利用								
予算関係								
構築費用				千円				
運用費用				千円				
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	千円	
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	千円	
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
実施予定のネットワーク	構築費用			千円				
	運用費用			千円				
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円	
主な関連IT企業								
将来のシステムの更改の費用負担								
将来のシステムの更改の費用負担								
費用の負担								
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）				
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）				
医療情報ネットワークの連携実績								
ポータルサイトへの総ログイン回数				回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数				回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況								
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況				
普及に向けた施策・取組								
周知・広報の施策・取組								
特に効果のあったもの・理由								
人的なネットワーク				(立上げ時)	(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット								
地域範囲の適切なサイズ								
構築時以降に、追加したサービス								
追加サービスと会員増加の関係								
会員増加に効果的なサービス								
サービス強化の決定理由								

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 1099

情報更新日： 2017/3/13

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ICT地域医療・介護連携推進支援事業		
ネットワークの略称・愛称	「バイタルリンク」		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	徳島県内の都市医師会へ多職種連携情報共有システム導入の支援を行っており、実際に本会で運用していないため、設問(4)以降のアンケートへの回答は難しい		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人徳島県医師会		
住所	〒770-8565 徳島市幸町3丁目61番地		
電話番号	088-622-0264	所属部署	事務局業務担当
担当者	大西美穂	Eメールアドレス	mipo@tokushima.med.or.jp

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	人
人的なネットワーク	(立上げ時)		(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット				
地域範囲の適切なサイズ				
構築時以降に、追加したサービス				
追加サービスと会員増加の関係				
会員増加に効果的なサービス				
サービス強化の決定理由				

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 0014

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	遠隔画像診断システム		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	特定非営利法人徳島画像診断ネットワーク		
住所	〒770-0042 徳島県徳島市蔵本町3丁目18番15号		
電話番号	未定	所属部署	理事長
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備			
安全管理			
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況			電子的診療情報評価料の算定状況
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 0042

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	西部圏域医療情報ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	西部圏域医療情報ネットワーク運営協議会（徳島県立三好病院）		
住所	〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2		
電話番号	0883-72-1131（代表）	所属部署	
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備			
安全管理			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 0169

情報更新日： 2017/3/8

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	徳島糖尿病克服ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	ToD0-Net		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.todo-net.jp/		
ネットワークの概要	糖尿病の重症化阻止、及びがん、脳卒中、心筋梗塞などの合併症発症予防を目的とした病連携のため、徳島大学病院と徳島県立中央病院、徳島県鳴門病院間で診療情報共有を行う医療連携システムを構築、運用している。また、効果的な糖尿病療養には、地域のかかりつけ医との連携も重要であり、病診連携充実のため、診療所への診療情報提供、及び双方向の診療情報共有を目指した医療連携システムも併せて構築しており、医療機関間における包括的な診療情報共有を実現するEHRの構築を目指している。加えて、医療連携システムに蓄積された医療情報について、有効活用を可能にする診療データベースを構築している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 任意団体		
団体名	徳島糖尿病克服ネットワーク協議会		
住所	〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3-18-15		
電話番号	088-626-3989	所属部署	事務局
担当者	玉木悠	Eメールアドレス	y.tamaki@tokushima-u.ac.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数	専任	0	人	兼任	4	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中对策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、精神科医療対策、疾病予防対策、疾病管理 徳島県における糖尿病の重症化・合併症化予防のための医療連携・診療情報共有を目的として導入されたが、2016年度において全疾患への対応を開始した。
地域の課題	徳島県は全国でも糖尿病の死因が最も多く、1次予防としての糖尿病予備軍のケアと糖尿病患者に対しても合併症を引き起こさせないよう2次予防をいかに促進させるかが、緊急の課題となっている。病態の進行を抑えるため疾病管理が重要であるが、徳島県は専門医や糖尿病療養指導士(CDE)、地域糖尿病療養指導士(LCDE)が少なく、診療の標準化や運動療法の標準化が急務の課題となっている。これら現状を踏まえると、地域における糖尿病専門の医療従事者の効率的な活用の促進、患者治療の標準化促進と啓蒙活動が必要と考えている。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した、△:患者の負担が軽減した、△:医療機関間で機能分化が進んだ、△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、△:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった、△:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	地域連携のための診療情報共有ICTインフラはある程度整備されてきた。しかしながら、徳島大学病院を中心とした連携モデルだけでは県内全てを網羅するには十分ではない。全ての医療機関の診療情報を双方向で共有する包括的な仕組みであるEHRの実現が、診療の質向上には必要と考える。そのためには、メーカの異なる各医療機関をつなげる、標準的なシステムインフラの確立が課題である。また、連携により共有可能な診療情報そのインフラを活用して広げる標準化治療、疾病管理支援、教育指導コンテンツなど具体的なソフトの開発とそれを実施していく組織整備が課題である。上記課題は解決にむけて進捗中であるが、このようなインフラ・人材の維持費を賄うモデルの構築が最も大きな課題であると考える。
運営について工夫した点、苦勞した点	地域全ての医療機関を接続可能にする仕組みとして、メーカ間の差異を吸収する標準規格である、IHE統合プロファイルのうちXAC、PIX/PDQを導入した。これにより、県内全ての医療連携システムを接続可能とした。これらの成果を踏まえ、より多くの症例に医療連携ネットワークを活用すべく、216年度においてそれまで糖尿病に限定されていた対象疾患を全症例とした。さらに、徳島県医師会、徳島県、県内で展開されている他の医療連携ネットワークと協力し、217年度において徳島県全域を網羅し、双方向で情報共有できる医療連携ネットワークの基盤構築、運営を担う法人設立を計画している。
対象地域	全県域での連携 徳島県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		14	9			1	
参加団体数(予定)		1					
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	あり	1	徳島大学病院		
		地域医療支援病院	あり	3	徳島県立中央病院、徳島県鳴門病院、徳島赤十字病院		
		精神科病院	あり	1	城南病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		769		264			

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害, △:心臓疾患, △:胃・大腸がん, ○:糖尿病, △:認知症
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, △:電子クリニカルパス, △:電子版疾病管理手帳, ○:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, △:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	NEC社医療連携サービス「ID-LINK」を運用中。徳島大学病院においては電子カルテと連携して、連携先医療機関ではレセプト電算データ、外注検査結果データ(HL7)を投入して頂き、紹介患者の診療情報共有を行っている。これに加え、XCA・PIX/PDQの導入により異メーカ間接続を実現した。徳島県立中央病院で運用中の富士通社医療連携サービス「HumanBridge」と連携し、試験運用中である。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,△:診療情報提供書,○:サマリ,△:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,△:内視鏡検査オーダー,△:生理検査オーダー,△:食事オーダー,○:検体検査結果,△:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),△:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(レセコン)より取得,○:病院(画像システム)より取得,○:医科診療所(電子カルテ)より取得,○:医科診療所(レセコン)より取得,△:歯科診療所(電子カルテ)より取得,△:歯科診療所(レセコン)より取得,△:薬局(調剤レセコン)より取得,△:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型,△:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有,○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用,○:ID-LINKシステムを利用,○:独自開発のシステムを利用,△:その他の共通システムを利用,NeoConnection
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内,△:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター,○:ICD11対応標準病名マスター,△:診療情報提供書(電子紹介状),○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:JAHIS臨床検査データ交換規約,○:臨床検査マスター,○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン,○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3,○:XDS.b,△:XDS-I.b,○:XCA,△:XCA-I,△:CT,△:ATNA

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:専用線,○:IP-VPN,○:インターネットVPN(IPSec+IKE),△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE),○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE),△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),○:定期的な運用管理規程等の見直し,△:従事者との守秘義務契約,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△:地域の医療費適正化の目的で利用,○:学術研究等の公益目的で利用

予算関係							
構築費用		320000		千円			
運用費用		3500		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	1000	千円	その他費用	2500	千円
	連携費用	200床以上	1000	千円	200床以下	250	千円
地域医療再生臨時特例交付金	はい	額(千円)・用途	8000	SS-MIXストレージ導入費用,工事・作業費用			
地域医療介護総合確保基金	いいえ	額(千円)・用途					
その他の公的資金	構築費用	260000		千円			
	運用費用	0		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	7000		千円		参加施設拡充予定	
	運用費用	260		千円		参加施設拡充予定	
	(運用費内訳)	保守費	260	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		日本ユニシス(株),日本電気(株),富士通(株)					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担,公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	参加施設の負担,国の負担(総務省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	参加施設の負担,国の負担(厚労省),国の負担(総務省)
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	参加施設の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,公的な会議での周知,勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催 医療連携ネットワークの利用方法や意義について理解頂けるため。
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	参照できる診療情報の量(期間、オーダー種、患者数)が増える。自施設を受診している患者について、参照できる診療情報の患者数が一度以上確保されていないと、利用は進まない。
地域範囲の適切なサイズ	地方ブロック
構築時以降に、追加したサービス	退院時サマリ,画像情報の共有,医療従事者用モバイル対応,在宅医療連携,介護連携
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	退院時サマリ,画像情報の共有,検査機関との連携,在宅医療連携,介護連携,その他のサービス診療・検査予約,その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	その他

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 0449

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	那賀町在宅ケアネットワーク事業		
ネットワークの略称・愛称	NZ-net		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	町内要介護者の台帳などをタブレット端末で情報共有する。		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	那賀町役場		
住所	徳島県那賀郡那賀町延野字王子原31番地1		
電話番号	0884-62-1141	所属部署	保健医療福祉課
同意取得について			
医療機関等	○:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断		
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断		
患者	△:参加施設すべての情報連携に一括同意		
通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信(開示側)			
医療機関等との通信(閲覧側)			
介護施設・その他施設との通信	△:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)		
患者との通信			
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード		
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード		
患者用			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 1034

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	徳島赤十字病院地域連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	患者様の同意のもと徳島赤十字病院の電子カルテや放射線画像などの診療情報を他の医療機関で閲覧することができるネットワークシステム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	徳島赤十字病院		
住所	〒773-8502 徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103		
電話番号	0885-32-2555	所属部署	医療情報課
担当者	藤原邦彦	Eメールアドレス	densan@tokushima-med.jrc.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	人	兼任
			9 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	へき地医療対策, 医療連携, 脳卒中対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	システム構築後のシステムへのランニングコスト
運営について工夫した点、苦労した点	病院主体で運営しているため、参加施設募集の説明会、また導入時の設定および操作説明など
対象地域	全県域での連携 徳島県南部医療圏を中心
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		26	23	3			
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし	1	八多病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		1720			1035		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3, ○:XDS.b, ○:XCA, ○:CT

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:専用線
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN, ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 四国

徳島県

整理番号： 1034

情報更新日： 2017/2/24

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備					
安全管理		○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		その他 自施設にて対応					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		国の負担（厚労省）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）		未定	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		その他		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）		未定	
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数			回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		10	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		6646	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		10	回
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		あり	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		説明会の開催, 医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知, その他					
特に効果のあったもの・理由		説明会の開催					
人的なネットワーク		(立上げ時) 基幹病院			(会員増加時) 医師会		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		二次医療圏					
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係		どちらも言えない					
会員増加に効果的なサービス		電子紹介状					
サービス強化の決定理由		患者サービスの向上					

地域・都道府県： 四国

香川県

整理番号： 0044

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	かがわ医療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	K-MIX+		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.m-ix.jp/		
ネットワークの概要	2次救急以上の中核医療機関(情報提供医療機関)の電子カルテ情報を共有化するネットワークを構築し、中核病院間で相互の情報共有を図るとともに、その他の病院や診療所(参照医療機関)などの参画を得て、中核医療機関の情報を、共有できるようにする。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	香川県庁		
住所	〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10		
電話番号	087-832-3319	所属部署	健康福祉部医務国保課

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:その他文書,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:その他,情報提供病院毎に公開範囲が異なる。
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ		
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係		
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県： 四国

香川県

整理番号： 0098

情報更新日： 2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	かがわ遠隔医療ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	K-MIX		
運用開始(予定)年	2003	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.m-ix.jp/		
ネットワークの概要	遠隔医療は、これまで限られた地域やグループ内で行なわれてきましたが、香川県では、共通のセンターサーバやネットワークプログラム、運用ルール等を整備し、平成15年6月、全国で初めてのオープンで利用しやすい医療連携システム「かがわ遠隔医療ネットワーク(略称：K-MIX)」をスタートさせました。利用者間で、画像を含む患者データをメールのように簡単に送受信できることから、いわゆる読影依頼だけでなく、患者紹介やその経過の共有、高度検査機器の共同利用等、日常の業務のさまざまな場面で、汎用性の高い医療連携のツールとしてご利用いただけます。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人香川県医師会		
住所	〒760-8534 香川県高松市浜ノ町73番4号		
電話番号	087-823-0155	所属部署	福祉・広報課
担当者	長尾耕治	Eメールアドレス	k-mix@kagawa.med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 脳卒中対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	複数県にまたがる連携 全国
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		52	92	1		9	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, △:電子処方箋(実証等), △:電子版おくり手帳, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型, データセンターに蓄積されたデータをインターネットを使用して共有する
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:IP-VPN, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE), ○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード), △:PKI電子証明書(ICカード)
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード, △:HPKI電子証明書(ICカード), △:PKI電子証明書(ICカード)
患者用	

地域・都道府県： 四国

香川県

整理番号： 0098

情報更新日： 2017/2/17

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備					
安全管理		○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	6500	閲覧側	有料	6500
	医科診療所	開示側	有料	6500	閲覧側		
	歯科診療所	開示側	有料	6500	閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		0		千円			
運用費用		5500		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	4500	千円	その他費用	1000	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	(運用費内訳)	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業		(株) STnet					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		サービス利用料金等の収入より負担, 公的資金より負担					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会, その他）の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会, その他）の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況		なし		電子的診療情報評価料の算定状況		なし	
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知					
特に効果のあったもの・理由		医師会を通じた周知					
人的なネットワーク		(立上げ時) 医師会			(会員増加時) 医師会		
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ		都道府県					
構築時以降に、追加したサービス		診療情報の連携					
追加サービスと会員増加の関係		そう思う					
会員増加に効果的なサービス		診療情報の連携, 電子紹介状, 遠隔医療, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板, SNSなど）, その他のサービスメール, メルマガなど					
サービス強化の決定理由		新規参加者獲得のため					

地域・都道府県： 四国

愛媛県

整理番号： 0126

情報更新日： 2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	中予地域空床管理ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人松山市医師会		
住所	〒790-8601 愛媛県松山市藤原2丁目4-70		
電話番号	089-915-7700	所属部署	事務局
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 0 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	救急医療対策		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題			
運営について工夫した点、苦勞した点			
対象地域	二次医療圏での連携	松山圏域	
行政計画への記載			
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得			
患者が同意の撤回(脱退)する場合			
新たに参加施設が増えた場合			
共有できる情報項目			
利用している情報項目			
利用している情報の取得元システム			
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備			
安全管理			
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況			電子的診療情報評価料の算定状況
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 四国

愛媛県

整理番号： 0435

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ユーカムネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	構築中
公開URL			
ネットワークの概要	愛媛県医師会の構築されたネットワーク内において、電子化した脳卒中連携パスを連携医療機関(急性期・回復期・維持期の医療機関)との間にてWEB上にてやり取りを行う。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分			
団体名	独立行政法人地域医療機能推進機構宇和島病院		
住所	〒798-0053 愛媛県宇和島市賀古町2丁目1番37号		
電話番号	0895-22-5616	所属部署	総務企画

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	6	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, 脳卒中对策, 疾病管理
地域の課題	高齢者が多く、脳卒中の発症率が高く、急性期医療から回復期医療、維持期へのシームレスな医療連携ができていないため
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	愛媛県医師会の構築したネットワーク上で運営しているため、医師会員である医療機関しか参加できないこと。そのため、参加医療機関が増えていない。
運営について工夫した点、苦労した点	脳卒中連携パスであるため、パスの内容に追記・削除等が自由にできるように工夫した。
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	愛媛県

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, △:胃・大腸がん
提供しているサービス項目	△:電子紹介状, △:退院時サマリ, △:在宅医療連携, △:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, △:サマリ
利用している情報の取得元システム	△:病院(電子カルテ)より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	
安全管理	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時)
参加機関・患者拡大のメリット	(会員増加時)
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 四国

愛媛県

整理番号： 0456

情報更新日： 2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	松山市民病院地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要			
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	一般財団法人		
団体名	一般財団法人永頼会松山市民病院		
住所	〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目6番地5		
電話番号	089-943-1151	所属部署	地域医療連携室
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携, がん対策, 脳卒中対策		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	特に問題となる課題なし		
運営について工夫した点、苦労した点	新規導入にかかるシステムの設定および説明に3~45分の時間が割かれる。通信速度を上げる為にVPNの再設定に、導入機関に向いたこと		
対象地域	その他	松山市近郊の近隣地域	
行政計画への記載	いいえ		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承		
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得		
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎		
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携		
その他 備考・補足			
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:サマリ, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果		
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得		
通信ネットワーク・ログインセキュリティ			
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)		
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)		
介護施設・その他施設との通信			
患者との通信			
医療機関・薬局用			
介護施設・その他施設用			
患者用			
システムの運用管理			
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウイルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用		
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	未定		
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)		ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)		ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 四国

高知県

整理番号： 0036

情報更新日： 2017/3/16

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	高知県へき地医療情報ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	高知県庁		
住所	〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1-2-20		
電話番号	088-8230-9660	所属部署	健康政策部医師確保・育成支援課
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	運営主体として		
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定		
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理		
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし
人的なネットワーク	(立上げ時) その他		(会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 四国

高知県

整理番号： 0121

情報更新日： 2017/2/15

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域連携システム		
ネットワークの略称・愛称	しまんとネット		
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.pref.kochi.lg.jp/hata/chiki/		
ネットワークの概要	当院の電子カルテシステムのオプションである地域連携システムを導入し、地域連携バスを電子化するとともに、当院の電子カルテに記載された情報をネットワーク経由で幡多地域の医療機関、福祉施設等に提供する。カルテ記載、紹介状、退院サマリ、検査結果、画像、レポートなど当院の電子カルテで閲覧できる情報がほぼそのまま閲覧できる。それにより、紹介状に書ききれない詳しい情報を、地域の医療機関等からいつでも手軽に見ることができ、地域一体となって患者情報を共有することができる。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	高知県立幡多けんみん病院		
住所	〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈3番地1		
電話番号	0880-66-2222	所属部署	経営事業課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	1 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 脳卒中対策, 疾病管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	ブラウザがフリーズする。連携バスがエクセルのため、バージョン依存を起こす。
運営について工夫した点、苦労した点	地域連携バス検討委員会の企画・運営。地域連携システムのサポート対応(訪問)
対象地域	二次医療圏での連携 幡多
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		12	9	1	27	6	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	高知医療センター			
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		4504			232		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, △:在宅医療連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	当院のサーバ室
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存, バックアップデータを遠隔地へ保管
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, ○:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN,○:インターネットVPN (IPSec+IKE),○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:IP-VPN,○:インターネットVPN (IPSec+IKE),○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:IP-VPN,○:インターネットVPN (IPSec+IKE),○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備,○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）,○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:学術研究等の公益目的で利用

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	1054	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	29	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	3683	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	24	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,勉強会・セミナーの開催,医師会を通じた周知,その他
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携,画像情報の共有,在宅医療連携,介護連携,その他のサービス診療・検査予約,その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：1038

情報更新日：2017/2/22

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	大牟田市立病院地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	ありあけネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	登録医療機関にて、インターネットを通して、同意された患者の当院でのカルテ内容を参照できるシステム。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	地方独立行政法人大牟田市立病院		
住所	〒836-8567 大牟田市宝坂町2丁目19番地1		
電話番号	0944-53-1061	所属部署	地域医療連携室
担当者	田島裕也	Eメールアドレス	tiiki@ghp.omuta.fukuoka.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	4人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,△:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,△:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,○:患者紹介の円滑化が進んだ,○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	患者の同意を得る手間
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	市区町村単位での連携 大牟田市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		13	26	4			
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数			
		840		840			

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る,○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,○:退院時サマリ,○:画像情報の共有,○:医療従事者用モバイル対応,○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他(備考・補足)	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用,○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター,○:ICD11対応標準病名マスター,○:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針,○:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:JAHS臨床検査データ交換規約,○:臨床検査マスター,○:JAHS放射線データ交換規約,○:HIS、RIS、PACS、モダリティ間予約、会計、照射録情報連携指針(JJ117指針),○:JAHS処方データ交換規約,○:看護実践用語標準マスター,△:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：1038

情報更新日：2017/2/22

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	△:インターネットVPN（IPSec+IKE）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用		9266		千円	
運用費用		174		千円	
内訳	運用費内訳	保守費	174	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業		富士通（株）			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	DM送付, チラシ配布
特に効果のあったもの・理由	チラシ配布
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	市町村単位
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 患者用IDカードの発行
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0017

情報更新日：2017/2/20

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	白十字会地域医療連携システムクロスネット		
ネットワークの略称・愛称	クロスネット		
運用開始(予定)年	2007	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	bigip.cross-net.jp		
ネットワークの概要	患者情報の公開(オーダ、カルテ、検査結果、画像)院内の行事予定、医師不在予定、マニュアルなどの公開		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院		
住所	〒857-1195 長崎県佐世保市大和町15		
電話番号	0956-33-6560	所属部署	システム開発室

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0人	兼任
			4人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	大規模な地域支援システムができた場合、そちらへシフトしていく方向で検討しています
運営について工夫した点、苦労した点	地域連携課職員による近隣のクリニック訪問時にクロスネットの紹介を行い、契約を頂いています
対象地域	市区町村単位での連携 福岡市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		4	86			1	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		13000			13000		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダ, ○:注射オーダ, ○:検体検査オーダ, ○:放射線検査オーダ, ○:内視鏡検査オーダ, ○:生理検査オーダ, ○:食事オーダ, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	△:HumanBridgeシステムを利用, △:ID-LINKシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, △:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0017

情報更新日：2017/2/20

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウイルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 病院負担

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	6000	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	30	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	6000	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	30	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	診療情報の連携, 退院時サマリ, 医療従事者用モバイル対応
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	在宅医療連携, 介護連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0115

情報更新日：2017/3/8

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	八女筑後医療ネットワーク協議会		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	八女筑後医師会		
住所	〒834-0063 福岡県八女市本村656-1		
電話番号	0943-22-4141	所属部署	理事
担当者	?田輝久	Eメールアドレス	ycma@mx2.tiki.ne.jp
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	地方ブロック		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0183

情報更新日：2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	くろめ診療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	アザレアネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.azaleanet.info/		
ネットワークの概要	ID-LINKを用いて地域診療情報共有システムの継続的・安定的な運営管理をおこなう		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他 くろめ診療情報ネットワーク協議会		
団体名	くろめ診療情報ネットワーク協議会		
住所	〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町45		
電話番号	0942-34-4163	所属部署	事務長

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして		

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	0 人	兼任	3 人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	基幹病院の診療情報開示のニーズが高まり、個別に導入計画が進んでいたが、複数の基幹病院と連携する診療所が多く、機種統一の要望があった
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	閲覧施設数の増加が伸び悩み
運営について工夫した点、苦労した点	新規開示施設の増加
対象地域	複数県にまたがる連携 久留米保健医療圏が対象だが八女筑後・佐賀県とも連携している
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		20	56		1	1	
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名				
	特定機能病院	あり	1	久留米大学付属病院			
	地域医療支援病院	あり	2	聖マリア病院、新古賀病院			
	精神科病院	あり	1	聖ルチア病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		8364			8364		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない
厚生労働省標準規格の採用	△:医薬品HOTコードマスター, △:ICD1対応標準病名マスター, △:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:JAHS臨床検査データ交換規約, ○:臨床検査マスター, ○:JAHS放射線データ交換規約, ○:JAHS処方データ交換規約, △:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIX3/PDQ/PDQV3, ○:XDS.b, ○:XCA, ○:CT

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0183

情報更新日：2017/2/21

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	180000	閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側	無料		閲覧側	有料	250
	介護施設	開示側			閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		0		千円	各開示施設が負担		
運用費用		2258		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	2258	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	（運用費内訳）	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 開示施設の負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担，自治体の負担，地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	2363	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	39	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	5877	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	31	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布，説明会の開催，医療機関等への訪問，公的な会議での周知，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	（立上げ時）学会・研究会 （会員増加時）基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	全国
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0238

情報更新日：2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	むーみんネットシステム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	多職種間における在宅医療連携のための患者情報共有システム		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人宗像医師会		
住所	福岡県宗像市田熊5-5-5		
電話番号	0940-36-2453	所属部署	宗像医師会病院企画情報管理室

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	事業所が複数等増えていった際のシステムの改修を検討する必要性。
運営について工夫した点、苦労した点	ipadを用いた運用から、各個人が所有するスマホ (iPhone、AndroID系) に変更することによって利用者数が増えた。
対象地域	市区町村単位での連携 宗像市、福津市
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数									
参加団体数(実績)	1	病院	14	医科診療所	1	薬局	16	介護施設	1	その他の施設	2
参加団体数(予定)											
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名							
	地域医療支援病院		1	宗像医師会病院							
	精神科病院										
参加患者数(実績数)	200	登録患者数					その内の実際に情報共有している患者数				
		200					200				

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, △:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:看護記録
利用している情報の取得元システム	○:その他より取得, 訪問看護システムとの連携

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0238

情報更新日：2017/2/21

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 具体的な説明ができるため。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど)
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0247

情報更新日：2017/2/17

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	新小倉病院地域連携システム		
ネットワークの略称・愛称	ひまわりネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	データセンターとインターネットを利用して、紹介医療機関が検査予約のオンライン発行ならびに画像データや検査結果レポート等(MRI、CT、内視鏡、骨塩定量検査)や患者様の医療情報(画像データ、検査結果レポート、臨床検査データ、入院時バイタル等)の共有化(連携)を図る、地域医療連携システムである。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国家公務員共済組合連合会新小倉病院		
住所	〒803-8505 福岡県北九州市小倉北区金田1丁目3番1号		
電話番号	093-571-1031	所属部署	診療放射線部
担当者	宮嶋清次	Eメールアドレス	s-miyajima@shin-kokura.gr.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	2
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策 高額医療機器の地域医療機関との共同利用と病院・診療所・医院と当院を患者医療情報を共有しスムーズな連携を目的としたシステムである。
地域の課題	地域医療機関に気軽に高額医療機器を使用した診療を行っていただく手助けになればよいと考え、また紹介医院である当院の医師との連携をスムーズに行うために、当院保有の患者医療情報を公開し紹介、逆紹介時の診療に利用できるように。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	院内のオーダリングシステムとの連携がすべて整っていない。一部手動である。管理部署が診療放射線部である、事務局の設置が遅れている。情報共有している患者医療情報がまだ不足している、投棄データなど。
運営について工夫した点、苦労した点	システム構築費用をいかに少なくするか。患者同意書を何時何処で誰がとるなどの運用が苦労した。また、個人情報の管理と運用規定などの作成に苦労した。
対象地域	市区町村単位での連携 北九州市小倉北区小倉南区戸畑区八幡東区門司区(当院通院圏内)
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		37				
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし				
	地域医療支援病院	なし				
	精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
		3966			2000	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, ○:診療・検査予約
その他 備考・補足	医療従事者用モバイル対応については実施可能である。現在当院の医師に限り指定端末で行っている。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:その他文書, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), △:調剤結果, ○:その他, 生理検査は心電図のみ、内視鏡は画像と検査結果レポート
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, ○:その他より取得, 放射線システム(RIS、PACS)臨床検査結果は病院システムから取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型, ○:クラウド型
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ, 当院での依頼検査結果レポートと画像と患者情報(心電図、臨床検査データ、入院時バイタル)の共有
地域共通ID	○:独自開発のシステムを利用, ○:その他の共通システムを利用, 依頼医療機関のIDと当院IDの両方のIDで運用を可能とした
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存, 院外データセンターと院内のアーカイブの二重保存
厚生労働省標準規格の採用	○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供), ○:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:HIS、RIS、PACS、モダリティ間予約、会計、照射録情報連携指針(JJ117指針)
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIX3/PDQ/PDQ3

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：IP-VPN、クラウド型のシステムである。当院とデータセンター間はIP-VPNである。
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
介護施設・その他施設との通信	○：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
患者との通信	
医療機関・薬局用	○：IDとパスワード、P C毎に電子認証
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，○：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：地域の医療費適正化の目的で利用

予算関係							
構築費用	14000	千円	3度の改良とVerUPを行った費用を含む				
運用費用	960	千円	IP-VPN通信料別				
内訳	運用費内訳	保守費	960	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上	3000	千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額（千円）・用途					
地域医療介護総合確保基金	いいえ	額（千円）・用途					
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	（運用費内訳）	保守費		千円	その他費用	千円	
主な関連IT企業	西日本エムシー（株），ケアストリームヘルス（株），（株）エクセル・クリエイツ						

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担，未定，その他 当院費用として負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	752	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	33	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	1023	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	26	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問
特に効果があったもの・理由	医療機関等への訪問 当院と紹介病院の間で行っているために、個々での紹介となってしまう。
人的なネットワーク	（立上げ時）その他 （会員増加時）その他
参加機関・患者拡大のメリット	患者情報の共有化
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携，電子紹介状，電子処方箋（実証等），電子おくり手帳，退院時サマリ，健診情報連携，画像情報の共有，患者サービス（モバイルアクセスサービス），在宅医療連携，介護連携，その他のサービス診療・検査予約，その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	その他

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0271

情報更新日：2017/2/22

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	福岡県医師会診療情報ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	とびうめネット		
運用開始(予定)年	2014	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	https://www.fukuoka.med.or.jp/tobiume/		
ネットワークの概要			

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	公益社団法人福岡県医師会		
住所	〒812-8551 福岡県福岡市博多区博多駅南2-9-30-4F		
電話番号	092-431-4564	所属部署	地域医療課

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), ○:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 九州

福岡県

整理番号： 0309

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	行橋京都地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	メディックNET		
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	試験運用中(実証事業を含む)
公開URL			
ネットワークの概要	<p>・ID-LINKを用いて基幹病院、急患センターと一般診療所を結び、連携を行う。・インフルエンザ等の感染症情報を医療機関、地域の保育園、学校とネット上で共有し予防、診療に役立てる。・小児の予防接種情報を登録共有し、接種率の向上や誤接種などのトラブルを阻止する。</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人京都医師会		
住所	〒824-0002 福岡県行橋市東大橋2丁目9番2号		
電話番号	0930-22-0420	所属部署	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	説明会の開催		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット	地方ブロック		
地域範囲の適切なサイズ	構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 九州

福岡県

整理番号： 0363

情報更新日： 2017/2/24

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療連携ネットワークシステム		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院		
住所	〒806-8501 福岡県北九州市八幡西区岸の浦1丁目8番1号		
電話番号	093-641-9675	所属部署	医療支援部
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) その他	
参加機関・患者拡大のメリット	地域連携の推進、患者情報のスムーズな共有化、早期退院支援への情報提供		
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス	退院時サマリ		
追加サービスと会員増加の関係	サービス強化と会員の増加には影響はなかった		
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上		

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0467

情報更新日：2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	北九州市立医療センター地域医療連携ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	連携ネット北九州		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/index.html		
ネットワークの概要	当院と地域の医療機関をインターネットで接続し、高額医療機器の予約及び当院の診療情報の一部を閲覧するもの。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	北九州市立医療センター		
住所	〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借2-1-1		
電話番号	093-541-1831	所属部署	事務局経営企画課
担当者	児玉龍志	Eメールアドレス	tatsushi_kodama01@city.kitakyushu.lg.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	1	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, その他 高額医療機器の共同利用
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	その他 特に地域を限定していない。
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)			32				
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数		
		748			748		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子版おくり手帳, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:医療従事者用モバイル対応, △:在宅医療連携, △:介護連携, ○:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他, 注射箋
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用
連携情報の保管場所	△:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, △:待機系サーバを遠隔地に設置, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理						
運用管理規程（規定）等の整備						
安全管理						
利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他 患者	開示側			閲覧側	
蓄積された個人情報・診療情報の利用						
個人情報・診療情報の利用 <input type="radio"/> :学術研究等の公益目的で利用						
予算関係						
構築費用		10479		千円		
運用費用		2050		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	2050	千円	その他費用	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途		
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
実施予定のネットワーク	構築費用			千円		
	運用費用			千円		
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用	千円
主な関連IT企業		富士通（株）				
将来のシステムの更改の費用負担						
将来のシステムの更改の費用負担 未定						
費用の負担						
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）		
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）		
医療情報ネットワークの連携実績						
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回
診療報酬加算の算定状況						
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況		
普及に向けた施策・取組						
周知・広報の施策・取組						
特に効果のあったもの・理由						
人的なネットワーク			(立上げ時)		(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット						
地域範囲の適切なサイズ						
構築時に降に、追加したサービス						
追加サービスと会員増加の関係						
会員増加に効果的なサービス						
サービス強化の決定理由						

地域・都道府県：九州

福岡県

整理番号：0539

情報更新日：2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要						
ネットワークの名称		(仮称) 結ネットいきいき				
医療情報連携ネットワークの代表団体						
代表団体区分						
団体名						
住所						
電話番号						
担当者						
所属部署						
Eメールアドレス						
自治体の運営への参加						
自治体の運営への参加						
医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数		専任		兼任		人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など						
ネットワークの導入目的		医療連携, 在宅医療対策				
地域の課題						
ネットワーク導入による効果						
ネットワークが現在抱えている課題						
運営について工夫した点、苦労した点						
対象地域		二次医療圏での連携		福岡県粕屋		
行政計画への記載						
参加団体数と参加患者数						
参加施設数						
参加団体数(実績)		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(予定)		6				その他の施設
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型		特定機能病院				
		地域医療支援病院				
		精神科病院				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	
同意取得について(患者詳細)						
新規患者からの同意取得		同意による取得				
患者が同意の撤回(脱退)する場合		同意書の撤回(脱退)文書による				
新たに参加施設が増えた場合						
提供しているサービス状況						
連携している疾病(連携バス)						
提供しているサービス項目		△:診療情報の連携, △:遠隔カンファランス, ○:退院時サマリ, △:健診情報の連携, ○:PCアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)				
その他 備考・補足						
共有できる情報項目						
利用している情報項目		○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, △:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, △:処方オーダー, △:注射オーダー, △:検体検査オーダー				
利用している情報の取得元システム		○:病院(電子カルテ)より取得				
通信ネットワーク・ログインセキュリティ						
医療機関等との通信(開示側)		○:専用線, ○:IP-VPN				
医療機関等との通信(閲覧側)		○:専用線, ○:インターネットVPN(IPSec+IKE)				
介護施設・その他施設との通信		○:インターネットVPN(IPSec+IKE)				
患者との通信						
医療機関・薬局用		○:IDとパスワード, ○:HPKI電子証明書(ICカード)				
介護施設・その他施設用		○:IDとパスワード				
患者用						
システムの運用管理						
運用管理規程(規定)等の整備		○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定				
安全管理		△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか), △:定期的な運用管理規程等の見直し, △:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理				
利用・参加料金						
利用・参加料金		病院	開示側		閲覧側	
		医科診療所	開示側		閲覧側	
		歯科診療所	開示側		閲覧側	
		薬局	開示側		閲覧側	
		介護施設	開示側		閲覧側	
		その他	開示側		閲覧側	
		患者	開示側		閲覧側	
蓄積された個人情報・診療情報の利用						
個人情報・診療情報の利用						

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用
	連携費用	200床以上		千円	200床以下
地域医療再生臨時特例交付金			額(千円)・用途		千円
地域医療介護総合確保基金			額(千円)・用途		
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業				千円	
将来のシステムの更改の費用負担					
将来のシステムの更改の費用負担					
費用の負担					
ネットワーク構築費用の負担(実施中)				ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)				ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	
医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組					
周知・広報の施策・取組					
特に効果のあったもの・理由					
人的なネットワーク		(立上げ時)		(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット					
地域範囲の適切なサイズ					
構築時以降に、追加したサービス					
追加サービスと会員増加の関係					
会員増加に効果的なサービス					
サービス強化の決定理由					

地域・都道府県：九州

佐賀県

整理番号：0023

情報更新日：2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要								
ネットワークの名称	佐賀県診療情報地域連携システム							
ネットワークの略称・愛称	ピカピカリンク							
運用開始(予定)年	2010	ネットワークの稼働状況	サービス運用中					
公開URL	http://pica2.link/							
ネットワークの概要	ID-LINKを利用した病病・病診等連携システム							
医療情報連携ネットワークの代表団体								
代表団体区分	病院							
団体名	佐賀県診療情報地域連携システム協議会							
住所	〒840-8571 佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400							
電話番号	0952-28-1351	所属部署	佐賀県診療情報地域連携システム協議会事務局(佐賀県医療センター野生館)					
担当者	長友篤志	Eメールアドレス	nagatomo-atsushi@koseikan.jp					
自治体の運営への参加								
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして							
医療情報連携ネットワークの運営								
事務局人数	専任	0	人	兼任	1 人			
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など								
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策							
地域の課題	高齢化の進展・疾病構造の変化等により、患者さんの診療は複数の医療機関にまたがって行われることが多く、重複検査や重複投薬が発生していることから、適切な医療の提供のため、診療情報の円滑な共有を図るもの。							
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった							
ネットワークが現在抱えている課題	加入施設数の伸び悩み							
運営について工夫した点、苦労した点								
対象地域	全県域での連携		佐賀県					
行政計画への記載	はい							
参加団体数と参加患者数								
参加団体数(実績)	参加施設数							
	病院	101	医科診療所	0	薬局	7	介護施設	5
参加団体数(予定)								
参加している病院の施設類型	施設の有無	あり	施設数	施設名				
	特定機能病院	あり	1	佐賀大学医学部附属病院				
	地域医療支援病院	あり	5	唐津赤十字病院、佐賀県医療センター好生館、NHO嬉野医療センター、NHO佐賀病院、NHO東佐賀病院				
精神科病院	あり							
参加患者数(実績数)	登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数				
	21795			21795				
同意取得について								
医療機関等	○:施設ごとの参加判断							
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断							
患者	○:すべての施設毎に同意を得る							
同意取得について(患者詳細)								
新規患者からの同意取得	同意による取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による							
新たに参加施設が増えた場合								
提供しているサービス状況								
連携している疾病(連携バス)	△:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, △:胃・大腸がん, △:その他のがん							
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:電子クリニカルパス, ○:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携							
その他 備考・補足								
共有できる情報項目								
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), アレルギー、入院期間等							
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得, △:医科診療所(電子カルテ)より取得, △:医科診療所(レセコン)より取得							
医療情報連携ネットワークのシステム								
連携方式	○:分散型							
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ							
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, 共通IDを使用していない							
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内							
障害対策(バックアップ体制)	特別な対策はしていない							
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター, ○:ICD1対応標準病名マスター, ○:IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用方針, ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM), ○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン, ○:地域医療連携における情報連携基盤技術仕様							
情報連携基盤技術仕様	○:XDS.b							

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 国の負担（厚労省）, 国の負担（総務省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	4229	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	109	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	14610	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	95	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	チラシ配布, 説明会の開催, 医療機関等への訪問, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果があったもの・理由	説明会の開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	医療従事者用モバイル対応
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 退院時サマリ, 画像情報の共有, 医療従事者用モバイル対応, 在宅医療連携, 介護連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）, その他のサービス空床情報
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, その他

地域・都道府県：九州

佐賀県

整理番号：0416

情報更新日：2017/2/27

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	佐賀県医療機関情報・救急医療情報システム		
ネットワークの略称・愛称	99さがネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.qq.pref.saga.jp/		
ネットワークの概要	佐賀県医療機関情報・救急医療情報システムは、県内の病院・診療所、消防機関などをインターネットで結び、救急医療や医療機関の情報を県民の皆さんにお知らせするとともに、医療機関相互の連携に活用するものです		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	佐賀県		
住所	〒840-8570 佐賀県佐賀市内1-1-59		
電話番号	0952-25-7073	所属部署	健康福祉部医務課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周産期医療対策, 災害医療対策, 医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	複数県にまたがる連携 佐賀県、福岡県と長崎県の一部医療機関
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		108	688	426			7
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型	特定機能病院	あり	1	佐賀大学医学部付属病院			
	地域医療支援病院	あり	5	唐津赤十字病院、佐賀県医療センター好生館、NHO佐賀病院、NHO東佐賀病院、NHO嬉野医療センター			
	精神科病院	あり	18	佐賀大学医学部付属病院、国立病院機構肥前精神医療センター、神野病院、早津江病院、中多久病院、鯨島病院、清友病院、大島病院、松岡病院、光風会病院、いぬお病院、松籟病院、森本病院、堀田病院、園田病院、嬉野温泉病院、佐賀県医療センター好生館、小島病院			
	参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:空床情報
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

地域・都道府県：九州

佐賀県

整理番号：0416

情報更新日：2017/2/27

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係					
構築費用				千円	
運用費用				千円	
内訳	運用費内訳	保守費		千円	
	連携費用	200床以上		千円	
				その他費用	千円
地域医療再生臨時特例交付金	いいえ	額(千円)・用途		千円	
地域医療介護総合確保基金	いいえ	額(千円)・用途		千円	
その他の公的資金	構築費用	58673		千円	
	運用費用	19883		千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	
主な関連IT企業		国際航業(株), 沖電気工業(株)			

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	自治体の負担, 国の負担(厚労省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	自治体の負担, 国の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数	29522	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	0	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組		
周知・広報の施策・取組		
特に効果のあったもの・理由		
人的なネットワーク	(立上げ時) その他	(会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県	
構築時以降に、追加したサービス		
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない	
会員増加に効果的なサービス		
サービス強化の決定理由		

地域・都道府県：九州

長崎県

整理番号：0010

情報更新日：2017/2/13

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称	あじさいネットワーク						
ネットワークの略称・愛称	あじさいネット						
運用開始(予定)年	2004	ネットワークの稼働状況	サービス運用中				
公開URL	http://www.ajisai-net.org/						
ネットワークの概要	地域医療連携システム						
医療情報連携ネットワークの代表団体							
代表団体区分	NPO						
団体名	NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会						
住所	〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3-27						
電話番号	095-844-1111	所属部署					
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加	参画していない						
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数	専任	0	人	兼任	2 人		
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 周産期医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, 糖尿病対策, 疾病管理 立ち上げ当初は、医療連携のみの目的でしたが、地域医療再生基金を利用して、救急医療、周産期医療、在宅医療等の目的としてもシステムを拡充中です。						
地域の課題							
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった						
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦労した点							
対象地域	全県域での連携		長崎県				
行政計画への記載							
参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		32	203		68	6	14
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		61634			52500		
同意取得について							
医療機関等	○:施設ごとの参加判断, その他の方式						
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断, その他の方式						
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。						
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得	同意による取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退) 文書による						
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)	○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:糖尿病						
提供しているサービス項目	○:電子紹介状, ○:遠隔医療, △:遠隔カンファランス, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, △:検査機関との連携, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携						
その他 備考・補足	連携内容は医療情報を開示している病院によって異なるので疾病の限定はない。						
共有できる情報項目							
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:手術記録, ○:看護記録, ○:その他文書, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果, ○:その他						
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得						
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式	○:分散型						
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ						
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, ○:ID-LINKシステムを利用						
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター						
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用						
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)							
医療機関等との通信(閲覧側)							
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)						
患者との通信							
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード						
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード						
患者用							

地域・都道府県： 九州

長崎県

整理番号： 0010

情報更新日： 2017/2/13

システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備		
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ		
利用・参加料金			
利用・参加料金	病院	開示側	閲覧側
	医科診療所	開示側	閲覧側
	歯科診療所	開示側	閲覧側
	薬局	開示側	閲覧側
	介護施設	開示側	閲覧側
	その他 患者	開示側	閲覧側
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
将来のシステムの更改の費用負担			
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担		
費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	国の負担（厚労省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況		
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県：九州

長崎県

整理番号：0043

情報更新日：2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	メディカル・ネット99		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院		
住所	〒857-1195 長崎県佐世保市大和町15番地		
電話番号	0956-33-6560	所属部署	システム開発室
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 6 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携		
地域の課題	情報連携が紹介状&フィルムだけだった。		
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した,○:患者の負担が軽減した,○:医療機関間で機能分化が進んだ,○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ,○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ,△:医師の偏在を補う効果があった,○:患者紹介の円滑化が進んだ,△:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった,○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	双方向通信でないこと		
運営について工夫した点、苦勞した点			
対象地域	市区町村単位での連携	佐世保市	
行政計画への記載	いいえ		
同意取得について			
医療機関等	○:施設ごとの参加判断		
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断		
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合			
提供しているサービス状況			
連携している疾病(連携バス)	○:大腿骨頸部骨折,○:脳血管障害,○:心臓疾患,○:胃・大腸がん,○:その他のがん,○:肝炎,○:糖尿病,○:認知症,○:その他		
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,○:退院時サマリ,○:健診情報の連携,○:画像情報の共有,○:医療従事者用モバイル対応,○:情報共有(掲示板、SNSなど),○:診療・検査予約,○:メール、メルマガなど		
その他 備考・補足	疾病による制限はありません		
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:医師記録(経過記録),○:サマリ,○:手術記録,○:看護記録,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果		
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得		
蓄積された個人情報・診療情報の利用			
個人情報・診療情報の利用			
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時) 基幹病院	
参加機関・患者拡大のメリット	二次医療圏		
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県：九州

長崎県

整理番号：0049

情報更新日：2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	長崎在宅Dr. ネットメーリングリスト		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2009	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://doctor-net.or.jp		
ネットワークの概要	フリーメールを利用したメーリングリスト		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット		
住所	〒850-0022 長崎県長崎市馬町21-1B-13		
電話番号	095-811-5120	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

予算関係							
構築費用		0	千円				
運用費用		0	千円				
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上	0	千円	200床以下	0	千円
地域医療再生臨時特例交付金			額(千円)・用途				
地域医療介護総合確保基金			額(千円)・用途				
その他の公的資金	構築費用		千円				
	運用費用		千円				
実施予定のネットワーク	構築費用		千円				
	運用費用		千円				
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用		千円	
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担	
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果があったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

長崎県

整理番号：0474

情報更新日：2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	離島救急画像診断支援システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	離島中核病院等から、本土支援病院へCT画像等を伝送し、専門医の支持を仰いだり、ヘリコプターによる本土支援病院への搬送等に活用する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	行政		
団体名	長崎県庁		
住所	〒850-8570 長崎県長崎市江戸町2-13		
電話番号	095-895-2421	所属部署	医療人材対策室医師確保推進班

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	0	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		12	2			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院				
		地域医療支援病院				
		精神科病院				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	掲示板、ホームページ等による周知(黙示同意)
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	
医療機関等との通信(閲覧側)	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 九州

長崎県

整理番号： 0474

情報更新日： 2017/3/3

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備							
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		92211		千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業							
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		公的資金より負担					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担, 自治体の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク				(立上げ時)			
参加機関・患者拡大のメリット				(会員増加時)			
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県：九州

長崎県

整理番号：1100

情報更新日：2017/2/24

医療情報ネットワークの概要			
ネットワークの名称	島原メディカル・ケアねっと		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	平成22年、電子カルテ導入により、地域関係機関との情報共有の効率化を目的にネットワークを立ち上げ、平成24年より、患者の同意を得て電子カルテ情報の公開を行っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	長崎県島原病院		
住所	〒855-0861 長崎県島原市下川尻長7895番地		
電話番号	0957-63-1145	所属部署	地域医療支援センター

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1人	兼任
			1人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	救急医療対策, 小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	地域の中核病院として、当院で検査や治療を実施している患者は多く、その経過やデータが、かかりつけ医に提供することは、医療の効率化や患者・家族の安心につながる。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	?かかりつけ医の利用が十分でない?運営費用
運営について工夫した点、苦労した点	?双方向で同意が取れる仕組みとし、同意件数の拡大を図る?診療予約患者については、初診時に同意を取り、紹介元がデータ等が閲覧できるように推進?転院時も同意を推進し、CD-Rの添付を不要とした?ネットワークを推進している開業医へ、メリットを当院広報誌で紹介しシステムをPR
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	いいえ
	長崎県県南

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		8	12				
参加団体数(予定)							
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし	1	高城病院			
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		4607			4592		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加, △:施設ごとの参加判断
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:大腿骨頸部骨折, △:脳血管障害, △:胃・大腸がん, △:その他のがん, △:肝炎, △:糖尿病, △:認知症, △:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約, △:空床情報, △:メール、メルマガなど
その他(備考・補足)	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	△:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, △:他地域との複製データ共有, ○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター, △:診療情報提供書(電子紹介状), ○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:IP-VPN
医療機関等との通信（閲覧側）	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:2要素認証, ○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用

予算関係					
構築費用	59762		千円		
運用費用	5475		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	千円	その他費用	5475
	連携費用	200床以上	千円	200床以下	千円
地域医療再生臨時特例交付金	はい	額（千円）・用途	27512	ゲートウェイサーバ費用,連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用	
地域医療介護総合確保基金	はい	額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
実施予定のネットワーク	構築費用		千円		
	運用費用		千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用	千円
主な関連IT企業					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	未定

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	6 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	92 回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 直接の説明により、メリットを理解していただいた。
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	地域の中核病院として、より多くの患者情報を蓄積することにより、患者の受診時の判断・診断材料になるとともに、情報共有の効率化が促進する。高齢化が加速している地域でもあり、施設入所や在宅を推進して行く中では医療機関以外への拡大もメリットは出てくる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に、追加したサービス	画像情報の共有
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上

地域・都道府県：九州

熊本県

整理番号：1041

情報更新日：2017/3/16

医療情報連携ネットワークの概要							
ネットワークの名称		くまもとメディカルネットワーク					
ネットワークの略称・愛称							
運用開始(予定)年				ネットワークの稼働状況		構築中	
公開URL							
ネットワークの概要							
自治体の運営への参加							
自治体の運営への参加		協議会メンバーとして					
医療情報連携ネットワークの運営							
事務局人数		専任		人		兼任	
						4人	
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など							
ネットワークの導入目的		救急医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 疾病管理, 健康管理					
地域の課題							
ネットワーク導入による効果							
ネットワークが現在抱えている課題							
運営について工夫した点、苦勞した点							
対象地域		全県域での連携		熊本県			
行政計画への記載		はい					
同意取得について							
医療機関等		○:施設ごとの参加判断					
介護施設、その他患者		○:施設ごとの参加判断					
同意取得について(患者詳細)							
新規患者からの同意取得							
患者が同意の撤回(脱退)する場合							
新たに参加施設が増えた場合							
提供しているサービス状況							
連携している疾病(連携パス)		△:大腿骨頸部骨折, △:胃・大腸がん, △:認知症					
提供しているサービス項目							
その他 備考・補足							
共有できる情報項目							
利用している情報項目							
利用している情報の取得元システム							
医療情報連携ネットワークのシステム							
連携方式							
情報共有形態							
地域共通ID		○:HARMONYsuiteを利用					
連携情報の保管場所		公益社団法人熊本県医師会					
障害対策(バックアップ体制)		○:待機系サーバを遠隔地に設置					
厚生労働省標準規格の採用							
情報連携基盤技術仕様							
通信ネットワーク・ログインセキュリティ							
医療機関等との通信(開示側)		○:IP-VPN					
医療機関等との通信(閲覧側)		○:その他のVPN					
介護施設・その他施設との通信		○:その他のVPN					
患者との通信							
医療機関・薬局用		○:HPKI電子証明書(ICカード), ○:PKI電子証明書(ICカード)					
介護施設・その他施設用		○:PKI電子証明書(ICカード)					
患者用							
システムの運用管理							
運用管理規程(規定)等の整備		○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, ○:障害・災害時の対応規定の制定					
安全管理							
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	1000	閲覧側		
	医科診療所	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500
	歯科診療所	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500
	薬局	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500
	介護施設	開示側	有料	500	閲覧側	有料	500
	その他	開示側				閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側		
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担(実施中)				ネットワーク構築費用の負担(実施予定)			
ネットワーク運用費用の負担(実施中)				ネットワーク運用費用の負担(実施予定)			

地域・都道府県： 九州

熊本県

整理番号： 1041

情報更新日： 2017/3/16

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会 (会員増加時) 医師会
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

熊本県

整理番号：0022

情報更新日：2017/2/21

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	地域医療画像連携ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	くまちゅう画像ネット		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.kumachu.gr.jp/medical/network/network_s.html		
ネットワークの概要	セキュリティを確保したインターネット回線を用いて紹介患者さんの情報の共有化を図ることで、かかりつけ医の先生方の診療を側面から支援していくことを目的としている。紹介元医療機関へ端末を貸与し、専用端末上で画像情報等を参照することができる。【主な機能】画像の閲覧、診療情報提供書の閲覧、検査のオンライン予約など。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	国家公務員共済組合連合会熊本中央病院		
住所	〒862-0965 熊本県熊本市南区田井島1-5-1		
電話番号	096-370-3111	所属部署	地域医療連携室

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	2人	兼任	1人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した,△:医療機関間で機能分化が進んだ,○:患者紹介の円滑化が進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	オンライン予約の枠を増やしたいが、外来・入院患者の分を考慮すると難しい。
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	全県域での連携 熊本県
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		10	41			
参加団体数(予定)						
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名		
		特定機能病院	なし			
		地域医療支援病院	なし			
		精神科病院	なし			
参加患者数(実績数)		登録患者数		その内の実際に情報共有している患者数		
		5336		5336		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定,○:すべての施設毎に同意を得る

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,△:遠隔医療,○:画像情報の共有,○:診療・検査予約
その他 備考・補足	1:画像の閲覧(CT・MRI・RI・心カテ静止画・内視鏡・エコー・レントゲン)、2:診療情報提供書の閲覧、3:検査予約(CT・MRI・胃カメラ)、4:紹介するかどうか迷った時に画像を転送し、画像をお互いに見ながらdiscussion可能

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:病名情報,○:診療情報提供書,○:その他文書,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:その他,CT・MRI・RI・心カテ(静止画)・内視鏡・エコー・レントゲン
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:双方向での共有,○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	中核病院(本院)の画像サーバ
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	○:ICD1対応標準病名マスター,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),○:HIS,RIS,PACS,モダリティ間予約,会計,照射録情報連携指針(JJ117指針)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	公的な会議での周知, その他
特に効果のあったもの・理由	公的な会議での周知 実際にシステムを利用している先生も参加している懇親会等であると、利用の感想を聞くことができる。また、当院の医師へ質問もできる。
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	紹介が増える
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上, その他

地域・都道府県：九州

熊本県

整理番号：0303

情報更新日：2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	サイボウズキントン（たまな在宅ネットワーク患者情報登録システム）		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始（予定）年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	診療所医師の在宅医療時における相互補完システムとして機能している多職種・多法人参加の「たまな在宅ネットワーク」において情報共有が必要な患者（例えば在宅時医学総合管理料算定対象者）の基礎情報や毎月の訪問看護報告書内容等を登録している。現在は一部の医師や事務局の使用となっているが、今後ネットワークに参加する診療所や訪問看護、薬局なども活用を検討中。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人玉名都市医師会（たまな在宅医療連携協議会）		
住所	〒865-0005	熊本県玉名市玉名2172	
電話番号	0968-76-7066	所属部署	玉名地域保健医療センター医療連携室

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	4	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医師・看護師等の確保対策, 救急医療対策, 医療連携, 在宅医療対策 診療所医師の在宅医療における不在時や対応困難時の相互補完。
地域の課題	以前より訪問診療等を行っている医師は比較的多い地域であったが、診療所医師の高齢化や医療・介護・福祉における地域資源の減少などもあり、限りある資源で多職種連携の下、地域医療を支えていくことが必要となってきた。
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	あくまでも人的ネットワークのサポート機能であり、積極的に導入を進めていないが今後は地域中核病院との連携などもふくめ運用拡大が課題。
運営について工夫した点、苦労した点	システムに直接書き込む機会は少なくし、既存の書類の提出（FAX・メール）等で済むようにしている。
対象地域	その他 主に都市医師会単位ではあるが近隣地域も該当
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数（実績）		3	24			
参加団体数（予定）				5	15	15
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数（実績数）		登録患者数 246			その内の実際に情報共有している患者数 225	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:施設ごとの参加判断
患者	その他の方式

同意取得について（患者詳細）	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回（脱退）する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病（連携バス）	
提供しているサービス項目	○:在宅医療連携, ○:介護連携
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報（氏名、年齢、住所等）, ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録（経過記録）, ○:看護記録
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策（バックアップ体制）	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

地域・都道府県： 九州

熊本県

整理番号： 0303

情報更新日： 2017/3/2

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定					
安全管理		○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用				千円			
運用費用				千円			
内訳	運用費内訳	保守費	10	千円	その他費用		千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金				額（千円）・用途			
地域医療介護総合確保基金				額（千円）・用途			
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用		千円
主な関連IT企業		サイボウズ（株）					
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担		サービス利用料金等の収入より負担					
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）				ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）				ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回		
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回		
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組							
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク 参加機関・患者拡大のメリット				(立上げ時) (会員増加時)			
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係							
会員増加に効果的なサービス							
サービス強化の決定理由							

地域・都道府県：九州

熊本県

整理番号：1042

情報更新日：2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	くまもとクロスネット		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	患者さんの同意のもと、患者さんの状況や治療歴、検査データ、画像等を参加医療機関がネットワークシステムを利用して閲覧できる。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	熊本赤十字病院		
住所	〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号		
電話番号	096-384-2111	所属部署	医療連携室地域医療推進課
担当者	西岡真実	Eメールアドレス	nishioka.mami.yu@kumamoto-med.jrc.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	人	兼任	5人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	急速な高齢化社会に伴う、地域完結型医療の促進。
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, ○:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	患者さんへの説明、同意取得の手間等の理由により、参加登録したものの、一度もシステムを利用した実績のない参加医療機関があること。
運営について工夫した点、苦労した点	参加医療機関のシステムへの理解を深めていただくべく、複数回説明会を開催した。
対象地域	全県域での連携 熊本県
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		28	27	0	0	0	0
参加団体数(予定)		0	0	0	0	0	0
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし					
	精神科病院	なし					
	施設の有無	施設数	施設名				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		488			488		

同意取得について	
医療機関等	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:情報共有(掲示板、SNSなど)
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:サマリ, ○:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:内視鏡検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:食事オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用
厚生労働省標準規格の採用	○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	○：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料	
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料	

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	その他 当院負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	その他
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	その他

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	230	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	14	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	182	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	14	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 説明会に足を運んでくださった医療機関を訪問することで、参加に繋がる。
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	地域全体で患者さんを診ることができ、患者さんの状態にあった質の高い医療を提供することができる。
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	退院時サマリ, 画像情報の共有
追加サービスと会員増加の関係	そう思う
会員増加に効果的なサービス	その他のサービス診療・検査予約
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上

地域・都道府県： 九州

大分県

整理番号： 0046

情報更新日： 2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	別府市医師会地域医療連携システム		
ネットワークの略称・愛称	ゆけむり医療ネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.beppu-med.or.jp/yukemuri/		
ネットワークの概要	<p>基幹病院と病院・診療所を閉鎖されたネットワークによる結び、紹介された患者の同意の基にリアルタイムに病院・診療所へ診療情報(カルテ内容、看護記録、画像・検査・薬剤情報など)を参照可能なコンピューターネットワークを利用した地域医療連携システムを構築し、今まで患者が持参していたレントゲンフィルム等の個人情報を患者の同意の基に安全かつスピーディーに届け、さらに実際に行われた医療行為とその結果を迅速、正確、詳細に把握することができ、紹介元施設におけるより適切な高度医療の理解と詳細な患者説明が可能となります。また、受診・入院依頼や検査依頼において予約電話を掛ける煩雑さや文書送付のためのタイムロスがなくなり、スムーズに行える等、また基幹病院には受診・入院報告や検査結果報告が簡便になり、通信費の削減等にも貢献する利点が考えられます。そして、システムを構築することにより、かかりつけ医と基幹病院の役割分担と信頼関係はさらに充実し、それが目に見えることによって患者さんに対し、今まで以上の信頼と安心を与えようと考えます。一方、かかりつけ医が最新の診断・治療法を容易に知りえることもメリットであり、基幹病院では診療内容の公開による分かりやすいカルテの作成や医療の標準化が期待されます。・医療連携システム(富士通社のヒューマンブリッジ)・医師会業務システム(サイボウズグループ)・在宅医療連携システム(富士通社のヒューマンブリッジ在宅SNS)以上、このシステムに多くの病院や診療所の医師・コメディカルが参加することにより地域医療の質の向上に資する事を目標としています。また、平成24年～25年度においては厚労省の「処方箋の電子化に向けた検討のための実証事業」に参加しており、処方箋情報を電子化して保存する際に医師と薬剤師による電子認証と署名に保健医療福祉分野公開鍵基盤(HPKI)を用いて真正性を担保し、紙で保存することとなっている処方箋を電子化した場合にどうなるかを実証しています。医師は「処方箋を印刷して印鑑を押す」行為に対してHPKIカードを利用し、医師の資格確認のために認証し、処方箋情報を保存する際に電子署名をして電子化した処方箋情報を送信する事となります。保険医療費担当規則で保険薬局には直接、処方箋情報を送信できないため、一旦、ASPサーバへ送信して保存し、患者には紙に変わるICカードを持たせて、薬局で掲示することにより、薬剤師がHPKIカードを利用し、薬剤師の資格確認のために認証し、処方箋情報を患者から掲示されたICカードをトリガーにしてASPサーバより処方箋情報を受け取り調剤を行います。薬剤師は実際に調剤した「調剤実施情報」を電子化してASPサーバへ送る際にHPKIカードを利用して電子署名を行い送信することにより、地域で調剤実施された薬の情報が蓄積されることとなります。この蓄積された薬情報を医療連携システムで共有することにより、救急や災害時に利用でき、参加した地域住民はICカードにより薬情報を電子おくり手帳として利用できることが期待されます。平成26年度は総務省「放送・通信分野における公的個人認証サービス民間活用実証事業」で公的個人認証サービスを想定した実証システムを構築して、医療機関、薬局で、患者の健康保険の即時資格確認と処方箋の電子化の実証を行い、利便性、運用性、機能の効果検証を別府市国民健康保険の保険者約100名に行いました。また、昨年度まで行っていた処方箋の電子化も含めると約200名のモニターに協力してもらい1ヶ月間で行った。平成27年度は大分県の地域医療介護総合確保施設整備整備事業にて連携報酬・参照システム開始(別府市内薬局65施設が接続)調剤歴が連携され閲覧できる</p>		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人別府市医師会		
住所	〒874-0908 大分県別府市上田の湯町10番5号		
電話番号	0977-23-2279	所属部署	地域保健センター健診
担当者	田能村祐一	Eメールアドレス	tanomura@beppu-med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
		兼任	3
			人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	小児医療対策, 災害医療対策, 医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, ○:医療機関間で機能分化が進んだ, ○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, ○:患者紹介の円滑化が進んだ, ○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	リブレイス時の資金と運用資金の確保
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		23	54				1
参加団体数(予定)					65	2	
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院						
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		67376			7053		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	○:施設毎に情報連携の可否を指定, ○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。、その他の方式

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	○:大腿骨頸部骨折, ○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:胃・大腸がん, ○:その他のがん, ○:肝炎, ○:糖尿病, ○:その他
提供しているサービス項目	△:遠隔カンファランス, ○:電子処方箋(実証等), ○:電子版おくり手帳, △:電子版疾病管理手帳, △:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, ○:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, ○:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), ○:在宅医療連携, △:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:診療・検査予約, ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	医師会での講演・研修会のビデオ配信(オンデマンド)。予防接種歴の集積と参照機能。院外調剤歴の集積と参照機能。

地域・都道府県：九州

大分県

整理番号：0046

情報更新日：2017/3/3

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,△:診療情報提供書,○:処方オーダー,○:注射オーダー,○:検体検査オーダー,○:放射線検査オーダー,○:内視鏡検査オーダー,○:生理検査オーダー,○:食事オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,△:病院(レセコン)より取得,○:病院(画像システム)より取得,○:医科診療所(電子カルテ)より取得,○:医科診療所(レセコン)より取得,○:薬局(調剤レセコン)より取得,○:検査センター(検査システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型,△:クラウド型
情報共有形態	△:双方向での共有,○:参照のみ
地域共通ID	○:HumanBridgeシステムを利用,○:その他の共通システムを利用,ゆけむり医療ID
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内,△:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用,○:磁気メディア等のバックアップデータを保存,電気自動車による停電時にサーバ室への給電
厚生労働省標準規格の採用	○:医薬品HOTコードマスター,○:ICD1対応標準病名マスター,○:患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供),△:診療情報提供書(電子紹介状),○:IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針,△:保健医療情報-医療波形フォーマット-第921部:符号化規則,○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM),△:JAHS臨床検査データ交換規約,△:標準歯科病名マスター,○:臨床検査マスター,△:JAHS放射線データ交換規約,○:JAHS処方データ交換規約,○:SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	○:PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:IP-VPN,○:インターネットVPN(IPSec+IKE),○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:IP-VPN,○:インターネットVPN(IPSec+IKE),○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
介護施設・その他施設との通信	○:IP-VPN,○:インターネットVPN(IPSec+IKE),○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	△:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関・薬局用	○:2要素認証,○:IDとパスワード,○:HPKI電子証明書(ICカード),△:PKI電子証明書(ICカード),○:その他のICカード,SSL証明書
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード,SSL証明書
患者用	△:IDとパスワード,△:ICカード

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備,○:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),○:定期的な運用管理規程等の見直し,○:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料	
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料	
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料	
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○:地域の医療費適正化の目的で利用,○:学術研究等の公益目的で利用

予算関係			
構築費用	30000 千円	地域再生基金より3分の2補助	
運用費用	840 千円	GWサーバ保守	
内訳	運用費内訳	保守費 840 千円	その他費用 0 千円
	連携費用	200床以上 千円	200床以下 千円
地域医療再生臨時交付金	いいえ	額(千円)・用途	
地域医療介護総合確保基金	はい	額(千円)・用途	27000 千円
			連携システム環境構築費用,院内システムとの接続費用,ネットワーク費用,工事・作業費用,その他
その他の公的資金	構築費用	千円	
	運用費用	千円	
実施予定のネットワーク	構築費用	0 千円	
	運用費用	0 千円	
	(運用費内訳)	保守費 0 千円	その他費用 0 千円
主な関連IT企業	富士通(株),西日本電信電話(株),(株)日立製作所		

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担,公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担,国の負担(厚労省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	参加施設の負担,地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担,国の負担(厚労省)
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	参加施設の負担,地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	参加施設の負担,地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	762 回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	48 回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	あり

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催,医療機関等への訪問,公的な会議での周知,勉強会・セミナーの開催,医師会を通じた周知
特に効果的であったもの・理由	医師会を通じた周知 (立上げ時)医師会 (会員増加時)医師会
参加機関・患者拡大のメリット	重複した検査や処方なくなり,患者負担が軽減される。情報を共有することで質の高い,安全な医療が提供できる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時以降に,追加したサービス	診療情報の連携,電子版おくり手帳,健診情報連携,画像情報の共有,画像診断サービス,検査機関との連携,患者用IDカードの発行,医療従事者用モバイル対応,在宅医療連携
追加サービスと会員増加の関係	どちらも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携,電子紹介状,電子おくり手帳,電子版糖尿病手帳,退院時サマリ,健診情報連携,画像情報の共有,検査機関との連携,患者用IDカードの発行,医療従事者用モバイル対応,在宅医療連携,介護連携,その他のサービス情報共有(掲示板、SNSなど),その他のサービス診療・検査予約,その他のサービス空床情報,その他のサービスメール、メルマガなど
サービス強化の決定理由	新規参加者獲得のため,会員満足度の向上,患者サービスの向上

地域・都道府県：九州

大分県

整理番号：0257

情報更新日：2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	臼杵市健康・医療・介護情報連携事業		
ネットワークの略称・愛称	うすき石仏ねっと		
運用開始(予定)年	2007	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.usukicosmos-med.or.jp/		
ネットワークの概要	大分県臼杵市の地域健康・医療・介護連携システムです。市内の医療機関、訪問看護ステーション、調剤薬局、介護施設(特養、老健)、居宅介護支援事業所、消防署、臼杵市保健健康課、地域包括支援センターを結ぶネットワークです。共有情報は検体検査、薬剤情報(処方、注射)、サマリー情報(医師、看護師、リハビリ、MSW)、服薬指導、栄養指導内容、画像情報、画像レポート、既往歴、アレルギー歴、地域連携パス(糖尿病、心疾患、緩和ケア、認知症)、救急車要請時緊急画面、医科歯科連携、医療介護連携、緊急時連携シート、災害時要援護者連携シート他です。平成27年4月より臼杵市石仏ねっと運営協議会(臼杵市、臼杵市医師会、臼杵市歯科医師会、臼杵市薬剤師会、介護施設の代表者)で運営しております。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	その他		
団体名	うすき石仏ねっと運営協議会		
住所	〒875-0051 大分県臼杵市大字戸室1131番地1		
電話番号	0972-62-5615	所属部署	情報管理センター
担当者	小野清史	Eメールアドレス	k-ono@usukicosmos-med.or.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	運営主体として

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	3	人	兼任	5
					人

参加団体数と参加患者数							
参加団体数(実績)	参加施設数						
	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設	
参加団体数(実績)	3	22	18	16	6	27	
参加団体数(予定)				1		1	
参加している病院の施設類型	施設の有無	施設数	施設名				
	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	1	臼杵市医師会立コスモス病院			
	精神科病院	なし	1	白川病院			
参加患者数(実績数)	登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数			
	12500			12500			

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	△:地域全体で参加,○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意,その他の方式 フェリカカードを提出することによって施設毎に同意している。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	その他 石仏カードの提示

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	△:脳血管障害,○:心臓疾患,△:その他のがん,○:糖尿病,○:認知症,△:その他
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携,○:電子紹介状,△:電子クリニカルパス,○:電子版おくすり手帳,○:電子版疾病管理手帳,○:退院時サマリー,○:健診情報の連携,○:画像情報の共有,○:検査機関との連携,○:患者用IDカードの発行,△:医療従事者用モバイル対応,△:PCアクセスサービス(患者),△:モバイルアクセスサービス(患者),△:患者による自己管理システム,○:在宅医療連携,○:介護連携,○:情報共有(掲示板、SNSなど),△:診療・検査予約,○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等),○:病名情報,○:診療情報提供書,○:サマリー,○:看護記録,△:その他文書,○:検体検査オーダー,△:放射線検査オーダー,△:内視鏡検査オーダー,△:生理検査オーダー,○:検体検査結果,○:生理検査結果,○:画像(放射線検査、内視鏡検査等),○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得,○:病院(レセコン)より取得,○:病院(画像システム)より取得,△:医科診療所(電子カルテ)より取得,○:医科診療所(レセコン)より取得,△:歯科診療所(電子カルテ)より取得,△:歯科診療所(レセコン)より取得,○:薬局(調剤レセコン)より取得,○:検査センター(検査システム)より取得,△:その他より取得

システムの運用管理	
運用管理規程(規定)等の整備	○:個人情報保護方針の制定,○:セキュリティポリシーの制定,○:運用管理規程の制定,○:操作マニュアルの整備,△:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△:定期的な監査もしくは確認等(規定等が遵守されているか),○:定期的な運用管理規程等の見直し,△:従事者との守秘義務契約,○:共有情報の閲覧履歴の定期的確認,○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ,○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	30000	閲覧側	有料	30000
	医科診療所	開示側	有料	5000	閲覧側	有料	5000
	歯科診療所	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	3000
	薬局	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	3000
	介護施設	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	3000
	その他	開示側	有料	1000	閲覧側	有料	1000
	患者	開示側				閲覧側	

地域・都道府県：九州

大分県

整理番号：0257

情報更新日：2017/2/23

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担, 国の負担（厚労省）, 国の負担（総務省）
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	参加施設の負担, 自治体の負担, 地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	93 回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	あり	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問 顔の見える関係を構築することが出来る。		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時) 医師会	
参加機関・患者拡大のメリット	連携患者数の増加は連携機関数の拡大につながる。		
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス	電子紹介状, 電子版おくり手帳, 電子版糖尿病手帳, 健診情報連携, 検査機関との連携, 在宅医療連携, 介護連携		
追加サービスと会員増加の関係	そう思う		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 電子おくり手帳, 電子版糖尿病手帳, 退院時サマリ, 健診情報連携, 検査機関との連携, 在宅医療連携, その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）, その他のサービス診療・検査予約, その他のサービス空床情報		
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上, 患者サービスの向上		

地域・都道府県：九州

大分県

整理番号：0269

情報更新日：2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	大分市医師会医療情報ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称	府内ネット		
運用開始(予定)年	2011	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	紹介患者さんのカルテ情報の閲覧や、放射線検査はCD-Rと同様に画像やレポートを閲覧することができる。また、検体検査のデータについても「府内ネット」は接続した端末から閲覧する機能を提供する。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	一般社団法人大分市医師会		
住所	〒870-1133 大分県大分市大字宮崎1315番地		
電話番号	097-568-5780	所属部署	事務局

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携
地域の課題	
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者紹介の円滑化が進んだ
ネットワークが現在抱えている課題	インターネット回線を持たない施設が多い。
運営について工夫した点、苦勞した点	
対象地域	その他 医師会員、登録医施設
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	内科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		10	9				
参加団体数(予定)							
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	なし				
		地域医療支援病院	なし				
		精神科病院	なし				
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		729			729		

同意取得について	
医療機関等	△:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	
患者	○:すべての施設毎に同意を得る, ○:連携をするすべての医師毎に同意を得る。

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, △:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:画像診断サービス, ○:検査機関との連携, △:在宅医療連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約, △:空床情報, △:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	画像情報の共有および画像診断サービは、一方向のみ。その他のサービスは、24年度のアンケート結果から追加

共有できる情報項目	
利用している情報項目	△:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:集中型
情報共有形態	○:参照のみ
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	○:医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 九州

大分県

整理番号： 0269

情報更新日： 2017/2/23

システムの運用管理							
運用管理規程（規定）等の整備		○：個人情報保護方針の制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備					
安全管理		○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理					
利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他 患者	開示側			閲覧側		
蓄積された個人情報・診療情報の利用							
個人情報・診療情報の利用							
予算関係							
構築費用		33000		千円			
運用費用				千円		基幹病院の電子カルテシステムのオプションであるため算出不能	
内訳	運用費内訳	保守費		千円		その他費用	
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途				千円
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途				千円
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	
主な関連IT企業						千円	
将来のシステムの更改の費用負担							
将来のシステムの更改の費用負担							
費用の負担							
ネットワーク構築費用の負担（実施中）		地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担		ネットワーク構築費用の負担（実施予定）			
ネットワーク運用費用の負担（実施中）		参加施設の負担、地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担		ネットワーク運用費用の負担（実施予定）			
医療情報ネットワークの連携実績							
ポータルサイトへの総ログイン回数		回		ポータルサイトへのログイン実績のある施設数		回	
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回		開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数		回	
診療報酬加算の算定状況							
検査・画像情報提供加算の算定状況				電子的診療情報評価料の算定状況			
普及に向けた施策・取組							
周知・広報の施策・取組		医療機関等への訪問					
特に効果のあったもの・理由							
人的なネットワーク		(立上げ時) 基幹病院		(会員増加時)			
参加機関・患者拡大のメリット							
地域範囲の適切なサイズ							
構築時以降に、追加したサービス							
追加サービスと会員増加の関係		サービス強化と会員の増加には影響はなかった					
会員増加に効果的なサービス		診療情報の連携、電子紹介状、電子処方箋（実証等）、退院時サマリ、画像情報の共有、画像診断サービス、検査機関との連携、在宅医療連携、介護連携					
サービス強化の決定理由		新規参加者獲得のため、会員満足度の向上					

地域・都道府県： 九州

大分県

整理番号： 0494

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要						
ネットワークの名称		遠隔画像診断システム				
医療情報連携ネットワークの代表団体						
代表団体区分						
団体名		一般社団法人豊後高田市医師会				
住所		〒879-0623 大分県豊後高田市金谷町1185番地加宝インテックビルK-202				
電話番号		0978-22-3082	所属部署		事務局	
自治体の運営への参加						
自治体の運営への参加		参画していない				
医療情報連携ネットワークの運営						
事務局人数		専任	0	人	兼任	0
人						
参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		1	6			
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内実際に情報共有している患者数	
					123	
同意取得について						
医療機関等		○:施設ごとの参加判断				
介護施設、その他						
患者						
同意取得について(患者詳細)						
新規患者からの同意取得						
患者が同意の撤回(脱退)する場合		口頭による了承				
新たに参加施設が増えた場合						
提供しているサービス状況						
連携している疾病(連携パス)						
提供しているサービス項目						
その他 備考・補足						
共有できる情報項目						
利用している情報項目						
利用している情報の取得元システム						
医療情報連携ネットワークのシステム						
連携方式						
情報共有形態						
地域共通ID						
連携情報の保管場所						
障害対策(バックアップ体制)						
厚生労働省標準規格の採用						
情報連携基盤技術仕様						
通信ネットワーク・ログインセキュリティ						
医療機関等との通信(開示側)						
医療機関等との通信(閲覧側)						
介護施設・その他施設との通信						
患者との通信						
医療機関・薬局用						
介護施設・その他施設用						
患者用						
システムの運用管理						
運用管理規程(規定)等の整備						
安全管理						
利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側	
	医科診療所	開示側			閲覧側	
	歯科診療所	開示側			閲覧側	
	薬局	開示側			閲覧側	
	介護施設	開示側			閲覧側	
	その他	開示側			閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側	
蓄積された個人情報・診療情報の利用						
個人情報・診療情報の利用		○:地域の医療費適正化の目的で利用				

地域・都道府県：九州

大分県

整理番号：0494

情報更新日：2017/2/10

予算関係				
構築費用		千円		
運用費用		千円		
内訳	運用費内訳	保守費	千円	
	連携費用	200床以上	千円	その他費用 千円
地域医療再生臨時特例交付金			額(千円)・用途	千円
地域医療介護総合確保基金			額(千円)・用途	千円
その他の公的資金	構築費用	千円		
	運用費用	千円		
実施予定のネットワーク	構築費用	千円		
	運用費用	千円		
	(運用費内訳)	保守費	千円	その他費用 千円
主な関連IT企業				

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担(実施中)	自治体の負担, 地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担, 国の負担(総務省)	ネットワーク構築費用の負担(実施予定)	
ネットワーク運用費用の負担(実施中)	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担, 患者の利用料・会費等で負担	ネットワーク運用費用の負担(実施予定)	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県： 九州

宮崎県

整理番号： 0070

情報更新日： 2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	宮崎健康福祉ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称	はにわネット		
運用開始(予定)年	2002	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.haniwa-net.jp/		
ネットワークの概要	中核病院医療情報連携システム：地域の医療機関から中核病院へ紹介入院となった患者の電子カルテを紹介元医師が自院のパソコンから閲覧できるシステム。紹介元医は、紹介患者の中核病院入院後の画像や検査データも含めた診療情報をリアルタイムで閲覧できる。現在、宮崎大学病院と県内の紹介元医師間で運用している。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	NPO		
団体名	特定非営利活動法人宮崎健康福祉ネットワーク協議会		
住所	〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200		
電話番号	0985-85-9029	所属部署	宮崎大学医学部附属病院医療情報部

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 九州

宮崎県

整理番号： 0152

情報更新日： 2017/3/28

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	都城地域医療連携ネットワーク		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	都城市郡医師会病院		
住所	〒885-0002 宮崎県都城市太郎坊町1364-1		
電話番号	0986-36-8300	所属部署	医事課・診療情報管理室
自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		
医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0 人	兼任 2 人
医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など			
ネットワークの導入目的	医療連携		
地域の課題			
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった		
ネットワークが現在抱えている課題	なかなかネットワークシステム利用・理解が病医院に浸透しない		
運営について工夫した点、苦労した点			
対象地域	二次医療圏での連携	都城市北諸県郡	
行政計画への記載	いいえ		
同意取得について(患者詳細)			
新規患者からの同意取得	同意による取得		
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による		
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の口頭による了承		
共有できる情報項目			
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:医師記録(経過記録), △:サマリ, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)		
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:病院(画像システム)より取得		
人的なネットワーク	(立上げ時) 医師会	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 電子おくり手帳, 画像情報の共有		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県： 九州

宮崎県

整理番号： 0279

情報更新日： 2017/3/2

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	周産期ネットワークシステム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	宮崎県の県西地区(都城北諸県医療圏・西諸医療圏)におけるハイリスク分娩患者の受け入れ体制の整備、コンサルティング及び症例研究活動を円滑に実施するため、圏域内の周産期医療に対応する高次施設(2施設)、一次施設(8施設)及び助産施設(3施設)へ周産期医療ネットワークシステムを導入し、CTG波形情報の連携を中心に様々な情報を共有し、相互に連携してより効率的かつ効果的な周産期医療の提供を図っている。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	独立行政法人国立病院機構都城医療センター		
住所	〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1		
電話番号	0986-23-4111	所属部署	事務部企画課

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加			

医療情報連携ネットワークの運営					
事務局人数	専任	0	人	兼任	0
					人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	周産期医療対策
地域の課題	都城医療センターは、宮崎県の県西地区(都城北諸県医療圏・西諸医療圏)の周産期医療体制の中核を担い、当該圏域内のハイリスク分娩患者に対応しているが、医師の退職や引き上げにより産科医が減るなど、その体制の維持・確保が課題となっている。また、県西地区においては、従来より他の周産期医療圏よりも産科医が少なく、西諸医療圏域では病院に産科医がいないという厳しい状況にある。このため、ハイリスク分娩患者の受け入れ体制の整備、コンサルティングおよび症例研究活動を円滑に実施するため、当院と圏域内の周産期医療に対応する医療機関へ周産期医療ネットワークシステムを導入し、相互に連携して運用することにより、より効率的かつ効果的な周産期医療の提供を図ることとした。
ネットワーク導入による効果	○:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ、○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ、○:医師の偏在を補う効果があった、○:患者紹介の円滑化が進んだ、○:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	
運営について工夫した点、苦労した点	
対象地域	二次医療圏での連携 都城北諸県医療圏・西諸医療圏
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数						
		参加施設数				
		病院	医師診療所	歯科診療所	薬局	介護施設
参加団体数(実績)		4	6			3
参加団体数(予定)						
		施設の有無	施設数	施設名		
参加している病院の施設類型	特定機能病院					
	地域医療支援病院					
	精神科病院					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数	

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:地域全体で参加, ○:施設ごとの参加判断
患者	

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	
患者が同意の撤回(脱退)する場合	
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	
提供しているサービス項目	
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	
利用している情報の取得元システム	

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	
情報共有形態	
地域共通ID	
連携情報の保管場所	
障害対策(バックアップ体制)	
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	
医療機関等との通信（閲覧側）	
介護施設・その他施設との通信	
患者との通信	
医療機関・薬局用	
介護施設・その他施設用	
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	
安全管理	

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側			閲覧側		
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側			閲覧側		
	介護施設	開示側			閲覧側		
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	○：学術研究等の公益目的で利用，○：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係					
構築費用		70000		千円	
運用費用				千円	通信費は各施設負担
内訳	運用費内訳	保守費		千円	その他費用
	連携費用	200床以上		千円	200床以下
地域医療再生臨時特例交付金			額（千円）・用途		千円
地域医療介護総合確保基金			額（千円）・用途		千円
その他の公的資金	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
実施予定のネットワーク	構築費用			千円	
	運用費用			千円	
	(運用費内訳)	保守費		千円	その他費用
主な関連IT企業					千円

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	自治体の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況	
検査・画像情報提供加算の算定状況	電子的診療情報評価料の算定状況

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) (会員増加時)
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

鹿児島県

整理番号：0156

情報更新日：2017/2/10

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	かごしま救急医療遠隔画像診断センターシステム		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	公益社団法人鹿児島県医師会		
住所	〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町8-1		
電話番号	099-254-8121	所属部署	地域保健課
システムの運用管理			
運用管理規程（規定）等の整備			
安全管理			
医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回
診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	
普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組			
特に効果のあったもの・理由			
人的なネットワーク	(立上げ時)	(会員増加時)	
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ			
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係			
会員増加に効果的なサービス			
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県：九州

鹿児島県

整理番号：0349

情報更新日：2017/2/23

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	キュアケアネット		
ネットワークの略称・愛称	curecarenet		
運用開始(予定)年	2012	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.curecarenet.jp		
ネットワークの概要	インターネット環境にて、ブラウザを利用し、パソコン及びタブレット端末、スマートフォンを利用した、在宅医療における多職種の情報共有ツール。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	企業		
団体名	株式会社キュアケア		
住所	〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田4丁目40番14号		
電話番号	099-203-0038	所属部署	代表取締役
担当者	汐田一誠	Eメールアドレス	shiota@mail.curecarenet.jp

自治体の運営への参加			
自治体の運営への参加	参画していない		

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	1	人
	兼任	5	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携、在宅医療対策
地域の課題	多職種連携の在宅医療における課題の抽出を行った。(平成24年在宅医療連携拠点事業) 医師：緊急要請がない場合の連絡は返事が遅くなる。何を聞きたいかわからないときがある。案件によっては直接話をしたい。担当者会議は拘束時間が長い参加は難しい。介護的な面の情報はケアマネがまとめて聞いてほしい。他職種の方に最低限の医療的知識をもってほしい。歯科医師：治療内容(義歯なのか、残存歯なのか等)の情報がはつきりしない。歯科と内科での共通言語が少なく情報共有の方法が難しい。本人と家族の希望をまとめてほしい。口腔ケアやリハビリの必要性や継続性をもっと家族や介護職員等に理解してほしい。チームでのケアを進めていきたい。薬剤師：医師との連携はとりやすいが、ケアマネとの情報共有は難しい。家族がいない患者は情報が掴みにくい。主に医師とケアマネと連携をとりたい。血圧など連続性のある情報がほしい。担当者会議へ参加したいが、出席できないのでお薬手帳へ記入をお願いしたい。薬の飲み合わせが悪い場合があるため、歯科医師や訪問
ネットワーク導入による効果	○:患者サービスが向上した, ○:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, ○:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	株式会社に委託し、維持管理の他、介護関連事業所など開設母体が異なる法人への導入もスムーズになった。運用面で職種、年齢、性別などによりICTリテラシーに偏りがある。全体のICTリテラシーの向上に努める必要がある。
運営について工夫した点、苦労した点	同一法人内での多職種、多事業所での普及は早い、他法人の事業所の参加が難しい、逆に連携の障害になってしまう事がある。他法人は導入時のストレスが大きい。開始してしまえば特に問題は生じない。システムの大規模な変更を行った。基本的なコンセプトは同じだが、システムのベースを一新した。OSやデバイスを選ばなくなった。(スマホ、ブラウザアプリ、タブレット端末、PCなど)
対象地域	その他 当院を中心とした在宅医療連携範囲(システム自体は広域運用可能)
行政計画への記載	いいえ

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		0	3	0	2	23	
参加団体数(予定)		0					
		施設の有無	施設数	施設名			
参加している病院の施設類型	特定機能病院	なし					
	地域医療支援病院	なし	0				
	精神科病院	なし					
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		591			450		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	口頭による了承
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携パス)	
提供しているサービス項目	○:診療情報の連携, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携, ○:情報共有(掲示板、SNSなど), ○:メール、メルマガなど
その他 備考・補足	在宅患者を中心に医療、介護情報を共有するツール。基本データ、重要書類の共有、訪問診療や訪問、通所、ショートステイなどの他事業所、多職種のサービススケジュールカレンダー機能、書き込みを発信するメール機能など基本としています。

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:病名情報, ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, △:手術記録, ○:看護記録, △:その他文書, ○:その他, 処方内容に関する情報は、定期薬について情報共有。
利用している情報の取得元システム	△:その他より取得, CSVによるインポートには対応する予定です。

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:クラウド型, クラウド型ですが、サーバはプライベートサーバを使用しています。
情報共有形態	○:双方向での共有
地域共通ID	共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
医療機関等との通信（閲覧側）	○:インターネットVPN (IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネットVPN (IPSec+IKE) , ○:インターネット (TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○:個人情報保護方針の制定, ○:セキュリティポリシーの制定, ○:運用管理規程の制定, ○:操作マニュアルの整備, △:障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	○:定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか）, △:定期的な運用管理規程等の見直し, ○:従事者との守秘義務契約, △:共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○:ウィルスソフトを最新バージョンに保つ, ○:共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側			閲覧側		
	医科診療所	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	
	歯科診療所	開示側			閲覧側		
	薬局	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	
	介護施設	開示側	有料	3000	閲覧側	有料	
	その他	開示側			閲覧側		
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

予算関係							
構築費用		1300		千円			
運用費用		10000		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	6000	千円		その他費用	4000
	連携費用	200床以上		千円		200床以下	
地域医療再生臨時特例交付金		いいえ	額（千円）・用途				
地域医療介護総合確保基金		いいえ	額（千円）・用途				
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
実施予定のネットワーク	構築費用			千円			
	運用費用			千円			
	(運用費内訳)	保守費		千円		その他費用	千円
主な関連IT企業		(株) キュアケア, (株) イーデザイン					

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担, 国の負担（厚労省）	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	19000	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	103	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	19000	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	103	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 医療機関等への訪問, 公的な会議での周知, 勉強会・セミナーの開催, 医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	勉強会・セミナーの開催
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	情報量が増えることで連携の課題が明確になる。
地域範囲の適切なサイズ	二次医療圏
構築時に際し、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	電子紹介状, 電子処方箋（実証等）
サービス強化の決定理由	その他

地域・都道府県：九州

鹿児島県

整理番号：0525

情報更新日：2017/3/3

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	ID-LINK		
医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	公益財団法人昭和会		
住所	〒892-8502 鹿児島県鹿児島市下竜尾町4-16		
電話番号	099-226-2211	所属部署	相談支援センター

医療情報ネットワークの連携実績					
ポータルサイトへの総ログイン回数	54	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	1	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	2046	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	2046	回

診療報酬加算の算定状況					
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし		電子的診療情報評価料の算定状況	なし	

普及に向けた施策・取組			
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問		
特に効果のあったもの・理由	医療機関等への訪問		
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院	(会員増加時)	基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット			
地域範囲の適切なサイズ	都道府県		
構築時以降に、追加したサービス			
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない		
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携, 遠隔医療, 遠隔カンファランス		
サービス強化の決定理由			

地域・都道府県：九州

鹿児島

整理番号：0302

情報更新日：2017/4/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	いちき串木野市地域連携サービス		
ネットワークの略称・愛称	さくらネット		
運用開始(予定)年	2013	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://kunc99.jp/		
ネットワークの概要	診療情報の情報共有を目的としたICT		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	病院		
団体名	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター		
住所	〒895-0078 鹿児島県いちき串木野市生福5391番地3		
電話番号	0996-32-9999	所属部署	看護部
担当者	畑中勇二	Eメールアドレス	y.hatanaka@kunc99.ne.jp

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	参画していない

医療情報連携ネットワークの運営			
事務局人数	専任	0	人
	兼任	2	人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, がん対策, 脳卒中対策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 精神科医療対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	行政との連携がされていない。医師会病院の主導であるが、医師会会員施設の登録が少ない、開業医の医師の高齢化に伴う、PCやインターネットへの不慣れにより導入されないケースも多い
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, ○:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって) 診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	閲覧施設側からのデータのアップがない。開示病院になるための導入費用が高いため、開示施設が増えない
運営について工夫した点、苦労した点	包括同意へ移行
対象地域	市区町村単位での連携 いちき串木野市と脳卒中連携を行っている市街の近隣病院, 0
行政計画への記載	

参加団体数と参加患者数		参加施設数					
参加団体数(実績)	6	病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(予定)			8	2	3	1	2
参加している病院の施設類型	特定機能病院	施設の有無	施設数	施設名			
	地域医療支援病院						
	精神科病院						
参加患者数(実績数)	402	登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		402			402		

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意, ○:施設毎に情報連携の可否を指定

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	連携先追加の同意書による取得

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:脳血管障害, △:糖尿病
提供しているサービス項目 その他 備考・補足	○:退院時サマリ, ○:画像情報の共有, ○:医療従事者用モバイル対応, ○:在宅医療連携, ○:介護連携

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), ○:診療情報提供書, ○:医師記録(経過記録), ○:サマリ, ○:その他文書, ○:処方オーダー, ○:注射オーダー, ○:検体検査オーダー, ○:放射線検査オーダー, ○:生理検査オーダー, ○:検体検査結果, ○:生理検査結果, ○:画像(放射線検査、内視鏡検査等)
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○:分散型
情報共有形態	○:双方向での共有, ○:参照のみ
地域共通ID	○:ID-LINKシステムを利用, 共通IDを使用していない
連携情報の保管場所	○:各医療機関の院内, ○:院外のデータセンター
障害対策(バックアップ体制)	○:提供ベンダーのサービスを利用, ○:待機系サーバを遠隔地に設置
厚生労働省標準規格の採用	
情報連携基盤技術仕様	

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信(開示側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
医療機関等との通信(閲覧側)	○:インターネットVPN(IPSec+IKE)
介護施設・その他施設との通信	○:インターネット(TLS1.2の高セキュリティ型)
患者との通信	
医療機関・薬局用	○:IDとパスワード
介護施設・その他施設用	○:IDとパスワード
患者用	

地域・都道府県： 九州

鹿児島

整理番号： 0302

情報更新日： 2017/4/6

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定, ○：セキュリティポリシーの制定, ○：運用管理規程の制定, ○：操作マニュアルの整備
安全管理	△：定期的な運用管理規程等の見直し, ○：従事者との守秘義務契約, ○：共有情報の閲覧履歴の定期的確認, ○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金						
利用・参加料金	病院	開示側	無料		閲覧側	無料
	医科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料
	歯科診療所	開示側	無料		閲覧側	無料
	薬局	開示側	無料		閲覧側	無料
	介護施設	開示側	無料		閲覧側	無料
	その他	開示側	無料		閲覧側	無料
	患者	開示側	無料		閲覧側	無料

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	その他	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績				
ポータルサイトへの総ログイン回数		回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数		回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況	なし	電子的診療情報評価料の算定状況	なし

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	説明会の開催, 勉強会・セミナーの開催
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	(立上げ時) 基幹病院 (会員増加時) 基幹病院
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	都道府県
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

沖縄県

整理番号：0377

情報更新日：2017/2/14

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	沖縄県離島・へき地遠隔支援情報システム		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2000	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL			
ネットワークの概要	離島診療所の支援を目的として、診療所及び病院間を結ぶネットワークシステム。		

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	その他
特に効果のあったもの・理由	その他 公立の離島診療所を対象としたもので、周知・広報等になじむものではない。
人的なネットワーク	(立上げ時) その他 (会員増加時) その他
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	
追加サービスと会員増加の関係	
会員増加に効果的なサービス	
サービス強化の決定理由	

地域・都道府県：九州

沖縄県

整理番号：0529

情報更新日：2017/3/6

医療情報連携ネットワークの概要			
ネットワークの名称	おきなわ津梁ネットワーク		
ネットワークの略称・愛称			
運用開始(予定)年	2015	ネットワークの稼働状況	サービス運用中
公開URL	http://www.shinryo.okinawa.med.or.jp/		
ネットワークの概要	特定健康診査(全市町村国保、協会けんぽ)や長寿健診の結果を基本情報に、各医療機関における検査結果、脳卒中、糖尿病、急性心筋梗塞地域医療連携バス情報、また調剤薬局より提供いただく処方・調剤情報等を集積及び共有し、県民への適切な健康相談や医療勧奨、治療、服薬指導、適正処方等を行うための取組です。		

医療情報連携ネットワークの代表団体			
代表団体区分	医師会		
団体名	沖縄県医師会		
住所	〒901-1105 沖縄県南風原町字新川218-9		
電話番号	098-888-0087	所属部署	業務2課

自治体の運営への参加	
自治体の運営への参加	協議会メンバーとして

医療情報連携ネットワークの運営				
事務局人数	専任	1人	兼任	2人

医療情報連携ネットワークの実施目的・地域など	
ネットワークの導入目的	医療連携, 在宅医療対策, 脳卒中对策, 急性心筋梗塞対策, 糖尿病対策, 疾病予防対策, 疾病管理, 健康管理
地域の課題	・65歳未満の死亡率が高い・外来受療率が低い
ネットワーク導入による効果	△:患者サービスが向上した, △:患者の負担が軽減した, △:医療機関間で機能分化が進んだ, △:医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ, △:医療機関間の人的ネットワークが進んだ, △:医師の偏在を補う効果があった, △:患者紹介の円滑化が進んだ, △:(診療所にとって)地域中核病院のサポートが受けられるようになった, △:(地域中核病院にとって)診療所の支援が受けられるようになった
ネットワークが現在抱えている課題	「継続運用」一番の課題は継続して運用していくための運用コストを如何に安定的に確保出来るかであると考え。運用コストには、システム保守料や会議費等に加え、ネットワークに参加いただくための広報費も必要となってくる。システム保守料は、利便性を高めたり、ユーザーの要望に沿えば沿うほど、運用コストが高くなるため、保守会社との慎重な契約が必要と考える。場合によっては、システムの一部機能の見直し、停止なども念頭に置く必要があるのではないかと考える。「同意取得」個人情報、医療情報等、機微性の高い情報を取り扱うため、どうしても個人個人に説明し同意を取得する必要がある。しかし、実際の診療業務に加え、同意取得に必要な説明を行うことに業務負担が増し、各施設のスタッフの抵抗感を与えることになり、なかなか賛同だけできない部分もある。現実的ではないが、健康条例などの策定や保険証の利活用による包括同意が可能になると一気にネットワークの利用頻度や価値があるものと考え。「セキュリティVS利便性」セキュリティと利便性の両立
運営について工夫した点、苦労した点	保険者(市町村国保、協会けんぽ、後期高齢者医療広域連合)より、健診データを提供いただいたこと。
対象地域	全県域での連携 沖縄県
行政計画への記載	はい

参加団体数と参加患者数							
		参加施設数					
		病院	医科診療所	歯科診療所	薬局	介護施設	その他の施設
参加団体数(実績)		22	80		32	1	
参加団体数(予定)		12					
参加している病院の施設類型		施設の有無	施設数	施設名			
		特定機能病院	あり	1	琉球大学医学部附属病院		
		地域医療支援病院	あり	6	ハートライフ病院、中頭病院、県立中部病院、那覇市立病院、沖縄赤十字病院、豊見城中央病院		
		精神科病院	あり	1	平安病院		
参加患者数(実績数)		登録患者数			その内の実際に情報共有している患者数		
		24838					

同意取得について	
医療機関等	○:施設ごとの参加判断
介護施設、その他	○:施設ごとの参加判断
患者	○:参加施設すべての情報連携に一括同意

同意取得について(患者詳細)	
新規患者からの同意取得	同意による取得
患者が同意の撤回(脱退)する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
新たに参加施設が増えた場合	

提供しているサービス状況	
連携している疾病(連携バス)	○:脳血管障害, ○:心臓疾患, ○:糖尿病, △:認知症
提供しているサービス項目	△:診療情報の連携, △:電子紹介状, ○:電子クリニカルパス, △:電子版おくすり手帳, △:退院時サマリ, ○:健診情報の連携, △:画像情報の共有, ○:検査機関との連携, ○:患者用IDカードの発行, △:医療従事者用モバイル対応, △:PCアクセスサービス(患者), △:モバイルアクセスサービス(患者), △:患者による自己管理システム, △:在宅医療連携, △:介護連携, △:情報共有(掲示板、SNSなど), △:診療・検査予約
その他 備考・補足	

共有できる情報項目	
利用している情報項目	○:患者基本情報(氏名、年齢、住所等), △:病名情報, △:診療情報提供書, △:医師記録(経過記録), △:サマリ, △:手術記録, △:看護記録, ○:その他文書, △:処方オーダー, ○:検体検査結果, △:生理検査結果, △:画像(放射線検査、内視鏡検査等), ○:調剤結果
利用している情報の取得元システム	○:病院(電子カルテ)より取得, △:病院(レセコン)より取得, △:病院(画像システム)より取得, ○:医科診療所(電子カルテ)より取得, ○:医科診療所(レセコン)より取得, △:歯科診療所(レセコン)より取得, ○:薬局(調剤レセコン)より取得, ○:検査センター(検査システム)より取得, ○:その他より取得, 検査会社、市町村国保連合会(後期高齢含む)、協会けんぽより独自システムあるいはCD等で取得

地域・都道府県：九州

沖縄県

整理番号：0529

情報更新日：2017/3/6

医療情報連携ネットワークのシステム	
連携方式	○：クラウド型
情報共有形態	○：双方向での共有
地域共通ID	○：独自開発のシステムを利用，○：その他の共通システムを利用
連携情報の保管場所	○：院外のデータセンター
障害対策（バックアップ体制）	○：磁気メディア等のバックアップデータを保存
厚生労働省標準規格の採用	△：医薬品HOTコードマスター，△：ICD1対応標準病名マスター，△：診療情報提供書（電子紹介状），△：IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用方針，○：医療におけるデジタル画像と通信（DICOM），○：JAHIS臨床検査データ交換規約，○：標準歯科病名マスター，○：臨床検査マスター，△：SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
情報連携基盤技術仕様	△：PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3，△：CT

通信ネットワーク・ログインセキュリティ	
医療機関等との通信（開示側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
医療機関等との通信（閲覧側）	○：インターネットVPN（IPSec+IKE）
介護施設・その他施設との通信	△：インターネットVPN（IPSec+IKE）
患者との通信	△：インターネット（TLS1.2の高セキュリティ型）
医療機関・薬局用	○：2要素認証，△：IDとパスワード
介護施設・その他施設用	△：2要素認証，△：IDとパスワード
患者用	

システムの運用管理	
運用管理規程（規定）等の整備	○：個人情報保護方針の制定，○：セキュリティポリシーの制定，○：運用管理規程の制定，○：操作マニュアルの整備，△：障害・災害時の対応規定の制定
安全管理	△：定期的な監査もしくは確認等（規定等が遵守されているか），○：定期的な運用管理規程等の見直し，○：従事者との守秘義務契約，△：共有情報の閲覧履歴の定期的確認，○：ウィルスソフトを最新バージョンに保つ，○：共有情報サーバ等の設備室の入退管理

利用・参加料金							
利用・参加料金	病院	開示側	有料	15000	閲覧側	有料	15000
	内科診療所	開示側	有料	5000	閲覧側	有料	5000
	歯科診療所	開示側	有料	5000	閲覧側	有料	5000
	薬局	開示側	有料	5000	閲覧側	有料	5000
	介護施設	開示側	有料	2000	閲覧側	有料	2000
	その他	開示側				閲覧側	
	患者	開示側			閲覧側		

蓄積された個人情報・診療情報の利用	
個人情報・診療情報の利用	△：学術研究等の公益目的で利用，△：統計結果の公益目的以外で利用

予算関係							
構築費用		250321		千円			
運用費用		0		千円			
内訳	運用費内訳	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
	連携費用	200床以上		千円	200床以下		千円
地域医療再生臨時特例交付金		はい	額（千円）・用途	234000	連携システム環境構築費用,ネットワーク費用,工事・作業費用		
地域医療介護総合確保基金		はい	額（千円）・用途	16321	連携システム環境構築費用		
その他の公的資金	構築費用			千円			
	運用費用	8039		千円			
実施予定のネットワーク	構築費用	0		千円			
	運用費用	0		千円			
	（運用費内訳）	保守費	0	千円	その他費用	0	千円
主な関連IT企業							

将来のシステムの更改の費用負担	
将来のシステムの更改の費用負担	サービス利用料金等の収入より負担，公的資金より負担

費用の負担			
ネットワーク構築費用の負担（実施中）	参加施設の負担，地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担，保険者の負担	ネットワーク構築費用の負担（実施予定）	
ネットワーク運用費用の負担（実施中）	参加施設の負担，地域の医療関係団体（医師会、その他）の負担，保険者の負担	ネットワーク運用費用の負担（実施予定）	

医療情報ネットワークの連携実績			
ポータルサイトへの総ログイン回数	回	ポータルサイトへのログイン実績のある施設数	回
開示施設の患者情報への総アクセス回数	回	開示施設の患者情報へアクセス実績のある施設数	回

診療報酬加算の算定状況			
検査・画像情報提供加算の算定状況		電子的診療情報評価料の算定状況	

普及に向けた施策・取組	
周知・広報の施策・取組	医療機関等への訪問，医師会を通じた周知
特に効果のあったもの・理由	
人的なネットワーク	（立上げ時）医師会 （会員増加時）
参加機関・患者拡大のメリット	
地域範囲の適切なサイズ	
構築時以降に、追加したサービス	在宅医療連携，その他のサービス情報共有（掲示板、SNSなど）
追加サービスと会員増加の関係	どちらとも言えない
会員増加に効果的なサービス	診療情報の連携，電子紹介状，退院時サマリ，健診情報連携，画像情報の共有，在宅医療連携，介護連携
サービス強化の決定理由	会員満足度の向上，患者サービスの向上